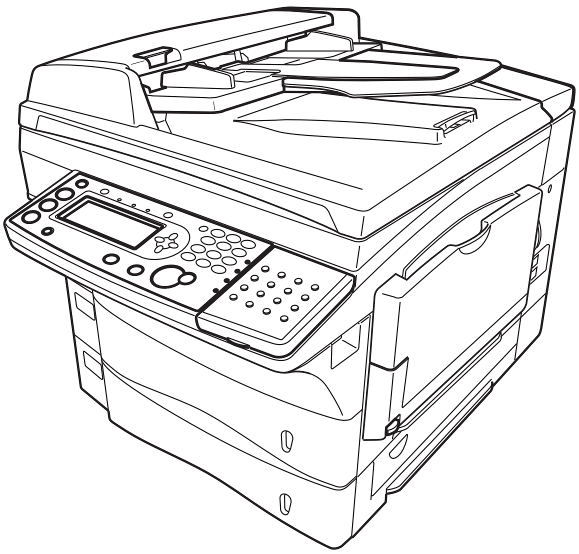
The essentials of imaging

1341f

取扱説明書



ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

～したいこと目次

・この取扱説明書を紛失された場合、購入することができますので、サービス実施店までご連絡ください。
・この取扱説明書に記載されている以外のことは行わないでください。思わぬ事故や故障を起こす原因となることがあります。
・この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書をお読みになる前に、本製品に同梱されている「安全にご使用いただくために」をよくお読みください。また、本書中に⚠と表記されている事項は、安全に関する注意事項です。操作を行う前に必ずよくお読みください。

目次

文字入力

準備

設置モード

用紙

原稿

ファクス中止／確認

通信管理

電話

第 4 章　ファクス応用機能 4-1

本書のみかた

紙面について

分類
章の内容の分類名です。

大見出し

概要説明
機能の説明や、制限事項などを説明しています。

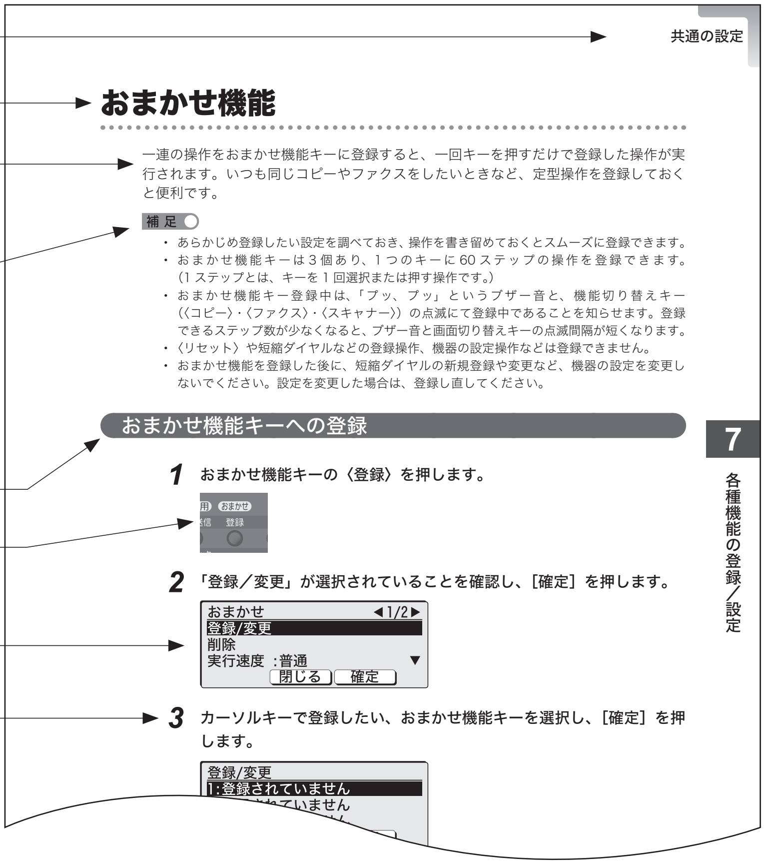
補足
操作する上で、知っておいた方が便利な内容や注意点について説明しています。

項目名

操作パネル上のキー

液晶ディスプレイの表示

操作手順
番号順に操作します。



共通の設定

おまかせ機能

一連の操作をおまかせ機能キーに登録すると、一回キーを押すだけで登録した操作が実行されます。いつも同じコピーやファクスをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。

補足
- あらかじめ登録したい設定を調べておき、操作を書き留めておくとスムーズに登録できます。
- おまかせ機能キーは 3 個あり、1 つのキーに 60 ステップの操作を登録できます。（1 ステップとは、キーを 1 回選択または押す操作です。）
- おまかせ機能キー登録中は、「ブッ、ブッ」というブザー音と、機能切り替えキー（〈コピー〉・〈ファクス〉・〈スキャナー〉）の点滅にて登録中であることを知らせます。登録できるステップ数が少なくなると、ブザー音と画面切り替えキーの点滅間隔が短くなります。
- 〈リセット〉や短縮ダイヤルなどの登録操作、機器の設定操作などは登録できません。
- おまかせ機能を登録した後に、短縮ダイヤルの新規登録や変更など、機器の設定を変更しないでください。設定を変更した場合は、登録し直してください。

おまかせ機能キーへの登録

7 各種機能の登録／設定

1 おまかせ機能キーの〈登録〉を押します。

2 「登録／変更」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

おまかせ ◀1/2▶
登録/変更
削除
実行速度 :普通 ▼
閉じる 確定

3 カーソルキーで登録したい、おまかせ機能キーを選択し、［確定］を押します。

登録/変更
1:登録されていません

キーの表記について

本書では、操作する上でのキーの説明を以下のように表しています。

■ 操作パネル上のキー



→ 〈ファクス中止／確認〉 のように〈〉で囲んでいます。

■ タッチパネルキー



→ ［確定］ のように ［］ で囲んでいます。

ご使用の前のお願い

本書をお読みになる前に、本製品に同梱されている「安全にご使用いただくために」とこのページ以降をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。
お願い	この表示の欄は、「本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねいたりする」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には注意内容が描かれています。
⃠	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
❗	この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信、記録等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。

機器の設置について

お願い

高温・多湿・低温の場所へ設置しないでください。

いつも良い条件でお使いいただける環境は下記のとおりです。

温度　10 ～ 32℃　　湿度　20 ～ 80% RH

定着器部分には触れないでください

動作直後は高温になっており、やけどの原因になります。

注意

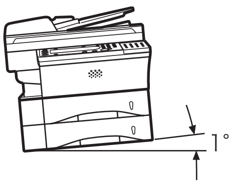
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- 常によく換気された場所でご使用ください。換気の悪い部屋で長時間ご使用になると、体調に影響を及ぼすことがあります。定期的に部屋の換気をすることをお勧めします。
- 本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用するとか、大量にコピーを取るまたはファクスを受信する場合には臭気が気になることもありますので、快適な環境を保つために部屋の換気をすることをお勧めします。

  粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
  （トナーは 1341f 用に推奨しておりますトナーカートリッジを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62：2003 の付録 4 に基づき試験を実施しました。）
- 直流抵抗と、第一種電気通信事業者の交換設備から電話端末設備までの線路の、直流抵抗の和が 50 Ω以上 1700 Ω以下で接続してください。
  本機の直流回路の抵抗値は 301 Ω（最大）です。線路の直流条件によってはご使用になれないことがあります。設置や移動する際は、サービス実施店にご相談ください。

お願い

機器の傾きの限界

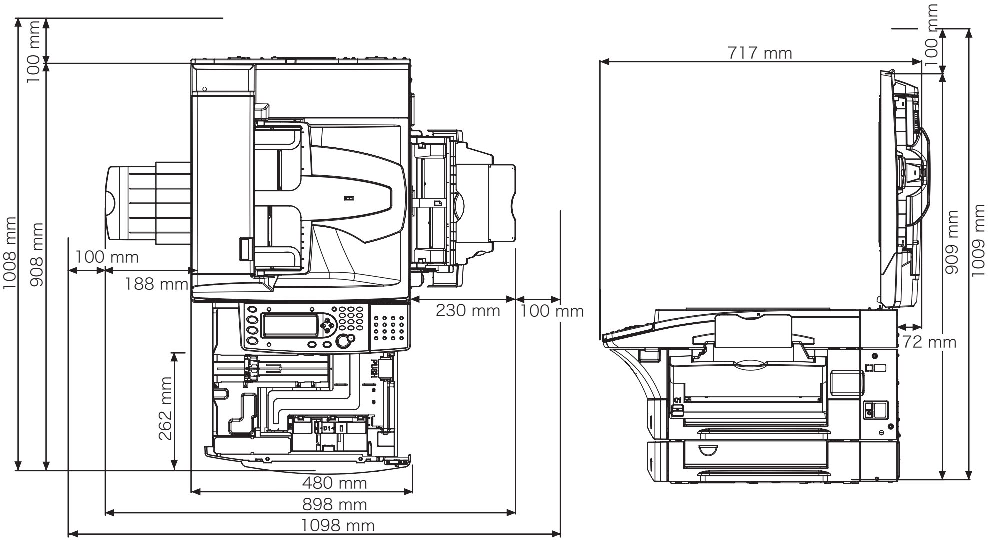
本機を下図の傾き以上に傾けないでください。正常に動作しないことがあります。



❗ 機器の放熱や作業のための設置スペースを十分に確保してください。

- 本機の通風孔を壁や、ほかの機器などから 10cm 以上離して設置してください。放熱効果が十分に得られないと、内部に熱がこもり故障の原因となることがあります。
- 機器の放熱や作業のための設置スペースを十分に確保してください
- 温度差の激しい場所に設置しないでください。温度 10 ～ 32 度、湿度 20 ～ 80% RH の環境でお使いください。
- 屋外での設置や使用は避けてください。

設置スペース



機械の移動について

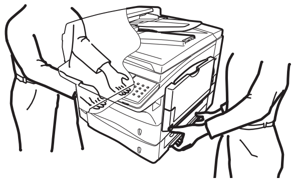
⚠ 注意

❗ 機械の重さは約 36.4kg（トレイ、ドラム、トナーカートリッジ含む、用紙含まず）です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。

・移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードをはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。

・機器を持ち運ぶときはドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを取り外してください。

❗ 必ず図に示す部分を持って上げてください。



機械を持ち上げるときには十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

❗ 専用台に機器を設置した後は、移動防止用ストッパーで機器を固定してください。

機器が思わぬ方向に動き、ケガの原因となることがあります。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

弊社の環境基準に従い回収された機械やカートリッジなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み､人と環境に調和した活動を行ってまいります。

使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、再使用、マテリアルリサイクル、再資源化など適正に処理するため、回収にはご協力をお願いします。

使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ

使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、再資源化しています。

機械の廃棄について

機械を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。

機械を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。回収した機械は、再資源化しています。

2 次電池（充電式バッテリー）の使用について

本製品は 2 次電池（充電式ニッケル水素電池）を使用しております。製品を廃棄するときは、お客様が 2 次電池を取り外す必要はありません。製品として 2 次電池も回収いたします。また、故障時の 2 次電池の交換は、お客様が行う必要はありません。弊社にご相談ください。

第 1 章

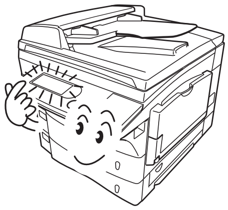
ご使用になる前に

主な特長

便利なオペレーション機能

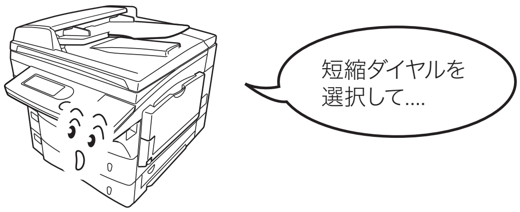
■ バックライト付き「部分タッチパネルディスプレイ」

各機能の設定や操作手順を分かりやすく漢字表示する大型の液晶ディスプレイの下段に部分タッチパネルを採用しました。ファクス送信の設定や、コピーを行う際の用紙サイズの設定などを画面に直接触れて操作することができます。またバックライトを搭載していますので、暗い場所でのオペレーションもスムーズに行なえます。(1-12 ページ)



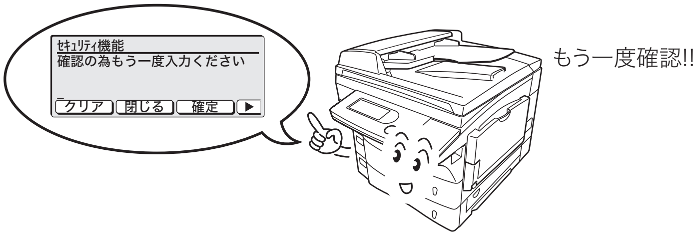
■ 音声ガイダンス

短縮ダイヤル登録や紙づまり解除方法などを音声でガイダンスします。複雑な操作も音声ガイダンスに沿って簡単に操作が完了できます。(1-20 ページ)



■ セキュリティ機能

管理者パスワードの登録により、指定した時間以後のファクス受信原稿をプリントアウトしないように設定できる「セキュリティ受信」や、宛先を 2 度入力することで入力ミスを防ぐ「2 度押し機能」などセキュリティ性を高める機能を搭載しています。(第 6 章)



■ ご愛用スイッチキー

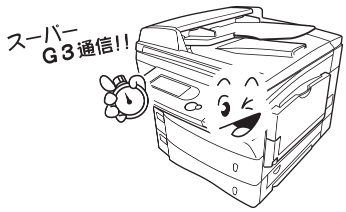
「発信元選択」や「短縮送信」など、よく使用する機能をあらかじめ「ご愛用スイッチキー」に割り当てておくと、ワンタッチで ON/OFF の切り替えが可能です。液晶画面を見ながら ON/OFF を設定するという面倒な手順を省き、キー操作を簡略化できます。(7-47 ページ)

便利なファクス機能

■ スーパー G3 & JBIG、高速原稿読み取り&クイックメモリー送信機能

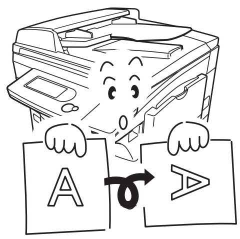
ITU-T（国際電気通信連合）の新規格 V.34 準拠の 33.6Kbps ファクスモデムの搭載により、一般電話回線で超高速 2 秒台電送のスーパー G3 通信が可能です。さらに新標準圧縮方式 JBIG を採用。写真原稿も超高速で送信できます。

また、A4 原稿をわずか 2 秒で読み取り送信できます。さらに、複数の原稿を送信する際、原稿を 1 枚ずつ読み取った後すぐに送信を開始します。大量の原稿を送信するときなど、トータルの作業時間を大幅に短縮できます。



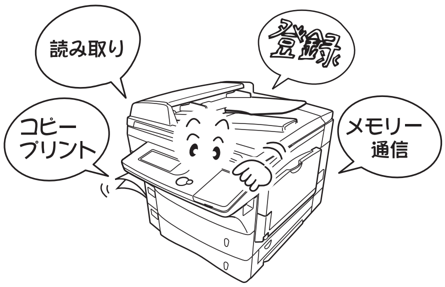
■ 回転送受信

原稿の方向と用紙の方向が違う場合は、自動的に 90 度回転させて用紙にジャストサイズ受信。また、メモリーさせた送信原稿は 90 度回転させてから送信。相手先ファクスの記録紙サイズや原稿の向きを気にせずに送信できます。



■ スーパートリプルアクセス機能

メモリー送受信やコピープリントなどで本体が作動中でも各種登録操作や次の送信予約が可能です。



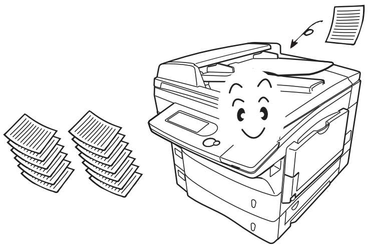
■ ナンバー・ディスプレイ対応

NTT のナンバー・ディスプレイを利用すると、相手先の番号が液晶ディスプレイに表示されます。さらにナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続すれば、ファクスと電話機の両方で同サービスを利用することもできます。（4-43 ページ）

便利なコピー機能

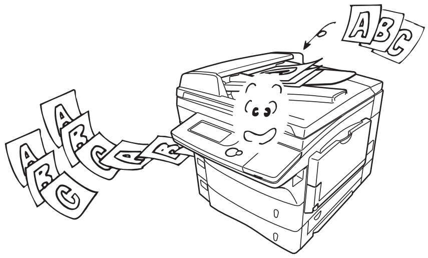
■ 高速高解像度コピー

毎分 13 枚（A4）の高速コピーが可能。600dpi 高解像度で細かい線や文字なども忠実に再現します。



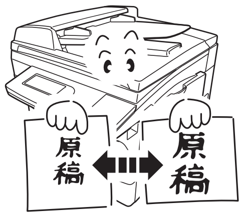
■ ソートコピー

複数部のコピーを自動的に仕分けることができます。（2-13 ページ）



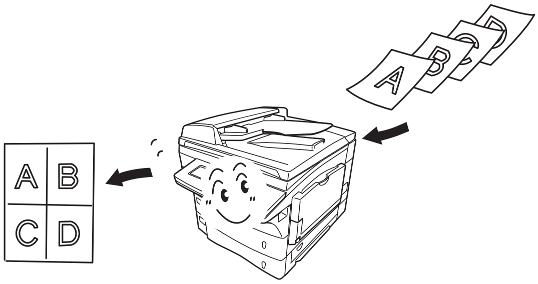
■ 拡大縮小コピー

原稿より大きく、または小さくコピーすることができます。（50-200%）
（2-9 ページ）



■ 集約（N in 1）コピー

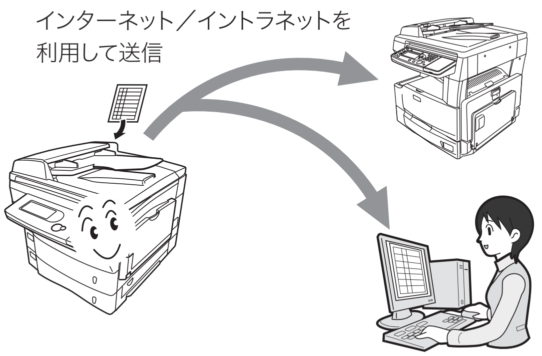
複数の原稿を読み込ませてそれぞれを縮小し、1 枚の用紙にまとめてプリントアウトできます。（2-15 ページ）



便利なオプション品の紹介

■ Information server +Plus II キット

パソコンで作成した文書を画面上でファクス番号を指定して送信したり、受信したファクスをプリントアウトせずにパソコンで確認できる「ダイレクト PC-FAX 機能」。スキャンした原稿を PDF などのファイル形式で保存できる「ネットワークスキャナー機能」。その他ネットワークプリンター機能、インターネットファクス機能など豊富なネットワーク機能を拡張できるオールインワンパッケージです。蓄積された文書はネットワーク上の Web ブラウザーで閲覧・管理することができ、オフィスのペーパーレスを実現します。



■ 2 回線収容マルチポート

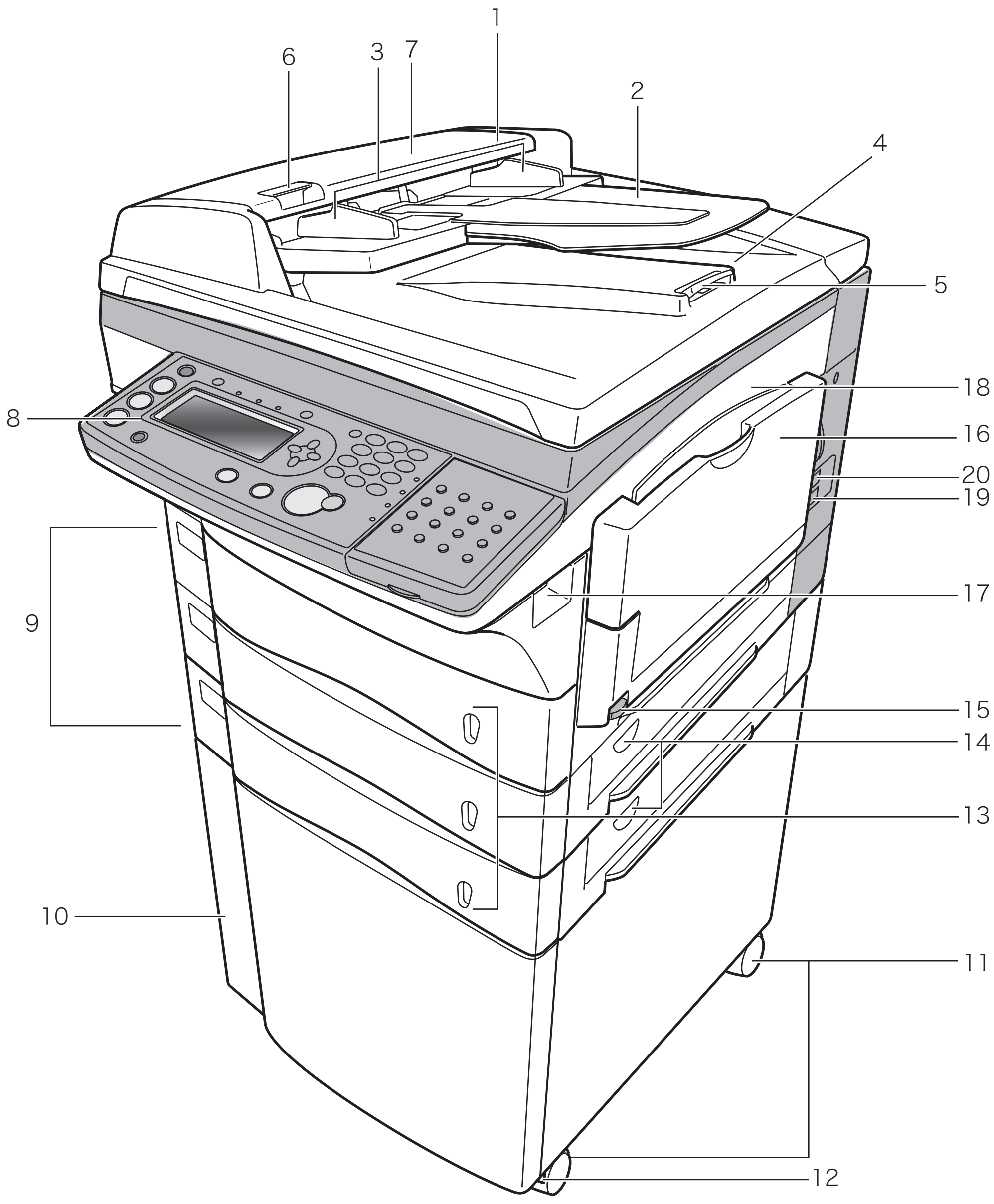
標準のスーパー G3 回線のほかに、さらにスーパー G3 回線を搭載して、送信・受信を同時に行うことが可能になります。

■ 増設メモリー

標準 32MB にオプションの増設メモリー 32MB を装着すると最大 64MB までメモリーを増やすことができます。

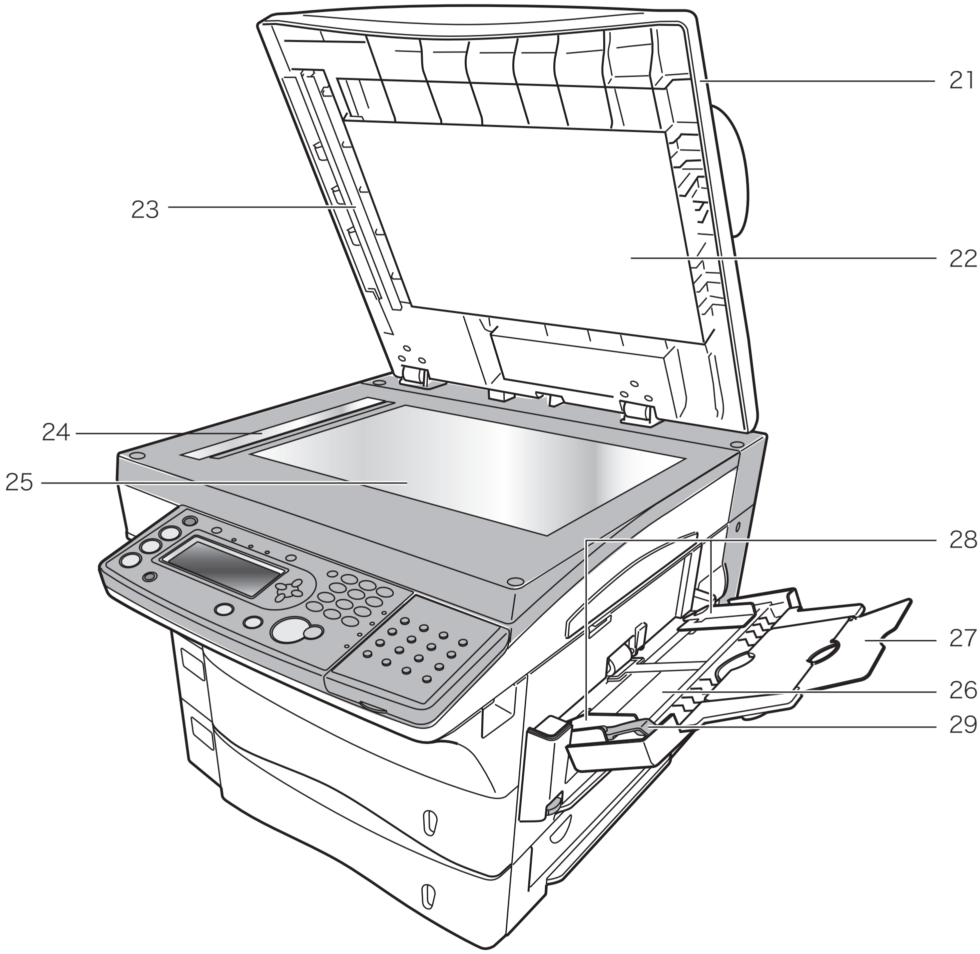
各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき

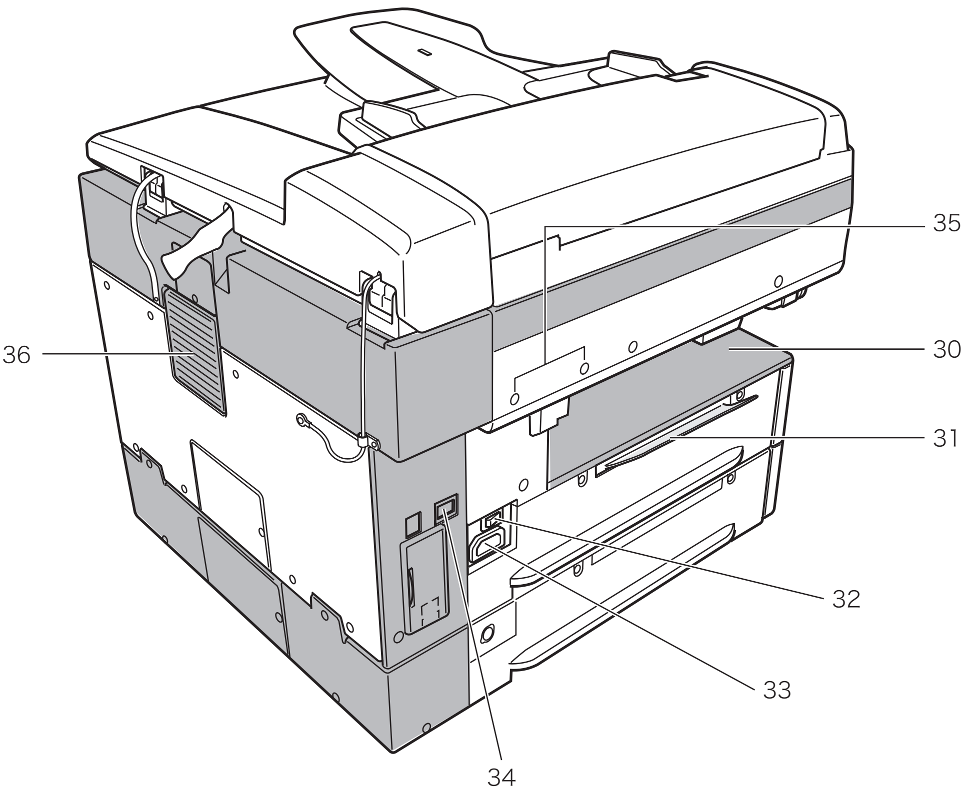


番号	名称	説明
1	自動原稿送り装置	複数枚の原稿を 1 枚ずつ読み込みます。
2	原稿トレイ	原稿をセットします。
3	原稿ガイド	原稿の幅に合わせて調整します。
4	原稿受け	原稿が排出されます。
5	原稿ストッパー	長尺原稿を使用するときに引き出します。
6	原稿送りカバー解除 (A1) レバー	原稿送りカバーを開くときに引き上げます。
7	原稿送りカバー	原稿がつまったときに開けます。
8	操作パネル	操作に必要なキーや、液晶ディスプレイがまとめられています。
9	用紙カセット*	用紙をセットします。 3 段目の用紙カセットはオプションです。
10	専用台*	本体を使いやすい高さに設置できます。内部に消耗品を保管できます。
11	キャスター*	移動用の車輪です。前面のキャスターにはストッパーがあります。
12	移動防止用ストッパー*	本体の位置を固定します。
13	用紙残量窓	用紙カセットの用紙が減るにつれて、赤く表示されるエリアが増えます。
14	サイドカバー (用紙カセット側)	2 段目、3 段目の用紙カセットで用紙がつまった場合に開けます。
15	サイドカバー解除 (C1) レバー	手差しカバーを開くときに引き上げます。
16	サイドカバー (本体側) および手差しトレイ	手差しトレイを使用する場合は、サイドカバーの上部を開きます。また、手差しトレイや 1 段目の用紙カセットで用紙がつまった場合はサイドカバーを開けます。
17	トップカバー解除 (B1) レバー	トップカバーを開くときに引き上げます。
18	トップカバー	トナーやドラムの交換、用紙が本体内部でつまったときに開けます。
19	増設電話端子	留守番電話などを接続します。
20	回線端子	回線接続コードを接続します。

*印の付いた装置や部品はオプション品です。

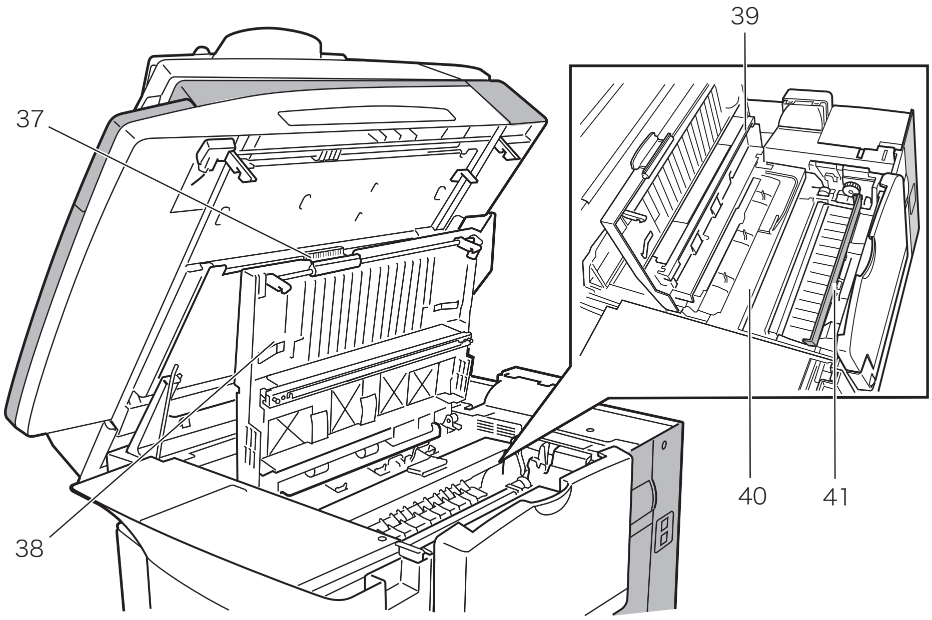


番号	名称	説明
21	原稿押さえカバー	本などを読み取るときに開けます。
22	原稿押さえパッド	ガラス面の原稿を押さえます。
23	原稿押さえ	自動原稿送り装置から送られてきた原稿を押さえます。
24	原稿ガラス	自動原稿送り装置から送られてきた原稿はここで読み取られます。
25	ガラス面	コピーまたは送信する原稿を左奥に合わせてセットします。
26	手差しトレイ	はがきや封筒などの特殊紙や、不定形紙などにコピーまたは印刷するときに使用します。(1-59 ページ)
27	手差し補助トレイ	大きなサイズの用紙をセットするときに開いて使用します。
28	用紙ガイド	用紙の幅に合わせて調整します。
29	用紙セット (C2) レバー	用紙をセットするときに引き上げます。



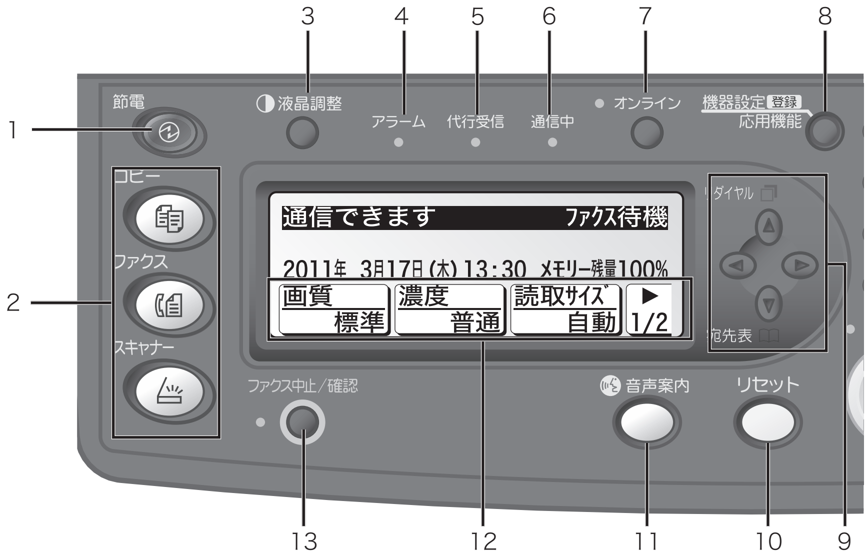
番号	名称	説明
30	用紙排出トレイ	コピーや印刷された用紙が印刷面を上にして排出されます。
31	延長用用紙排出トレイ	B4 用紙を使用する場合は、トレイを引き出して使用します。
32	電源スイッチ	機械の電源を ON/OFF するスイッチです。通常は電源を ON にしてください。長期間使用しないときや、機械の移動をするときは OFF にします。
33	電源コード接続部	電源コードを接続する箇所です。
34	受話器端子	オプションの受話器を接続します。
35	受話器取り付け位置	オプションの受話器を取り付ける箇所です。
36	放熱ファン	機器内部の熱を排出します。

本体内部



番号	名称	説明
37	プリンターカバー解除（B2）レバー	プリンターカバーを開くときに引き上げます。
38	プリンターカバー	ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換するときに開けます。
39	記録ヘッド	ドラムに画像を形成します。印字画質が悪くなったときは、記録ヘッドを清掃してください。 ⚠ **注意** 記録ヘッドには直接手で触れないでください。けがをする恐れがあります。また、画像トラブルの原因にもなります。
40	定着器	トナーを用紙に定着させます。 ⚠ **注意** 印字直後は定着器が熱くなっていますので、絶対にふれないでください。やけどするおそれがあります。
41	B3 カバー	現像部や手差しトレイの用紙がつまったときに開けます。

操作パネルの名称とはたらき



1.〈節電〉
待機時の消費電力を抑えるため、節電モードに入るときに押します。

2.〈コピー〉／〈ファクス〉／〈スキャナー〉*
コピー画面、ファクス画面、スキャナー画面を切り替えるときに押します。

3.〈液晶調整〉
液晶ディスプレイの濃度を変えるときに押します。キーを押すごとに、液晶ディスプレイの濃度が変化します。

4. アラームランプ
エラーがおきると点灯します。

5. 代行受信ランプ
用紙がなくなった場合など、メモリーにデーターが入ると点灯します。

6. 通信中ランプ
通信中に点灯します。

7.〈オンライン〉*
プリンター機能を使用している場合、オフラインにするときに押します。オフラインにすると印刷データーの受信ができなくなります。

8.〈機器設定／登録〉〈応用機能〉
応用通信やコピー、各種登録設定を行うときに押します。

*オプションが必要

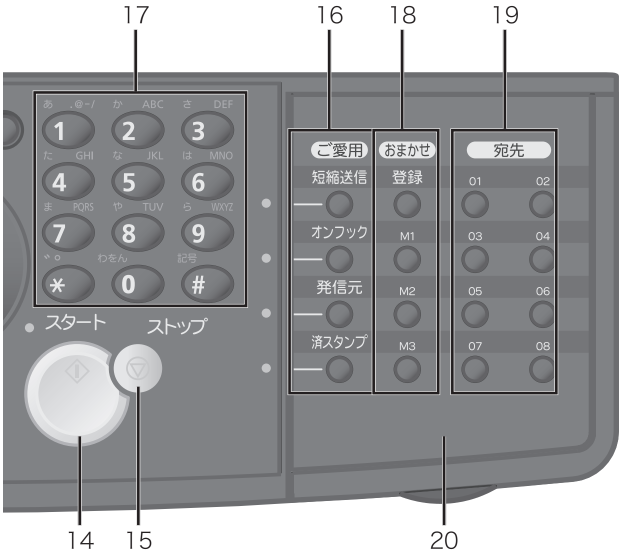
9. カーソルキー
液晶ディスプレイに表示された機能を選択したり、カーソルを移動したり、さまざまな場面で使用します。
カーソルキーの上を押すと、〈リダイヤル〉として機能します。ファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。
(3-12 ページ)
カーソルキーの下を押すと、〈宛先表〉として機能します。宛先表機能で相手先番号を探すときに押します。(3-9 ページ)

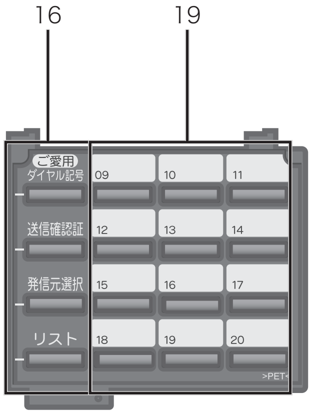
10.〈リセット〉
操作を中止するときや、設定を取り消して初期設定に戻すときに押します。

11.〈音声案内〉
用紙がつまったときの解除方法や、機能の説明を音声で聞きたいときに押します。音声案内中や音声案内を聞くことができる場合はキーが点滅します。

12. タッチパネルキー
画面に直接触れて操作することができます。

13.〈ファクス中止／確認〉
通信を中止または確認することができます。





14.〈スタート〉
通信やコピーを開始するときに押します。

15.〈ストップ〉
機械の動作を中止するときに押します。

16. ご愛用スイッチ
よく使用する機能に変更することができます。初期設定では以下の機能が割り当てられています。

短縮送信
短縮ダイヤルを使うときに押します。

オンフック
受話器を置いたままダイヤルするときに押します。

発信元
送信した原稿の先頭に発信元名をつけるかつけないかを設定します。

済スタンプ
原稿に読み取りマークをつけるときに押します。(3-20 ページ)

ダイヤル記号
ダイヤル記号を入力するとき押します。
(3-16 ページ)

送信確認証
送信確認証を発行するときに押します。
(3-43 ページ))

発信元選択
送信時、登録した３種類の発信元を選択することができます。

リスト
色々なリストを出力するときに押します。

17. テンキー
ダイヤルしたり、コピー部数や倍率を指示するときなどに押します。また、文字を入力するときに使用します。

18. おまかせ機能キー（7-41 ページ）

登録
おまかせ機能キーに操作手順を登録するときや、おまかせ機能の設定を変更するときに押します。

M1-M3
一連の操作をキーに登録し、キーを押すだけで登録した操作を実行できます。

19. ワンタッチキー 01-68
相手先を指定するときに押します。ワンタッチキーは、短縮ダイヤルの 001 ～ 068 に登録されている番号と対応しています。

20. ワンタッチキーパネル
ご愛用スイッチ、ワンタッチキーの 09 ～ 68 を使用するときに開けます。

液晶ディスプレイについて

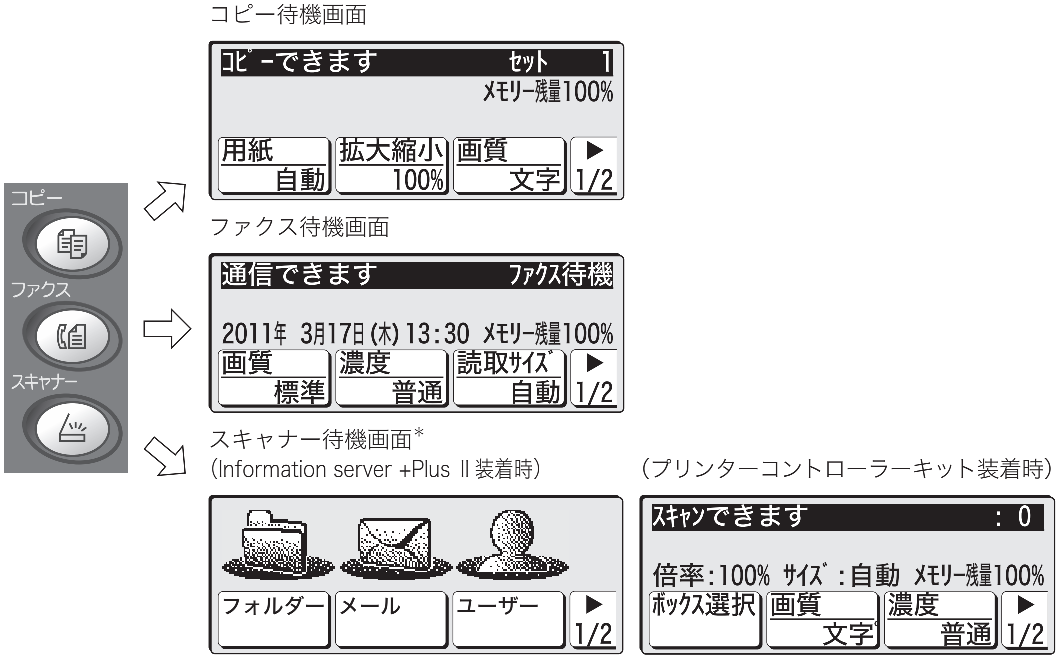
本機の液晶ディスプレイは一部タッチパネルディスプレイになっています。

タッチパネルディスプレイでは、画面を指で直接触れて操作することができます。

タッチパネル部に表示されているキーに触れることにより、機能を設定したり、数値を変更したりできます。（本文中ではタッチパネルキーと略します）

画面切り替えのしかた

機能切り替えキーを押すと、コピー待機画面やファクス待機画面に切り替わります。



＊スキャナー機能については、オプション用取扱説明書を参照してください。

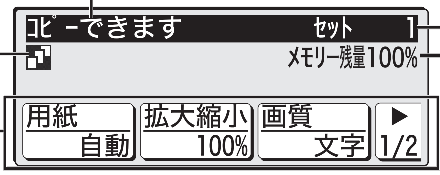
コピー画面について

■ コピー待機画面

〈コピー〉を押すと、コピー画面に切り替わります。

アイコン
設定されている機能を絵文字で表示します。

状態表示



セット
コピー部数を表示します。

メモリー残量
残りのメモリー残量を表示します。

タッチパネルキー
さまざまな機能をここから設定することができます。また、選択された機能の状態も表示します。
よく使う機能を登録することができます。(7-49 ページ)

■ コピーメニュー

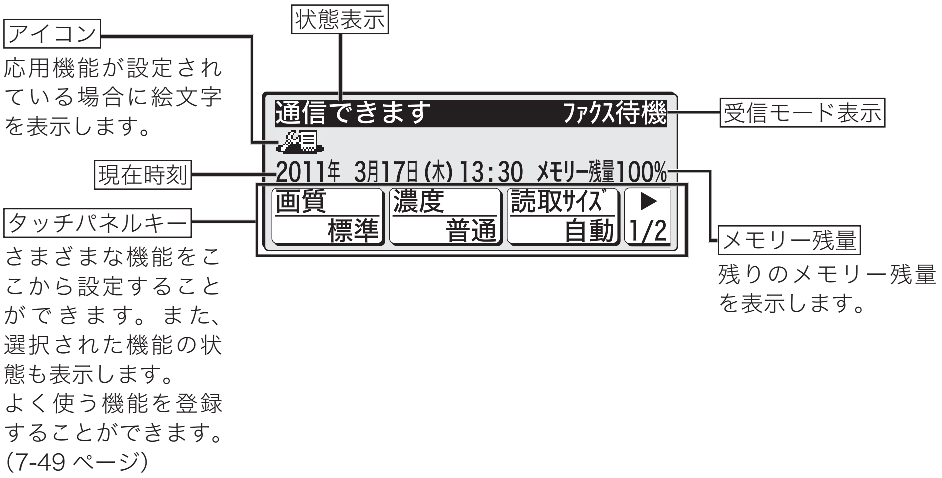
コピー待機画面にて〈応用機能〉を押すと、応用コピーの一覧が表示されます。コピー機能の各種設定を行うことができます。



ファクス画面について

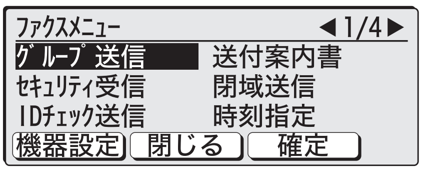
■ ファクス待機画面

〈ファクス〉を押すと、ファクス画面に切り替わります。



■ ファクスメニュー

ファクス待機画面にて〈応用機能〉を押すと、応用通信の一覧が表示されます。ファクス機能の各種設定を行うことができます。



表示されるアイコン

設定されている機能をアイコンで絵表示します。各アイコンの意味は次のとおりです。

■ コピーモード時に表示されるアイコン

ソートコピー　　集約コピー

リピートコピー　　ページ分割コピー

■ ファクスモード時に表示されるアイコン

ワンタッチキーに対応している短縮ダイヤル（001 ～ 068）

ワンタッチキーに対応していない短縮ダイヤル（069 ～ 500）

ファクス応用機能

補 足

ファクス応用機能アイコンは、以下の場合にファクス待機画面に表示されます。

- 送信初期値と異なる設定をしたとき
- 応用通信を設定したとき
- 「拡大送信」で等倍（100%）以外の倍率に設定したとき
- 「発信元選択」で設置モードの標準発信元名と異なる発信元を設定したとき
- 「ID チェック送信」や「閉域送信」でセキュリティ機能の設定値と異なる設定をしたとき
- 「読取サイズ」を自動以外に設定したとき

液晶ディスプレイ上のキーの表示と働き

■ タッチパネルキー

機能を設定するときに押して、設定画面を開きます。機能の設定後、設定値を表示します。

各待機画面に表示されるタッチパネルキーの内容を変更することができます。(7-49ページ)



■ カーソルキー

画面を切り替えたり、濃度を設定する際に使用します。



■ [取り消し]、[閉じる]、[確定]、[機器設定]

[取り消し] は、設定画面で設定した機能や数値を取り消して、その画面を閉じます。

[閉じる] は、設定以外の画面でその画面を閉じます。

[確定] は、メニューを決定して、その設定画面を開きます。また、機能や数値を設定して、その画面を閉じます。

[機器設定] は、各種登録を行うときに押します。



電源スイッチと〈節電〉

本機の電源に関するスイッチは、電源スイッチ、〈節電〉の２つがあります。

電源スイッチについて

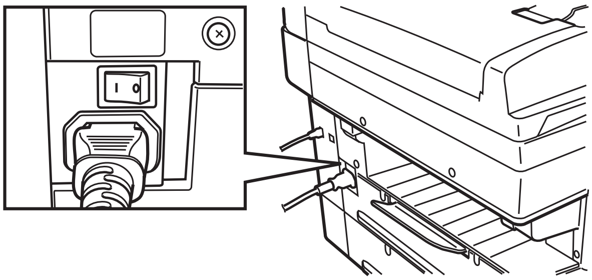
初めて本機をご使用になるときに ON（ I ）にします。通常は常に ON の状態にしておきます。長期間使用しないときや、機械を移動するときは OFF（O）にします。
＊電源スイッチを OFF にすると、ファクスの受信をすることができません。

⚠ 警告

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、電源スイッチに触ったりしないでください。感電の原因になります。

お願い

・ 電源をいったん切って入れ直す場合は、３秒以上待ってから行ってください。
・ 通常は常に電源スイッチを ON の状態にしておきます。電源スイッチを OFF にすると、ファクスの送受信をすることができません。
・ 本機を長期間使用しないときや移動するときは、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



〈節電〉と節電モード

しばらく本機を使用しないと、機器の消費電力を押さえる節電モードに入ります。節電モードには、「低電力モード」と、より消費電力を押さえる「スリープモード」があります。節電モードを解除したり、節電モードに入ったりするには〈節電〉を使用します。

節電モードを解除または開始する時刻を設定することができます。(節電モード時刻指定　7-34 ページ)



低電力モード

- 〈節電〉を押すと、液晶ディスプレイの表示、各種ランプを消灯し、プリンターを休止状態(低電力モード)にして消費電力を削減します。
- 1 分間機械を使わないと、自動的に低電力モードに入ります。この値は、機器管理中の節電モード→低電力モードへの移行時間にて変更できます。(7-34 ページ)
- 低電力モード中は〈節電〉が緑色に点灯します。
- 低電力モード中にいずれかのキーを押すと、通常の待機状態に戻ります。

スリープモード

- 〈節電〉を 3 秒間押し続けると、スリープモードになります。
- 低電力モードが 30 分間続くと自動的にスリープモードになります。この値は、機器管理中の節電モード→スリープモードへの移行時間にて変更できます。(7-34 ページ)
- スリープモード中でも、原稿読み取り済みのメモリー送信や受信原稿の印刷は可能です。
- スリープモード中は〈節電〉が赤色に点灯します。
- スリープモード中に〈節電〉を押すと、通常の待機状態に戻ります。

補 足

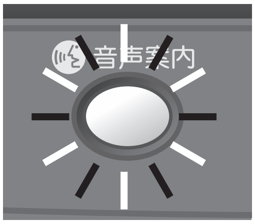
すべての用紙が無くなった場合や、用紙づまりなどのプリントのエラー、手差しコピー中に手差し用紙が無くなった場合などでは節電モードは動作しません。

音声案内について

機能の説明や操作の方法を「ことば」によって案内します。

〈音声案内〉

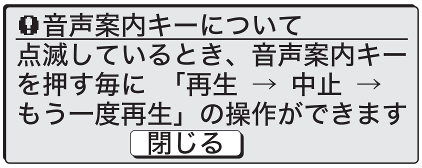
音声案内できる場合または音声案内中は、〈音声案内〉が点滅します。点滅中に＜音声案内＞を押すと、音声案内を始めます。音声案内中に＜音声案内＞を押すと、音声案内を中止します。



〈点滅〉

補 足

〈音声案内〉が消灯している場合に押すと、音声案内の例を表示します。



音声案内する項目

■ 操作案内

機能の説明や登録・設定方法、用紙づまりの解除方法などを案内します。

補 足

音声案内するのは一部の機能・用紙づまりのみです。

■ エラー解除案内

用紙づまりなど、本機に問題がある場合に音声で案内します。

■ お知らせガイダンス

原稿を挿入したときの「コピーできます」など、本機の状態を音声で案内します。

補 足

「エラー解除案内」と「お知らせガイダンス」は、〈音声案内〉の状態とは関係なく、本機の状態によって案内を自動的に始めます。

■ 動作完了音

完了音に「音声」を設定すると、コピーやファクスの送受信、受信原稿の印字が完了したことを案内します。

操作案内モードについて

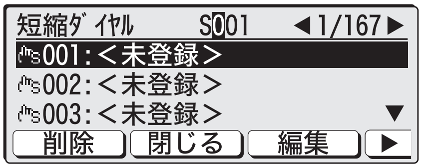
操作案内には 2 種類のモードがあります。初期設定は「手動」になっています。

操作案内モード	動　作
自動	音声案内できる場合は自動的に音声案内を始めます。
手動	音声案内できる場合に、点滅している〈音声案内〉を押すと音声案内を始めます。以降一連の操作中、音声案内を続けます。

例：短縮ダイヤルの登録／変更

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、[確定] と押します。

2 〈音声案内〉が点滅します。
カーソルキーで登録したい短縮番号を選択し、[編集] を押します。



モード「自動」：
この画面になったとき、自動的に操作案内を始めます。
モード「手動」：
操作案内は〈音声案内〉を押した場合に始めます。
音声案内：
「登録／変更または削除する短縮ダイヤルを選択して、編集または削除を押してください。・・・」

補 足

手動では、登録／変更操作終了後に操作 2 の画面に戻ると音声案内を終了します。

音声案内の設定

音量や操作案内のモードなどを設定できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで設定したい機能を選択し、［確定］を押します。



機能	機能説明	設定値
操作案内モード	操作案内のモードを設定します。	自動 手動
操作案内音量	操作案内の音量を設定します。	小 中 大 最大
エラー解除案内音量	エラー解除案内の音量を設定します。OFF に設定すると、エラー解除案内を行いません。	OFF 小 中 大 最大
お知らせガイダンス音量	お知らせガイダンスの音量を設定します。OFF に設定すると、お知らせガイダンスを行いません。	OFF 小 中 大 最大

__の付いている値が出荷時設定です。

音声案内する場面

音声案内を行う場面と音声の音量設定・音声の出力設定は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>音声案内の項目</th><th>音声案内する場面</th><th>音量設定・出力設定</th></tr>
<tr><td rowspan="5">操作案内</td><td>短縮ダイヤルの登録方法</td><td rowspan="5">〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈9〉、［確定］→「操作案内音量」</td></tr>
<tr><td>用紙づまりの解除手順</td></tr>
<tr><td>ファクス中止方法</td></tr>
<tr><td>メモリーオーバーが発生したときの操作方法 *</td></tr>
<tr><td>コピー応用機能で各機能を選択したときの機能説明</td></tr>
</table>

* ポーリング原稿、F コード掲示板原稿の蓄積時にメモリーオーバーが発生した場合は音声案内を行いません。

音声案内の項目	音声案内する場面	音量設定・出力設定
エラー解除案内	用紙づまりが発生した ファクス中止する場合に〈ストップ〉を押した トナー残量が少なくなった 用紙が無くなった 送信エラーが発生した（リダイヤルオーバー）	〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈9〉、［確定］→「エラー解除案内音量」
お知らせガイダンス	自動原稿送り装置に原稿を差し込んだ 手差しトレイに用紙がセットされた コピー時、原稿サイズを検出できなかった セキュリティ機能を使用しているとき カセット用紙サイズを設定するとき	〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈9〉、［確定］→「お知らせガイダンス音量」
完了音（7-33 ページ）	コピーが完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→コピー完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量
	ファクス送信が完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→ファクス送信完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量
	ファクス受信が完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→ファクス受信完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量
	ファクス受信印字が完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→ファクス受信印字完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量
	リストプリントが完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→リストプリント完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量
	ガラス面での原稿読み取りが完了した	出力設定：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音→ガラス面読取完了 音量調整：〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈7〉、［確定］→動作完了音量

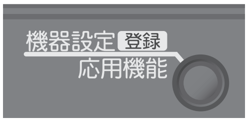
機能の呼び出しかた

機能の呼び出しかたには 2 つの方法があります。機能の一覧は 9-2 ～ 9-10 ページを参照してください。

機能番号を入力する（ショートカット）

テンキーを使って、直接目的の機能を表示させます。本書では、この操作方法で説明しています。

1 〈機器設定／登録〉を押します。



2 テンキーで目的の機能番号を入力します。

機能番号は 9-2 ～ 9-10 ページを参照してください。



3 ［確定］を押します。

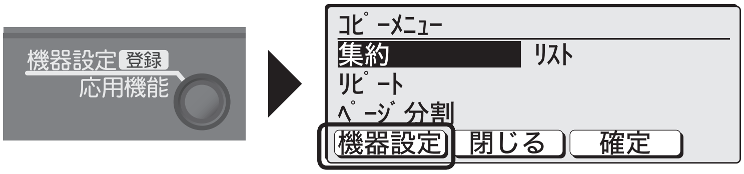
機能を順番に表示しながら探す

カーソルキーやタッチパネルキーを使って、メニューを操作します。

1 機能切り替えキーを押します。



2 〈機器設定／登録〉を押し、[機器設定] を押します。



3 カーソルキーで目的の機能を選択します。



4 ［確定］を押します。

文字入力のしかた

発信元や短縮ダイヤルの相手先など、文字を入力するときに参照してください。

入力できる文字は、漢字（全角）、ひらがな（全角）、カタカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）、記号（全角／半角）です。

漢字は JIS 第一水準、JIS 第二水準が入力できます。

※漢字変換プログラム：日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。

“Mobile Wnn” (c) OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved

文字入力に使用するキー



カーソルキー……カーソルを移動したり、漢字候補を選択したりするときに使用します。

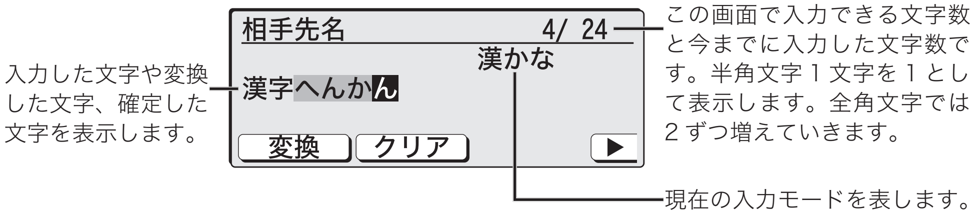
テンキー……文字を入力するときに使用します。

タッチパネルキー……文字の変換や消去などに使用します。

- [クリア]……文字を消すときに使用します。
- [取り消し]……文字入力を行わずに前の画面に戻ります。
- [確定]……変換した文字や未確定の文字を確定したり、入力した文字を確定したりするときに使用します。
- [入力モード]……入力モードを切り替えるときに使用します。
- [空白]……空白を入力するときに使用します。
- [変換]……入力した文字を変換するときに使用します。（漢かなモードのときに使用します）
- [入力訂正]……文字が未確定の場合、文字入力画面に戻るときに使用します。

文字入力画面について

■ 文字入力画面

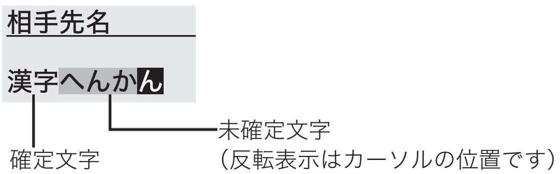


■ 変換候補選択画面



文字入力についての基本

■ 確定と未確定

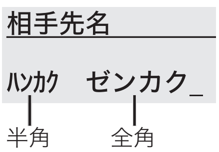


文字が網掛け表示になっているときは変換できる状態です。これを「未確定」と言います。[確定]を押して、文字が変換できない状態に(入力を決定)することを「確定」と言います。

補 足

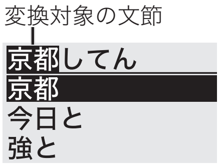
漢かなモードで入力した文字はすべて未確定になります。それ以外の入力モードでは確定状態で入力されます。

■ 全角文字と半角文字



文字を入力するとき、全角文字と半角文字があります。全角は半角の 2 倍の大きさです。半角文字で 24 文字入力できる場合、全角文字では 12 文字になります。

■ 文節



変換途中の文字は、文節と呼ばれる単位で区切られて表示されます。複数の文節がある場合は、一番初めの文節だけが変換対象になります。変換対象になっている文節は反転表示されます。文節の長さを変えるには、カーソルキーを使用します。(1-32ページ)

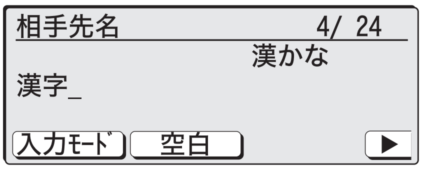
入力モードについて

入力モードの表示と入力される文字については以下の通りです。

入力モード	文字種	動作	サンプル
漢かな	全角漢字・ひらがな	かな漢字変換を行います。文字はひらがなにて入力されます。漢字は文節ずつ変換します。(連文節変換)	文字もじ
半角カタカナ	半角カタカナ	半角カタカナが入力されます。	ﾓｼﾞ
全角カタカナ	全角カタカナ	全角カタカナが入力されます。	モジ
半角英大	半角アルファベット大文字	半角アルファベットの大文字が入力されます。	MOJI
半角英小	半角アルファベット小文字	半角アルファベットの小文字が入力されます。	moji
全角英大	全角アルファベット大文字	全角アルファベットの大文字が入力されます。	ＭＯＪＩ
全角英小	全角アルファベット小文字	全角アルファベットの小文字が入力されます。	ｍｏｊｉ
半角数字	半角数字	半角の数字が入力されます。	1234
全角数字	全角数字	全角の数字が入力されます。	１２３４

■ 入力モードの切り替え

1 **未確定の文字が無いときに[▶]、[入力モード]と押します。**



2 **カーソルキーで目的の入力モードを選択し、[確定]を押します。**

入力モードが切り替わります。



テンキーで入力できる文字

文字入力にはテンキーを使用します。テンキーには、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り振られています。また、＊と＃キーには各種記号が割りふられています。

テンキー	入力モード			
	漢かな	半角、全角カタカナ	半角、全角英字	半角、全角数字
あ .@-/ 1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. @ - / _ 1	1
か ABC 2	かきくけこ	カキクケコ	大文字：A B C 小文字：a b c	2
さ DEF 3	さしすせそ	サシスセソ	大文字：D E F 小文字：d e f	3
た GHI 4	たちつてとっ	タチツテトッ	大文字：G H I 小文字：g h i	4
な JKL 5	なにぬねの	ナニヌネノ	大文字：J K L 小文字：j k l	5
は MNO 6	はひふへほ	ハヒフヘホ	大文字：M N O 小文字：m n o	6
ま PQRS 7	まみむめも	マミムメモ	大文字：P Q R S 小文字：p q r s	7
や TUV 8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	大文字：T U V 小文字：t u v	8
ら WXYZ 9	らりるれろ	ラリルレロ	大文字：W X Y Z 小文字：w x y z	9
わをん 0	わをん	ワヲン	入力できません	0
゛゜ ＊ ＊1	゛゜	゛゜	＊	＊
記号 #	未確定時：ー()・、。空白＊2 確定時:記号(1-33 ページ)	記号（1-33 ページ）		

＊1 「゛」「゜」は全角文字入力時は、付加できる文字のみ入力できます。

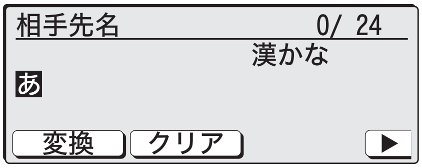
＊2 「空白」は実際の表示では何も表示されません。選択して入力すると、全角の空白が 1 文字分入力されます。

■ 同じテンキーに割り振られている文字を入力するには

・文字を入力後カーソルキーの右を押してカーソルを移動させ、次の文字を入力します。
・数字を入力するときは、カーソルキーの右を押さなくても、つぎつぎと入力することができます。

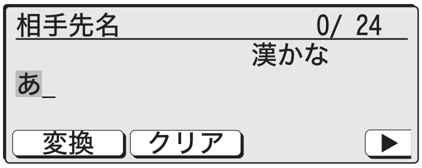
【例】「あい」を入力するとき

1 テンキーの〈1〉を押して「あ」を入力します。

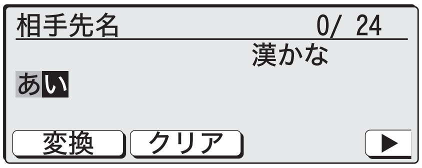


2 カーソルキーの右を押します。

カーソルが移動します。



3 テンキーの〈1〉を 2 回押して「い」を入力します。



漢字・ひらがなを入力する

1 入力モードを「漢かな」にします。(1-28 ページ)

2 テンキーを使って漢字の読みを入力します。

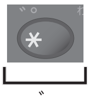
入力した文字が、ひらがなで表示されます。



■ ゛（濁点）や゜（半濁点）の入力

3 ゛（濁点）や゜（半濁点）は、〈＊〉を押します。

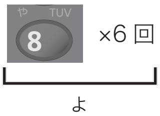
濁点や半濁点にできる文字だけに限られます。

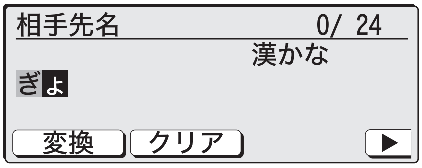




■ 小文字の入力

4 「ょ」や「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字を含むテンキーを複数回押します。（1-29 ページ）

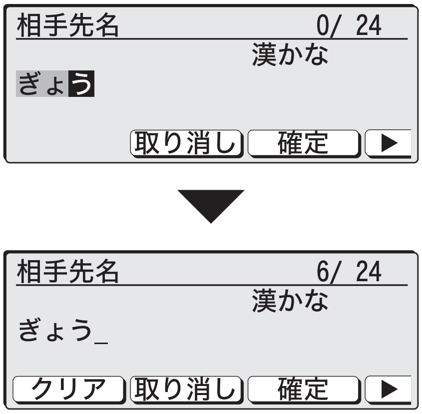




■ ひらがなにする

5 [▶]、[確定] と押します。

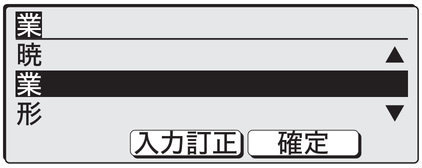
ひらがなに確定されます。

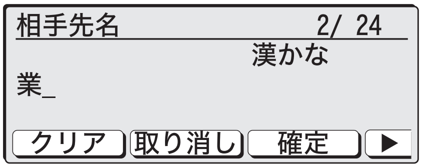


■ 漢字にする

5 **［変換］を押します。カーソルキーで入力したい候補の語句を選択し、［確定］を押します。**

漢字に変換されます。読みを訂正するときは［入力訂正］を押します。





変換する文節の長さを変える

文節の長さは自動的に判断されますが、長い文字列を適切に入力するときなど、文節の長さを変更して変換させることができます。

1 **カーソルキーで変換する範囲を設定します。**

・ カーソルキーの左を押すと文節を縮めます。
・ カーソルキーの右を押すと文節をのばします。



2 **文節の長さが変わり、それに応じて変換候補が変わります。**



カタカナ、アルファベット、数字を入力する

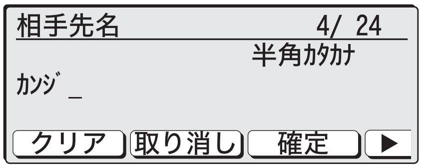
入力モードを切り替えることにより、様々な文字を入力できます。

1 入力したい文字のモードに切り替えます。（1-28 ページ）

2 テンキーを使って文字を入力します。

入力した文字はすぐに確定され、続いて文字を入力できます。

【例】半角カタカナ



【例】全角アルファベット



記号を入力する

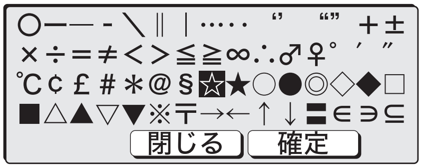
文字未入力状態でテンキーの〈＃〉を押すと、記号入力画面になります。「漢かな」「全角カタカナ」「全角英大」「全角英小」「全角数字」のときは全角の記号が、「半角カタカナ」「半角英大」「半角英小」「半角数字」のときは半角の記号が入力できます。

・ 全角の記号と半角の記号の種類は異なります。
・「漢かな」入力モードで未変換の文字がある場合は、一部の記号だけの入力になります。

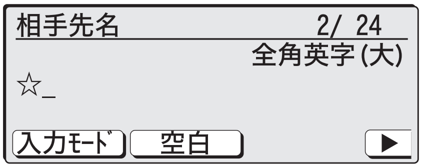
1 テンキーの〈＃〉を押します。

入力モードに従い、半角記号または全角記号が表示されます。

2 カーソルキーを使って記号を選択後、［確定］を押します。

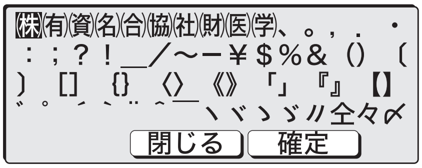


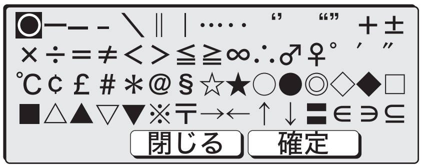
3 記号が入力されます。



■ 全角記号一覧

入力モード：漢かな／全角カタカナ／全角英大／全角英小／全角数字





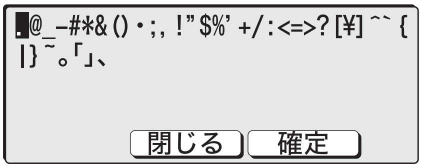






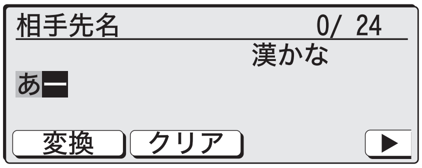
■ 半角記号一覧

入力モード：半角カタカナ／半角英大／半角英小／半角数字



■ 漢かなモードで未変換のとき

「漢かな」入力モードで未変換の文字がある場合は、一部の記号だけの入力になります。



〈#〉を押すと、「ー（）・、。 空白*」と変わります。

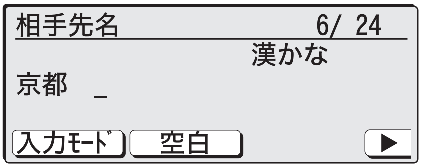
*「空白」は実際の表示では何も表示されません。選択して入力すると、全角の空白が 1 文字文入力されます。

空白を入力する

［空白］を押すと空白が 1 文字分入力されます。半角文字の入力では半角の空白が、全角文字の入力区では全角の空白が入力されます。また、漢かなモードにて文字が未確定になっている場合、空白は〈＃〉を 7 回押して入力します。（未確定で入力されます。）

［▶］、［空白］と押すと空白が入力されます。

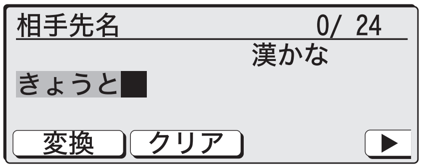
全角の空白



半角の空白



漢かなモードで未変換の場合は〈＃〉を 7 回押すと空白になります。

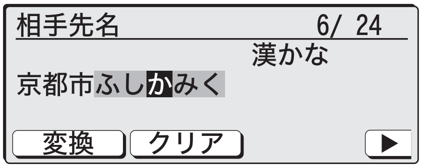


文字の削除／挿入

文字を削除するには、カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動し、[クリア]を押します。挿入する場合も、カーソルキーで挿入したい位置までカーソルを移動し、文字を入力します。ただし、未確定の文字がある場合、カーソルは未確定の文字列内でしか移動できません。

■ 削除

1 カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動します。



2 [クリア] を押します。



補 足

直前に入力した文字は、[クリア] を押すだけで削除できます。

■ 挿入

1 カーソルキーで挿入したい文字までカーソルを移動します。



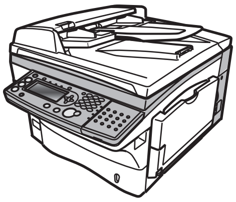
2 文字を入力します。カーソルの前に入力した文字が挿入されます。



同梱品を確認する

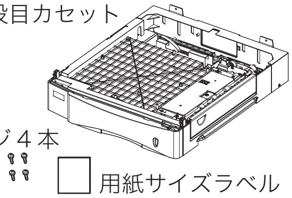
以下の内容がそろっているかご確認ください。万一、足りないものやご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはサービス実施店にご連絡ください。

1　本体



2　給紙ユニット

2 段目カセット

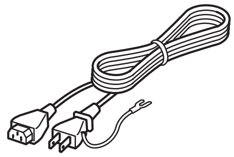


ネジ 4 本

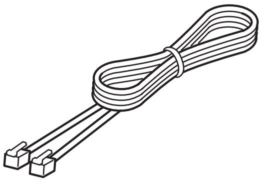
用紙サイズラベル

カセット番号ラベル

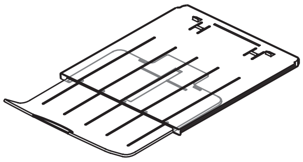
3　電源コード



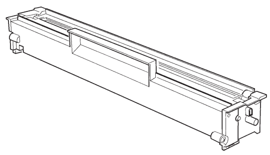
4　回線接続コード



5　延長用用紙トレイ

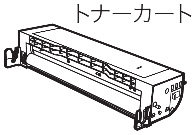


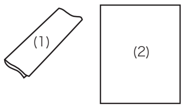
6　ドラムカートリッジ



7　トナーカートリッジ

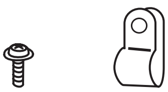
トナーカートリッジ



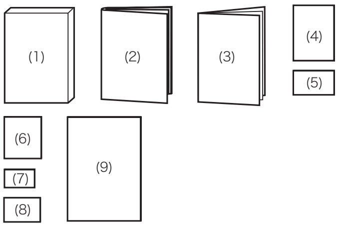


(1) クリーニングペーパー
(2) 清掃手順書

8　ネジ / クランプ



9　取説キット



(1) 取扱説明書
(2) 簡易取扱説明書
(3) 安全にご使用いただくために
(4) ワンタッチ宛名ラベル
(5) 用紙サイズラベル
(6) カセット番号ラベル
(7) カードケース
(8) ご愛用スイッチラベル
(9) コピーキットシステムお申込書

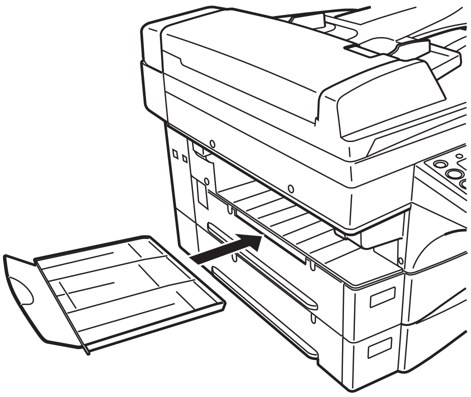
補 足

- 給紙ユニットは別箱になっています。
- 消耗品やオプション品については「消耗品とオプション品について」(9-17 ページ）をご参照の上、お買い上げの販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。
- 使用頻度が多いときや長時間使用いただいた場合、ローラーなどの機械部品が耐用限度を超える場合があります。その際、部品交換は消耗品として取り扱いさせていただきます。

機器の接続のしかた

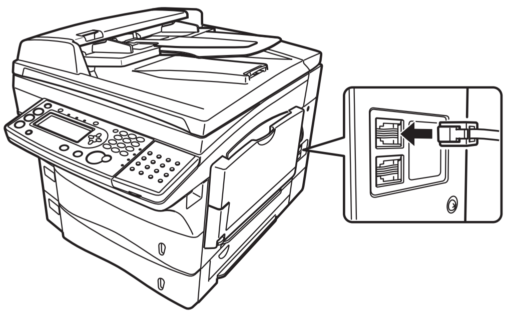
■ 延長用用紙トレイの取り付け

延長用用紙トレイを奥まで差し込んでください。



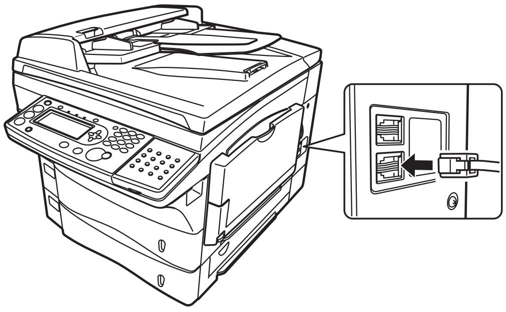
■ 回線接続コードの接続

回線接続コード（回線接続用）の一方を回線端子へ、もう一方を室内の電話コンセントに接続してください。回線接続コードは、カチッと音がするまで差し込み、抜くときは、レバーを押しながら抜いてください。



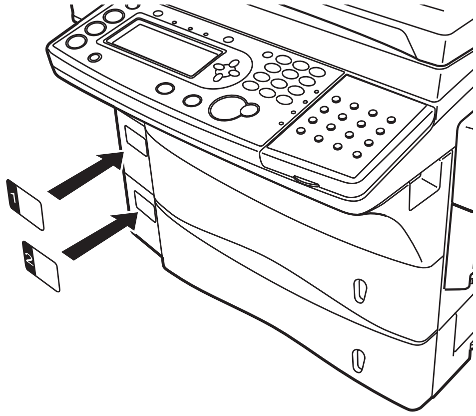
■ 増設電話（留守番電話）の接続

- 必要に応じて増設電話（留守番電話）をファクス本体の増設電話端子に接続してください。
- 増設電話（留守番電話）の種類によっては、ご使用になれない場合や、一部機能が利用できない場合があります。



■ カセット番号ラベルの貼り付け

カセットの段数に合わせて、カセット番号ラベルをカセット左側に貼り付けます。

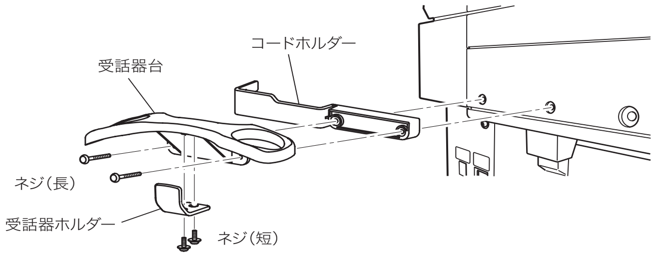


■ 受話器の接続

受話器はオプションです。(9-18 ページ)

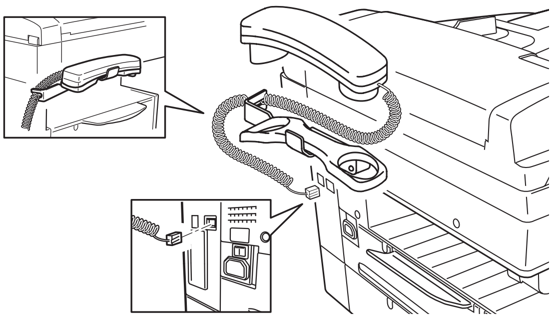
1 受話器ホルダーをネジ（短）2 本にて受話器台に取り付けます。

2 受話器台とコードホルダーをネジ（長）2 本にて取り付けます。



3 受話器のカールコードを本体の受話器端子に接続します。

カールコードはコードホルダーの上に置き、図のようにはさんでください。



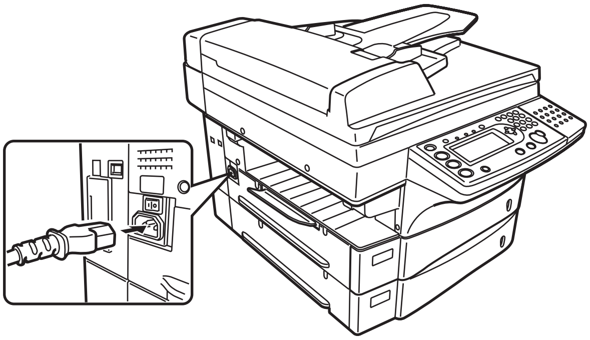
■ 電源コードの接続

⚠ 警告

- **同梱されている電源コード以外は使用しないでください。**
  ほかの製品の電源コードと取り違えて接続すると、その電源コードが本製品の定格消費電力以下の場合、許容値を超えた電流が流れて電源コードが発熱し、発火するおそれがあります。
- **電源コードの電源プラグや電源コネクターは、奥までしっかりと差し込んでください。**
  電源プラグや電源コネクターが抜けかかった状態になると接続が不完全になり、その不完全な接続部から発熱し発火するおそれがあります。
- **必ずアース線を接続してください。**
  アース接続しないで、万一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。
- **定期的に電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりや汚れを拭き取ってください。**
  電源プラグを長期間コンセントに差し込んだままにしておくと、ほこりや湿気が原因で発火するおそれがあります。
- **電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、挟み込んだり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりして破損しないでください。**
  破損した電源コード (芯線の露出、断線など) を使用すると、火災や感電のおそれがあります。
- **本製品に同梱された電源コードは、本製品以外には使用できません。**

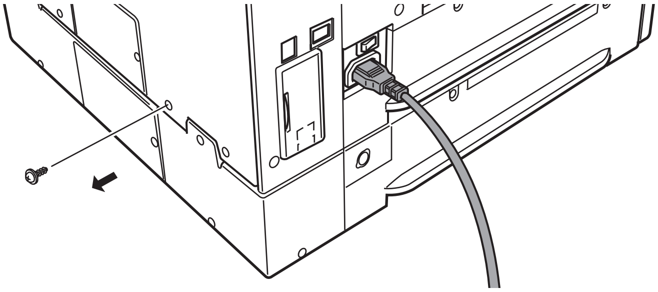
※ 本製品を安全にお使いいただくため、別冊の『安全にご使用いただくために』も必ずお読みください。

1 電源コードの電源コネクターを、本機の電源コード接続部に奥までしっかり差し込みます。



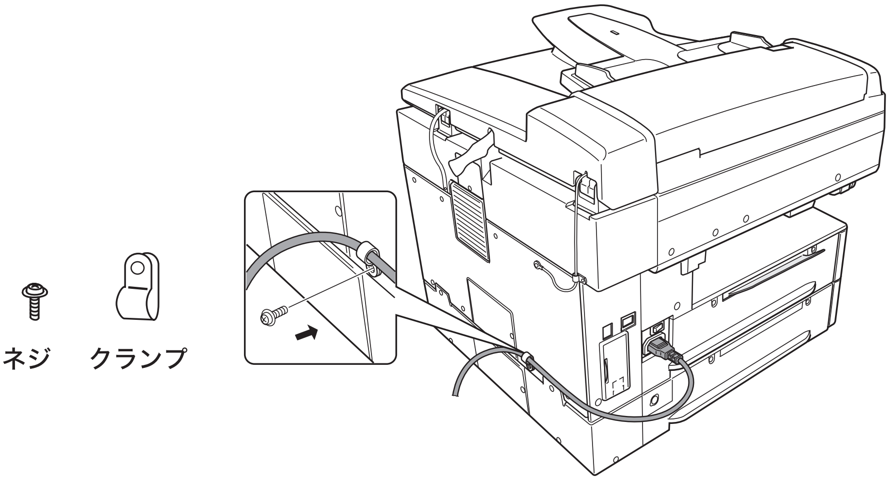
2 本機の背面のネジを 1 本外します。(下図参照)

外したネジは使用しません。



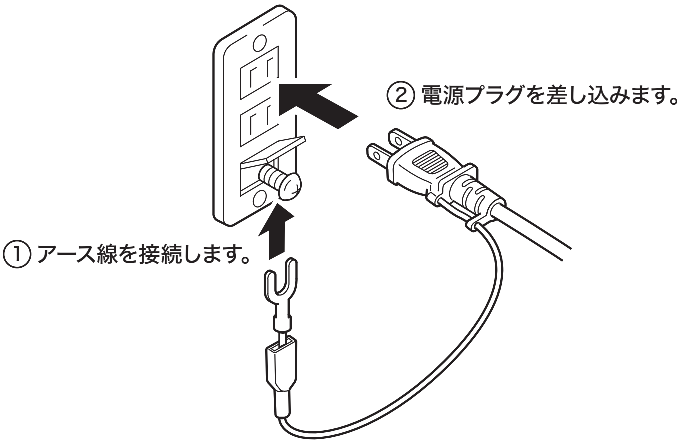
3 同梱されているクランプとネジで電源コードを固定します。

・電源コードが引っぱられるなどして、電源コネクターが緩むことを防止する為にクランプで固定します。
・電源コードがネジの上側を通るように固定してください。



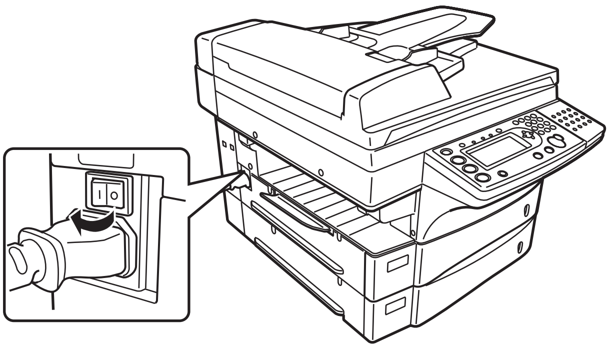
4 設置工事済みの電源コンセントに、アース線を接続してから電源プラグを差し込みます。

アース線の接続は、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。(1 → 2 の順) また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。



5 電源スイッチを入れます。

左側面のスイッチを「|」側にします。



補 足

エラーメッセージが表示されたときは、8-27 ページを参照しメッセージに従って処置してください。

⚠ 警告

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

・コンセントのアース端子
・接地工事を施してある接地端子（第 D 種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。

・ガス管（ガス爆発の原因になります）
・電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
・水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

ドラム、トナーカートリッジの取り付け

ドラム、トナーカートリッジについて

⚠ 警告

・ドラム、トナーカートリッジは火の中には絶対に投じないでください。爆発したり、着火してトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となります。
・トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

カバーを閉めるときは、手などをはさまないよう十分注意してください。

お願い

・ドラム、トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも 5 分以上あてないでください。
・ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
・トナーカートリッジのローラーには直接手を触れないでください。手が汚れたり記録が正常にできなくなることがあります。
・ドラム、トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。
・ドラム、トナーカートリッジが包装されている袋は、取り付けるまで開封しないでください。

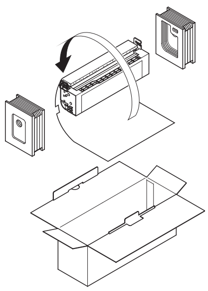
● **純正カートリッジご使用のおすすめ**
弊社では、純正品以外のカートリッジについては、品質検査を行っておらず、品質を保証することができません。弊社製品には、印字品質が得られるように設計された純正品カートリッジをおすすめします。

● **使用済トナーカートリッジ及びドラムカートリッジ回収ご協力のお願い**
弊社では、環境保全と再資源化のために、使用済みの消耗品（トナーカートリッジ及びドラムカートリッジ）の回収を行っています。使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
弊社にご返却頂けないカートリッジにつきましては、お客様の責任で適切に廃棄処分して頂きますようお願いいたします。ただし廃棄の際は、粉じん爆発を起こす恐れがありますので、カートリッジを火中に投じることは絶対におやめください。

● **トナーカートリッジのリユースについて**
環境への配慮と資源の有効利用を目的として、構成部品のリユースを行っております。リユース処理した部品につきましては、品質保証済みの商品としてお客様に提供しております。

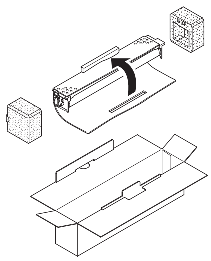
◆トナーカートリッジの再梱包方法

1. 保護シートのスポンジ部分が、トナーカートリッジのローラーにあたるようにします。トナーカートリッジを保護シートで包み、セロハンテープ等で固定してください。
2. 左右に緩衝材をはめ込み、梱包箱に入れてください。



◆ドラムカートリッジの再梱包方法

1. 緩衝材でドラムカートリッジを包み込んでください。
2. 左右に緩衝材をはめ込み、梱包箱に入れてください。



ドラム､トナーカートリッジの種類と印字可能枚数について

トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは機種専用になっています。ご注文の際はお間違えにならないようご注意ください。

印字可能枚数が少なくなるとチェックメッセージが表示されますので、早めに交換用のドラム、トナーカートリッジをご用意ください。

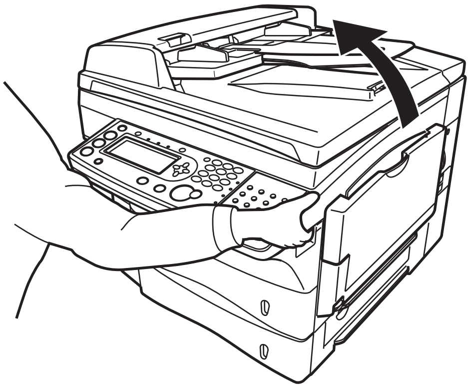
※トナーカートリッジの印字枚数は印字内容によって異なります。

※ドラムカートリッジの印字枚数は温度、湿度、用紙の種類や、一回の印字枚数等によって異なります。

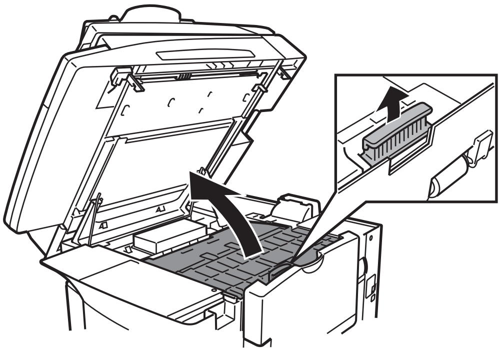
種類	印字可能枚数
トナーカートリッジ	約 6000 枚
ドラムカートリッジ	約 13000 枚

ドラム、トナーカートリッジの取り付け

1 トップカバーを開けます。

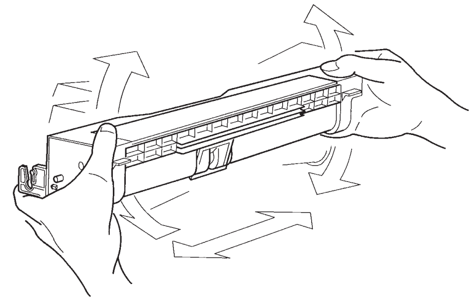


2 プリンターカバーを開けます。



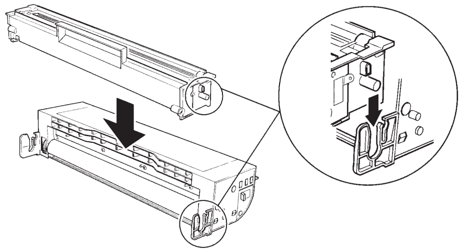
3 **トナーカートリッジを振ります。**

トナーが均一になるように、左右に軽く振ってください。

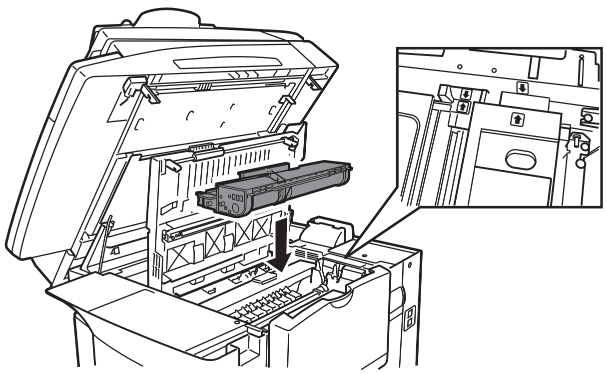


4 **ドラムカートリッジをトナーカートリッジに取り付けます。**

ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。



5 **ドラム、トナーカートリッジを本体に取り付けます。**



ドラム、トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

6 **プリンターカバーを閉めます。**

“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めてください。

7 **トップカバーをゆっくり閉めます。**

“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めてください。

補 足

新品のドラムカートリッジを取り付けたときは、交換の確認画面が表示されます。（8-6 ページ）

基本設定（設置モード）

ご使用いただくために必要な登録を行います。

- **現在時刻**
  ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。
  西暦、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。
- **ダイヤル種別**
  接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。
- **ファクス受信モード**
  ファクス待機、電話／ファクス待機、ファクス／電話待機、留守／ファクス待機、電話待機から、ご使用に合わせた受信モードを選びます。
  受信モードの選びかたについては 1-49 ページを参照してください。
- **ダイヤルトーン検出**
  ダイヤルトーン検出の設定を行います。
- **発信元名**
  相手先に発信元名を表示させたり、相手先の受信原稿にプリントしたりして、受信側でどこから送信された原稿なのかを確認しやすくできます。発信元名の設定には、発信元名とカナ ID があり、それぞれ 3 種類登録できます。
  発信元名：発信元名送信の設定（3-19、7-15 ページ）が ON の場合、送信原稿の先頭にプリントすることができます。半角文字では 22 文字、全角文字では 11 文字まで登録できます。
  カナ ID ：通信中、相手側のディスプレイに表示されます。（当社シリーズ機 1341f/1340f/7512/7412/7312 のみ）
  半角文字で 16 文字まで登録できます。
- **標準発信元名**
  登録した 3 種類の発信元名のうち、常に使う発信元名を標準発信元名として登録できます。
- **発信元番号**
  相手先に本機のファクス番号を通知したり、相手先の受信原稿にプリントしたりできます。
  20 桁まで登録できます。
- **ナンバー・ディスプレイ設定（4-43 ページ）**
  ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続する場合も、ここで設定を行います。

補 足

発信元名の印字は宛先名表示が ON の場合、半角文字では 20 文字、全角文字では 10 文字になります。（7-17 ページ）

設置モードへの入りかた

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 設置モードの一覧が表示されます。画面を切り替えるには、カーソルキーを押します。



3 各項目を登録していきます。（1-47 ～ 1-51 ページ手順 2 以降）

- 各項目の登録に移るには、カーソルキーで選択し［確定］を押します。
- ナンバー・ディスプレイの設定については、4-43 ページを参照してください。

4 すべての項目を登録後、〈リセット〉を押し、待機画面に戻します。

ファクス設定リストを印字して､登録内容が正しいか確認してください｡(7-19 ページ)

現在時刻の登録

現在の時刻を、年（西暦 4 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）、時（24 時間制 2 桁）、分（2 桁）の順に入力します。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 「現在時刻」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

3 テンキーを使って現在時刻を入力し、[確定] を押します。



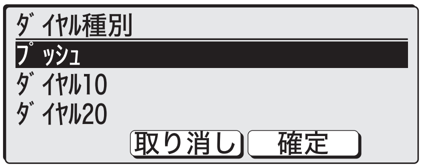
ダイヤル種別の設定

接続する回線の種類に合わせて設定します。オプションの受話器を装着している場合は、本体の設定と合わせてください。

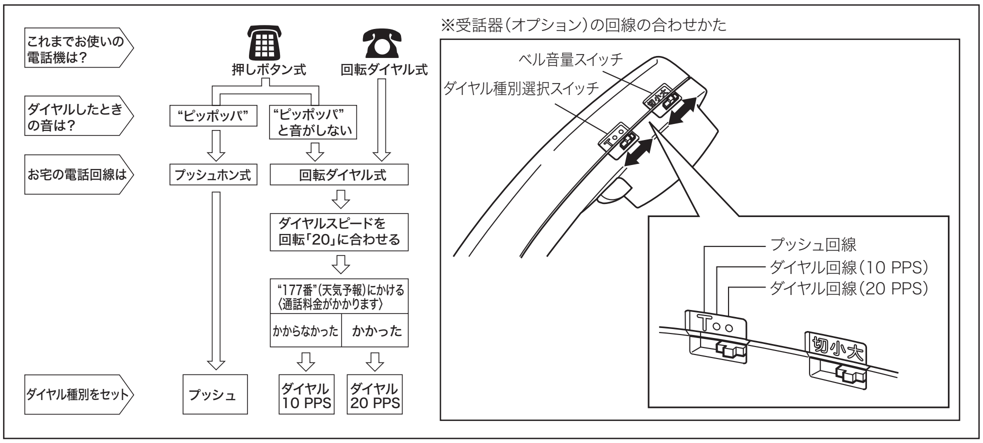
1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「ダイヤル種別」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーでダイヤル種別を選択し、[確定] を押します。



■ ダイヤル種別の見分けかた・受話器の回線の合わせかた



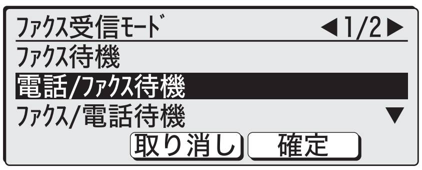
ファクス受信モードの設定

ご利用のしかたに合わせ、受信モードを選択します。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「ファクス受信モード」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーでファクス受信モードを選択し、[確定] を押します。



■ ファクス受信モードの選びかた

ご使用に合わせてファクス受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どのファクス受信モードが最良か選択できるようになっています。

本機のご使用は？
A　ファクス専用です。
B　ファクス、電話、留守番電話のどれも使います。

→ A：**ファクス専用で自動受信する**（3-25ページ参照）
（ファクス待機）
◎ファクスは自動受信しますが、呼出ベルを設定しているときはベルが2回*鳴る間は電話を受けることができます。

↓ B

ファクスの受け方は？
A　電話に出て手動で受信します。
B　電話に出ず自動で受信します。

→ A：**電話を中心に使用する**（3-31ページ参照）
（電話待機）
◎電話が多いときは相手先に迷惑をかけません。
▲不在のときはファクスを受信できません。

↓ B

電話とファクスの利用頻度は？
A　ファクスが多い。
B　電話が多い。
C　留守番電話を使います。

→ A：**ファクスを優先して電話も受ける**（3-28ページ参照）
（ファクス／電話待機）
◎ベルが鳴らずに受信状態に入りますので、静かに受信できます。
▲着信後しばらくは受信状態になりますので、電話のときは相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。

→ B：**電話を優先して自動受信もする**（3-26ページ参照）
（電話／ファクス待機）
◎ベルが2回*鳴ってから受信状態になりますので、電話のときは相手先に料金の負担をかけない上に、ファクスも自動で受信します。
▲電話のとき、ベル2回*を超えますと、こちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

→ C：**留守番電話とファクスを兼用する**（3-29ページ参照）
（留守／ファクス待機）
◎電話のときは留守番電話にメッセージを、ファクスのときは自動的に受信します。

＊ベル回数は0〜10回の間で変更できます。(7-17ページ参照)

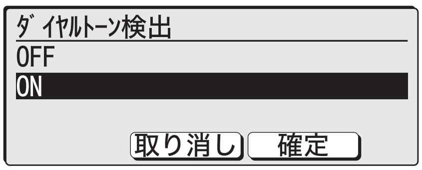
ダイヤルトーン検出の設定

ON に設定するとダイヤルトーンの検出を行います。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「ダイヤルトーン検出」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、［確定］を押します。



発信元名の登録

発信元名の設定には、発信元名とカナ ID があり、それぞれ 3 種類登録できます。

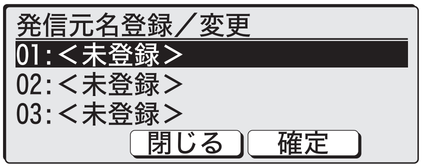
- 文字入力については「文字入力のしかた（1-26 ページ）を参照してください。
- カナＩＤは発信元名を入力すると、自動的に入力されます。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定］と押します。

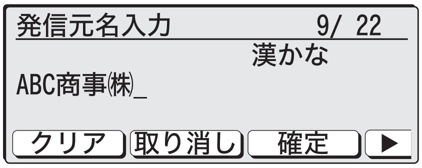
2 カーソルキーで「発信元名登録／変更」を選択し、[確定］を押します。

3 カーソルキーで登録したい発信元名を選択し、[確定］を押します。

発信元名を変更する場合は、[確定］を押した後、「発信元名」を選択し、[編集］を押します。



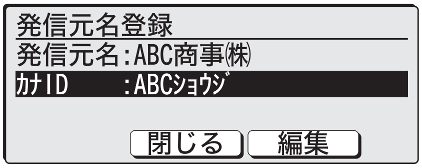
4 発信元名を入力し、[確定］を押します。



- 半角文字では 22 文字まで、全角文字では 11 文字まで登録できます。
- [確定］が表示されていないときは、[▶］を押します。

5 カーソルキーで「カナ ID」を選択し、[編集］を押します。

発信元名を入力したときに、カナ ID は自動的に入力されます。カナ ID を変更する場合は、この手順を行ってください。



6 カナ ID を入力し、[確定］を押します。



- 半角文字（半角アルファベット、数字、半角カタカナ、記号）にて 16 文字まで登録できます。全角文字は使用できません。
- [確定］が表示されていないときは、[▶］を押します。

7 ［閉じる］を押します。

8 手順３〜7を繰り返し、ほかの発信元名・カナ ID を入力します。

［閉じる］を押すと設置モードの一覧に戻ります。

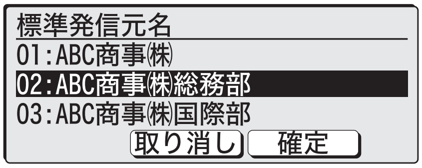
標準発信元名の設定

通常使用する発信元名を選びます。

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「標準発信元名」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで発信元を選択し、［確定］を押します。



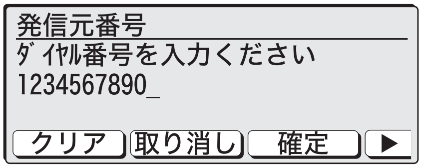
発信元番号の登録

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「発信元番号」を選択し、［確定］を押します。

3 テンキーで発信元番号を入力し、［確定］を押します。

発信元番号は 20 桁まで登録できます。番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。



［▶］を押すと、［−］、［＋］が表示されます。

用紙について

使用できる用紙

・ 本機の性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。
・ 市販されている用紙に印刷する場合には、次の表を参照して規格に合った用紙を使用してください。

■ 用紙カセット

	用紙サイズ	坪量	用紙容量
カセット 1 ～ カセット 3	B4、A4、B5、A5	普通紙・再生紙： 60 ～ 78g/m^2	約 300 枚（坪量 64g/m^2） 坪量 64g/m^2 以外の場合は約 250 枚

* カセット 3 はオプションです。

■ 手差しトレイ

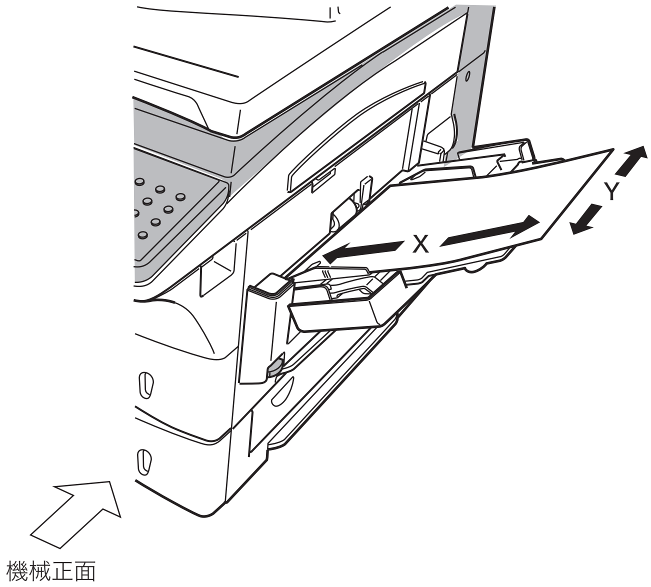
用紙サイズ・用紙種類	坪量	用紙容量
定形紙 B4、A4、B5、B5、A5、A5 特殊紙 OHP フィルム、はがき、往復はがき、封筒（長形 3 号、長形 4 号） 不定形紙 用紙幅：90mm ～ 257mm 用紙長：140mm ～ 364mm	普通紙・再生紙：60 ～ 78g/m^2 厚紙：78 ～ 120g/m^2	普通紙、再生紙：約 50 枚（坪量 64g/m^2） 坪量 64g/m^2 以外の場合は約 20 枚 厚紙：約 20 枚 OHP フィルム：約 20 枚 はがき、往復はがき：約 20 枚 封筒：1 枚

補 足

・ 特殊紙の推奨紙は以下の通りです。
OHP フィルム：3M/TY733
封筒 長形 3 号：ハート / 長形 3 号縦開き (品番：NQ344)
長形 4 号：寿堂 / ホワイト封筒 長 4 70g (品番：0160)
はがき：郵便はがき
・ 再生紙は古紙 100 %のもの（王子製紙製 再生 PP 用紙 100）が使用できます。
・ 封筒のサイズは不定形用紙のサイズ設定で、必ずのりしろ部分も含めたサイズを入力してください。
・ 封筒の裏地紋付や閉じ方向の種類によってはしわが発生するものがあります。
・ OHP フィルムは、普通紙複写機用を使用してください。テープ付き、合い紙の付いた OHP フィルムは使用できません。

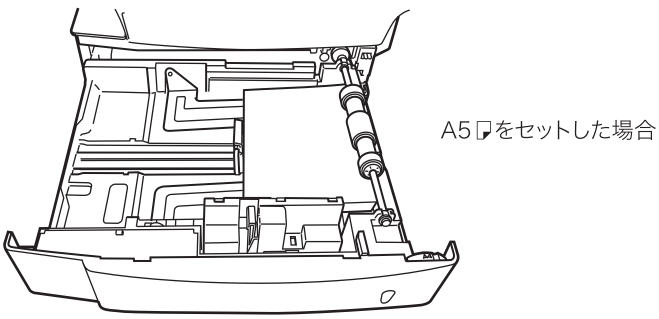
■ 原稿・用紙の縦と横

大きさを表す場合、下図Y辺を縦と呼び、X辺を横と呼びます。



■ 記号について

記号は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを表します。



■ 用紙の保管方法

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、用紙づまり、印字品質の低下、および故障の原因になります。用紙は、次の条件を満たす場所に保管してください。

・湿気が少ない場所に保管してください。
・開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
・用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
・しわ、折れ、カールなどに注意して保管してください。
・直射日光が当たらない場所に保管してください。

使用できない用紙

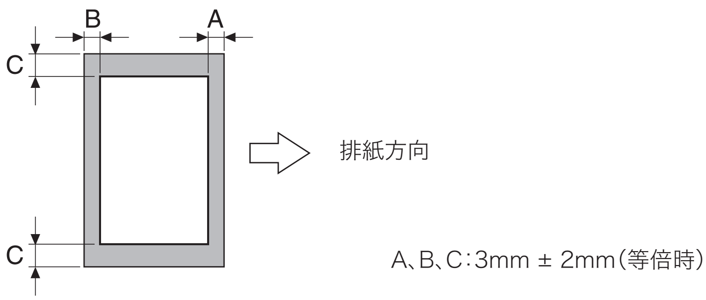
以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙した*OHPフィルム
  *白紙状態で排出されたOHPフィルムであっても再使用することはできません。
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後の長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- パンチ穴、穴、窓があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- 様々なサイズが混ざった用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ホッチキス、クリップなどで綴じられている用紙
- 切手、テープ、シール、のりラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙
- カール、波打ちをしている用紙
- アート紙、コート紙、インクジェット用コート紙

印刷範囲

以下に示す範囲の画像は印刷されませんので注意してください。

用紙の先端より3mm ± 2mm（等倍時）のエリア（A）
用紙の後端より3mm ± 2mm（等倍時）のエリア（B）
用紙の端より3mm ± 2mm（等倍時）のエリア（C）



自動給紙切り替え機能

印刷中に、現在選択中の給紙カセットの用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙で同じ種類の用紙がほかのカセットにセットされていれば、自動的にカセットを切り替えて印刷を続けます。

オプションの用紙カセットと手差しトレイを使用すれば、最大で 950 枚の連続印刷や連続コピーを行うことができます。

■ 給紙切り替えの順序

自動給紙切り替え機能が動作する場合、以下の優先順位で用紙カセット、トレイが選択されます。

用紙カセット 1 ⇒用紙カセット 2 ⇒用紙カセット 3 ⇒手差しトレイ

補 足

・ 手差しトレイを自動給紙切り替えで使用する場合は、「印字カセット指定」の設定が必要です。(7-25 ページ)
・ 手差しトレイに OHP フィルムなどの特殊紙をセットしている場合、自動給紙切り替えが働き誤って給紙される恐れがあります。このような場合、手差し用紙の設定で用紙の種類を普通紙以外に設定をしておくことをおすすめします。(1-62 ページ)

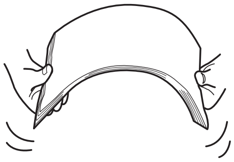
用紙セットのしかた

用紙セットするときの注意

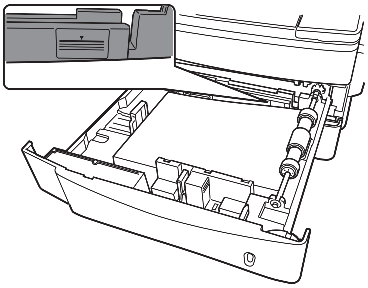
⚠ 注意

用紙の端で手を切らないように注意してください。

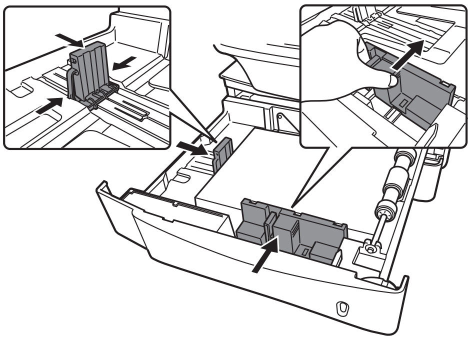
・ **用紙がカールしている場合は、用紙を伸ばしてからセットしてください。**



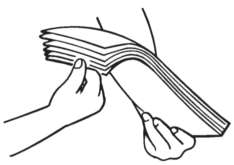
・ **用紙は用紙上限（▼マーク）または規定枚数を超えないようにセットしてください。**



・ **用紙ガイドを確実に用紙の端面に合わせてください。**
用紙ガイドが用紙のサイズに合っていないと、紙づまりの原因になることがあります。



・ **用紙をセットする場合は、用紙カセットやトレイに残っている用紙を取り出し、新しい用紙と重ね、よくさばいてからセットしてください。**



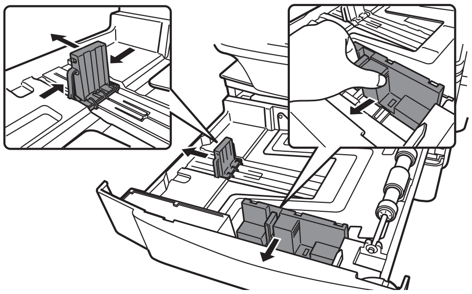
補 足

用紙カセットに用紙が残っているときは、用紙を追加せず、使い切ってから補給することをおすすめします。

用紙をカセットにセットする

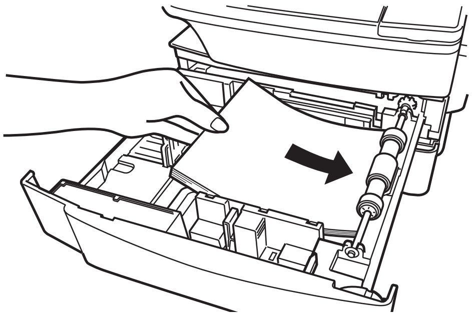
用紙カセットには、64g/m^2 の用紙で約 300 枚をセットできます。

1 セットしたい用紙カセットを引き出します。
ガイド板（D1、D2）をスライドさせ、用紙のサイズより広げます。



2 底板を“ カチッ ”と音がするまで押し下げます。

3 用紙の開封した面（印刷したい面）を下向きにして用紙をセットします。



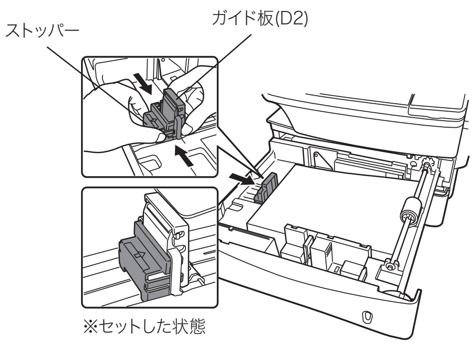
お願い

サイズや種類の違う用紙を同時にセットしないでください。

4 ガイド板（D1、D2）を用紙のサイズに合わせます。

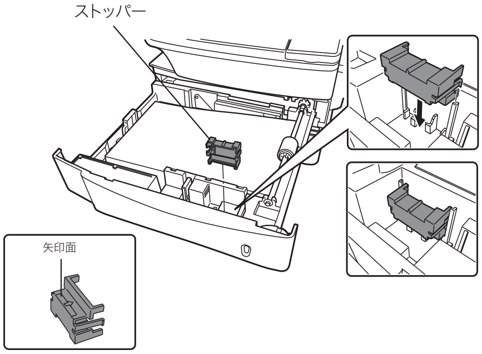
5 A4/B5 /A5 用紙をセットする場合は、ガイド板（D 2）を支えて、ストッパーの両端を押さえながらガイド板（D 2）に差し込みます。

A4/B5 /A5 用紙をセットするとき



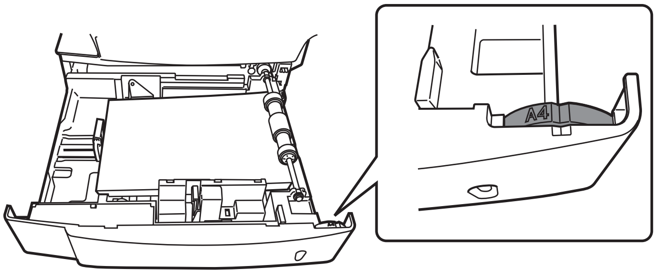
B4用紙をセットする場合は、ストッパーの矢印の面を下にして、カセットの溝にそって差し込み収納します。

B4 用紙をセットするとき



6 用紙サイズダイヤルを回して、セットした用紙のサイズを上側に表示させます。

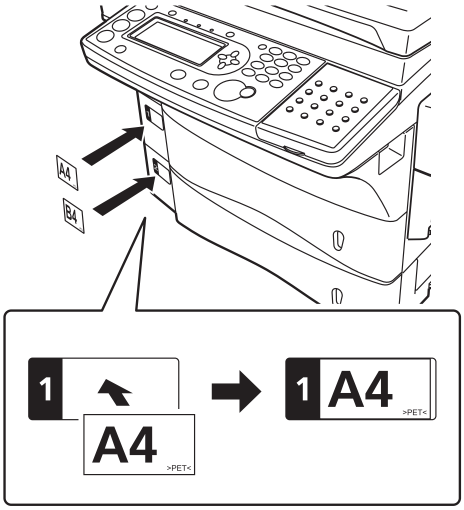
ダイヤルの溝とカセット側の溝とを合わせてください。



7 カセットを閉じます。

8 セットした用紙のサイズに合わせて、用紙サイズラベルをカセットに貼ります。

カセット番号ラベルの上に重ねて貼ります。



用紙を手差しトレイにセットする

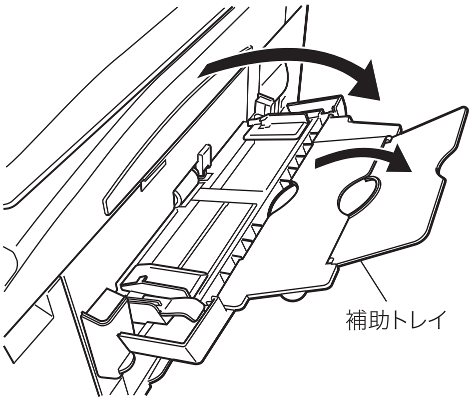
カセットにセットできない用紙、はがき、封筒、OHP フィルムに印刷したい場合に手差しトレイを使用します。セットした用紙の上面に印字されます。

補足

・ 厚紙、はがき、封筒、OHP の用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要になります。（1-62 ページ）
・ 不定形サイズの用紙をセットする場合は、サイズの登録が必要です。（1-63 ページ）

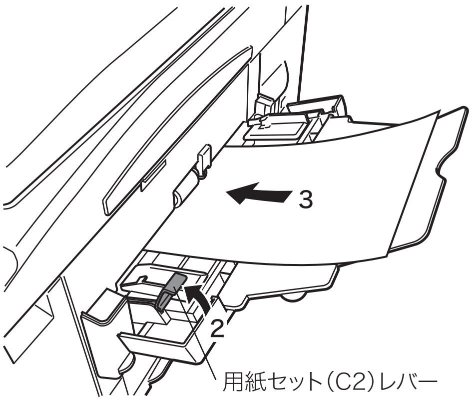
1 **手差しトレイを開きます。**

手差しトレイより大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。



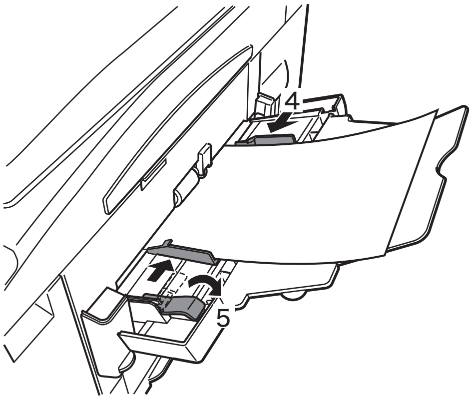
2 **用紙セット（C2）レバーを引き上げます。**

3 **印字する面を上にして用紙の先端を奥まで差し込みます。**



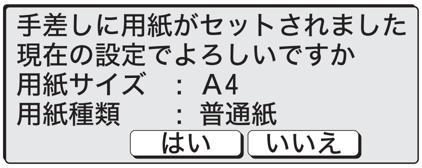
4 用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

5 用紙セット（C2）レバーを下げます。



6 用紙がセットされると、手差しトレイの設定画面が表示されます。

現在設定されている用紙サイズ・用紙種類が表示されます。

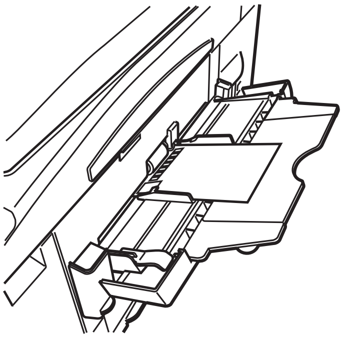


7 表示された設定で良い場合は［はい］を押します。

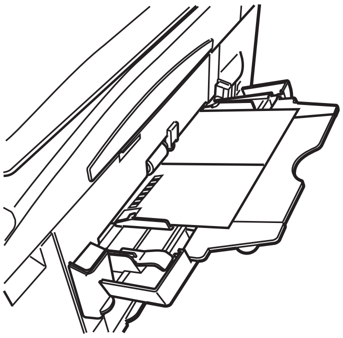
待機画面に戻ります。設定を変更する場合は［いいえ］を押し、1-62 ページの手順３に進みます。

■ はがき・往復はがきのセット

1 印字する面を上にして、はがきの上を差し込みます。



〈はがき〉



〈往復はがき〉

2 用紙サイズ「はがき」または「往復はがき」、用紙種類「はがき」にします。(1-62 ページ)

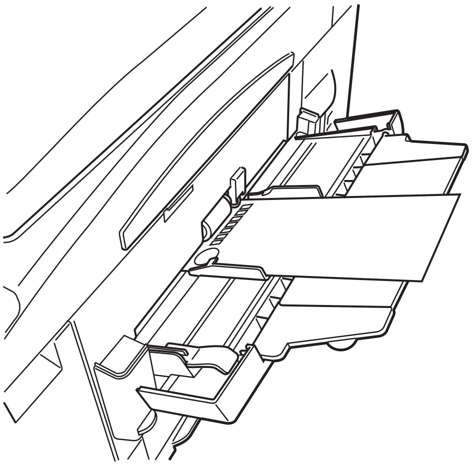
用紙サイズ「はがき」または「往復はがき」を選択すると、用紙種類は自動的に「はがき」になります。



■ 封筒のセット

1 印字する面を上にして、封筒の上を差し込みます。

・ 封筒ののりしろは折ってください。のりしろにはのりを付けないでください。また、のりがついた封筒は使用しないでください。
・ 封筒の後ろからセットしないでください。



2 用紙サイズは不定形で封筒のサイズを設定します。(1-62 ページ、1-63 ページ)用紙種類は「封筒」にします。



手差し用紙の設定

手差しトレイで使用する用紙のサイズや不定形用紙のサイズ、用紙の種類を設定します。

1 〈機器設定／登録〉、〈3〉、［確定］と押します。

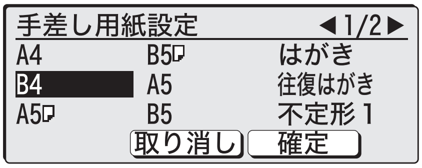
2 「手差し用紙」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。



■ 用紙サイズの設定

3 「用紙サイズ」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

4 カーソルキーで用紙サイズを選択し、［確定］を押します。

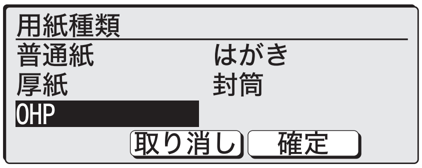


■ 用紙種類の設定

5 「用紙種類」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

6 カーソルキーで用紙種類を選択し、［確定］を押します。

設定が完了します。待機画面に戻るには〈リセット〉を押します。



補 足

- 用紙サイズに「はがき」または「往復はがき」を設定した場合は、自動的に「はがき」に設定されます。
- 用紙種類に「普通紙」以外を設定しているとき、A・B 系、不定形のサイズを設定すると、自動的に「普通紙」に設定されます。

不定形用紙のサイズを登録する

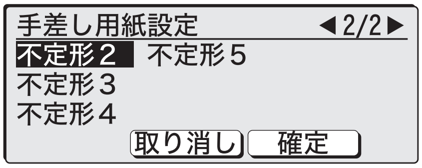
不定形用紙を使用する場合は、あらかじめ用紙の幅と長さを設定しておきます。不定形用紙は５種類登録できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈３〉、［確定］と押します。

2 「手差し用紙」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

3 「用紙サイズ」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

4 カーソルキーで登録したい不定形を選択し、［確定］を押します。



5 テンキーで、不定形用紙の横または縦のサイズを入力します。

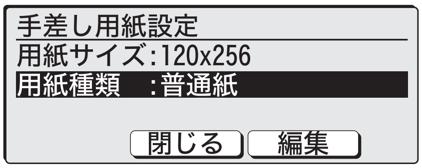
カーソルキーの上下を押すと、縦サイズ（↕）または横サイズ（↔）の入力位置に移動します。



縦・横とは、機械正面から見た用紙の方向です。（1-53 ページ）

6 ［確定］を押します。

- 用紙種類は自動的に「普通紙」に設定されます。用紙種類を設定する場合は、用紙種類を選択し［編集］を押します。（1-62 ページ）
- 別の不定形用紙のサイズを登録する場合は、手順３から繰り返します。

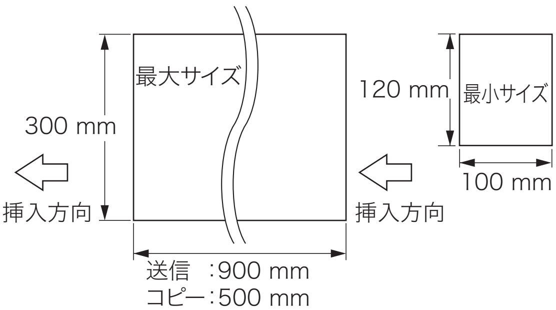


原稿について

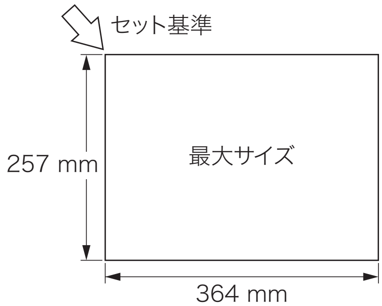
使用できる原稿サイズ

コピーおよび送信できる原稿サイズは次の範囲のものに限ります。

・自動原稿送り装置の原稿サイズ



・ガラス面の原稿サイズ



自動原稿送り装置の場合

	1 枚だけ読み取る場合	自動連続読み取りの場合
最大	送信時：幅 300mm× 長さ 900mm コピー時：幅 300mm× 長さ 500mm	幅 297mm× 長さ 420mm（JIS A3）
最小	幅 120mm× 長さ 100mm	幅 148mm× 長さ 105mm（JIS A6）
一度のセット枚数	–	A3：30 枚、B4：40 枚、A4 以下：50 枚
原稿の紙厚	0.05 ～ 0.15mm	0.07 ～ 0.12mm
原稿の紙質	上質紙相当	

参考：新聞紙の紙厚が 0.05 ～ 0.06mm、郵便はがきが 0.23mm です。
　　　この取扱説明書のサイズは JIS B5（幅 182mm× 長さ 257mm）です。

ガラス面の場合

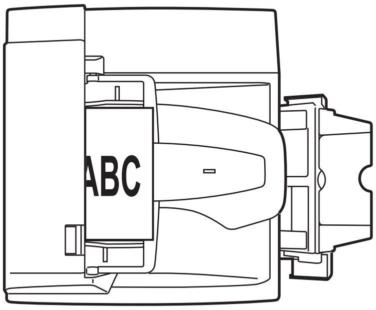
最大	幅 257mm× 長さ 364mm（JIS B4）
最小	制限無し
紙厚	制限無し（原稿押さえカバーを使用するとき：最大 25mm）

■ □ 記号について

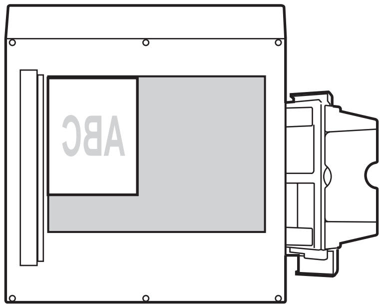
□ 記号は、原稿を機械正面から見て縦に置くことを表します。自動原稿送り装置の場合、原稿の長辺側から挿入します。

例：A5□

自動原稿送り装置に原稿をセットするとき



ガラス面に原稿をセットするとき



使用できない原稿

自動原稿送り装置には次のような原稿はセットできません。ガラス面をご利用ください。

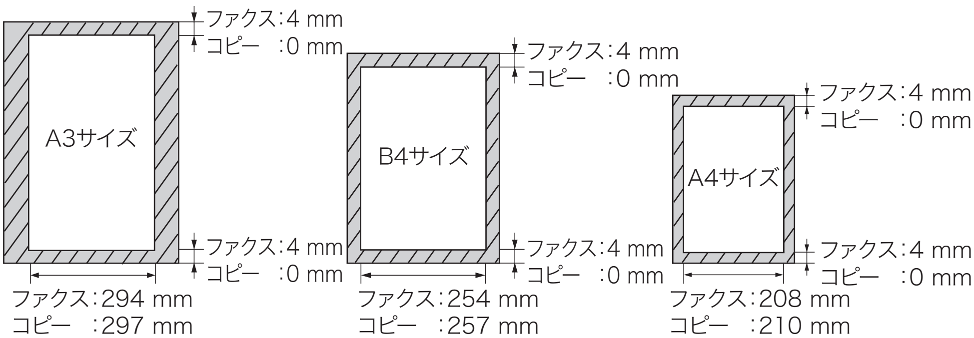
・破れている原稿、穴のあいている原稿
・しわやカールの激しい原稿
・湿った原稿、静電気で密着した原稿
・裏がカーボンになっている原稿、ノンカーボン紙の原稿
・布地、金属シート
・ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿
・貼り合わせた原稿、のりがついた原稿
・光沢のある原稿、特殊コーティングされた原稿

ガラス面に以下のような原稿をセットするときは、ガラス面が傷ついたり割れたりする恐れがあります。

・厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
・堅い物を原稿にするときは、ガラス面に静かに置いてください。
・鋭利な突起があるものは、ガラス面を傷つける恐れがあります。

読み取り範囲について

斜線部分に文字などを書いても、読み取れませんのでご注意ください。



原稿セットのしかた

原稿のセット方法には、自動原稿送り装置にセットする方法とガラス面にセットする方法があります。

お願い

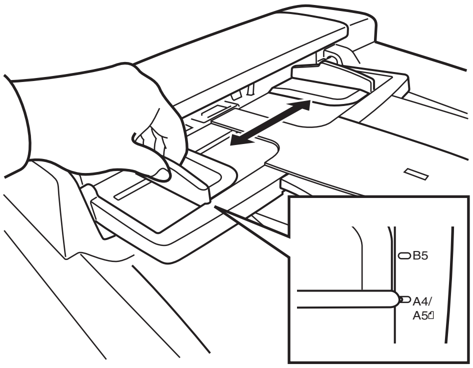
修正液、インク、スタンプなどは完全に乾かしてからセットしてください。

補 足

自動原稿送り装置とガラス面の両方に原稿をセットした場合は、自動原稿送り装置の原稿の読み取りを始めます。ガラス面の原稿は読み取りません。両方の原稿を読み取りたい場合は、「別の原稿を続けて読み取る（次の原稿）」を参照してください。（2-6 ページ、3-8 ページ）

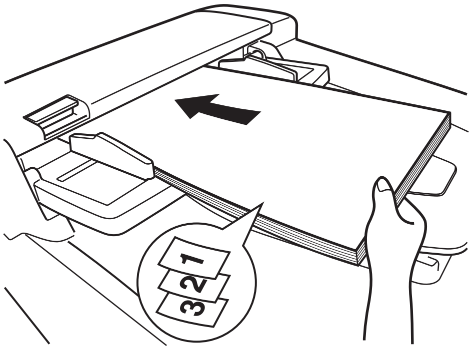
原稿を自動原稿送り装置にセットする

1 **原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。**



2 **読み取る面を上にして、原稿の先があたるまで軽く差し込みます。**

原稿ガイドが原稿の幅に合っているか、もう一度確認します。
複数枚の原稿をセットした場合は、原稿の上から１枚ずつ読み取られます。



補 足

原稿の読み取りが始まったら、すべての原稿が読み取られるまで次の原稿をセットしないでください。原稿づまりの原因となります。

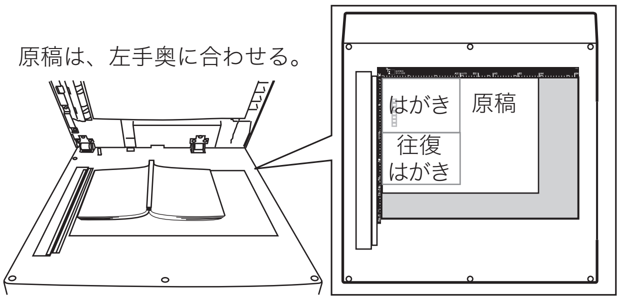
■ 自動原稿送り装置に原稿をセットするときの注意

・原稿ガイドを広げたまま、原稿をセットしないでください。
　→縮小されてプリントすることがあります。
　→斜行の原因になります。
・サイズが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
　→不必要に縮小されてプリントされることがあります。
　→原稿づまりの原因になります。
　→斜行の原因になります。
・原稿読み取り中に新しい原稿を追加すると、原稿づまりの原因になります。
・原稿排出口に、読み取り済みの原稿を溜めすぎないでください。排出口での原稿づまりの原因になります。

原稿をガラス面にセットする

1 **原稿押さえカバーを開きます。**

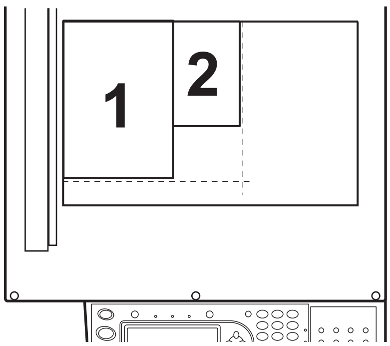
2 **原稿を読み取る面を下にしてガラス面に置きます。原稿は左手奥のセット基準に合わせます。**



3 **原稿押さえカバーを静かに閉め、原稿をガラス面に密着させます。**

■ ガラス面に原稿をセットするときの注意

・透明度の高い原稿または濃度の濃い原稿はサイズを自動検出できないことがあります。
・印鑑の朱肉や修正液などは、よく乾かしてからセットしてください。
・厚みのある原稿をセットしたときは、無理に原稿押さえカバーを閉めないでください。
　→故障の原因となります。
・自動原稿送り装置に取り残しの原稿がないことを確認してください。
　→原稿が残っているとガラス面の原稿を正しく読み取れない場合があります。
・原稿押さえカバーを開けてコピーするときは、ランプの光を見ないようにしてください。
・幅の異なる原稿を同時にセットしたときは、下図のように点線で囲まれた部分を読み取ります。



第 2 章

コピー機能

コピーの前に

原稿サイズの自動検出について

■ 自動検出できる原稿サイズ

以下の定形サイズ原稿は自動的にサイズを検出できます。

読み取り ＼ 原稿サイズ	A3	B4	A4	A4□	B5	B5□	A5	A5□
ガラス面	×	○	○	×	○	○	○	○
自動原稿送り装置	○	○	○	○	○	○	○	○

・ガラス面下のミラーキャリッジ動作中は自動検出できません。

■ 原稿に合った適切な用紙が無いとき

原稿サイズは検出されましたが、原稿サイズに合った適切な用紙が無いときは以下のメッセージが表示されます。

```
用紙 1:A4          倍率 100%
最適な用紙がありません
上記の用紙/倍率でｺﾋﾟｰしますか
ｺﾋﾟｰ(ｽﾀｰﾄｷｰ)   中断(ｽﾄｯﾌﾟｷｰ)
[ 用紙 ][拡大縮小]
```

・〈スタート〉を押すと、表示されている用紙と倍率でコピーします。用紙によっては、画像が欠けたり余白が出たりします。
・〈ストップ〉を押すと、音声案内を中止します。もう一度〈ストップ〉を押すと、コピーを中断します。倍率や用紙を選択して、再度コピーし直してください。
・［用紙］を押すと、コピーする用紙を選択できます。
・［拡大縮小］を押すと、コピーする倍率を選択できます。

以下のメッセージが表示されることがあります。

■ 原稿サイズを自動検出できないとき

不定形サイズの原稿をセットしたときなど、原稿サイズを検出できないときは以下のメッセージが表示されます。

```
用紙 1:A4          倍率 100%
原稿ｻｲｽﾞを検出できませんでした
上記の用紙/倍率でｺﾋﾟｰしますか
ｺﾋﾟｰ(ｽﾀｰﾄｷｰ)   中断(ｽﾄｯﾌﾟｷｰ)
[ 用紙 ][拡大縮小]
```

■ 応用コピー(集約、リピート、ページ分割)でガラス面の原稿サイズを自動検出できないとき

応用コピー時、ガラス面にて原稿サイズが自動検出できないとき（不定形の原稿や、正しい位置に原稿が置かれていないときなど）は、原稿の読み取りサイズを指定してコピーします。

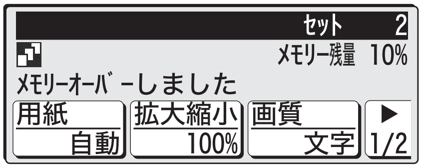
```
読取ｻｲｽﾞ
B4        B5□
A4        A5
B5        A5□
     [取り消し][ 確定 ]
```

カーソルキーで原稿サイズを選択し、［確定］を押します。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

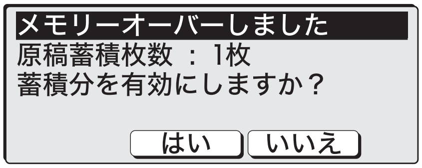
原稿蓄積中にメモリーオーバーしたときは以下のように対処してください。

■ 1 枚目の原稿の読み取り中にメモリーオーバーしたとき



- 〈ストップ〉を押すと待機画面に戻ります。
- 何度もメモリーオーバーする場合は、メモリーが空くまで待つか、[画質] を押してコピー画質を変えてから再度コピーしてください。

■ 2枚目以降の原稿の読み取り中にメモリーオーバーしたとき



- [はい] を押すと、蓄積された分をコピーします。
- [いいえ] を押すと、コピーを中断します。原稿種類を変えるか、メモリーが空くまで待ってから再度コピーしてください。
- 何も押さずに 3 分（コピー画面自動リセットで設定した時間：7-32 ページ）経つと、蓄積された分をコピーします。

補 足

自動原稿送り装置を使用していた場合、読み取り部に原稿が残っているときは以下の表示になります。



〈ストップ〉を押して残っている原稿を排出してください。

設定のリセット

- **自動リセット**

  コピー操作後、一定時間何も操作をしないと初期状態に戻ります。

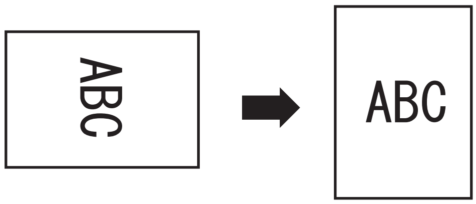
  出荷時設定では 3 分後に画面がリセットされます。リセットされる時間を設定できます。また、原稿の読み取り直後にリセットすることもできます。(7-32 ページ)

- **〈リセット〉による設定のリセット**

  〈リセット〉を押すと、初期値に戻ります。コピー終了後は、次に使用する人のため〈リセット〉を押して設定をリセットしてください。

回転コピー

- 原稿と同じ向きの用紙がセットされていなくても、自動的にコピー画像を回転させてコピーします。



- 回転方向は左回転になります。
- 集約コピー、リピートでは回転しません。
- 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによっては回転しないことがあります。

コピー操作の流れ

基本的なコピーのしかた

初期設定では、拡大縮小 100%、用紙:自動、画質:文字、濃度:普通でコピーされます。

「用紙：自動」の場合は、原稿サイズに合わせて用紙を選択します。選択される用紙サイズは、B4、A4、B5 、B5、A5、A5 です。それ以外の用紙は自動選択されません。その場合、[用紙] を押して、コピーしたい用紙がセットされているカセットを選択してください。(2-7 ページ)

B5、A5 は手差しトレイに用紙がセットされいる場合で、手差しトレイがコピーの印字カセット指定 (7-25 ページ) になっているときに選択されます。

コピー禁止 (7-31 ページ)、リアルタイム送信 (3-15 ページ) を設定しているときは、コピーすることはできません。

1 〈コピー〉を押します。

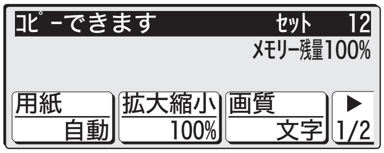
2 原稿をセットします。

・ 原稿セットの詳しい方法は、“ 原稿セットのしかた ”(1-66 ページ) を参照してください。

3 必要に応じて各コピー機能の設定を行います。

・ 基本機能では、用紙選択、拡大縮小、画質、濃度、ソートの設定ができます。各機能の設定方法については、“ 基本機能 ”（2-7 ～ 2-14 ページ）を参照してください。
・ 応用機能（集約、リピート、ページ分割）を使用する場合は、〈応用機能〉を押して使用する機能を選択します。各機能の設定方法の詳細については、“ 応用機能 ”（2-15 ～ 2-19 ページ）を参照してください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。



・ 1 ～ 99 部まで設定できます。部数を設定しないときは 1 部コピーされます。
・ 間違えて入力したときは、上書きで入力し直してください。

5 〈スタート〉を押します。

コピーが始まります。

補 足

・ ソート、集約コピーを設定した場合は、次の原稿を読み取ることができます。(2-6 ページ)
・ コピーを中止する場合は、〈ストップ〉を押します。

別の原稿を続けて読み取る（次の原稿）

ソートコピー・集約コピーを設定した場合は、最初の原稿の後に別の原稿を続けて読み取ることができます。異なったサイズの原稿を読み取ったり、自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーをしたりすることができます。

1 **原稿をセットします。**

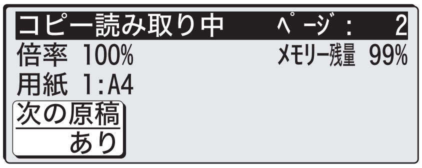
・ 原稿セットの詳しい方法は、“ 原稿セットのしかた ”（1-66 ページ）を参照してください。

2 **各コピー機能（ソートコピー・集約コピー）の設定を行います。**

3 **〈スタート〉を押します。**

・ ガラス面で読み取ったときは、手順 5 に進みます。
・ 自動原稿送り装置に原稿をセットしたときは、次の手順に進みます。

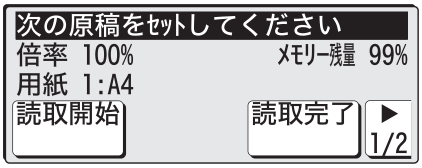
4 **原稿読み取り中に［次の原稿］を押し、「あり」に設定します。**



補 足

自動原稿送り装置で読み取る場合は「次の原稿なし」に設定されています。そのため、次の原稿を読み取りたい場合は、最初の原稿の読み取り中に「次の原稿あり」に設定します。

5 **原稿を読み取った後、次の原稿の読み取り指示を待ちます。**



6 **次の原稿をガラス面または自動原稿送り装置にセットし、［読取開始］または〈スタート〉を押します。**

次の原稿の読み取りを開始します。さらに次の原稿を読み取りたいときは、手順 4 から繰り返します。

7 **すべての原稿を読み取った後、［読取完了］を押します。**

補 足

・「次の原稿」の初期値は、自動原稿送り装置からの読み取りでは「なし」、ガラス面では「あり」に設定されています。
・ 原稿読み取り中に「次の原稿　なし」に設定すると、読み取り終了後コピーを開始します。
・ 手順 5 で［▶］を押すと、次の原稿の画質・濃度・拡大縮小を設定できます。

基本機能

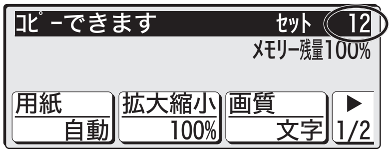
コピー部数を指定する

コピー部数は最大 99 枚まで設定することができます。

1 〈コピー〉を押します。

2 テンキーを使って、コピー部数（1 ～ 99）を入力します。

コピー部数はコピー待機画面の右上に表示されます。



補 足

入力したコピー部数を変更する場合は、上書きで入力し直してください。

〈リセット〉を押して入力したコピー部数をクリアすることができますが、ほかのコピー機能が設定されている場合はそれらの設定もクリアされます。

用紙を選んでコピーする

コピーしたい用紙がセットされているカセットを選択してコピーします。用紙カセットにセットできない用紙や、用紙カセットにセットされていない用紙にコピーする場合は、手差しトレイを使用します。

用紙の選びかたには次の方法があります。

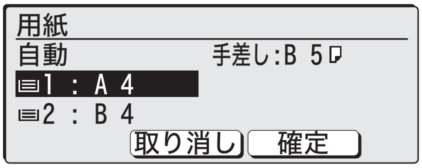
- **自動**
  原稿サイズと設定された倍率から、適切な用紙サイズがセットされている用紙カセットを自動的に選択します。手差しトレイを選択させるためには、あらかじめ設定が必要です。（7-25 ページ）
- **用紙カセット**
  コピーしたい用紙がセットされているカセットを手動で選択します。
- **手差しトレイ**
  コピーしたい用紙を手差しトレイにセットして選択します。用紙カセットにセットできない用紙や、はがきや不定形紙などをセットします。（1-62 ページ）

1 原稿をセットします。（1-66 ページ）

必要に応じて、原稿種類や濃度を設定します。（2-8 ページ）

2 ［用紙］を押します。

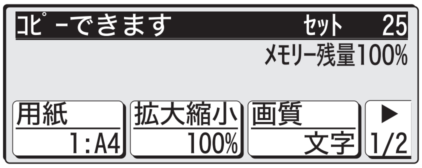
3 カーソルキーでコピーする用紙を選択し、[確定] を押します。



倍率が自動に設定されている場合、用紙を自動に設定すると、倍率は 100% に変更されます。

4 必要に応じて、画質や濃度を設定したり、各種機能を設定したりします。

5 コピー部数をテンキーで入力します。



・ 1 ～ 99 部まで設定できます。
・ 部数を設定しないときは 1 部コピーされます。

6 〈スタート〉を押すと、コピーを開始します。

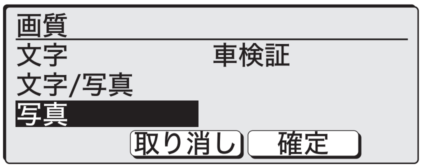
コピー画質・濃度の設定

原稿や文字に合わせて、画質・濃度を選択します。

■ 画質

1 [画質] を押します。

2 カーソルキーで希望する画質を選択し、[確定] を押します。



・ **文字**................. 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
・ **文字 / 写真**.... 写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
・ **写真**................. 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
・ **車検証** .... 車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。

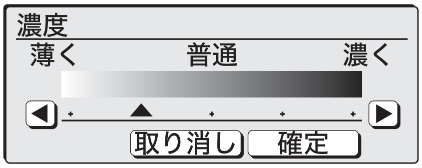
3 選択した画質に変更されます。

■ 濃度

1 **[▶]、[濃度] と押します。**

2 **カーソルキーで希望する濃度を選択し、[確定] を押します。**

[◀][▶] を押して濃度を選択することもできます。



- **薄く** .... 薄く読み取りたいとき
- **やや薄く*** ..... 少し薄く読み取りたいとき
- **普通** .... 普通の原稿のとき
- **やや濃く*** ..... 少し濃く読み取りたいとき
- **濃く** .... 濃く読み取りたいとき

  *表示はありません。

3 **選択した濃度に変更されます。**

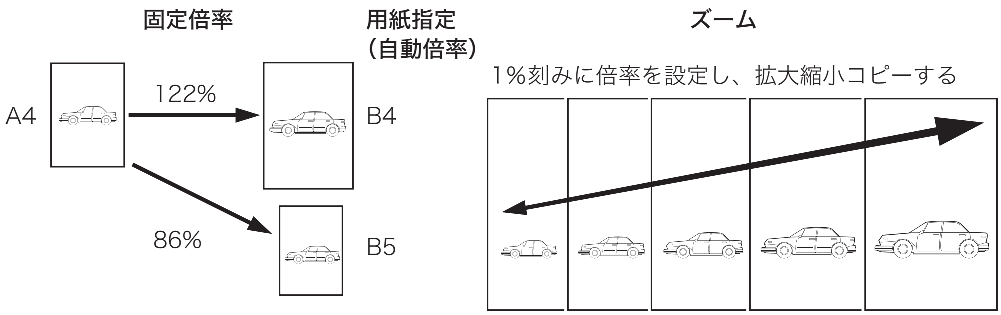
補 足

初期値を変更できます。変更方法は「コピー初期値設定 (7-21 ページ)」を参照してください。

拡大縮小コピーをする

拡大縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大縮小する方法（固定倍率）があります。

固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法（ズーム）があります。



■ 用紙サイズに合わせて拡大縮小する（自動倍率）

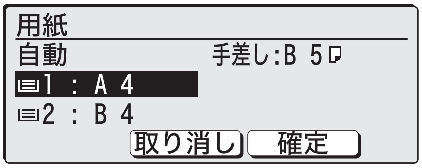
指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大縮小コピーを行います。
原稿サイズを自動検出できないときは、等倍（100%）にてコピーされます。

1 原稿をセットします。（1-66 ページ）

必要に応じて、画質や濃度を設定します。（2-8 ページ）

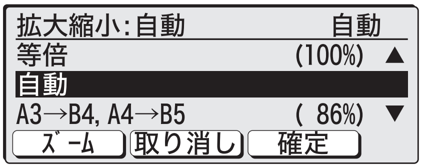
2 ［用紙］を押します。

3 カーソルキーを押してコピーする用紙を選択し、［確定］を押します。



4 ［拡大縮小］を押します。

5 カーソルキーを押して「自動」を選択し、［確定］を押します。



用紙が「自動」になっている場合、拡大縮小で「自動」を選択すると、カセット 1 が自動的に選択されます。

6 テンキーで部数を入力します。



- 1 ～ 99 部まで指定できます。
- 設定しない場合は、自動的に 1 部コピーされます。

7 〈スタート〉を押します。

倍率を自動的に設定し、選択した用紙にコピーします。

■ 倍率を選んで拡大縮小する（固定倍率）

あらかじめ設定されている倍率から選択して、自動的に適切な用紙にコピーを行います。

倍率は次の 7 種類です。

- 141%（A5 → A4、B5 → B4）
- 122%（A4 → B4、A5 → B5）
- 115%（B5 → A4）
- 100%（等倍）
- 86%（A3 → B4、A4 → B5）
- 81%（B4 → A4、B5 → A5）
- 70%（A3 → A4、B4 → B5、A4 → A5）

・選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。

1 **原稿をセットします。（1-66 ページ）**

必要に応じて、画質や濃度を設定します。（2-8 ページ）

2 **［用紙］を押し、カーソルキーで「自動」を選択後、［確定］を押します。**

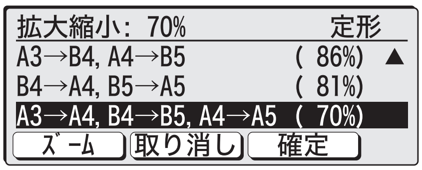
初期設定では「自動」が選択されています。



用紙選択を「自動」に設定すると、倍率設定に応じて自動的に用紙を選択させることができます。用紙を選択したいときは、コピーしたい用紙を選択してください。

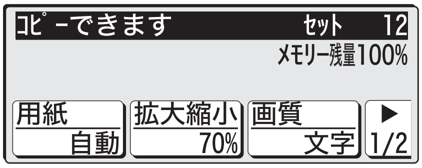
3 **［拡大縮小］を押します。**

4 **カーソルキーを押して倍率を選択し、［確定］を押します。**



用紙選択が「自動」になっている場合、倍率「自動」を選択すると、カセット 1 が自動的に選択されます。その場合、再度用紙「自動」を選択してください。

5 テンキーで部数を入力します。



・ 1 〜 99 部まで指定できます。
・ 設定しない場合は、自動的に 1 部コピーされます。

6 〈スタート〉を押します。

・ 設定した倍率で、用紙を自動的に選択しコピーします。
・ 手順 2 で用紙を設定したときは、選択した用紙に設定した倍率でコピーします。

■ 倍率を入力して拡大縮小する（ズーム）

倍率を 50 〜 200%の範囲で 1%きざみに指定でき、細かく拡大縮小コピーができます。
先に固定倍率を設定してから（2-11 ページ）ズームで細かく倍率を調整することもできます。

---

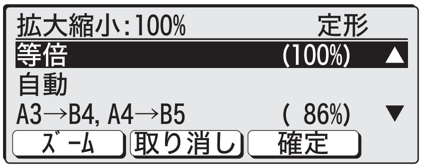
1 原稿をセットします。（1-66 ページ）

必要に応じて、画質や濃度を設定します。（2-8 ページ）

2 必要に応じて［用紙］を押し、コピーする用紙を選択します。（2-7 ページ）

3 ［拡大縮小］を押します。

4 ［ズーム］を押します。

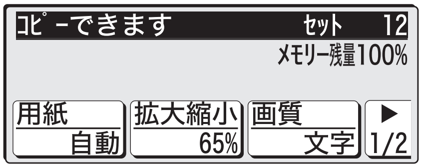


5 テンキーまたはカーソルキーを押して倍率を設定し、［確定］を押します。



［固定倍率］を押すと固定倍率の選択画面に戻ります。

6 テンキーで部数を入力します。



- 1 ～ 99 部まで指定できます。
- 設定しない場合は、自動的に 1 部コピーされます。

7 〈スタート〉を押します。

設定した倍率でコピーします。

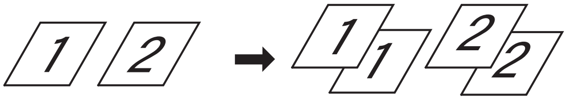
用紙を仕分けする（ソート）

コピーをページ順にそろえることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

ソートを常に ON に設定することもできます。(7-21 ページ)

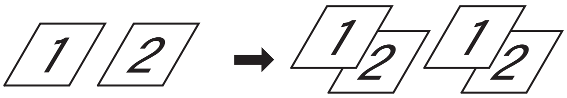
■ソート OFF

原稿ごとに用紙を仕分けします。



■ソート ON

コピー部ごとに用紙を仕分けします。



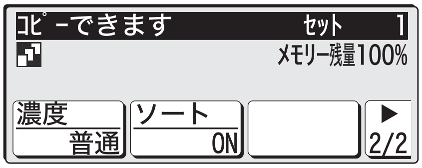
1 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて、画質や濃度を設定します。(2-8 ページ)

2 [▶] を押して、タッチパネルキーを切り替えます。

3 [ソート] を押して「ON」にします。

もう一度[ソート]を押すと、「ソート OFF」になります。「ソート ON」の場合は、ソートのアイコンが表示されます。



4 必要に応じて、ほかのコピー機能を設定します。

5 コピー部数をテンキーで入力します。

・ 1 ～ 99 部まで設定できます。
・ 部数を設定しないときは 1 部コピーになります。

6 〈スタート〉を押します。

・ コピーを開始します。
・ 次の原稿を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。（2-6 ページ）

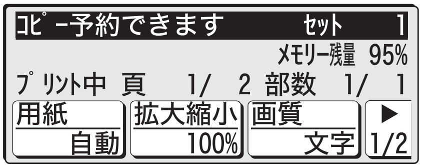
補 足

・〈リセット〉を押すと、各種設定が解除されます。
・ 一定時間なにも操作をしないと、待機画面に戻ります。
・ タッチパネルキーの設定にて［ソート］を削除した場合は、〈応用機能〉からソートを選択してソートコピーの ON/OFF を行ってください。

コピー予約（コピー & コピー）

コピープリント中でも、別の原稿をセットしコピー予約ができます。プリント中のコピーが終わると、すぐに次のコピーを開始しますので、無駄な待ち時間がありません。コピー予約は 10 件予約できます。

1 コピープリント中は「コピー予約できます」と表示されています。



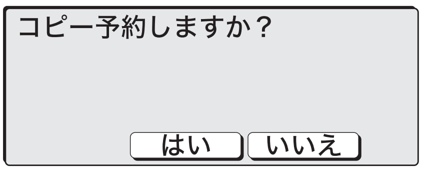
2 予約したい原稿をセットします。

3 必要に応じて画質や濃度を設定したり、各種機能を設定したりします。

4 〈スタート〉を押します。

5 コピー予約する場合は［はい］を押します。

原稿の読み取りが始まります。前のコピーが終了すると、次のコピーがプリントされます。

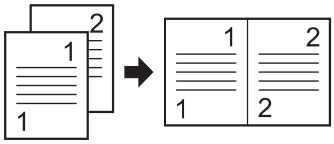


応用機能

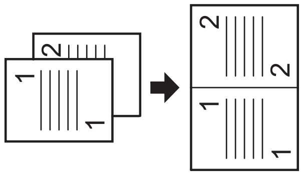
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（集約コピー）

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にならべてコピーできます。

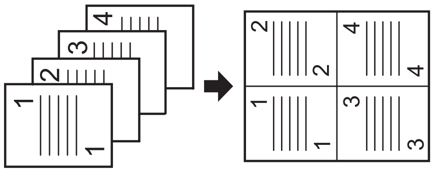
原稿 2 枚を 1 枚に



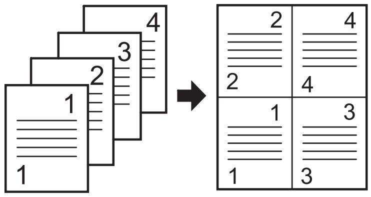
用紙にコピーするとき



原稿 4 枚を 1 枚に



用紙にコピーするとき

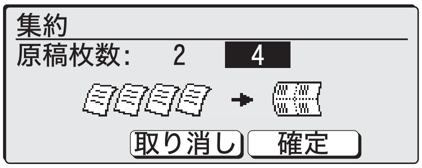


- 1 枚の用紙にならべることができる枚数は 2 枚または 4 枚です。
- 倍率を設定している場合は、自動倍率に設定し直されます。倍率を設定したいときは、集約コピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動に設定している場合は、用紙カセット 1 に設定し直されます。用紙を設定したいときは集約コピー設定後に用紙を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 回転コピーはできません。原稿は上のイラストのようにセットしてください。
  →原稿 2 枚を 1 枚にする場合は、原稿と用紙の向きを逆にします。
  →原稿 4 枚を 1 枚にする場合は、原稿と用紙の向きをそろえます。

1 〈応用機能〉を押し、「集約」が選択されていることを確認後、［確定］を押します。



2 カーソルキーで、1 枚の用紙にコピーする原稿の枚数を選択します。



3 ［確定］を押すと、集約コピーが設定されます。



・ 集約コピーのアイコンが表示されます。
・〈リセット〉を押すと、集約コピーの設定が解除されます。

4 必要に応じて［用紙］を押し、コピーする用紙をカーソルキーで選択します。（2-7 ページ）

・ 自動以外を選択してください。
・ 用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

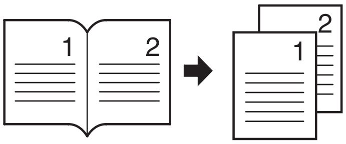
5 必要に応じて、ほかの機能を設定します。

6 原稿をセットし、〈スタート〉を押します。

・ 原稿は 2-15 ページのイラストのように、用紙の向きに応じてセットする方向を変えてください。
・ 次の原稿を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。（2-6 ページ）

2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）

本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーします。



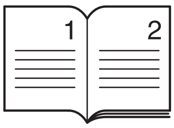
- 用紙を自動に設定している場合は、用紙カセット 1 に設定し直されます。用紙を設定したいときは、ページ分割コピー設定後に用紙を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 自動原稿送り装置は使用できません。

---

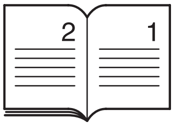
1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ページ分割」を選択して「確定」を押します。

2 カーソルキーでセットする原稿のとじ方向を選択します。

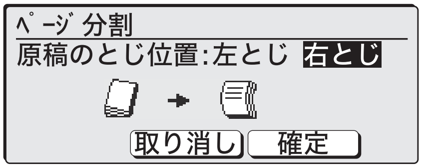
左とじの原稿



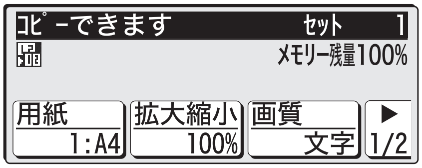
右とじの原稿



本書は左とじです。



3 ［確定］を押すと、ページ分割が設定されます。



- ページ分割のアイコンが表示されます。
- 〈リセット〉を押すと、ページ分割の設定が解除されます。

4 必要に応じて［用紙］を押し、コピーする用紙をカーソルキーで選択します。（2-7 ページ）

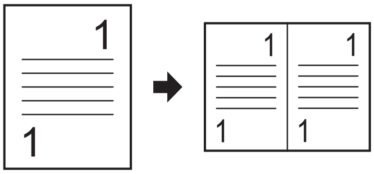
自動以外を選択してください。

5 原稿をセットし、〈スタート〉を押します。

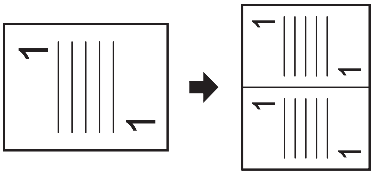
１枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

１枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。

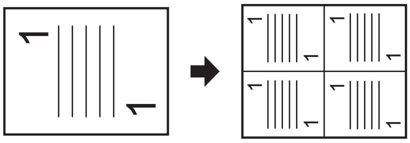
２枚リピート



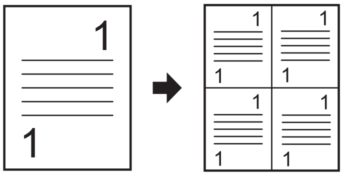
用紙にコピーするとき



原稿４枚を１枚に

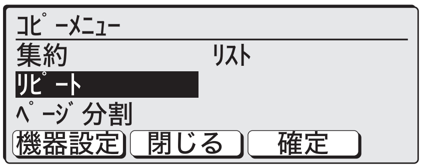


用紙にコピーするとき

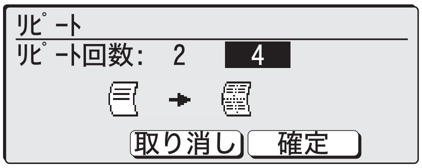


- １枚の用紙にならべることができる枚数は２枚または４枚です。
- 倍率を設定している場合は､自動倍率に設定し直されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動に設定している場合は、用紙カセット１に設定し直されます。用紙を設定したいときはリピートコピー設定後に用紙を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 回転コピーはできません。原稿は上のイラストのようにセットしてください。
  →２枚リピートの場合は、原稿と用紙の向きを逆にします。
  →４枚リピートの場合は、原稿と用紙の向きをそろえます。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リピート」を選択して［確定］を押します。



2 カーソルキーで、繰り返しコピーする回数を選択します。



3 ［確定］キーを押すと、リピートコピーが設定されます。



- リピートコピーのアイコンが表示されます。
- 〈リセット〉を押すと、リピートコピーの設定が解除されます。

4 必要に応じて［用紙］を押し、コピーする用紙をカーソルキーで選択します。(2-7 ページ)

- 自動以外を選択してください。
- 用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

5 必要に応じて、ほかの機能を設定します。

6 原稿をセットし、〈スタート〉を押します。

原稿は 2-18 ページのイラストのように、用紙の向きに応じてセットする方向を変えてください。

機能の組み合わせについて

コピー機能組み合わせ一覧

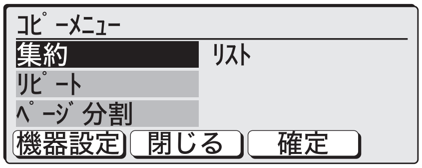
設定されている機能 ＼ 設定しようとする機能		読取方法			ソート		集約コピー		リピートコピー			用紙選択				拡大縮小			給紙選択		用紙種類	
		ガラス面	自動原稿送り装置	ガラス面／自動原稿送り装置	ソートON	ソートOFF	原稿2枚→コピー1枚	原稿4枚→コピー1枚	2リピート	4リピート	ページ分割	自動用紙選択	手動 標準用紙選択	手動 他の用紙選択	不定形用紙選択	自動倍率指定	固定倍率指定	ズーム指定	手差しトレイ	用紙カセット	普通紙	普通紙以外
読取方法	ガラス面	■	●	■																		
	自動原稿送り装置	×	■	■							×											
	ガラス面／自動原稿送り装置		■	■							×											
ソート	ソート ON				■	●																
	ノンソート OFF				●	■																
集約コピー	原稿２枚→コピー１枚						■	●	×	×	×	■										
	原稿４枚→コピー１枚						●	■	×	×	×	■										
リピートコピー	２リピート						×	×	■	●	×	■										
	４リピート						×	×	●	■	×	■										
ページ分割			×	×			×	×	×	×	■	■										
用紙選択	自動用紙選択						●	●	●	●	●	■	●	●	●	●			●			●
	手動 標準用紙選択											●	■	●	●							
	手動 他の用紙選択											●	●	■	●	■				■		
	不定形用紙選択											●	●	●	■	■				■		
拡大縮小	自動倍率指定											●		■	■	■	●	●				
	固定倍率指定															●	■	●				
	ズーム指定															●	●	■				
給紙選択	手差しトレイ											●							■	●		
	用紙カセット													■	■				●	■		■
用紙種類	普通紙																				■	●
	普通紙以外											●								■	●	■

空白：同時設定可能
■　：同時設定不可能
●　：後から設定したものが有効
×　：先に設定したものが有効、または後から設定できない

組み合わせできない応用コピーの表示

組み合わせて同時に使用できない応用コピーは、網かけで表示されます。

【例】集約コピーが既に設定されているとき



組み合わせた応用コピーを個別に取り消すには

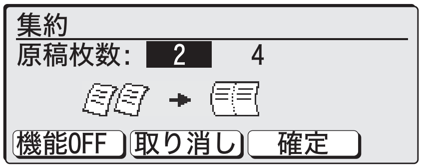
組み合わせた応用コピーのうち一つを解除するには、各応用コピーの設定画面に入り初期値に戻します。

【例】集約コピー、ソートが設定されているとき、集約コピーだけを取り消す。

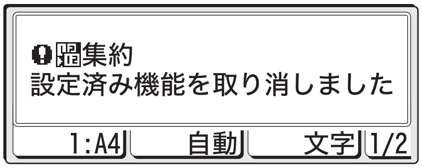
1 〈応用機能〉を押します。

2 「集約」が選択されていることを確認し、[確定]を押します。

3 [機能 OFF] を押します。



4 集約コピーの設定が取り消されます。



■ 各機能別取消方法

機能	手順
画質	[画質] →「文字」を選択*→ [確定]
濃度	[▶] [濃度] →「普通」を選択*→ [確定]
用紙	[用紙] →「自動」を選択→ [確定]
拡大縮小	[拡大縮小] →「等倍（100%)」を選択*→ [確定]
ソート	[▶] [ソート] →「OFF」に設定*
集約	〈応用機能〉→「集約」を選択→ [確定] → [機能 OFF]
リピート	〈応用機能〉→「リピート」を選択→ [確定] → [機能 OFF]
ページ分割	〈応用機能〉→「ページ分割」を選択→ [確定] → [機能 OFF]

＊：コピー初期値の設定によって変わります。

補 足

個別に取り消した後、再設定が必要になる場合があります。

第３章

ファクス基本機能

送信の前に

原稿サイズの自動検出について

■ 自動検出できる原稿サイズ

以下の定形サイズ原稿は自動的にサイズを検出できます。

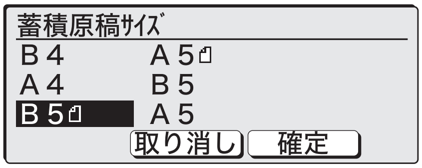
原稿サイズ／読み取り	A3	B4	A4	A4□	B5	B5□	A5	A5□
ガラス面	×	○	○	×	○	○	○	○
自動原稿送り装置	○	○	○	○	○	○	○	○

- B5、A5 サイズの原稿は自動検知されますが、ファクシミリの交信規則により A4 原稿として送信されます。（余白ができます）
- 回転送信を設定しているときは、A4□ は A4 として送信することができます。(7-18 ページ)
- ガラス面下のミラーキャリッジ動作中は自動検出できません。

■ 原稿サイズを自動検出できないとき

ガラス面にて原稿サイズが自動検出できないとき（不定形の原稿や、正しい位置に原稿が置かれていないときなど）は、原稿の読み取りサイズを指定して送信します。

1 **原稿サイズが自動検出できないときは、以下の画面になります。**



2 **カーソルキーで原稿サイズを選択し、［確定］を押します。**

あらかじめ、読み取るサイズを指定することもできます。(4-41 ページ)

送信時にメモリーオーバーしたとき

原稿の蓄積中にメモリー容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージが表示されます。メッセージは 2 種類あります。

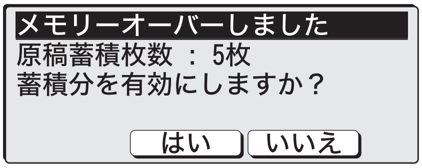
■ クイックメモリー送信 (3-16 ページ) が ON の場合にメモリー容量をオーバーしたとき

■ クイックメモリー送信(3-16ページ)がOFF、メモリー送信がON の場合に、原稿の 1 枚目を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき



クイックメモリー送信が ON の場合、2 枚目以降の原稿でメモリーがいっぱいになったときは、チェックメッセージがプリントされ、メモリーオーバーが発生したページ番号がプリントされます。
メモリーが空くのを待つか、リアルタイム送信 (3-15 ページ) にてプリントされたページより送信し直してください。

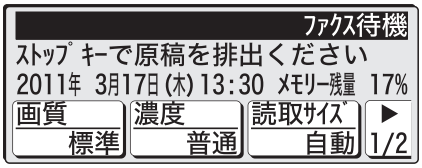
■ クイックメモリー送信(3-16ページ)がOFF、メモリー送信がON の場合に、原稿の2枚目以降を蓄積中にメモリー容量をオーバーしたとき



- ［はい］を押すと、メモリーに蓄積した原稿のみを送信します。
- ［いいえ］を押すと、メモリーに蓄積した原稿を消去します。
- 何も操作せずに 3 分経過すると、自動的に画面がリセットされ、メモリーに蓄積した原稿は消去されます。

補 足

- 画面の自動リセット時間を 1 ～ 10 分の範囲で変更できます。設定方法の詳細は、「機器管理設定」の「画面自動リセット時間」（7-32 ページ）を参照してください。
- 自動原稿送り装置を使用していた場合、読み取り部に原稿が残っているときは以下の表示になります。



〈ストップ〉を押して残っている原稿を排出してください。

送信のしかた

基本的な送信のしかた

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **原稿をセットします。(1-66 ページ)**

ガラス面で送信するときは、自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。

3 **必要に応じて各種機能の設定を行います。**

・ 送信するときの便利な機能を使用する (3-14 ページ)
・ 応用機能を使用する（第 4 章 ファクス応用機能）

4 **相手先のファクス番号を入力します。**

補 足

・ ファクス番号を入力すると、液晶ディスプレイ上に［宛先確認］が表示されます。入力した番号の確認や削除を行うときは、［宛先確認］を押します。(4-4 ページ)
・ 短縮ダイヤルにあらかじめ相手先のファクス番号を登録しておくと、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、宛先表から相手先を指定できます。

■ テンキーで入力する（直接ダイヤル）

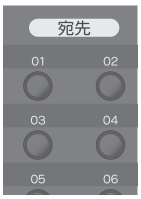
テンキーを押して相手先の番号を入力し、［確定］を押します。



・ 番号は 40 桁まで入力できます。
・ 番号を間違えて入力した場合は、［クリア］を押して消去します。
・ ダイヤル記号を入力することができます。(3-16 ページ)

■ ワンタッチキーを使う

相手先が登録されている、ワンタッチキーを押します。



ワンタッチキーの 01 ～ 68 は、短縮ダイヤルの 001 ～ 068 と対応しています。例えば、短縮ダイヤル 002 に相手先を登録した場合、ワンタッチキーの 02 を押しても同じ相手先を指定できます。

■ 短縮ダイヤルを使う

〈短縮送信〉を押します。テンキーで目的の 3 桁の短縮番号（001 ～ 500）を入力し、[確定］を押します。



〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「短縮送信」を選択後［確定］を押して、短縮番号の入力画面を表示することもできます。

■ 宛先表を使う

カーソルキーの下を押して、宛先表を表示させます。カーソルキーで相手先を選択し、[選択] を押します。選択された宛先にはチェックマーク が表示されます。([クリア] を押すと選択を解除します）
すべての宛先を選択後、［閉じる］を押します。



詳しくは「宛先表を使用する」(3-9 ページ) を参照してください。

5 〈スタート〉を押します。

6 宛先を確認する画面が表示されます。

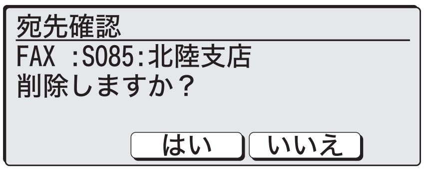


宛先を追加する場合は、［閉じる］を押して手順 4 に戻ります。
宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

7 相手先番号を削除する場合は、カーソルキーで削除したい相手先番号を選択し、[削除］を押します。

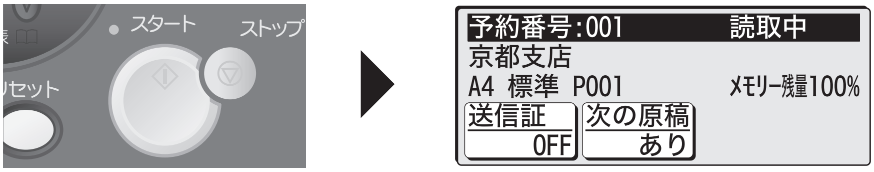


8 削除する場合は［はい］を押します。



9 〈スタート〉または［送信開始］を押すと、送信が開始されます。

・ 原稿が読み取られ、送信が開始されます。
・ 予約番号は、通信文書を中止／確認するときや通信予約リストを確認するときに使用します。(3-22 ページ、3-47 ページ)



・ 送信の中止方法については、「ファクスを中止／確認する」3-22 ページを参照してください。
・ 原稿サイズが検出できないときは、サイズを指定してください。(3-3 ページ)

■ ガラス面を使って複数枚の原稿を送るには

・2 枚目の原稿があるときは、1 枚目読み取り後、原稿をセットして［読取開始］を押してください。すべての原稿の読み取り終了後、［送信開始］を押してください。
・［送信開始］を押さずにおくと、しばらくしてから自動的に送信を開始します。



［▶］を押すと、次の原稿の画質・濃度・拡大送信・読取サイズを設定できます。

補 足

直接ダイヤルや短縮送信を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)

3

ファクス基本機能

別の原稿を続けて読み取る（次の原稿）

違う種類の原稿を一回の通信で送ることができます。例えば、送り状と地図帳というような組み合わせの原稿を同時に送信（混在送信）したり、異なるサイズの原稿を同時に送信したりすることができます。

1 **原稿をセットします。（1-66 ページ）**

2 **相手先を指定します。(3-5 ページ)**

3 **〈スタート〉を押します。**

ガラス面で読み取ったときは、手順 7 に進みます。

4 **宛先を確認する画面が表示されます。（3-6 ページ手順 6 〜 8）**

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

5 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

6 **原稿読み取り中に［次の原稿］を押し、「次の原稿」を「あり」に設定します。**

ガラス面に原稿をセットしたときは、手順 7 に進みます。



補 足

- 自動原稿送り装置で原稿を読み取る場合は、「次の原稿」が「なし」に設定されています。そのため、次の原稿を読み取りたい場合は、原稿の読み取り中に〈次の原稿〉を押して、「次の原稿」を「あり」に設定します。
- 「次の原稿」を「なし」に設定すると、読み取り終了後すぐに送信を開始します。

7 **原稿の読み取りが完了したら、次の原稿をセットし、［読取開始］または〈スタート〉を押します。**

次の原稿の読み取りを開始します。ほかにも原稿がある場合は、手順 6 から繰り返します。

補 足

次の原稿の画質、濃度、拡大送信、読取サイズを設定する場合は、原稿読み取り前に［▶］を押して、目的の設定を行います。

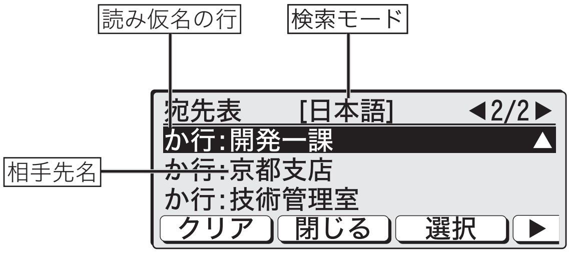
8 **すべての原稿の読み取りが完了したら、［送信開始］を押します。**

宛先表を使用する

- 短縮ダイヤルに登録した相手先を、50 音別に検索して送信することができます。
- あらかじめ短縮ダイヤルに相手先名が登録されている必要があります。(7-3 ページ)

■ 表示のみかた

宛先表は名前の 1 文字目によって、日本語、アルファベット、記号の順番で表示されます。



■ カーソルキーを使って相手先を探す

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切替えます。

2 カーソルキー下（宛先表）を押します。

3 カーソルキーで相手先を探します。



4 ［選択］を押して相手先を選択します。

［クリア］を押すと選択を解除します。



・複数の相手先を選択できます。選択された相手先にはチェックマーク が付きます。
・手動送信時 (3-11 ページ) は 1 宛先しか選択できません。［選択］が［確定］に変わり、［確定］を押すと相手先番号がすぐに入力されます。



5 ［閉じる］を押します。

■ 検索する

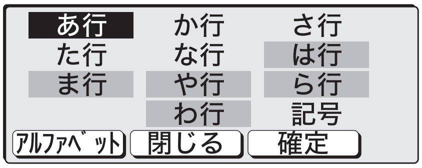
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 カーソルキー下（宛先表）を押します。

3 [▶]、[検索］と押します。

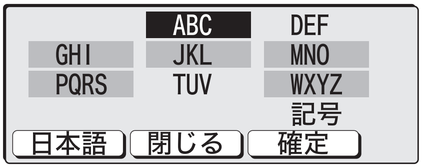
4 相手先の読み仮名の行が含まれるテンキーを押します。

・ 画面上の並びはテンキーに対応しています。例えば、「木村（きむら)」を検索する場合はテンキーの〈2〉を押します。
・ 記号の宛先を検索するには、テンキーの〈#〉を押します。
・ カーソルキーで行を選択し、[確定］を押して指定することもできます。
・ 使用されていない読み仮名は網掛けになります。

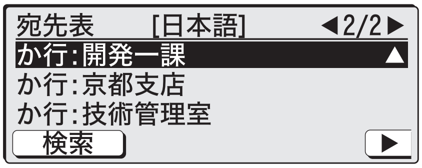




［アルファベット］を押すと、アルファベットの宛先の検索画面になります。
［日本語］を押すと、日本語の宛先の検索画面になります。



5 カーソルキーで目的の相手先を探します。



6 3-9 ページ手順 4 から操作します。

補 足

手順 5 の画面のとき、テンキーを押すと押したキーに対応した別の行の相手先名を直接表示させることができます。
例：テンキー〈2〉を押した場合
・ 検索モードが［日本語］の場合、か行の文字が含まれる相手先名を表示します。
・ 検索モードが［アルファベット］の場合、A、B、Cのいずれかの文字が含まれる相手先名を表示します。

手動送信のしかた

相手が手動受信の場合や、会話の後で送信する方法です。

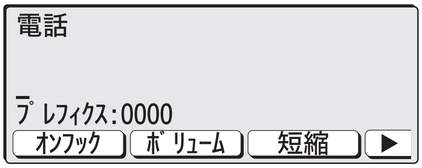
1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **自動原稿送り装置に原稿をセットします。(1-66 ページ)**

必要に応じて画質や濃度の設定を行います。(3-14 ページ)

3 **〈オンフック〉を押します。または、受話器を上げます。**

ツーという発信音を確認します。



〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「オンフック」を選択後、［確定］を押しても同じ操作になります。

4 **テンキー、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、宛先表、または受話器のテンキーで、相手先へダイヤルします。**

補 足

- 受話器を上げて電話をかけたとき、相手先が手動受信の場合は、相手先でファクスの受信操作をしてもらいます。
- 電話をきる場合は受話器をもとに戻すか、〈オンフック〉または画面上の［オンフック］を押します。

5 **“ ピープルプル ” というファクス交信音が聞こえたら、〈スタート〉を押します。**

受話器を上げてダイヤルしたときは、受話器を元に戻します。

補 足

- 手動送信の場合はガラス面を使用できません。
- 受話器をあげて送る場合は、オプション品の受話器が必要です。
- 手動送信で同報送信はできません。
- 本機がダイヤル回線に接続されている場合に、一時的にトーン発信を行うには、[▶]、[トーン］を押して “/T” 記号を入力します。
- ダイヤルした番号の前にプレフィクス番号を付加するときは、[▶]、[プレフィクス］を押して、“/N” 記号を入力します。プレフィクスについての詳細は、「ダイヤルプレフィクス」(4-8 ページ）を参照してください。
- 相手先の番号を間違えたときは、〈オンフック〉を押すか受話器をもとに戻して電話をきって、初めからやり直してください。
- 送信を中止したいときは、〈ファクス中止／確認〉を押します。(3-22 ページ)
- 通信が終了した後、受話器が受話器台に正しく置かれていないと、アラームがなります。

■ ボリュームの調整

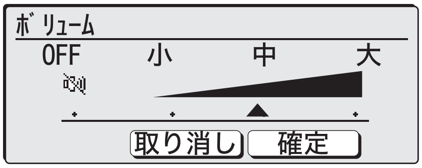
1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **〈オンフック〉を押します。**

〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「オンフック」を選択後、[確定] を押しても同じ操作になります。

3 **[ボリューム] を押します。**

4 **カーソルキーにて音量を調節し、[確定] を押します。**



リダイヤル

■ 手動リダイヤルについて

ファクスを送った相手、電話をかけた相手を最後にかけた相手から数えて 10 件まで記憶しています。

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **原稿をセットします。(1-66 ページ)**

必要に応じて、画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 **カーソルキー上(リダイヤル)を押します。**



4 **カーソルキーで相手先を選択し、[確定] を押します。**

カーソルキー下を押すごとに、2 つ前、3 つ前というようにさかのぼって、10 件分までのファクス番号・電話番号が表示されます。



5 **〈スタート〉を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

6 **宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)**

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

7 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

補 足

・ リダイヤルを保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
・ 1 件につき 40 桁までのダイヤルを記憶しています。
・ 受話器のテンキーで電話をかけた場合は記憶しません。

■ 自動リダイヤルについて

自動リダイヤルを待機しているときは、液晶ディスプレイは以下の表示となります。



・ 自動送信のとき相手が通信中などで送信できない場合は、自動的に 1 分おきに 3 回までリダイヤル（再ダイヤル）します。手動送信の場合はリダイヤルしません。
・ 自動リダイヤルの回数と間隔は、0 回～ 15 回および 0 分～ 5 分の間で変更することができます。(7-17 ページ)
・ リダイヤル待ちの通信を削除するには、〈ファクス中止／確認〉を押して通信予約を削除します。(3-22 ページ)

送信するときの便利な機能

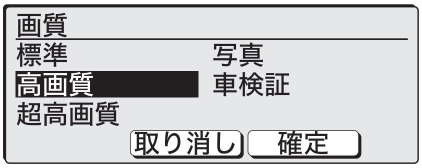
送信画質・濃度の設定

原稿や文字に合わせて、送信画質・濃度を選択します。

■ 送信画質

1 ［画質］を押します。

2 カーソルキーで希望する画質を選択し、［確定］を押します。



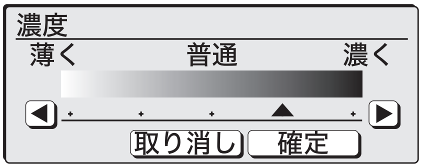
- **標　準**........ 普通の文字の原稿を送信するとき
- **高画質**........ 小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
- **超高画質** ... 精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
- **写　真**........ 写真を送信するとき
- **車検証**........ 車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読まずに送信したいとき

■ 濃度

1 ［濃度］を押します。

2 カーソルキーで希望する濃度を選択し、［確定］を押します。

［◀］［▶］を押して濃度を選択することもできます。
原稿に合わせて、5 段階に濃度を選びます。



- **薄く** ....薄く読み取りたいとき
- **やや薄く***..薄くと普通の中間
- **普通**............普通の原稿のとき
- **やや濃く***..濃くと普通の中間
- **濃く** ....濃く読み取りたいとき

*表示はありません。

補足

- 初期値を変更できます。変更方法は「送信初期値設定 (7-15 ページ)」を参照してください。
- 「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。
- 標準から写真になるほど、通信時間が長くなります。

送信方法の設定（メモリー送信／リアルタイム送信）

ファクスの自動送信には、メモリー送信とリアルタイム送信があります。

- **メモリー送信**

  原稿をメモリーに蓄積してから送信する方法です。リアルタイム送信に比べ通信時間が短くなるなど、原稿を効率よく送信できます。メモリー送信の場合は、相手先が通話中のとき自動的にリダイヤルする、自動リダイヤル機能 (3-13 ページ) が使えます。

- **リアルタイム送信**

  原稿をメモリーに蓄積せずに送信する方法です。メモリー残量が少なく原稿を蓄積できないときや、相手先が自動受信できないファクスのとき、または原稿を送る前に相手と話したいときに使用します。リアルタイム送信を使用するには、メモリー送信設定を OFF にします。

以下の操作でメモリー送信とリアルタイム送信の一時的な切り替えができます。

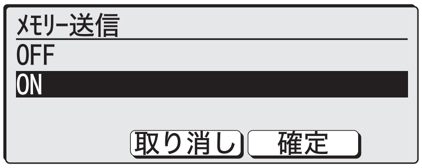
1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **〈応用機能〉を押します。**

3 **カーソルキーで「メモリー送信」を選択し、［確定］を押します。**



4 **カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、［確定］を押します。**



・ON........ メモリー送信
・OFF...... リアルタイム送信

5 **［閉じる］を押し、待機画面に戻ります。**

応用機能のアイコンが表示されます。

補 足

・ ガラス面を使用してリアルタイム送信をすることはできません。ガラス面を使用するときは、リアルタイム送信に設定していても自動的にメモリー送信に切り替わります。
・ 送信前に相手先と話すには、本機に増設電話かオプションの受話器を接続する必要があります。
・ ご愛用スイッチ (7-47 ページ) に " メモリー送信 " を割り当てると、ワンタッチでメモリー送信の ON/OFF 切り替えができます。
・ 送信終了後または〈リセット〉を押すと、メモリー送信の初期値設定に戻ります。工場出荷時には、メモリー送信は ON に設定されています。初期値を OFF に変更する場合は、" 送信初期値設定 "(7-15 ページ) を参照してください。

クイックメモリー送信について

自動原稿送り装置で複数枚の原稿を送信する場合に、メモリーに蓄積できたページから順に送信を始めます。大量の原稿を送信するときなど、トータルの作業時間を大幅に短縮することができます。

補 足

工場出荷時は、クイックメモリー送信 ON に設定されています。初期値を OFF に変更する場合は、" 送信初期値設定 "(7-15 ページ) を参照してください。

ダイヤル記号について

相手先の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。ダイヤル記号は、短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

キー名称	液晶表示	機能および用途
ポーズ	／P	ダイヤルに間隔を空けたいときに使います。また、ファクシミリ通信網を利用するときにも使います。(4-53 ページ) (例）075-111-2222/P123 #
トーン	／T	ダイヤル回線に接続している場合で､トーンを送出したいときに使います。 (例）075-111-2222/T123 #
プレフィクス	／N	プレフィクス番号を入力することができます。(4-8 ページ) (例）/N075-111-2222
第 1 発信	／D	内線からの 0 発信（第 1 発信音）のときに使います。 (例）0/D075-111-2222
第 2 発信	／S	ファクシミリ通信網や海外通信（準 ISD）のときに使います。一部、地域によっては第 2 発信音が出ない場合もありますので、その場合はポーズ（/P）を入力されることをおすすめします。 (例）161/S075-111-2222

補 足

ダイヤル記号を短縮ダイヤルやワンタッチキーと組み合わせて入力することはできません。
短縮ダイヤルやワンタッチキーでダイヤル記号を使用する場合は、短縮ダイヤルやワンタッチキーに番号を登録するときに、ダイヤル記号を入力して登録してください。

■ テンキーから送信するとき、ダイヤル記号を番号の先頭に入れる

プレフィクス (4-8 ページ) を入力したい場合など、相手先番号の先頭にダイヤル記号を入力する方法です。

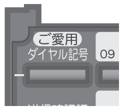
1 原稿をセットし、〈ファクス〉を押します。

2 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ダイヤル記号」を選択後、[確定] を押します。

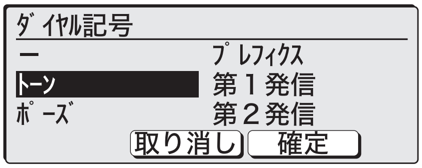
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈ダイヤル記号〉を押します。



または



3 カーソルキーでダイヤル記号を選択し、[確定] を押します。



4 テンキーで相手先番号を入力し、〈スタート〉を押します。

ワンタッチキー、短縮ダイヤルなどは使用できません。



5 宛先を確認する画面が出てきます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については " 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

6 〈スタート〉または [送信開始] を押します。

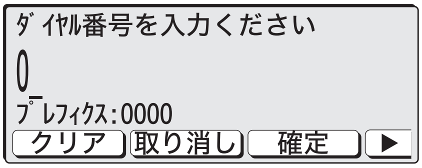
原稿の読み取りが始まります。

■ ダイヤル記号を番号の途中に入れる（使用例：０発信で使用する）

送信時にポーズを途中に挿入する場合や、短縮ダイヤルの相手先番号にダイヤル記号を入力する方法です。

1 原稿をセットし、〈ファクス〉を押します。

2 テンキーで〈0〉を入力します。

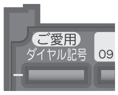


3 [▶] を押し、[ダイヤル記号] を押します。

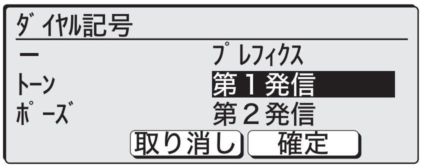
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈ダイヤル記号〉を押します。



または



4 カーソルキーで「第１発信」を選択し、[確定] を押します。



5 テンキーで相手先を入力し、〈スタート〉を押します。



6 宛先を確認する画面が出てきます。（3-6 ページ手順６～８）

宛先確認の詳細については " 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

7 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

原稿の読み取りが始まります。

発信元名の選択

設置モードの発信元名の登録 (1-50 ページ) で登録した 3 種類の発信元名を、通信ごとに選択して送信することができます。

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「発信元選択」を選択後、[確定] を押します。

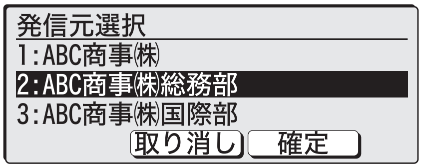
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈発信元選択〉を押します。



または



3 カーソルキーで発信元名を選択し、[確定] を押します。



4 手順 2 の画面に戻ります。[閉じる] を押します。

手順 2 で〈発信元選択〉を押したときは待機画面に戻ります。

5 送信操作を行います。

応用機能のアイコンが表示されます。

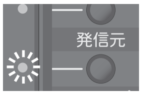
発信元名送信の設定

送信した原稿の先頭に、発信元名をつけるかつけないかの設定を行えます。
ここでは一時的な発信元送信の ON/OFF を設定します。

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **〈発信元〉を押します。**

〈発信元〉の左横にあるランプが点灯しているときは、ON（発信元名をつける）の状態で、ランプが消灯しているときは、OFF（発信元名をつけない）の状態です。



補 足

- 工場出荷時では、発信元名は ON に設定されています。初期値を変更する場合は、" 送信初期値設定 "(7-15 ページ) を参照してください。
- 初期値の状態が変更されると応用機能のアイコンが表示されます。
- ご愛用スイッチから〈発信元〉を削除した場合は、次の手順でも設定できます。
〈応用機能〉、「発信元名」を選択、[確定]、[ON] または「OFF」を選択、[確定]

済スタンプの設定

自動原稿送り装置で読み取り完了（または送信完了）した原稿に、スタンプを押して読み取り済み（または送信済み）であることを確認することができます。

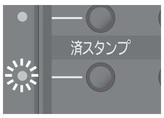
■ 済スタンプの設定

済スタンプの初期値設定は "OFF" になっています。以下の手順で済スタンプを一時的に ON にできます。

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

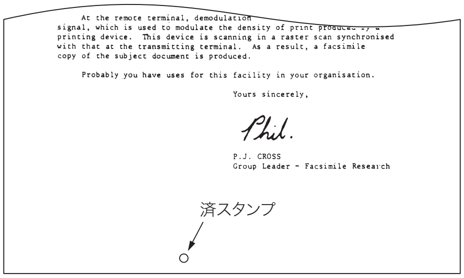
2 **〈済スタンプ〉を押します。**

〈済スタンプ〉の左横にあるランプが点灯しているときは、ON（済スタンプを押す）の状態で、ランプが消灯しているときは、OFF（済スタンプを押さない）の状態です。



補 足

- ご愛用スイッチから〈済スタンプ〉を削除した場合は、次の手順でも設定できます。
  〈応用機能〉、「済スタンプ」を選択、[確定]、「ON」または「OFF」を選択、[確定]
- 済スタンプ設定の初期値を ON に変更する場合は、“ 送信初期値 ”(7-15 ページ) を参照してください。
- 済スタンプは自動原稿送り装置で送信するときのみ有効です。
- 済スタンプの色は青色（寿命、約 30,000 枚）です。オプション品にピンク色（寿命、約 10,000 枚）もあります。
- A4 サイズの原稿では、およそ下図の位置に済スタンプが押されます。



ファクスを中止／確認する

ファクス送信を中止するときや、通信予約を確認したいときは、〈ファクス中止 / 確認〉を押します。

補 足

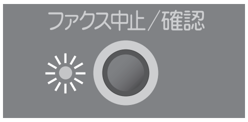
〈ファクス中止／確認〉を押して、最新の通信結果の表示や印字をすることもできます。(3-45 ページ)

ファクス中止／確認

現在通信中の文書または通信予約文書がある場合は、〈ファクス中止／確認〉が点灯します。現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

1 〈ファクス中止／確認〉を押します。

通信中の文書がある場合は、手順 5 に進みます。

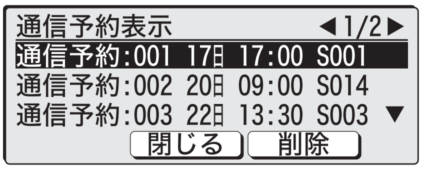


■ 通信中の文書がない場合

2 「通信予約表示」を選択し、[確定］を押します。

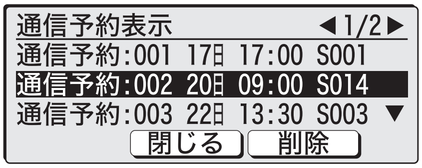


3 通信予約されている文書が表示されます。



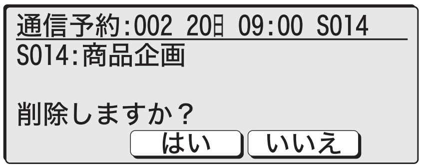
・ 通信予約文書は時刻順に表示します。画面を切り替えるにはカーソルキーを押します。
・ グループ送信は「G」、同報送信は「同報」と表示されます。

4 **通信を中止したい場合は、カーソルキーで中止したい通信文書を選択し、［削除］を押します。**



5 **［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。**

［いいえ］を押すと手順３の画面になります。通信中の文書は、「通信中」と表示されます。



- 「同報送信」「グループ送信」の通信文書を削除した場合は、すべての同報宛先が削除されます。通信中の同報送信またはグループ送信は、宛先を個別に削除することができます。(3-24 ページ)
- 選択した通信文書が現在通信中だった場合は、通信が中止されます。
- 〈リセット〉を押すと待機画面に戻ります。

同報送信・グループ送信の中止／確認

同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去したりすることができます。時刻指定などで同報送信が発呼時刻になっていないときは、宛先を個別に消去することはできません。

現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

■ 同報送信、グループ送信が通信予約中の場合

1 **〈ファクス中止／確認〉を押します。**

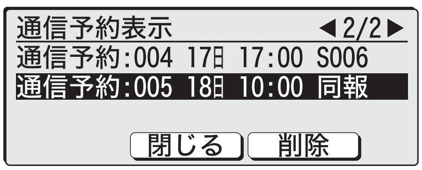
2 **カーソルキーで「通信予約表示」を選択し、［確定］を押します。**

3 **通信予約されている文書が表示されます。**

画面を切り替えるにはカーソルキーを押します。

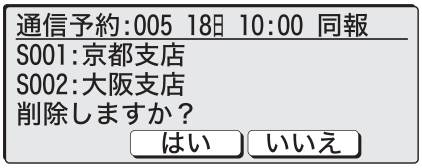
4 **通信を中止したい場合は、カーソルキーで中止したい同報送信を選択し、［削除］を押します。**

「同報」と表示されています。



5 ［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。

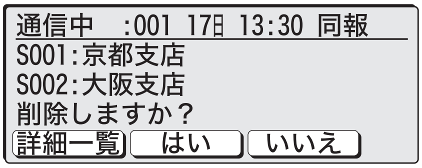
すべての同報宛先が削除されます。



■ 同報送信、グループ送信中の文書があるとき

1 〈ファクス中止／確認〉を押します。

現在通信中の同報送信、グループ送信が表示されます。



2 ［詳細一覧］を押します。

- 同報またはグループで指定されている各宛先が表示されます。
- ［はい］を押すと、実行中の同報送信またはグループ送信を中止します。

3 通信を中止したい場合は、カーソルキーで中止したい宛先を選択し、［選択］を押します。

- 複数の宛先を選択することができます。選択された宛先にはチェックマーク が付きます。
- 再度［選択］を押すと、選択を解除できます。



- **「発呼待ち」**.................. まだ発呼していない宛先です。
- **「通信中」**...................... 現在通信中の宛先です。
- **「リダイヤル待ち」**..... リダイヤル待ちの宛先です。

4 ［削除］を押します。

選択した宛先が削除されます。



5 通信予約文書の一覧に戻るときは、［閉じる］を押します。

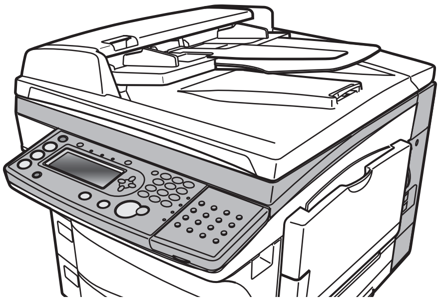
受信のしかた

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

設置モードのファクス受信モードの設定で､｢ファクス待機｣を設定してください。(1-48 ページ)

1 着信します。

2 受信を開始します。



補 足

・ 受話器がなくても、呼出音が鳴るように設定できます。(呼出ベル音：7-32 ページ)
・ ベルが鳴っている間に受話器を上げると会話できます。
・ ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。(7-17 ページ)
・ 受話器はオプション品です。(9-18 ページ)

電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

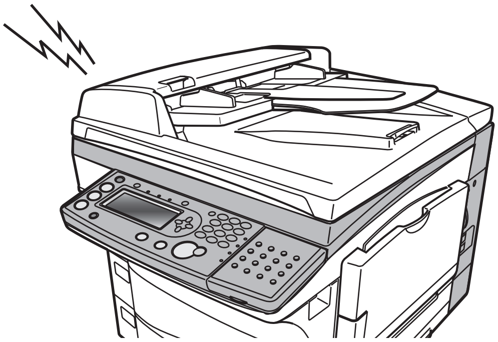
● 設置モードのファクス受信モードの設定で、「電話／ファクス待機」を設定してください。(1-48 ページ)

● 電話のとき、ベルが 2 回を超えますと、ファクスは受信状態になりますのでこちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。

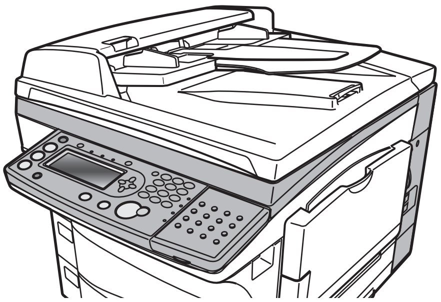
● 電話を受けるには、増設電話またはオプションの受話器 (9-18 ページ) の接続が必要です。

■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴ります。



2 受信を開始します。



補足

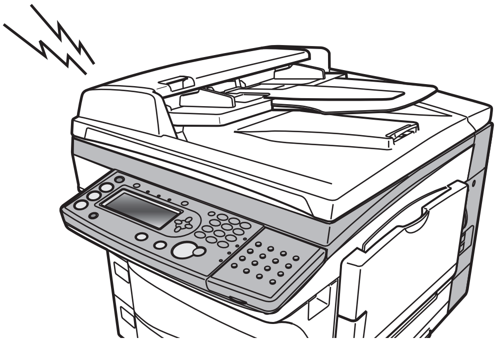
・ 受話器がなくても、呼出音が鳴るように設定できます。（呼出ベル音：7-32 ページ）

・ ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。(7-17 ページ)

■ 相手先が電話してきた場合

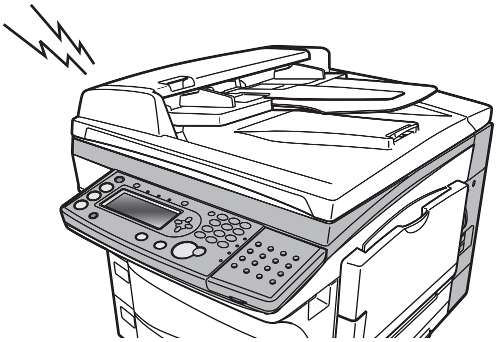
1 **ベルが鳴ります。**

増設電話のベルも鳴ります。



2 **再度ベルが鳴ります。（約 30 秒）**

ベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。



3 **相手先と会話します。**

- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、〈スタート〉を押してください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の受話器で受けたときは、すぐに〈スタート〉を押してください。
- 増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

補 足

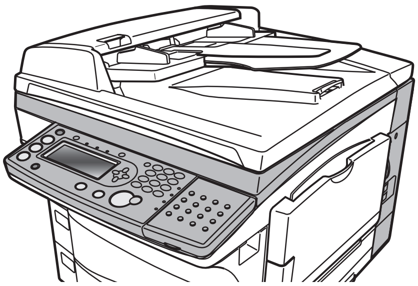
- 受話器がなくても、呼出音が鳴るように設定できます。（呼出ベル音：7-32 ページ）
- ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。(7-17 ページ)

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

- 設置モードのファクス受信モードの設定で､｢ファクス／電話待機｣を設定してください。(1-48 ページ)
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、電話のときは相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、増設電話またはオプションの受話器 (9-18 ページ) の接続が必要です。

■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 **ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。**



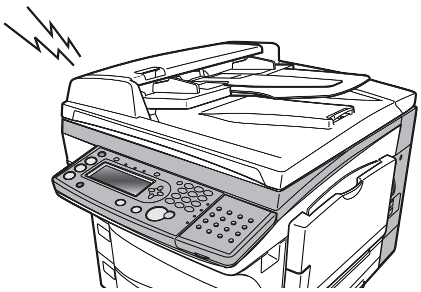
補 足

相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。

■ 相手先が電話してきた場合

1 **着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。**

・ 電話のベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。
よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
・ 相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。
・ 増設電話のベルも鳴ります。



2 **相手先と会話します。**

・相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の受話器で受けたときは、すぐに〈スタート〉を押してください。
・増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)

留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

- 設置モードのファクス受信モードの設定で、「留守／ファクス待機」を設定してください。(1-48 ページ)
- 留守番電話の接続コードを本体の「増設電話」に接続してください。(1-38 ページ)

■ 相手先がファクス送信してきた場合

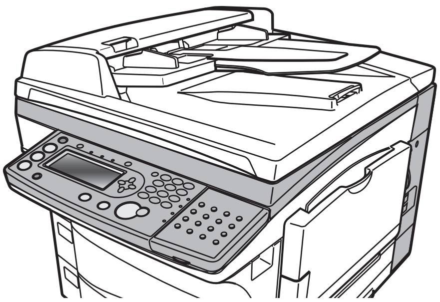
1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。



2 応答メッセージが流れます。



3 受信を開始します。



補 足

- ・ 受話器がなくても、呼出音が鳴るように設定できます。(呼出ベル音：7-32 ページ)
- ・ 留守番電話の種類により、留守番電話とファクシミリの自動切り替えが働かない場合があります。
- ・ 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- ・ 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
- ・ リモート受信はできません。

■ 相手先が電話してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。



2 応答メッセージが流れます。



3 用件録音を開始します。



補 足

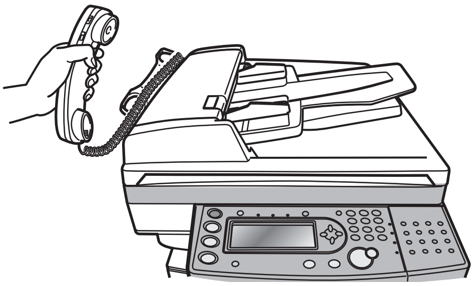
- 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」という旨の録音をしてください。
- 用件録音後、受信することができます。

電話を中心に使用する（電話待機）

受話器をとり、相手を確認してから受信を開始することができます。

- オプションの受話器が必要です。(9-18 ページ)
- 設置モードのファクス受信モードの設定で、「電話待機」を設定してください。(1-48 ページ)

1 **電話の呼出ベルが鳴ったら受話器を上げます。**
電話の場合はここで会話します。



2 **相手先と会話します。**
相手がファクスの場合は「ピーッ」などの音が聞こえるか、または無音です。

3 **〈スタート〉を押します。**

- 相手からの用件を確認して、〈スタート〉を押してから受話器を戻してください。
- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、〈スタート〉を押してください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。本機の受話器で受けたときは、すぐに〈スタート〉を押してください。
- 増設電話で受けたときは、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉とダイヤルすると受信を始めます。(受信後は受話器を戻してください)
- 自動原稿送り装置に原稿があると、〈スタート〉を押すと送信を始めてしまいます。自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

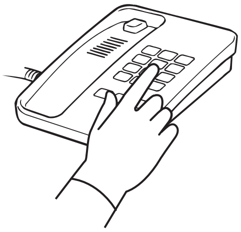
増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

1 **増設電話で電話を受けます。**

相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか､または無音です。



2 **ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉と押します。**



3 **無音になったことを確認し、受話器を戻します。受信を開始します。**



補 足

・ 通話中に増設電話のダイヤルキーで〈5〉〈5〉を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。
・ 本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。
  こちらから電話をかけたとき
  本機の受信モードが「留守／ファクス待機」のとき
  増設電話の回線種別設定と本機の回線種別設定が一致していないとき
  本機のメモリー残量がないとき
  本機の受話器からリモート受信の操作をしたとき

受信中の動作について

受信中の表示について





ファクス画面になっている場合、受信中ディスプレイには相手先が表示されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

補 足

- プリント中は用紙カセットを引き出さないでください。用紙づまりの原因になります。
- 相手先は次の優先で表示されます。1．相手先の自局 ID　2．相手先の発信元番号
- 受信中にメモリーオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 用紙トレイに収容できる枚数は 150 枚です。用紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、用紙づまりの原因となります。

代行受信について



代行受信とは、用紙切れ、用紙づまりなどでプリントできないときに、受信文書をいったんメモリーに蓄積する機能です。用紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリーに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。

補 足

- 用紙やトナーの交換は、電源を ON にしたまま行ってください。
  用紙のセット・補給 (1-56 ページ)
  用紙がつまったとき (8-14 ページ)
  ドラム、トナーカートリッジの交換 (8-2 ページ)
- メモリーには最大 250 通信、A4 サイズの当社標準原稿で約 1900 枚（標準メモリー）受信できますが、メモリーの使用量によって異なります。
- 代行受信中にメモリーオーバーしたときは、受信が中止されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでがプリントされます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 代行受信時に電源が切れた場合、メモリーに蓄積された内容は約 24 時間記憶しています。ただし、あらかじめ 24 時間以上通電する必要があります。

受信文書の記録のしかた

しきい値について

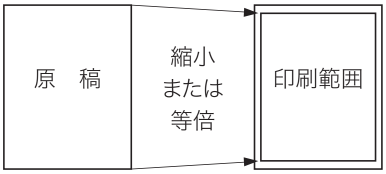
しきい値とは、受信文書が印刷範囲 (1-54 ページ)に収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をしたりして 1 枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページにプリントされることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。印刷範囲を超えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして 1 枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

補 足

しきい値は 0 ～ 85mm の間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値の設定方法は「その他の設定 (7-18 ページ)」を参照してください。

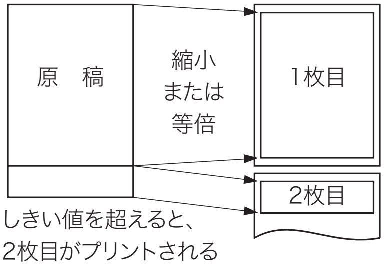
(1) しきい値を設定したとき

印刷範囲を超えた長さが、しきい値以内であれば、1 枚に縮小または切捨てされます。



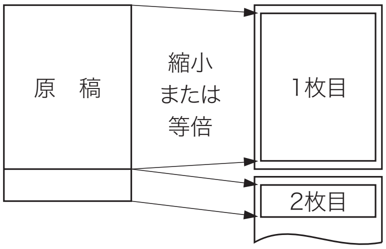
(2) しきい値を設定しないとき（しきい値＝ 0 のとき）

印刷範囲を少しでも超えると、2 枚目がプリントされます。



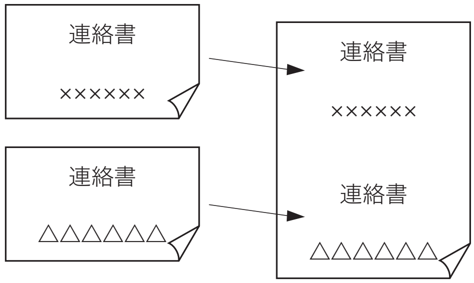
ページ分割について

印刷範囲を超えた部分がしきい値より大きいときは、ページ分割してプリントされます。



ページ合成について

A5、B5 相当の原稿を 2 枚連続して受信した場合は、用紙 1 枚に収まるように 2 枚を合成してプリントするよう設定できます。



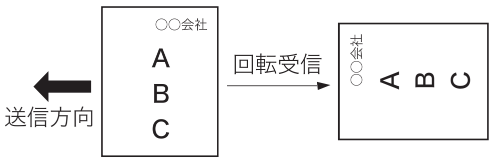
補 足

- 受信原稿と同サイズの用紙がセットされている場合は、ページ合成は無効になります。
- 受信縮小率が「自動」に設定されている場合、受信した原稿のそれぞれのページが用紙（印刷範囲）の 1/2 の長さに収まるように自動縮小されるため、同一ページ内でも縮小率が異なることがあります。
- A5 、B5 サイズより大きい原稿を受信した場合で、A5、B5 サイズを超えた部分の大きさがしきい値より大きいときは、ページ合成されません。
- ページ合成の設定方法は「その他の設定 (7-17 ページ)」を参照してください。
- 設定されている受信縮小率と受信した原稿の長さにより、プリントのしかたが異なります。詳しくは「記録のしかた一覧 (3-36 ページ)」を参照ください。

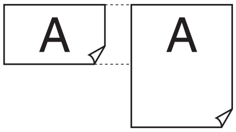
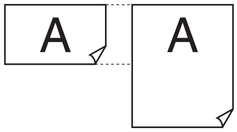
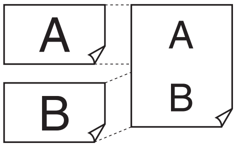
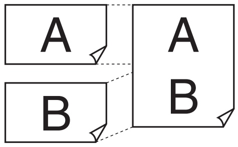
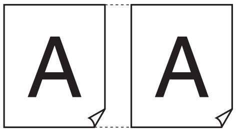
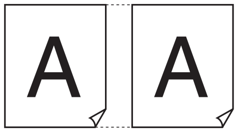
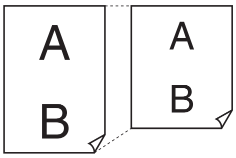
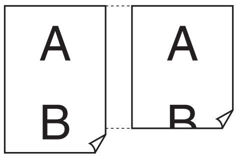
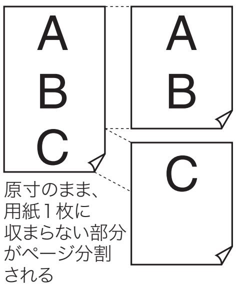
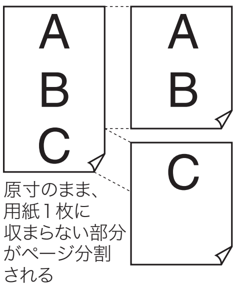
回転受信について

- 受信原稿の幅と長さを自動的に測定し、セットしてある用紙から最適な用紙を選択します。
- 受信原稿の方向と用紙の方法が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させプリントします。

【例】A4 の原稿を受信し、カセットに A4 の用紙がセットされているとき



記録のしかた一覧

受信原稿のサイズ ＼ 受信縮小率		自動	固定 100%
小さい原稿	1枚のみのとき	 原寸のまま	 原寸のまま
小さい原稿	2枚以上 連続したとき （ページ合成＝ONのとき）	 1／2に収まるよう 縮小され、 ページ合成される	 原寸のまま ページ合成される
定形サイズ原稿		 原寸のまま ※少し縮小されることがあります。	 原寸のまま
長尺原稿	印刷範囲を 超えた長さが しきい値 以内のとき	 用紙1枚に収まるよう 縮小される	 原寸のまま、用紙1枚に 収まらない部分は切捨て られる
長尺原稿	印刷範囲を 超えた長さが しきい値より 大きいとき	 原寸のまま、 用紙1枚に 収まらない部分 がページ分割 される	 原寸のまま、 用紙1枚に 収まらない部分 がページ分割 される

用紙サイズの優先順位

- 受信した原稿は、通常は送信側の原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。
- 印字カセットが指定されている場合、「OFF」に指定したカセットからは印字しません。(7-25 ページ)
- 同じサイズの用紙が無いときは、次の優先順位にしたがって用紙が選択されます。すべての用紙が無くなったときは代行受信を行います。

送信側の原稿サイズ	用紙の優先順位				
A3	B4 (86%に縮小)	A4 (70%に縮小)	B5R (61%に縮小)	A5R (50%に縮小)
B4	B4	A4 (81%に縮小)	B5R (70%に縮小)	A5R (57%に縮小)
A4	A4	B4	B5R (86%に縮小)	A5R (70%に縮小)
B5R	B5R	A4	B4	A5R (81%に縮小)
A5R	A5R	B5R	A4	B4

通信を管理する

通信を管理するために以下の機能があります。

通信管理レポート

・ 最新の送信、受信合わせて 100 通信分の通信状況を印字できます。

本機は最新の送信・受信の合計 100 通信の通信管理記録を記録しており、それ以前の通信管理記録は順次自動消去します。

ファクス送信レポート

最新の 100 通信のうち、送信の記録を印字します。

ファクス受信レポート

最新の 100 通信のうち、受信の記録を印字します。

自動印字をセットすると、最新の送信・受信が合わせて 100 通信になった場合に、ファクス送信レポート・ファクス受信レポートを同時に印字します。

通信管理日報

・ 常に最新の通信状況だけ印字したい場合は、通信管理日報を印字します。通信管理日報で一度印字した通信状況は、再度通信管理日報を印字しても記載されません。

例えば、月曜日から金曜日までは毎日終業時に日報として印字。月曜日の始業時には、金曜日に印字した以降（金曜終業時から月曜始業時まで）の通信状況を印字、という使いかたができます。

・ 指定した時刻に通信管理日報を自動印字することができます。(3-40 ページ)

送信確認証

・ 1 送信ごとの通信枚数や通信モードなどの通信結果を印字して確認できます。

・ 送信確認証は送信のたびに毎回印字することもできます。また、1 通信ごとに印字する・しないを切り替えることもできます。(3-43 ページ)

通信履歴の表示・通信結果の印字

・ 画面上で 75 通信分の通信履歴を確認できます。また、通信ごとの通信結果を印字することもできます。(3-45 ページ)

通信予約リスト

・ 通信予約リストをプリントできます。(3-47 ページ)

通信予約原稿の印字

・ 時刻指定送信など、通信予約している原稿を印字することができます。

通信管理レポートの印字

最新の送信、受信を合わせて 100 通信分の通信状況を印字できます。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



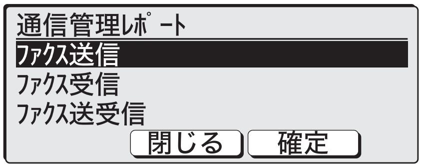
または



2 カーソルキーで「通信管理」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「通信管理レポート」を選択し、[確定] を押します。

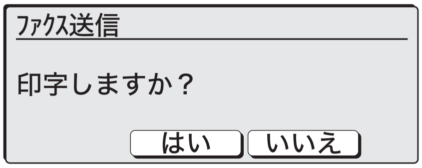
4 カーソルキーで印字したい通信管理レポートを選択し、[確定] を押します。



- 送信結果のみを印字するときは、「ファクス送信」を選び、受信結果のみを印字するときは「ファクス受信」を選びます。
- 送信・受信両方の結果を印字するときは「ファクス送受信」を選びます。

5 [はい] を押します。

選択した通信管理レポートを印字します。



補 足

- 通信管理レポートの印字を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
- ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
  〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押す。

通信管理レポートの自動印字

最新の送信、受信があわせて 100 通信になったときに、「ファクス送受信」の通信管理レポートを自動印字することができます。時刻設定を行うと通信管理日報としてご利用でき、毎日指定した時刻に自動的に印字します。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈3〉、［確定］と押します。

■ 自動印字のみを行う場合

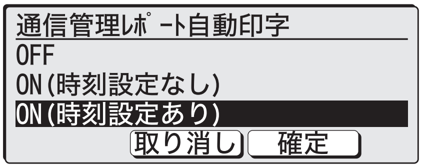
2 カーソルキーで「ON（時刻設定なし）」を選択し、［確定］を押します。

自動印字が設定され、待機表示に戻ります。



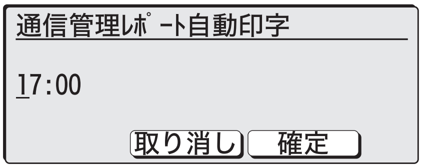
■ 時刻を設定して自動印字を行う場合

2 カーソルキーで「ON（時刻設定あり）」を選択し、［確定］を押します。



3 テンキーで時刻を入力し、［確定］を押します。

自動印字の時刻が設定され、待機表示に戻ります。



補 足

「ファクス送信」だけ、または「ファクス受信」だけの通信管理レポートの自動印字はできません。

通信管理レポートのみかた

印字例

ABC商事㈱　　　　Fax:1234567890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　受信管理レポート　＊＊

P.1　　　　2011年 3月17日(木) 13:30

No.	相手先名	画質ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
003	大阪支店	標準	03/17 20:50	0'15"	1		#R.1.2	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
002	1112222	標準	03/17 20:49	0'12"	1		# O K	
001	ABCｼｮｳｼﾞ							

ABC商事㈱　　　　Fax:1234567890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　送信管理レポート　＊＊

P.1　　　　2011年 3月17日(木) 13:30

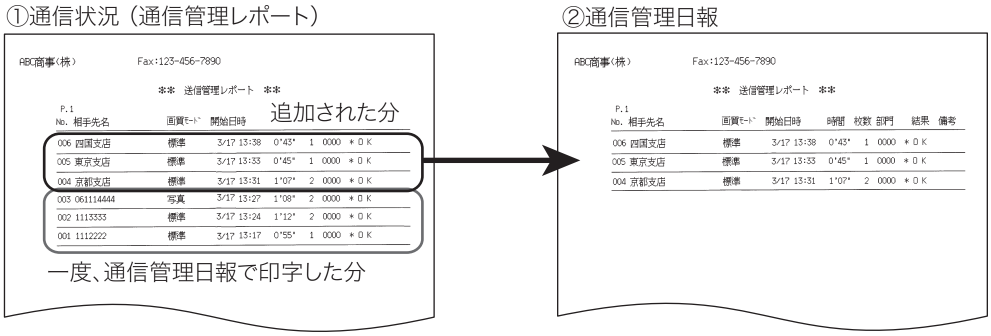
No.	相手先名	画質ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	部門	結果	備考
001	京都支店	標準	03/18 13:30	0'16"	1		#T.2.1	
003	京都支店	標準	03/17 20:50	0'15"	1		#T.2.1	
002	1112222	高画質	03/17 20:49	0'12"	1		# O K	
001	大阪支店	超高画質	03/17 20:48	0'14"	1		# O K	
1	2	3	4	5	6	7	8	9

1. No.
   通信の番号です。
2. 相手先名
   以下の順に記録されます。
   (1) 短縮ダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
   (2) 短縮ダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルキーで指定した電話番号（送信のみ）
   (3) 相手先に登録されている自局 ID
   (4) 相手先に登録されている発信元番号
   (5) 空白
3. 画質モード
   通信した画質です。
4. 開始日時
   通信を開始した時刻です。
5. 時間
   通信の開始から終了までの所要時間です。
6. 枚数
   正常に通信した枚数です。
   送信エラーの場合、エラーが発生したページは相手機によって印字されている場合があります。
7. 部門
   部門管理を設定しているときに、部門番号が記録されます。
8. 結果
   通信結果です。
   ・OK
   　正常終了しました。
   ・＊
   　ECM モードで通信しました。
   ・#
   　スーパー G3 で通信しました。
   ・エラーコード
   　異常終了です。もう一度送信してください。（エラーコードについては8-24 ページ参照）
9. 備考
   ・ポーリング
   　ポーリングです。
   ・F コード送信
   　F コード送信です。
   ・F コードポーリング
   　F コードポーリングです。
   ・F コード親展
   　F コード親展通信です。
   ・F コード中継
   　F コード中継指示通信です。
   ・F コード掲示板
   　F コード掲示板通信です。
   ・同報
   　同報通信です。
   ・手動
   　手動送信または受信です。
   ・ワープ転送
   　ファクスワープ通信です。

通信管理日報を印字する

印字する都度、最新の通信状況を記載した送信管理レポートと受信管理レポートを印字します。一度印字した通信状況は記載されませんので、常に最新の通信状況を確認できます。

- 通信状況をすべて印字したい場合は、通信管理レポートを印字してください。
- あらかじめ通信管理レポートの自動印字を設定する必要があります。(3-40 ページ)

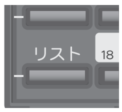


1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



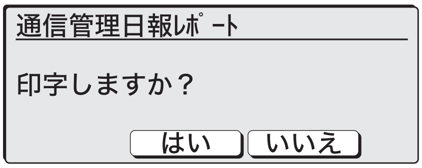
または



2 カーソルキーで「通信管理」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「通信管理日報レポート」を選択し、[確定] を押します。

4 通信管理日報を印字する場合は [はい] を押します。



補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈5〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

一時的な送信確認証の設定

送信確認証の設定で登録した状態にかかわらず、一時的に送信確認証の発行を ON/OFF することができます。この設定は、設定した直後の通信 1 回のみに有効です。直後の通信が完了すると送信確認証の設定で登録した状態に戻ります。

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **ワンタッチキーパネルをめくり、〈送信確認証〉を押します。**

送信確認証の設定が変更され、応用機能のアイコンが表示されます。
・送信確認証の設定が「OFF」の場合 ･･･「ON」になり送信確認証を発行します。
・送信確認証の設定が「ON」の場合 ･･･「OFF」になり送信確認証を発行しません。



補 足

ご愛用スイッチから〈送信確認証〉を削除した場合は、次の手順でも設定できます。
〈応用機能〉、「送信確認証」を選択、[確定]、「ON」または「OFF」を選択、[確定]

送信確認証の設定

送信確認証の設定を ON にすると、送信するたびに送信確認証を印字します。

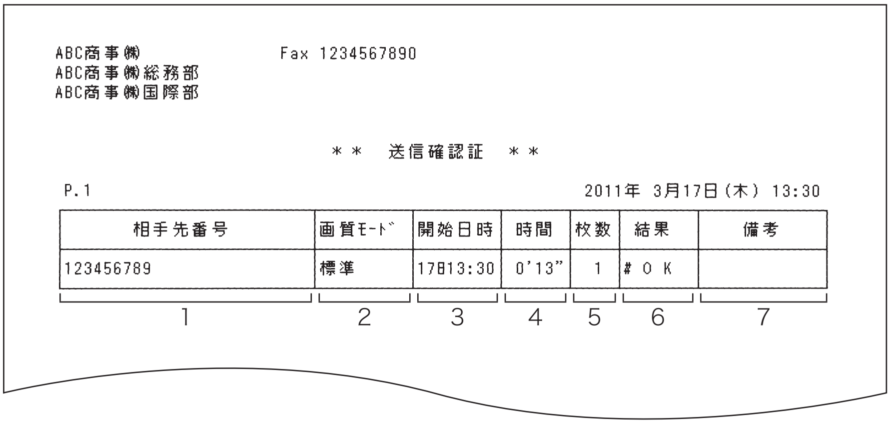
1 **〈機器設定 / 登録〉、〈5〉、〈0〉、〈2〉、〈1〉、[確定] と押します。**

2 **カーソルキーで「ON」を選択し、[確定] を押します。**



送信確認証のみかた

印字例



1. 相手先番号

以下の順に記録されます。

(1) 短縮ダイヤルなどに登録されている相手先名

(2) 短縮ダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号

2. 画質モード

通信した画質です。

3. 開始日時

通信を開始した時刻です。

4. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

5. 枚数

通信した枚数です。

6. 結果

通信結果です。

・OK
　正常終了しました。

・＊
　ECM モードで通信しました。

・＃
　スーパー G3 で通信しました。

・エラーコード
　通信エラーのときはエラーコードが表示されます。(8-24 ページ)

7. 備考

・同報
　同報送信です。

・手動
　手動送信です。

・F コード送信
　F コード送信です。

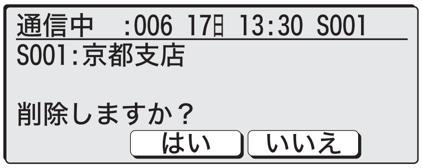
通信履歴の表示と通信結果の印字

過去に通信した通信履歴（75 通信分）を表示できます。また、1 通信ごとの通信結果を表示または印字することもできます。

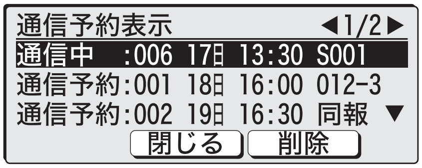
1 〈ファクス中止／確認〉を押します。

・ 通信中の文書がある場合は手順 2、3 を行います。
・ 通信中の文書が無い場合は手順 4 に進みます。

2 通信中の宛先内容が表示されます。
［いいえ］を押します。



3 ［閉じる］を押します。



4 カーソルキーで「履歴」を選択し、［確定］を押します。

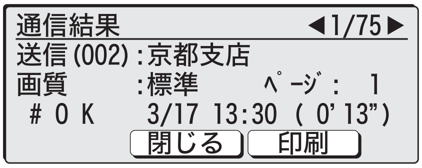


5 カーソルキーで「通信結果」を選択し、［確定］を押します。



6 通信結果が表示されます。

画面を切り替えるにはカーソルキーを押します。

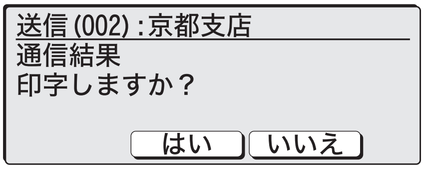


7 通信結果を印字する場合は［印刷］を押します。

・送信結果の場合は「送信」を、受信結果の場合は「受信」を印字します。
・〈リセット〉を押すと待機画面に戻ります。

8 ［はい］を押します。

通信結果を印字します。



補 足

オプションの Informatin server +Plus II を装着している場合は、手順 5 で「I Fax 送信履歴表示」「I Fax 受信履歴表示」が選択できます。履歴は送受信合わせて 50 通信分表示できます。



印字例

ABC商事㈱
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

Fax 123-456-7890

＊＊ 送信結果 ＊＊

No.	002
相手先名	京都支店
画質ﾓｰﾄﾞ	標準
開始日時	03/17 16:20
時間	0'13"
枚数	1
部門	
結果	#ＯＫ
備考	同報

通信予約リストの印字

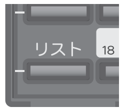
メモリーに蓄積された原稿で、まだ送信を完了していない原稿の一覧を印字することができます。

1 **〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。**

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または



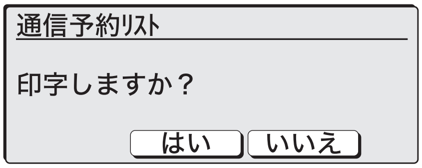
2 **カーソルキーで「通信管理」を選択し、[確定] を押します。**

3 **「通信予約リスト」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。**

通信予約がない場合は「通信予約されていません」と表示されます。

4 **[はい] を押します。**

通信予約リストを印字します。



補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈1〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

印字例

ABC商事㈱　　　　　Fax 123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　通信予約リスト　＊＊

P.1　　　　　　　　　　　　　2011年 3月17日（木） 13:30

No.	相手先番号	送信時刻	備考
予約番号:001	S001,S002	17日17:00	同報
予約番号:002	1234567890,S001	18日09:00	同報
予約番号:003	S003	18日15:30	時刻指定
予約番号:004	S001	20日10:30	時刻指定
予約番号:005	S001,S002,S003,S004,S005,S006	21日11:00	同報
予約番号:006	S006	23日14:00	時刻指定
予約番号:007	1234567890	24日09:00	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
予約番号:008	S004	23日09:00	Fｺｰﾄﾞ送信

1. No.
   通信予約番号です。

2. 相手先番号
   指定した相手先の電話番号です。

3. 送信時刻
   予約した時刻です。この時刻になると通信を開始します。

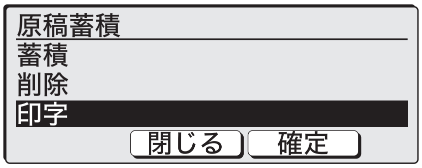
4. 備考
   指定した機能が印字されます。

通信予約原稿の印字

時刻指定送信など、通信予約している原稿を印字して確認することができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定] と押します。

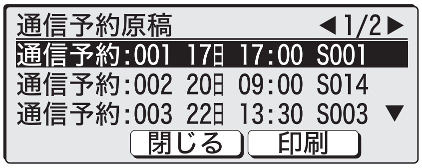
2 カーソルキーで「印字」を選択し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで「通信予約原稿」を選択し、[確定] を押します。

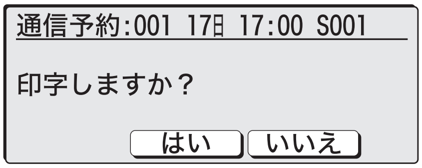


4 カーソルキーで印字したい通信予約原稿を選択し、[印刷] を押します。



5 [はい] を押します。

選択した通信予約原稿を印字します。



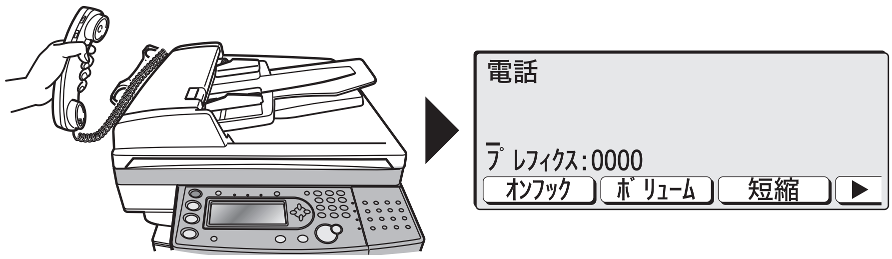
選択した通信予約文書がリアルタイム送信、またはポーリング受信の場合は、印字できません。

電話のしかた

電話をかける

電話をかけるには、本機に増設電話またはオプションの受話器が接続されている必要があります。

1 受話器を取り上げます。または、〈オンフック〉を押します。



2 相手先を指定します。

■ テンキーで入力する

テンキーまたは受話器のダイヤルキーを押して、相手先の番号を入力します。

■ ワンタッチキーを使う

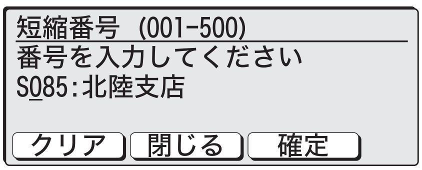
相手先が登録されている、ワンタッチキーを押します。



ワンタッチキーの 01 ～ 68 は、短縮ダイヤルの 001 ～ 068 と対応しています。例えば、短縮ダイヤル 002 に相手先を登録した場合、ワンタッチキーの 02 を押しても同じ相手先を指定できます。

■ 短縮ダイヤルを使う

[短縮] を押し、テンキーで目的の 3 桁の短縮番号（001 ～ 500）を入力後、[確定] を押します。



■ 宛先表を使う

カーソルキーの下（宛先表）を押します。相手先を選択し、[確定］を押します。



宛先表の使い方については、「宛先表を使用する」(3-9 ページ) を参照してください。

■ リダイヤルするとき

カーソルキーの上（リダイヤル）を押します。リダイヤルする番号を選択し、[確定］を押します。



補 足

リダイヤルは、本体で電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。オプションの受話器で電話をかけた場合、リダイヤルはできません。

3 回線がつながったら相手先と会話します。

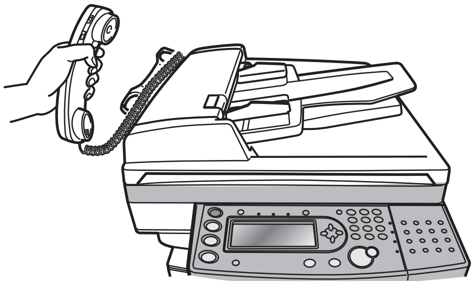
〈オンフック〉を押したときは、受話器を上げると会話できます。

補 足

- ご愛用スイッチから〈オンフック〉を削除した場合は､ファクスの応用機能メニューから､「オンフック」を選択後、[確定］を押します。
- 本体側の電源が OFF のときも、受話器内側のダイヤルキーから電話をかけることができます。

電話を受ける

1 ベルが鳴ったら受話器を取り上げます。



2 回線がつながったら相手先と会話します。

増設電話側を上げたときは、増設電話で会話ができます。

補足

- 電話を受けるには、本機に増設電話またはオプションの受話器が接続されている必要があります。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたり、無音のときは相手はファクスです。〈スタート〉を押すと受信できます。
- 自動原稿送り装置に原稿がセットされている場合は、〈スタート〉を押すと送信になります。
- 〈オンフック〉を押したときのボリュームを調整するには、[ボリューム] を押しカーソルキーで音量を調整した後、[確定] を押します。(3-12 ページ)

第４章

ファクス応用機能

ファクス応用機能

多数の相手に一度に送信する

同報送信機能を使うと、一回の操作で最大 530 箇所の相手に同じ原稿を送信することができます。

同じ相手先グループに送信することが多い場合は、グループ送信機能 (4-5 ページ) を使うと便利です。

同報送信

1 原稿をセットし〈ファクス〉を押します。

原稿のセット方法については、" 原稿セットのしかた "(1-66 ページ) を参照してください。

2 必要に応じて画質や濃度を設定します。

設定のしかたは、" 送信画質･濃度の設定 "(3-14 ページ) を参照してください。

3 相手先のファクス番号を入力します。

■ テンキーで入力する

テンキーを押して相手先の番号を入力し、［確定］を押します。宛先は 30 件まで入力できます。

■ ワンタッチキーを使う

相手先が登録されている､ワンタッチキーを押します｡最大 68 件まで入力できます｡ワンタッチキーの 01 ～ 68 は、短縮ダイヤルの 001 ～ 068 と対応しています。例えば、短縮ダイヤル 002 に相手先を登録した場合、ワンタッチキーの 02 を押しても同じ相手先を指定できます。

■ 短縮ダイヤルを使う

〈短縮送信〉を押し､テンキーで目的の 3 桁の短縮番号（001 ～ 500）を入力し､［確定］を押します。最大 500 件まで入力できます。

〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「短縮送信」を選択後［確定］を押して、短縮番号の入力画面を表示することもできます。

■ 宛先表を使う

カーソルキーの下を押して、宛先表を表示させます。相手先を選択し、［閉じる］を押します。

宛先表の使い方については､" 宛先表を使用する "(3-9 ページ) を参照してください。

補 足

- 必要に応じて上記手順を繰り返し、その他の番号を入力します。
- ［宛先確認］を押すと、入力した番号の確認や削除ができます。「入力した相手先の番号を確認および削除する（宛先確認）」(4-4 ページ) を参照してください。

4 すべての宛先を入力後、〈スタート〉を押します。

5 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

6 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補 足

- 短縮ダイヤルで指定した場合、入力した番号の相手先をワンタッチキーで再度指定すると、「もう既に入力されています」と表示されます。
- 操作を中止するときは、〈リセット〉を押してください。
- 読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
- ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。

■ 入力した相手先の番号を確認および削除する（宛先確認）

相手先番号を入力した後、［宛先確認］を押すと入力した相手先番号の確認および削除ができます。「同報宛先確認」の設定を ON にしている場合は、〈スタート〉を押した後に宛先確認の画面（手順 2）が表示されます。

1 宛先入力後に、［宛先確認］を押します。



2 宛先確認画面が表示されます。



カーソルキーで表示を移動できます。

3 宛先に間違いがないか確認し、送信するときは、[送信開始] を押します。

宛先を削除する場合は、カーソルキーで削除する宛先を選択し、［削除］を押して [はい] を押します。



補 足

割り込み通信について

同報通信中に、リアルタイム送信 (3-15ページ)、ポーリング (4-14ページ) を行うと、同報送信に割り込んで優先的に実行されます。急いで送信、ポーリング（相手先は 1 宛先のみ）したいときに便利です。

グループ送信

複数の送り先を 1 つのグループに登録しておくと、原稿セットを 1 回するだけで複数の相手先へ送信できます。

補 足

- この機能を使うには、短縮ダイヤルの登録のときにグループ番号を登録しておくか (7-3 ページ)、グループ番号に短縮ダイヤルを割り付けておきます。(7-12 ページ)
- グループに名称を登録することができます。(7-13 ページ)

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

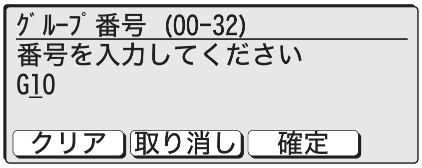
2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 〈応用機能〉を押し、「グループ送信」を選択後、[確定] を押します。



4 テンキーで目的のグループ番号 (00 ～ 32) を入力し、[確定] を押します。



グループ番号に 0 を入力すると、すべてのグループ (1 ～ 32) を指定できます。

6 〈スタート〉を押します。

7 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

8 〈スタート〉または [送信開始] を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補 足

- グループ番号の入力後は、[宛先確認] を押すと入力したグループ番号の確認と削除ができます。(4-4 ページ)
- 操作を中止するときは、〈リセット〉を押してください。
- 読み取りを中止するときは、〈ストップ〉を押してください。
- ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。

送信時刻を指定する（時刻指定送信）

通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

- 1 カ月先まで、送信時刻を指定できます。時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
- その他の応用機能（同報送信、ポーリング、F コード送信、F コードポーリング、ファクス＆コピー）と組み合わせて指定することもできます。

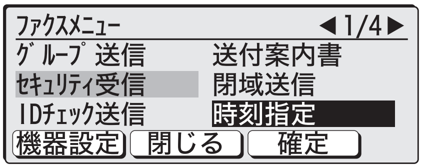
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

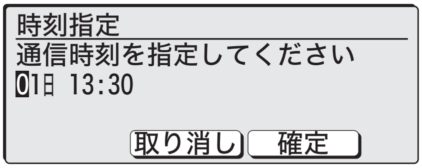
必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで「時刻指定」を選択し、[確定］を押します。



5 テンキーで送信日時を入力し、[確定］を押します。



・ 数値の入力はカーソルキーの上下でも可能です。
・ 時刻は 24 時間制です。

6 [閉じる］を押して待機画面に戻ります。

7 相手先のファクス番号を入力します。

番号の入力方法についての詳細は、“ 基本的な送信のしかた ”(3-5 ページ) を参照してください。

8 〈スタート〉を押すと原稿読み取りを開始します。

9 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

10 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補足

- 送信日時を変更する場合は、予約した通信を消去してから再度設定し直します。
- ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。
- リアルタイム送信の場合は、指定した送信時刻になるまで原稿が自動原稿送り装置にセットされたままになり、別の送信をすることはできません。

ダイヤルするときに番号を追加する（ダイヤルプレフィクス）

ダイヤル記号（/N）に登録した番号やダイヤル記号を、相手先番号の先頭に付加してダイヤルすることができます。ダイヤル記号の詳細については、「ダイヤル記号について」(3-16 ページ) を参照してください。

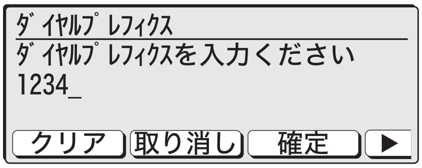
プレフィクス番号を登録する

［プレフィクス］（ダイヤル記号：/N）に登録する番号を設定します。

1 **〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈4〉、〈1〉、［確定］と押します。**

2 **テンキーでプレフィクスとして登録する番号を入力し、［確定］を押します。**

番号を間違えて入力した場合は、［クリア］を押して消去してください。



補 足

- 工場出荷時は、”0000” が登録されています。
- 最大 40 桁まで入力できます。トーン、ポーズは 2 桁分入力されます。
- トーン (/T)、ポーズ (/P) も入力できます。［▶］を押してタッチパネルキーを切り替えてください。
- プレフィクス記号 (/N) に登録された番号は、テンキーを使って相手先番号を入力したときに表示されます。



■ 使用例 1　送信時に使用する

- 自動ダイヤルの場合は、テンキーを使用するときだけプレフィクス番号を利用できます。プレフィクス番号の後に、ワンタッチキー・短縮ダイヤルを挿入することはできません。
- 手動送信や電話の場合は、プレフィックス番号の後にワンタッチキー・短縮ダイヤルを使用することができます。

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

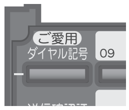
2 原稿をセットします。

3 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ダイヤル記号」を選択後、[確定] を押します。

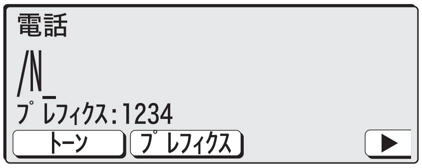
または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈ダイヤル記号〉を押します。



または



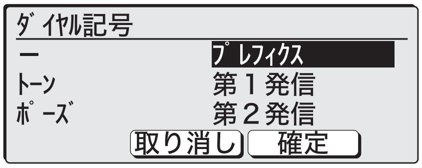
オンフックや受話器をあげたときは、[▶] [プレフィクス] と押します。



手順 6 に進みます。

5 カーソルキーで「プレフィクス」を選択し、[確定] を押します。

プレフィクスのダイヤル記号「/N」が入力されます。



6 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、[確定] を押します。



7 〈スタート〉を押します。

入力した番号の先頭にプレフィクス番号を付けて送信を開始します。

8 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

9 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

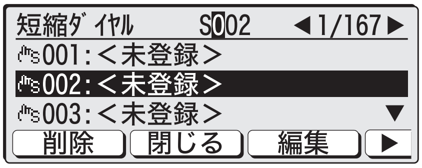
原稿の読み取りが始まります。

■ 使用例 2　短縮ダイヤルに登録する

プレフィクス番号を短縮ダイヤルに登録することができます。短縮ダイヤルの詳しい登録方法は 7-3 ページを参照してください。

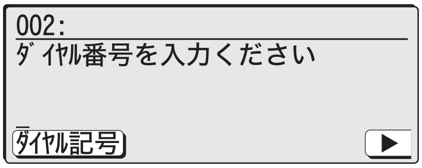
1 〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 短縮ダイヤル番号（S001 ～ S500）を選択し、［編集］を押します。

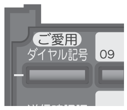


3 [▶]、[ダイヤル記号] と押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈ダイヤル記号〉を押します。



または



4 カーソルキーで「プレフィクス」を選択し、［確定］を押します。

ダイヤル記号「/N」が入力されます。

5 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、［確定］を押します。



6 相手先名、読み仮名などを登録します。

補 足

登録済みの短縮ダイヤルの場合は、手順 2 の後、「ダイヤル番号」を選択し［編集］を押します。

原稿と一緒に送付案内書を送る

送信原稿と一緒に、簡単な文書の入った送付案内書を自動的につけて送信することができます。

文書の登録

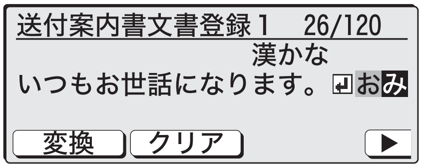
半角文字では 120 文字、全角文字では 60 文字までの文書を 3 件登録できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈5〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで登録したい文書を選択し、[確定] を押します。



3 文書を入力します。



- 半角文字では 120 文字、全角文字では 60 文字まで登録できます。文字入力については 1-26 ページを参照してください。
- [内容表示] を押すと、入力した内容を確認することができます。確認後、[閉じる] を押すと、入力画面に戻ります。
- [改行] を押すと、印字したときに文書が改行されます。5 回まで改行できます。改行は全角 1 文字として数えられます。
- [内容表示] [改行] 等は、[▶] を押すと表示されます。

4 入力後、[確定] を押します。

5 続けてほかの文書を登録する場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

待機画面に戻るには、〈リセット〉を押します。

送付案内書の印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または



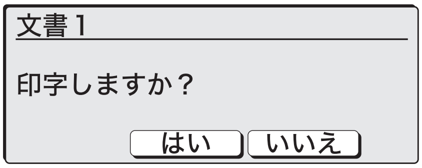
2 カーソルキーで「その他のリスト」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「送付案内書文書」を選択し、[確定] を押します。

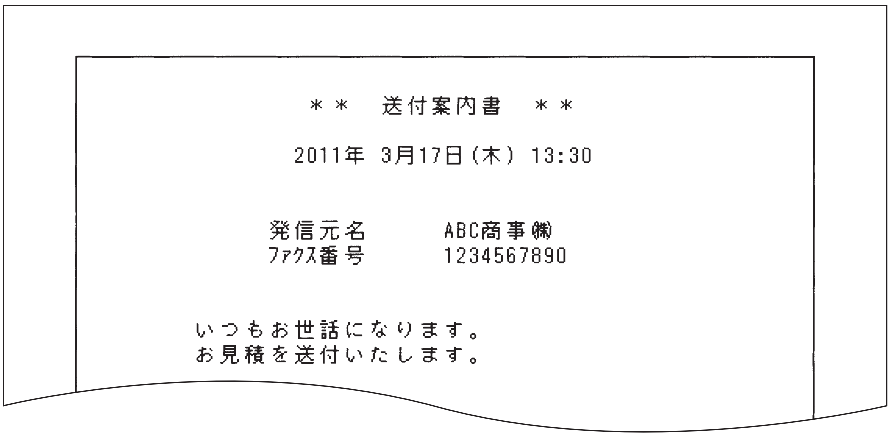
4 印字したい文書を選択し、[確定] を押します。



5 [はい] を押します。



印字例



＊＊　送付案内書　＊＊

2011年 3月17日（木） 13:30

発信元名　　ABC商事㈱
ﾌｧｸｽ番号　　1234567890

いつもお世話になります。
お見積を送付いたします。

補 足

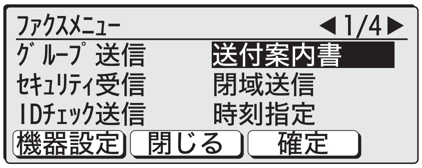
ショートカットで操作する場合には、以下の手順を行います。
〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈5〉、[確定] と押し、印字したい文書を選択し、[はい] を押す。

送付案内書の設定　初期値：OFF

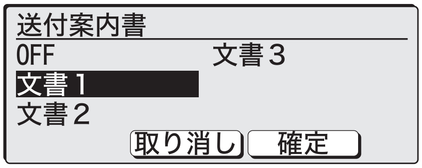
送信を行う前に送付案内書の設定を行います。

1 〈応用機能〉を押します。

2 カーソルキーで「送付案内書」を選択し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで送信したい文書を選択し、[確定] を押します。



- 送信しない場合は「OFF」を選択します。
- 常に送付案内書を送信することもできます。(7-16 ページ)

4 送付案内書が設定されます。[閉じる] を押し、待機画面に戻します。

原稿を送信すると、送付案内書が原稿の 1 枚目の前に送信されます。

ポーリング通信

ポーリング：

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させることができます。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

パスコードポーリング：

同じパスコードを設定した相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させることができます。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

ポーリング原稿蓄積：

原稿をあらかじめメモリーに蓄積しておくと、相手先からの操作で自動的に送信できます。料金は相手先の負担になります。

ポーリング原稿蓄積

1 **原稿をセットします。(1-66 ページ)**

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

2 **〈機器設定／登録〉、〈8〉、［確定］と押します。**

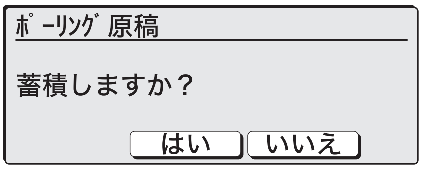
3 **カーソルキーで「蓄積」を選択し、［確定］を押します。**

4 **カーソルキーで「ポーリング原稿」を選択し、［確定］を押します。**



5 **ポーリング原稿を蓄積する場合は［はい］を押します。**

原稿の読み取りを開始します。



補 足

「次の原稿」を「あり」に設定することにより、別の原稿を続けて読み取ることができます。

ポーリング原稿の削除

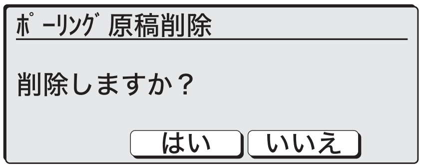
1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「ポーリング原稿」を選択し、[確定] を押します。



4 ポーリング原稿を削除する場合は [はい] を押します。



ポーリング原稿の印字

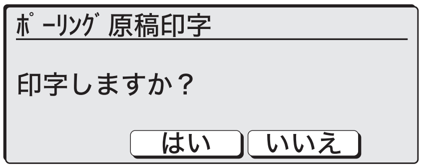
1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「印字」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「ポーリング原稿」を選択し、[確定] を押します。



4 ポーリング原稿を印字する場合は [はい] を押します。



相手の原稿を取り出す（ポーリング）

相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させる機能です。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

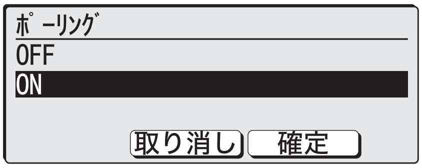
パスコードを登録すると、相手機とパスコードが一致する場合のみポーリング送信できるようになります。(6-6 ページ)

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ポーリング」を選択し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。



4 [閉じる] を押します。

ポーリングが ON になると、応用機能のアイコンが表示されます。

5 相手先のファクス番号を入力します。

「送信のしかた」手順 4 (3-5 ページ) を参照してください。

6 〈スタート〉を押します。

7 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

8 〈スタート〉または [送信開始] を押します。

原稿の読み取りが始まります。

補 足

- 〈スタート〉を押す前に送信時刻を指定することができます。(4-6 ページ)
- 〈スタート〉を押した後は、〈ファクス中止／確認〉で消去、確認できます。(3-22 ページ)

Fコード通信をする

Fコード通信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録されたFコードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信、中継指示通信を利用できます。

・ Fコードボックスは20個まで登録できます。（「Fコードボックスの登録」4-18ページ）
・ 1つのボックスには30件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

- サブアドレスは、メモリー内に設定されたさまざまなFコードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）
- パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

Fコード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

■ Fコード親展通信

通信相手にFコード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。
親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書をプリントできませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

・ **Fコード親展送信をする場合** ..... サブアドレスを使用した送信 (4-29ページ)
・ **Fコード親展受信した場合** .... 蓄積原稿の印字 (4-33ページ)

■ Fコード掲示板通信

通信相手にFコード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

・ **相手先の掲示板へ送信する場合**............................サブアドレスを使用した送信 (4-29ページ)
・ **相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合**....サブアドレスを使用した受信 (4-30ページ)
・ **自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合**....................掲示板への原稿蓄積 (4-31ページ)

■ F コード中継指示通信

中継機に F コード中継ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスを指定することにより、中継指示通信ができるようになります。（必要に応じてパスワードを指定できます）

中継機側では、ボックスに登録されている相手先（配信先）に、指示された原稿を送信（配信）します。

- **中継指示送信する場合**.........あらかじめ通信相手のファクスに設定されている、中継指示通信用のボックスのサブアドレスやパスワードを確認して、F コード送信をしてください。(4-29 ページ)
- **本機が中継機となる場合** ....F コードボックスの登録 (4-18 ページ) で中継用のボックスを設定してください。

F コードボックスの登録

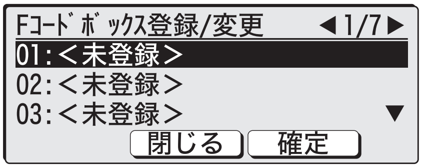
F コード通信を利用するために F コードボックスを登録します。F コードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。また、暗証番号を設定すると、特定の人以外に F コードボックスの操作をできなくすることができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈7〉、[確定］と押します。

2 「登録／変更」が選択されていることを確認し、[確定］を押します。

3 カーソルキーで登録したい F コードボックスを選択し、[確定］を押します。



4 F コードボックスの種別を選択します。

5 4-19 〜 4-27 ページを参照し、種別ごとの F コードボックスの登録を行います。

補 足

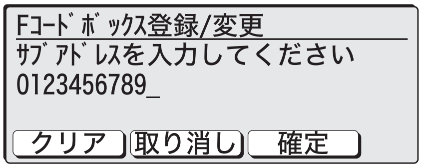
- F コードボックスの登録や削除を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
- F コードボックスの登録内容を変更したいときは、登録手順の中で、変更したい登録内容を［クリア］で消去してから新しく入力します。
- ボックス種別を変更したいときは、変更したい F コードボックスを削除 (4-27 ページ) してから登録し直してください。

F コード親展ボックスの登録

1 「F コード親展」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

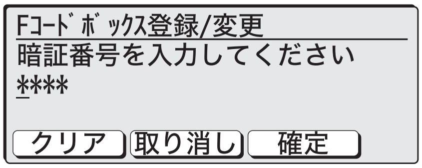


2 テンキーでサブアドレスを入力し、［確定］を押します。



・ サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
・ 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。
・ その他のボックスと同じサブアドレスを登録することはできません。

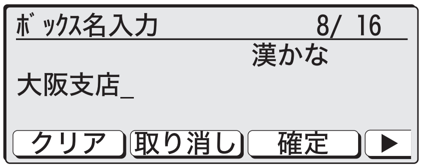
3 テンキーで暗証番号（4 桁）を登録し、［確定］を押します。



暗証番号はどこにも表示されません。忘れないように控えておいてください。

4 「ボックス名」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

5 ボックス名を入力し、［確定］を押します。



・ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。
・ 文字入力については 1-26 ページを参照してください。

6 パスワード、保存期間は必要に応じて行います。

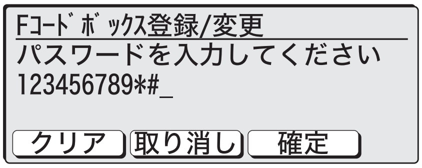
4

ファクス応用機能

■ パスワードを登録するとき

7 カーソルキーで「パスワード」を選択し、[編集] を押します。

8 テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。



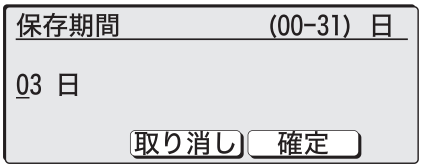
・ パスワードは 20 桁まで登録できます。数字、 #、 * が登録できます。
・ パスワードは必ずしも登録する必要はありません。ほかのボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■ 保存期間を設定するとき

保存期間（0 〜 31 日）は、親展原稿を保持する期間です。0 日に設定したときは無期限に原稿を保持します。

9 カーソルキーで「保存期間」を選択し、[編集] を押します。

10 テンキーまたはカーソルキーで保存期間を入力し、[確定] を押します。



11 続けてほかの F コードボックスを登録する場合は、[閉じる] を押し、「F コードボックスの登録」(4-18ページ) 手順3から操作を繰り返します。

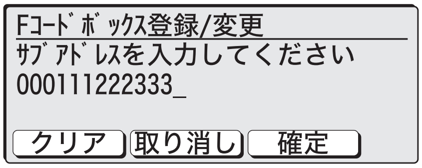
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

F コード掲示板ボックスの登録

1 カーソルキーで「F コード掲示板」を選択し、[確定] を押します。



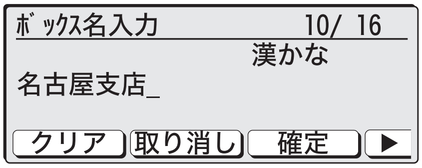
2 テンキーでサブアドレスを入力し、[確定] を押します。



・ サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
・ 番号を間違えた場合は、[クリア] を押して正しい番号を入力し直してください。
・ その他のボックスと同じサブアドレスを登録することはできません。

3 「ボックス名」が選択されていることを確認し、[編集] を押します。

4 ボックス名を入力し、[確定] を押します。



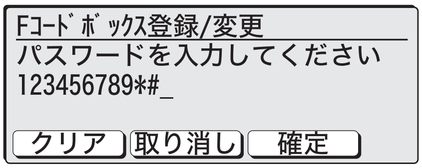
・ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。
・ 文字入力については 1-26 ページを参照してください。
・ その他のボックスと同じサブアドレスを登録することはできません。

パスワード、受信禁止、同時プリント、上書き許可、送信後原稿消去、暗証番号の設定は必要に応じて行います。

■ パスワードを登録するとき

5 カーソルキーで「パスワード」を選択し、[編集] を押します。

6 テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。



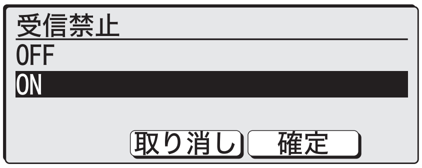
・ パスワードは 20 桁まで登録できます。数字、＃、＊が登録できます。
・ パスワードは必ずしも登録する必要はありません。その他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■ 受信禁止を設定するとき

受信禁止を ON にした場合は、ポーリング送信のみになります。

7 カーソルキーで「受信禁止」を選択し、[編集] を押します。

8 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。



受信禁止を ON にすると同時プリント、上書き許可は OFF になり、設定できなくなります。

■ 同時プリントを設定するとき

同時プリントを ON にした場合は、掲示板に受信した原稿をプリントします。

9 カーソルキーで「同時プリント」を選択し、[編集] を押します。

10 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。

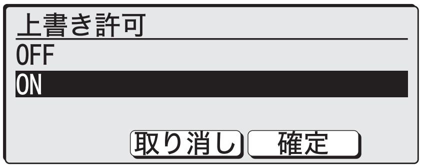


■ 上書き許可を設定するとき

上書き許可を ON にした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。

11 カーソルキーで「上書き許可」選択し、[編集] を押します。

12 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。

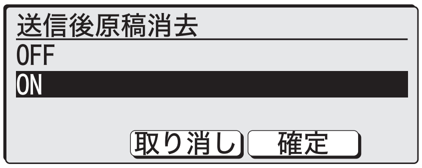


■ 送信後原稿消去を設定するとき

送信後原稿消去を ON にした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

13 カーソルキーで「送信後原稿消去」を選択し、[編集] を押します。

14 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。

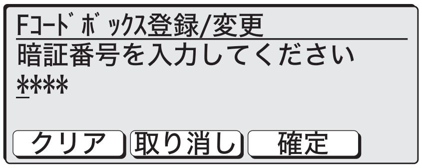


■ 暗証番号を登録するとき

暗証番号を蓄積原稿のプリントなどをするときに暗証番号の入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

15 カーソルキーで「暗証番号」を選択し、[編集] を押します。

16 テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、[確定] を押します。



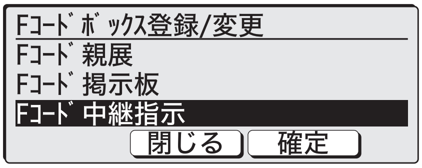
暗証番号を間違えたときは［クリア］で消去してから入力し直します。

17 続けてほかの F コードボックスを登録する場合は、[閉じる] を押し、「F コードボックスの登録」(4-18ページ) 手順３から操作を繰り返します。

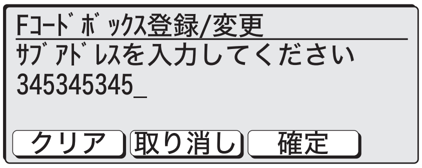
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

Fコード中継指示ボックスの登録

1 カーソルキーで「Fコード中継指示」を選択し、[確定] を押します。



2 テンキーでサブアドレスを入力し、[確定] を押します。



・ サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字のみ登録できます。
・ 番号を間違えた場合は、[クリア] を押して正しい番号を入力し直してください。
・ その他のボックスと同じサブアドレスを登録することはできません。

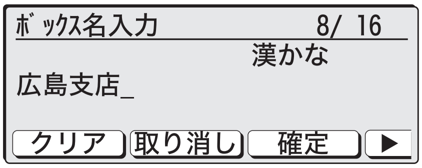
3 配信先を指定し、[確定] を押します。



配信先の指定方法は以下の方法があります。(直接ダイヤルでは指定できません。)
・ ワンタッチキーで指定する→配信先にしたいワンタッチキーを押します。
・ 短縮ダイヤルで指定する→テンキーで短縮番号を入力します。
・ グループを用いて指定する→ [▶]、[グループ] と押し、テンキーでグループ番号を入力後、[確定] を押します。
・ 複数の配信先を指定するときは、[▶]、[同報] と押します。
・ 登録した配信先を確認したり削除したりするには、4-26 ページを参照してください。

4 「ボックス名」が選択されていることを確認し、[編集] を押します。

5 ボックス名を入力し、[確定] を押します。



・ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。
・ 文字入力については 1-26 ページを参照してください。

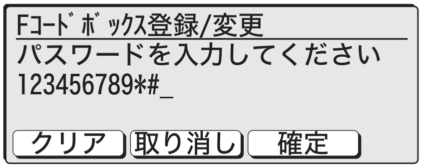
パスワード、発信元名選択、同時プリント、暗証番号の設定は必要に応じて行います。

■ パスワードを登録するとき

6 カーソルキーで「パスワード」を選択し、[編集] を押します。

・ パスワードは 20 桁まで登録できます。数字、 #、 ＊が登録できます。
・ パスワードは必ずしも登録する必要はありません。その他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

7 テンキーでパスワードを入力し、[確定] を押します。



■ 発信元名選択を設定するとき

・ **付けない**
配信する原稿に、自機の発信元名を付けません。
・ **外付け**
配信する原稿に、中継指示先の発信元名と並べて、自機の発信元名を付けます。
・ **上書き**
配信する原稿に、自機の発信元名を付けます。(中継指示先の発信元名を自機の発信元名に上書きします)

8 カーソルキーで「発信元名選択」を選択し、[編集] を押します。

9 希望の付けかたを選択し、[確定] を押します。



■ 同時プリントを設定するとき

同時プリントを ON にした場合は、中継指示先より送信された原稿を、本機でもプリントします。

10 カーソルキーで「同時プリント」を選択し、[編集] を押します。

11 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。



■ 暗証番号を登録するとき

蓄積原稿のプリントなどをするときに暗証番号の入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

12 カーソルキーで「暗証番号」を選択し、[編集] を押します。

13 テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、[確定] を押します。

```
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ登録/変更
暗証番号を入力してください
****

[クリア][取り消し][確定]
```

暗証番号を間違えたときは [クリア] で消去してから入力し直します。

14 続けてほかの F コードボックスを登録する場合は、[閉じる] を押し、「F コードボックスの登録」(4-18ページ) 手順 3 から操作を繰り返します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

■ 配信先の確認・削除

配信先の確認と削除を行うことができます。配信先の登録中に確認するときは、次の手順の 6 から始めます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈7〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「登録／変更」を選択し、[確定] と押します。

3 カーソルキーで変更する F コード中継指示ボックスを選択し、[確定] を押します。

4 暗証番号が登録されているときは、暗証番号を入力し [確定] を押します。

5 カーソルキーで「配信先」を選択し、[編集] を押します。

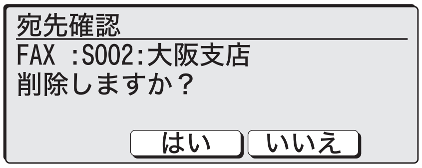
6 [▶]、[宛先確認] と押します。

```
短縮番号 (001-500)
番号を入力してください
S_
宛先確認で同報を確認できます
[宛先確認][同報][ｸﾞﾙｰﾌﾟ][▶]
```

7 入力した配信先が表示されます。削除する場合はカーソルキーで配信先を選択し、[削除] を押します。

```
宛先確認                ◀1/2▶
FAX :S001:京都支店
FAX :S002:大阪支店
FAX :S003:東京支店          ▼
[削除][閉じる]
```

8 [はい] を押すと削除を行います。



続けて削除する場合は手順 7 から操作を繰り返します。

F コードボックスの削除

原稿が蓄積されている F コードボックスを削除することはできません。

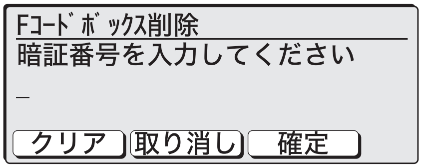
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈7〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで削除したい F コードボックスを選択し、[確定] を押します。

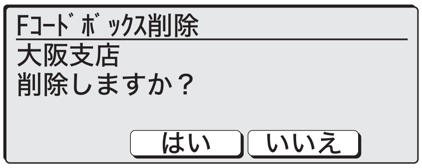


4 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、[確定] を押します。



暗証番号が設定されていないときは、手順 5 に進みます。

5 削除してもよければ、[はい] を押します。



・ 原稿が蓄積されている F コードボックスを削除することはできません。
・ 削除を中止するときは [いいえ] を押します。

6 続けてほかの F コードボックスを削除する場合は、手順 3 から操作を繰り返します。

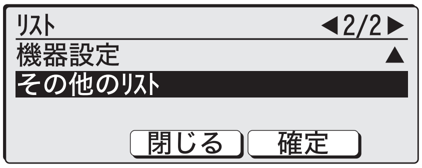
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

Fコードボックスリストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

2 カーソルキーで「その他のリスト」を選択し、[確定] を押します。

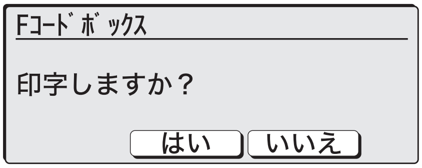


3 カーソルキーで「F コードボックス」を選択し、[確定] を押します。

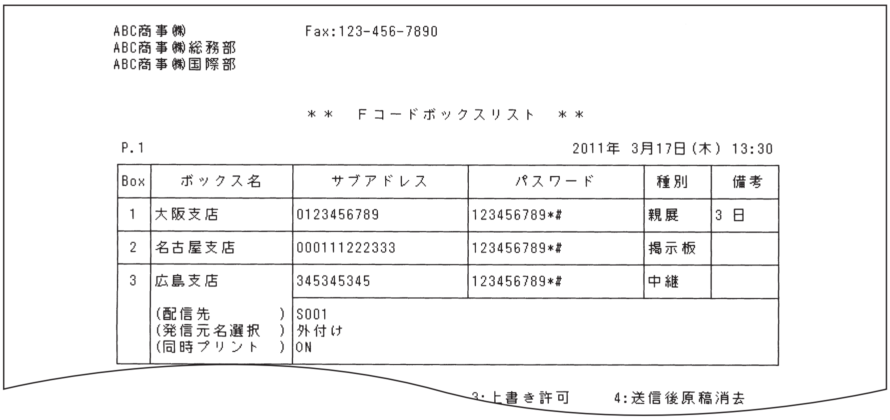


4 [はい] を押します。

F コードボックスリストをプリントします。



印字例



ABC商事㈱ Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊ Fコードボックスリスト ＊＊

P.1 2011年 3月17日（木） 13:30

Box	ボックス名	サブアドレス	パスワード	種別	備考
1	大阪支店	0123456789	123456789*#	親展	3 日
2	名古屋支店	000111222333	123456789*#	掲示板	
3	広島支店	345345345	123456789*#	中継	
	(配信先)	S001			
	(発信元名選択)	外付け			
	(同時プリント)	ON			

3:上書き許可 4:送信後原稿消去

補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈7〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

サブアドレスを使用した送信（F コード送信）

- サブアドレスとパスワードを入力することにより、F コード親展送信、F コード掲示板送信、F コード中継送信ができます。
- あらかじめ、相手機に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

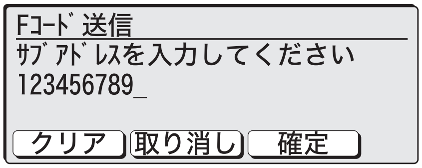
必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで「F コード送信」を選択し、[確定］を押します。



5 テンキーで相手機に登録されている機能のサブアドレスを入力し、[確定］を押します。



6 テンキーでパスワードを入力し、[確定］を押します。



・ パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・ パスワードの必要がないときは、何も入力しないで［確定］を押し、手順 7 に進みます。

7 [閉じる］を押し、待機画面に戻します。

・ F コード送信が設定されると、応用機能のアイコンが表示されます。
サブアドレス・パスワードを修正する場合は、手順 3 に戻ります。
・〈リセット〉を押すと F コード送信の設定を解除できます。

8 相手先のファクス番号を入力し、〈スタート〉を押します。

・ テンキー、ワンタッチキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
・ 最大 530 宛先まで指定できます。(テンキーによる指定は 30 宛先までです)

9 **宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)**

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

10 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

サブアドレスを使用した受信（F コードポーリング）

- 相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。
- あらかじめ、相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

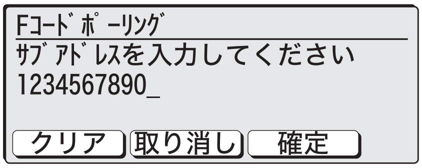
1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **〈応用機能〉を押します。**

3 **カーソルキーで「F コードポーリング」を選択し、[確定］を押します。**



4 **テンキーで掲示板のサブアドレスを入力し、[確定］を押します。**



5 **テンキーでパスワードを入力し、[確定］を押します。**



・ パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
・ パスワードの必要がないときは、何も入力しないで［確定］を押し、手順 7 に進みます。

6 **［閉じる］を押し、待機画面に戻します。**

・ F コードポーリングが設定されると、応用機能のアイコンが表示されます。
・ サブアドレス・パスワードを修正する場合は、手順 2 に戻ります。
・〈リセット〉を押すと F コードポーリングの設定を解除できます。

7 相手先のファクス番号を入力し、〈スタート〉を押します。

・ テンキー、ワンタッチキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
・ 最大 530 宛先まで指定できます。(テンキーによる指定は 30 宛先までです)

8 宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

9 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

原稿の読み取りが始まります。

掲示板への原稿蓄積

- F コードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。
- 1 つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。
- F コードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。(4-21 ページ)

1 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

2 〈機器設定／登録〉、〈8〉、［確定］と押します。

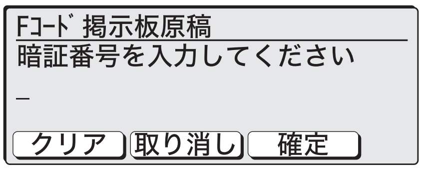
3 「蓄積」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

4 カーソルキーで「F コード掲示板原稿」を選択し、［確定］を押します。

5 カーソルキーで原稿を蓄積する F コードボックスを選択し、［確定］を押します。



6 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、［確定］を押します。



暗証番号が設定されていないときは、手順 7 に進みます。

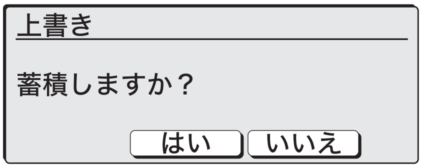
7 カーソルキーで原稿蓄積方法を選択し、［確定］を押します。



- **上書き**
  ボックス内の原稿を入れ替えます。
- **追加**
  ボックス内に原稿を追加します。

8 ［はい］を押します。原稿の読み取りを開始します。

【例】上書きの場合



手順 7 で「追加」に設定していて、すでに 30 件原稿が蓄積されているときは「件数オーバーです」というメッセージが表示されます。

蓄積原稿の印字

親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿を印字します。

F コードボックスに原稿を受信した場合は、F コード受信通知が印字されます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿を印字します。

親展受信の場合



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

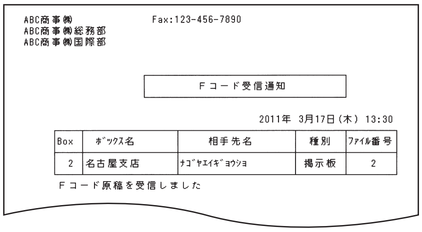
Fコード受信通知

2011年 3月17日(木) 13:30

Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
1	大阪支店	ｵｵｻｶｼﾃﾝ	親展	1

Fコード原稿を受信しました
(親展原稿保存期間)
2011年 3月20日(日) 13:30

掲示板に受信した場合



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

Fコード受信通知

2011年 3月17日(木) 13:30

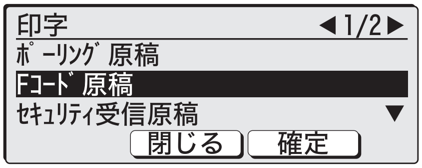
Box	ﾎﾞｯｸｽ名	相手先名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
2	名古屋支店	ﾅｺﾞﾔｴｲｷﾞｮｳｼｮ	掲示板	2

Fコード原稿を受信しました

1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「印字」を選択し、[確定] を押します。

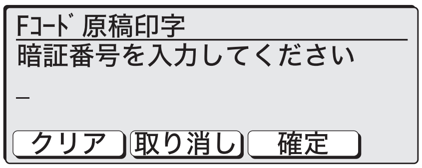
3 カーソルキーで「F コード原稿」を選択し、[確定] を押します。



4 カーソルキーで印字したい原稿が蓄積されている F コードボックスを選択し、[確定] を押します。



5 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、[確定] を押します。



暗証番号が設定されていないときは、手順 6 に進みます。

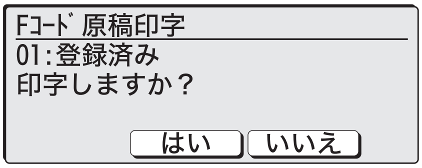
6 カーソルキーでファイル番号を選択し、［確定］を押します。



- 「全登録済み原稿」を選択すると、この F コードボックスに蓄積されているすべての原稿を印字します。
- 親展受信の場合、手順 6 はありません。

7 ［はい］を押します。

蓄積または受信した原稿を印字します。



- 親展受信原稿は印字すると自動的に消去されます。
- 掲示板に受信または蓄積した原稿は、印字しても消去されません。

蓄積原稿の削除

掲示板に蓄積した原稿を削除します。

1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定］と押します。

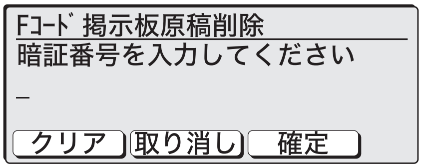
2 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定］を押します。

3 カーソルキーで「Ｆコード掲示板原稿」を選択し、[確定］を押します。

4 カーソルキーで削除したい原稿が蓄積されているＦコードボックスを選択し、[確定］を押します。



5 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、[確定］を押します。

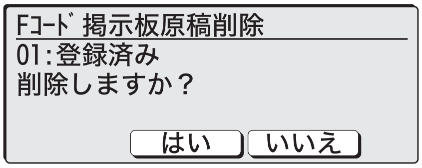


6 カーソルキーでファイル番号を選択し、[確定］を押します。



「全登録済み原稿」を選択すると、このファイル番号に蓄積されているすべての原稿を削除します。

7 削除する場合は、[はい］を押します。



蓄積原稿リストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、［確定］を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

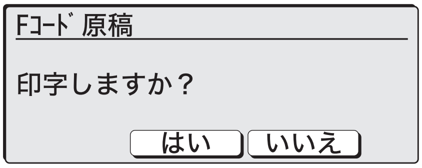
2 カーソルキーで「その他のリスト」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「F コード原稿」を選択し、［確定］を押します。



4 ［はい］を押します。

F コード原稿リストをプリントします。



印字例

ABC商事㈱　　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　Fコード原稿リスト　＊＊

P.1　　　2011年 3月17日（木） 13:30

Box	ボックス名	種別	ﾌｧｲﾙ番号
1	大阪支店	親展	
2	名古屋支店	掲示板	1, 2
3	広島支店	中継	

補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈9〉、［確定］と押し、［はい］を押す。

同じ原稿を一度にファクスとコピーする(ファクス&コピー)

1 回の原稿読み取り操作で、同時にファクスとコピーができます。社内連絡などで「ほか部署にファクスしてから、配布用にコピーする」というような場合に便利です。

- コピー禁止、拡大送信、ポーリング、F コードポーリングを ON に設定している場合、ファクス＆コピーは使用できません。
- 読取サイズを設定している場合、ファクス＆コピーは使用できません。
- ファクス・コピーとも画質は高画質か超高画質になります。(その他の画質は選択できません)
- コピーは、用紙選択、画質、濃度、ソートのみ設定できます。(その他の機能は設定できません)

ファクス＆コピーのしかた

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

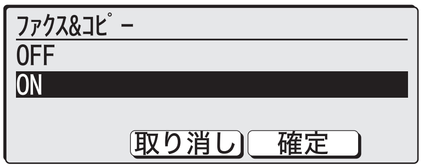
必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで「ファクス＆コピー」を選択し、[確定] を押します。



5 カーソルキーで「ON」を選択し、[確定] を押します。



6 ファクス＆コピーが設定されます。[閉じる] を押します。

応用機能のアイコンが表示されます。

7 **相手先を指定し、〈スタート〉を押します。**

相手先の指定方法は以下の方法があります。(3-5 ページ)
- 直接ダイヤルで指定する
- ワンタッチキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

8 **宛先を確認する画面が表示されます。（3-6 ページ手順 6 ～ 8）**

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

9 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

10 **コピー画面になります。**



コピー画面に切り替わった後に、ファクス画面に切り替える（〈ファクス〉を押す）ことはできません。

11 **必要に応じて画質や濃度、用紙やソートの設定を行います。**

12 **〈スタート〉を押します。**

送信を開始し、同時にコピーを始めます。

補 足

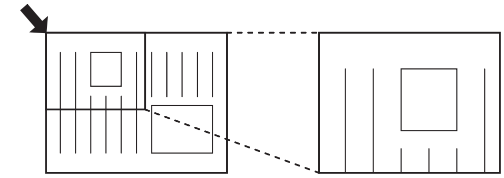
- 〈ストップ〉を押すと操作を中止します。
- ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。

原稿を拡大して送信する（拡大送信）

原稿を指定したサイズや倍率に拡大して送信することができます。
また、読取サイズを設定すると、原稿の一部分を拡大して送信することもできます。

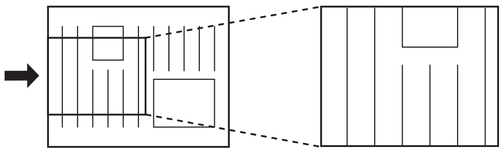
ガラス面

読み取り基準位置



自動原稿送り装置

読み取り
基準位置



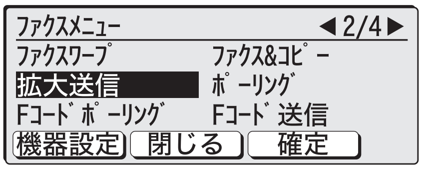
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

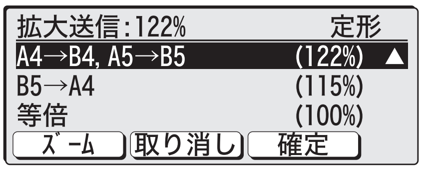
3 〈応用機能〉を押します。

4 カーソルキーで「拡大送信」を選択し、[確定] を押します。



5 拡大するサイズを指定します。

カーソルキーで固定の倍率から選択するか、[ズーム] を押してテンキーまたはカーソルキーで数値を入力し、[確定] を押します。



- ズーム倍率指定画面で［固定倍率］を押すと、固定倍率選択画面に戻ります。
- 縮小することはできません。倍率は、100 〜 200%の範囲で設定します。

6 ［閉じる］を押します。

7 相手先を指定します。

相手先の指定方法は以下の方法があります。(3-5 ページ)
・ 直接ダイヤルで指定する
・ ワンタッチキーで指定する
・ 短縮ダイヤルで指定する
・ 宛先表を用いて指定する

8 〈スタート〉を押します。

拡大送信を開始します。

9 宛先を確認する画面が表示されます。（3-6 ページ手順 6 ～ 8）

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

10 〈スタート〉または［送信開始］を押します。

原稿の読み取りが始まります。

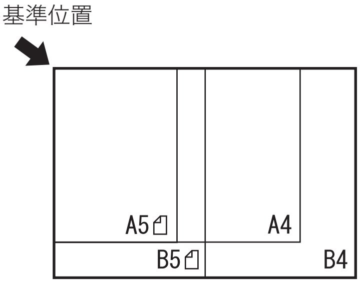
補 足

・ ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。

原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）

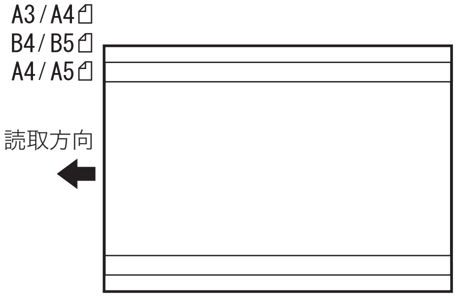
あらかじめ読み取りサイズを設定して送信することができます。原稿の一部を送信したいときや、原稿のサイズを指定したいときなどに便利です。（部分送信）

ガラス面



- 設定したサイズ分だけ読み取ります。
- セット基準位置が読み取りの基準になります。
- A3、A4 は読み取りできません。

自動原稿送り装置



- 設定したサイズの幅だけ読み取ります。
- 原稿の長さは、読み取った分だけ送信します。

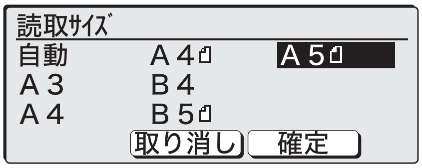
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 ［読取サイズ］を押します。

4 カーソルキーで読み取りたい部分のサイズを選択し、［確定］を押します。



「自動」を選択すると、原稿サイズを自動検出します。自動原稿送り装置では、原稿の幅（A3、B4、A4）だけを検出します。

4 相手先を指定します。

相手先の指定方法は以下の方法があります。(3-5 ページ)

- 直接ダイヤルで指定する
- ワンタッチキーで指定する
- 短縮ダイヤルで指定する
- 宛先表を用いて指定する

5 〈スタート〉を押します。

設定した部分だけを読み取り、送信を開始します。

6 **宛先を確認する画面が表示されます。（3-6 ページ手順 6 ～ 8）**

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

7 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

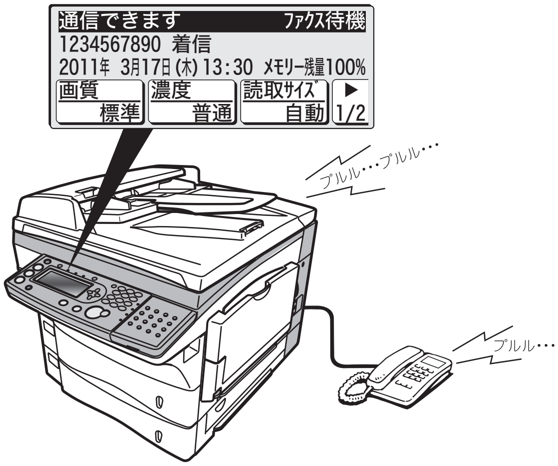
補 足

ファクス送信を中止する場合は、〈ファクス中止／確認〉を押します。詳しくは 3-22 ページを参照してください。

相手先の番号を表示する（ナンバー・ディスプレイ）

電話がかかってくると

かけてきた相手の番号を表示します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続した場合は、電話機でも同サービスを利用することができます。



ディスプレイ表示について

番号の表示は、待機状態によって異なります。

- **電話待機**
  接続されたナンバー・ディスプレイ対応電話、ファクス本体のディスプレイともに、受話器をあげるまで表示されます。
- **ファクス待機**
  接続されたナンバー・ディスプレイ対応電話、ファクス本体のディスプレイともに、「受信中」になるまで表示されます。
- **電話／ファクス待機**
  接続されたナンバー・ディスプレイ対応電話、ファクス本体のディスプレイともに、「受信中」になるまで表示されます。

● 相手の方が自分の番号を「通知する」にしているとき、または、186 をつけてダイヤルしているときに表示します。



- 相手の方が自分の番号を「通知しない」にしているとき、または、184 をつけてダイヤルしているときに表示します。



- 相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときに表示します。



- 相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手が 184 をつけてダイヤルした場合は「非通知」になります。



補 足

- 地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用できない場合もあります。詳しくは NTT 窓口へお問い合わせください。
- 回線の雑音などにより、ナンバー・ディスプレイのデータを正しく受信できない場合があります。（故障ではありません）
- NTT での工事が完了する前に設定を変更したり、工事完了後に設定を変更せずに本機を使用したりすると、正常に電話やファクスを受けることができません。（ファクスの送信や電話をかけることはできます）
- 以下のときはディスプレイ表示が消えます。
  - 受信中（相手がファクス送信してきた場合）
  - 受話器を上げたとき（相手が電話してきた場合）

ナンバー・ディスプレイの設定　　初期値：OFF

1 〈機器設定／登録〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「ナンバー･ディスプレイ設定」を選択し、[確定] を押します。



3 「電話機接続設定」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を増設電話端子に接続しない場合は、手順 5 に進みます。

4 カーソルキーでナンバー・ディスプレイ対応電話機の接続を選択し、[確定] を押します。



- **未接続**
  接続する電話機がナンバー・ディスプレイ未対応の場合、または電話機を接続しない場合。
- **増設電話接続**
  ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を増設電話に接続する場合。

5 カーソルキーで「ナンバー･ディスプレイ」を選択し、[確定] を押します。

6 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、[確定] を押します。



- ON
  ナンバー・ディスプレイサービスを利用するとき。
- OFF
  ナンバー・ディスプレイサービスを利用しないとき。

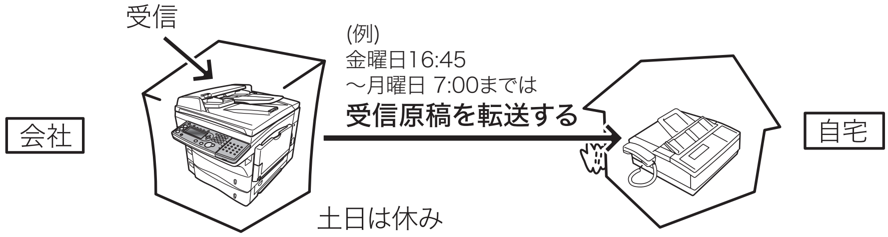
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補足

- 増設電話端子に接続する増設電話がナンバー・ディスプレイ対応の場合、増設電話でもディスプレイに番号を表示します。増設電話でナンバー・ディスプレイ設定を「ON」にしてください。詳しくはご使用の増設電話の取扱説明書をご覧ください。
- ファクス／電話待機をご利用の場合は、増設電話でナンバー・ディスプレイに関する機能を使用することはできません。

受信原稿を転送する（ファクスワープ）

設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。また、ナンバー・ディスプレイ使用時、設定している送信元から受信した原稿を、指定された宛先に転送できます。勤務時間外にオフィスに届いたファクスを自宅で確認したいときなどに便利です。転送条件は 10 件まで登録できます。



- 受信モードが「電話待機」に設定されていると転送できません。「電話待機」以外の受信モードでご使用ください。(1-48 ページ)
- ファクスワープの登録や削除を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)

転送条件の登録

転送条件は次の内容を登録します。

- **個別設定**
  ファクスワープの設定 (4-52 ページ) が「ON」の場合、この転送条件を有効にする（ON）か、無効にするか（OFF）を設定できます。「OFF」に設定すると、ファクスワープの設定が「ON」であっても転送を行いません。
- **指定時刻**
  設定した時刻になると、転送を開始します。登録しない場合は、時刻にかかわらず転送を行います。
- **送信元番号**
  ナンバー･ディスプレイを利用し､特定の相手先のみ転送を行う場合にその相手先を登録します｡
- **同時プリント**
  同時プリントを「ON」にすると、転送元でも転送先と同時に受信原稿をプリントします。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「登録／変更」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「未登録」の番号を選択し、［確定］を押します。



すでに登録されている転送条件を変更する場合は、変更したい番号を押します。

4 転送先の番号を入力し、[確定] を押します。



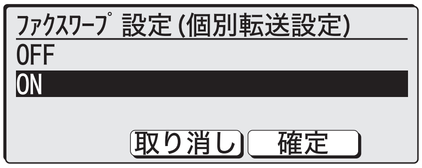
・直接ダイヤル、ワンタッチキー、短縮ダイヤル、グループなどで入力します。
・複数の宛先を登録できます。(最大 501 件：短縮ダイヤル 500 件、直接ダイヤルによる指定 1 件)
・[▶]、[ダイヤル記号] と押すと、各種ダイヤル記号を入力できます。(3-16 ページ)
・登録した転送先番号を確認したり削除したりするには、4-49 ページを参照してください。
・2 回線キットを装着時、転送先番号に自機の番号を登録しないでください。送受信の動作がおかしくなります。

■ 個別設定

・初期設定では「ON」が選択されています。
・個別設定を「ON」にしても、ファクスワープ全体の設定を「ON」にするまでは、ファクスワープを行いません。

5 カーソルキーで「個別設定」を選択し、[確定] を押します。

6 この転送条件でのファクスワープを行う場合は「ON」を選択し、[確定] を押します。

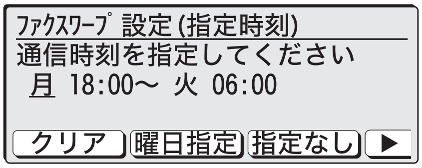


■ 指定時刻

ファクスワープを行う時刻を指定します。時刻を指定しない場合は、常に転送を行います。

7 「指定時刻」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

8 テンキーで指定時刻を入力し、[▶]、[確定] と押します。



・曜日を入力するときは [曜日指定] を押します。
・[指定なし] を押すと、指定した時刻をすべて消去し、常時転送を行います。
・曜日だけ、または時刻だけ登録することができます。
・左右の移動は、カーソルキーを使用します。

■ 送信元番号

転送したい送信元を登録します。あらかじめナンバー・ディスプレイの契約とナンバー・ディスプレイを ON に設定する必要があります。

9 「送信元」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

10 テンキーで送信元番号を入力し、[▶]、[確定] と押します。



・ 番号を消去する場合は、[クリア] を押します。
・ [ー] を押すとハイフンを入力できます。

■ 同時プリント

転送元（本機）で受信原稿をプリントしたい場合、設定を [ON] にします。

11 「同時プリント」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

12 転送時、本機でも受信原稿をプリントする場合は「ON」を選択し、[確定] を押します。



13 すべての設定が終わったら、[閉じる] を押します。

14 続けてほかの転送条件を登録する場合は、手順 3 から操作を繰り返します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

転送先番号の確認・削除

転送先番号の確認と削除を行うことができます。転送番号の登録中に確認するときは、次の手順の 5 から始めます。

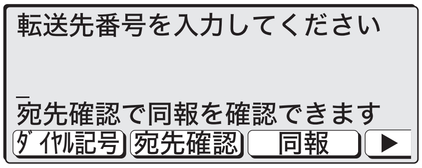
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「登録／変更」を選択し、［確定］と押します。

3 カーソルキーで変更する転送条件を選択し、［確定］を押します。

4 「転送先番号」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

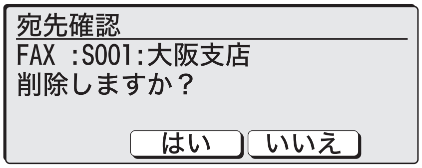
5 ［▶］、［宛先確認］と押します。



6 入力した転送先番号が表示されます。削除する場合はカーソルキーで転送先番号を選択し、［削除］を押します。



7 ［はい］を押すと削除を行います。



8 続けて削除する場合は手順 6 から操作を繰り返します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

転送条件の削除

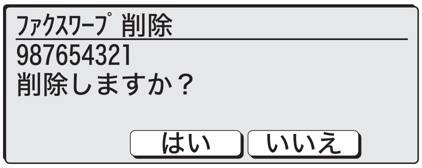
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「削除」を選択し、［確定］を押します。

3 削除したい転送条件を選択し、［確定］を押します。



4 削除する場合は［はい］を押します。



5 続けて削除を行う場合は、手順 3 から操作を繰り返します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

転送条件一覧の印字（ファクスワープリスト）

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、［確定］を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



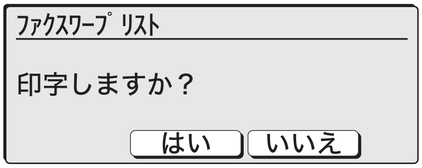
または



2 カーソルキーで「その他のリスト」を選択し、［確定］を押します。

3 「ファクスワープリスト」を選択し、［確定］を押します。

4 ［はい］を押します。



印字例

＊＊　ファクスワープリスト　＊＊

P.1　　2011年 3月17日（水） 13:30

No.	転送先番号	FAX ワープ	指定時刻	同時 プリント
1	S001, S002, S006 送信元番号:123-456-7890	ON	月 18:00～ 火 06:00	ON
2	S007, S008 送信元番号:111-222-3333	OFF	火 09:00～ 火 12:00	ON
3	777-1111 送信元番号:555-6677	ON	指定なし	OFF

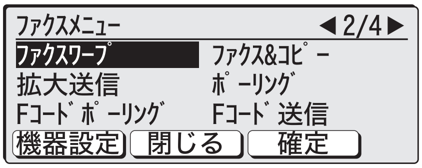
補足

- ファクスワープリストの印字を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
- ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
  〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈3〉、［確定］と押し、［はい］を押す。

ファクスワープの設定　　初期値：OFF

ファクスワープの設定を ON にすると、個別設定を ON にした転送条件が有効になり、登録した条件でファクスワープを行います。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ファクスワープ」を選択後、[確定] を押します。



2 ファクスワープを行う場合は、「ON」を選択し、[確定] を押します。
ファクスワープが設定されます。



[閉じる] を押すと、待機画面に戻ります。

補 足

次の手順でも設定できます。
1〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押す。
2「設定」を選択し [確定] を押す。
3「ON」を選択し、[確定] を押す。

ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

ファクシミリ通信網サービスとは、NTT コミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークサービスです。ファクシミリ通信網サービスに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT コミュニケーションズにお問い合わせください。

ファクシミリ通信網サービス

- **一斉同報**

  1 回のダイヤル操作で、10 カ所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。ファクシミリ通信網サービスに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大 10000 宛先に同一原稿を送信できます。
- **自動再送信**

  一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。
- **再コール・不達通知**

  相手先が話し中だった場合、ファクシミリ通信網サービスが 2 分間隔で 5 回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。
- **夜間配送指定通信**

  昼間ファクシミリ通信網サービスへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯にファクシミリ通信網サービスから相手先への送信をすることができます。
- **無鳴動自動受信**

  Ｆネットファクシミリ通信網サービスを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1 本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。
- **ファクシミリ案内サービス**

  レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

■ 利用に際しての注意点

・ファクシミリ通信網をご利用する場合、本商品のポーリング、F コード通信、ファクスワープはご利用になれません。

・ファクシミリ通信網のお申し込みで無鳴動受信を選択した場合、本機での受信は受信モードの設定とは無関係に常に自動的に受信します。

■ 通信のしかた

1. 送信

相手方を呼び出すダイヤルをする前に「161」「162」などの（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。
※オートダイヤル機能により、ワンタッチ送信をすることができます。

> 例えば、075-111-2222 ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。
>
> **・通常送信**
> 原稿をセットする→受話器を取り→〔161 →プッププッ→ 075-111-2222 →ピー〕→〈スタート〉を押す→受話器を戻す
>
> **・ワンタッチキー・短縮ダイヤルでの送信**
> 原稿をセットする→〔ワンタッチキー〈01〉〕→〈スタート〉→送信開始
> （登録は、例えばワンタッチキー〈01〉に、161/P075-111-2222 と登録しておきます。また受話器を操作する必要はありません。）
>
> 補 足
>
> /P（ポーズ）については 3-16 ページを参照してください。

※「162」発信も可能です。

2. 受信

ベルのならない「無鳴動着信」をします。
手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。（申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです）

新電電系（NCC 回線）の利用のしかた

詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

■ 利用に際しての注意点

(1) 利用できる地域に制限があります。
(2) 料金を確認してください。

■ 通信のしかた

1. 送信

相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。
（マイラインをご利用の場合は、固有番号を入れる必要がありません）

2. 受信

通常と変わりません。

銀行のファクスサービスなどの利用のしかた

詳しくは、それぞれの取引銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。
本機のファクス規格は「SG3（スーパー G3）機」です。

「オンフック」で申し込む場合

(1)〈ファクス〉を押します。

(2)〈オンフック〉を押します。

(3) テンキーで相手先の番号を入力します。

(4) それぞれのサービス会社の音声手順に従って操作してください。

■ 利用に際しての注意点

(1) 利用できる地域に制限があります。
(2) 料金を確認してください。

■ 通信のしかた

1. 送信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。

2. 受信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。なお、ポーズなど特定信号への対応は 3-16 ページをご覧ください。短縮ダイヤルにも登録できます。

IP 電話を利用したファクス通信について

詳しくは、ご利用になる接続業者にお問い合わせください。

■ 利用に際しての注意点

本機は､IP 電話を利用したファクス通信を保証しておりません。(2011 年 2 月現在)
ネットワークの状況によっては、通信エラーが発生する可能性があります。
エラーが発生する場合は、一般公衆回線経由で通信してください。接続業者によっては、相手先番号の前に特別な番号（0000 など）を挿入する必要があります。その際は、プレフィクス機能をご使用ください。(4-8 ページ参照)

■ 通信のしかた

1. 送信

IP 電話を利用する手順に従ってください。

2. 受信

通常と変わりません。

第 5 章

利用状況の管理

部門ごとの使用状況を管理する

部門管理機能を使えば、送信やコピー時に部門コードの入力が必要となり使用者を限定できます。また、部門番号ごとに、送信枚数やコピー枚数、コピー料金を集計できます。

■ 操作の流れ

(1) コピー料金を管理する場合は、1 枚あたりの単価を登録する。(5-2 ページ)
↓
(2) 部門番号と部門名を登録する。(5-3 ページ)
↓
(3) 部門管理の設定を ON にする。(5-5 ページ)
↓
(4) 部門番号を使用してコピー／通信を行う。(5-5 ページ)
↓
(5) 部門管理リストで使用状況を確認する。(5-6 ページ)

補 足

- あらかじめプロテクトコードの登録が必要です。(7-29 ページ)
- 部門管理を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)

コピー料金のデータの登録（料金管理）

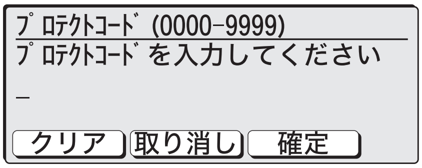
部門別にコピー料金を集計する場合、コピー 1 枚あたりの単価を登録します。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「コピー料金設定」を選択し、[確定] を押します。



3 テンキーでプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。



4 テンキーまたはカーソルキーで、コピー 1 枚あたりの単価を入力し、［確定］を押します。

コピー料金が設定されます。



5 コピー料金が設定されます。

〈リセット〉を押して、待機画面に戻ります。

部門番号と部門名の登録

部門番号と部門名は 100 件登録できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「登録／変更」を選択し、［確定］を押します。

3 部門番号・部門名を登録する番号を選択し、［確定］を押します。



・ 初めて登録するときは［001:］を選択します。
・ すでに登録されている部門番号・部門名を変更する場合は、変更したい番号を選択します。

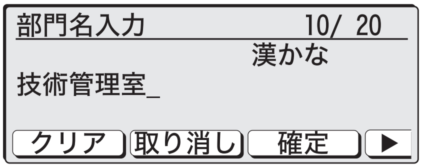
4 部門コードをテンキーで入力し、［確定］を押します。



・ 9 桁まで入力できます。
・ すでに登録されている番号は入力できません。

5 部門コードが登録されます。続けて部門名を登録します。
カーソルキーで「部門名」を選択し、［編集］を押します。

6 部門名を入力し、[確定] を押します。



・ 半角文字では 20 文字、全角文字では 10 文字まで登録できます。
・ 文字入力については「文字入力のしかた」(1-26 ページ)を参照してください。

7 登録内容の一覧が表示されます。



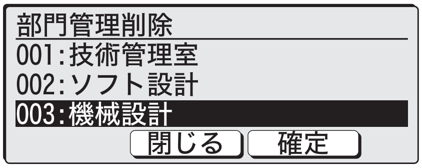
8 続けてほかの部門番号・部門名を登録する場合は、[閉じる] を押し、手順 3 から操作を繰り返します。登録を終了する場合は、〈リセット〉を押します。

部門番号と部門名の削除

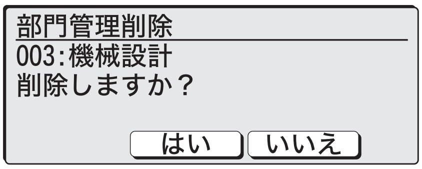
1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで削除したい部門を選択し、[確定] を押します。



4 削除する場合は [はい] を押します。

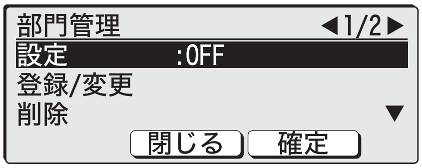


5 続けて削除を行う場合は、手順 3 から操作を繰り返します。登録を終了する場合は、〈リセット〉を押します。

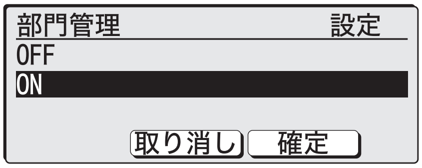
部門管理の設定　　　　初期値：OFF

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 「設定」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。



3 部門管理を行う場合は、カーソルキーで「ON」を選択し、［確定］を押します。



4 部門管理が設定されます。

〈リセット〉を押して、待機画面に戻ります。

部門管理が ON のときの送信・コピー

■ ファクス送信するとき

基本的な送信のしかた（3-5 ページ）

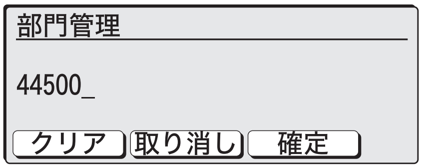
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

3 相手先番号を入力し〈スタート〉を押すと、宛先確認画面の表示後、部門番号の入力画面が表示されます。

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"（6-11 ページ）を参照してください。

4 テンキーで部門番号を入力し、［確定］を押します。



［取り消し］を押すと、相手先番号が入力された状態で手順 3 に戻ります。

■ コピーするとき

基本的なコピーのしかた（2-5 ページ）

1 〈コピー〉を押してコピーモードに切り替えたときや、コピーモード中に〈リセット〉を押したとき、部門番号の入力画面が表示されます。

2 テンキーで部門番号を入力し、[確定] を押します。



[取り消し] を押すと、部門管理の入力画面は消えますが、〈スタート〉を押したときに再度表示されます。

3 部門番号入力後は、通常の操作でコピーできます。

補 足

- 部門番号は 9 桁まで入力できますが、先頭の桁が 0 のときは入力する必要はありません。
  例：000044500 → 44500
- 入力した部門番号は、操作を完了後、約 3 分間は有効のままです。不正な使用を避ける為に、コピーの使用後は〈リセット〉を押すことをお勧めします。

部門管理リストの印字

コピーおよびファクスの使用状況、コピー料金の合計を確認できます。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または

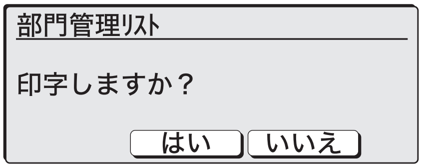


2 カーソルキーで「機器設定」を選択し、[確定] を押します。

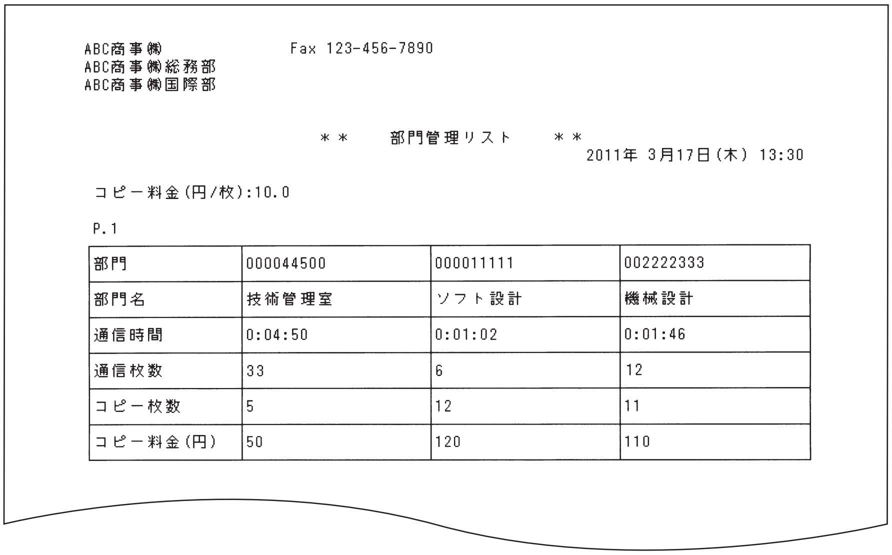
3 カーソルキーで「部門管理リスト」を選択し、[確定] を押します。

4 ［はい］を押します。

部門管理リストをプリントします。



印字例



ABC商事㈱　　Fax 123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　部門管理リスト　＊＊
2011年 3月17日(木) 13:30

コピー料金(円/枚):10.0

P.1

部門	000044500	000011111	002222333
部門名	技術管理室	ソフト設計	機械設計
通信時間	0:04:50	0:01:02	0:01:46
通信枚数	33	6	12
コピー枚数	5	12	11
コピー料金(円)	50	120	110

補 足

- 部門管理リストの印字を保護（プロテクト）することができます。（6-24 ページ）
- ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈9〉、［確定］と押し、［はい］を押す。

集計データの消去

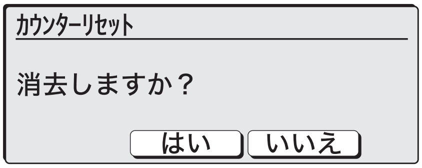
集計したデータをすべて消去します。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで「カウンターリセット」を選択し、［確定］を押します。



3 集計データを消去する場合は［はい］を押します。



［いいえ］を押すと、手順２に戻ります。

4 終了する場合は、〈リセット〉を押します。

印字待ちジョブを確認する

代行受信やコピーの印字待ち状況を表示できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈1〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで「代行受信印字待ち」または「コピー印字待ち」を選択します。



3 [確定] を押します。

印字待ちジョブが表示されます。

■代行受信印字待ち



■コピー印字待ち



4 [閉じる] を押すと、手順 2 に戻ります。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

補 足

・ 印字待ちジョブは、印字ができる状態になると自動的に印字されます。
・ 印字待ちジョブをキャンセルすることはできません。

第 6 章

セキュリティ機能

ファクス通信する相手を限定する（閉域通信）

閉域通信を設定すると、相手が当社シリーズ機（1341f/1340f/7512/7412/7312）の場合にのみファクスの送受信が可能になります。さらに、パスコードを設定すると相手機が当社機であっても、セキュリティ機能を持ち、なおかつ同じパスコードが登録されている相手機としかファクスの送受信をしないようにすることもできます。閉域通信は、送受信別々に設定することができます。

閉域送信の設定　　初期値：OFF

閉域送信を設定すると、セキュリティ機能を持つファクシミリで同じパスコードを設定した相手機にのみ、ファクスが送信できます。パスコードが一致しなかった場合は送信を中断するので、相手先にファクスの内容が送信されることはありません。ファクスを送れる相手が限られるため、相手先番号の入力間違いによって間違った宛先にファクスを送信してしまうことがありません。

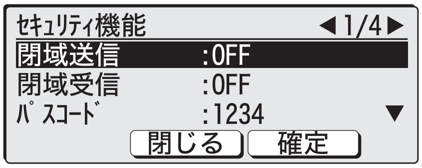
補 足

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
- パスコードを設定するときは、「パスコードの登録」(6-6 ページ) を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードと通信の範囲」(6-7 ページ) を参照してください。
- 閉域送信を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)

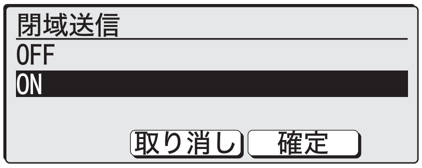
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 「閉域送信」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。



4 閉域送信をする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、[確定] を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

閉域送信のしかた

■ 閉域送信の設定が ON の場合

・ 閉域送信を ON に設定した場合は、通常の送信方法で閉域送信ができます。
・ 下記の手順で OFF に設定すると、1 通信のみ閉域通信を OFF にできます。

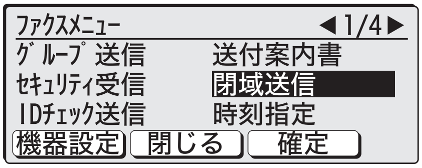
■ 閉域送信の設定が OFF の場合

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **原稿をセットします。(1-66 ページ)**

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 **〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「閉域送信」を選択後、[確定] を押します。**



4 **カーソルキーで「ON」を選択し、[確定] を押します。**



5 **[閉じる] を押します。**

6 **相手先のファクス番号を入力し、〈スタート〉を押します。**

閉域送信を開始します。原稿の読み取りが終わると閉域送信の設定が OFF に戻ります。

7 **宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順 6 ～ 8)**

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

8 **〈スタート〉または [送信開始] を押します。**

閉域送信を開始します。原稿の読み取りが終わると閉域送信の設定が OFF に戻ります。

補 足

・ 閉域送信を ON に設定しても、手動送信では閉域送信を行うことはできません。相手機が他社機の場合や、パスコードが一致しない場合でも送信されてしまいます。
・ ご愛用スイッチキー (7-47 ページ) やタッチパネルキー (7-49 ページ) に「閉域送信」を登録すると、1 通信のみの設定の ON/OFF をかんたんに行えます。

閉域受信の設定　初期値：OFF

閉域受信を設定すると、セキュリティ機能を持つファクシミリで同じパスコードを設定した相手機からのみ、ファクスを受信できます。パスコードが一致しなかった場合は受信を拒否し、通信を中断させます。ファクスを受け取る相手が限られるため、相手先番号の間違いによるファクスの受け取りがありません。

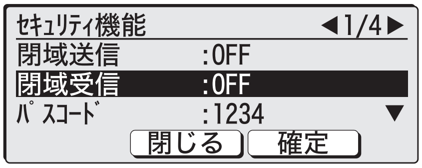
補足

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
- パスコードを設定するときは、「パスコードの登録」(6-6 ページ) を参照してください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードと通信の範囲」(6-7 ページ) を参照してください。

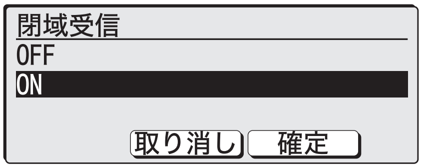
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「閉域受信」を選択し、[確定] を押します。



4 閉域受信をする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、[確定] を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

パスコードの登録　初期値：0000

閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングの利用に必要なパスコードを登録します。

パスコードを登録しなかった場合でも閉域受信および閉域送信は利用できますが、セキュリティ機能を強化するためにはパスコードの登録を行ってください。

補 足

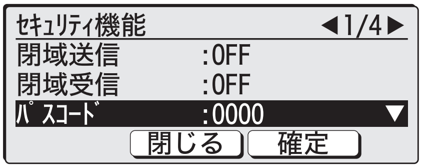
- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
- パスコードを設定するときは、“0000” 以外の番号を入力してください。“0000” を入力すると、パスコード設定が解除されます。
- パスコードは忘れないようにしてください。
- 閉域通信とパスコードによる通信範囲の詳細については、「パスコードと通信の範囲」(6-7 ページ) を参照してください。
- パスコードポーリングをＯＮに設定する場合は、必ずパスコードを登録してください。パスコードが未登録のままではパスコードポーリングが有効になりません。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで「パスコード」を選択し、[確定] を押します。



4 テンキーでパスコードを入力（4 桁）し、[確定] を押します。



続けてセキュリティ機能の設定を行えます。

補 足

パスコードを解除するときは、0000 を入力します。

パスコードと通信の範囲

■ 閉域送信の通信範囲

・閉域送信を設定すると、当社シリーズ機 1341f/1340f/7512/7412/7312 以外には送信できません。

・パスコードを登録した場合は、自機に登録されたパスコードと相手機に登録されているパスコードが一致しない場合はファクス送信しません。以下の表(パスコードを 1234 にした場合の例）を参照してください。

閉域送信	本体パスコード	相手機（受信機）	相手機 パスコード	結果
ON	設定なし (0000)	他社機など当社シリーズ機以外	-	通信エラー
		7512/7412/7312（セキュリティ機能なし）	-	通信 OK
		1341f/1340f（セキュリティ機能あり）	パスコードが異なる	
			パスコードが同じ	
	設定あり (例 :1234)	他社機など当社シリーズ機以外	-	通信エラー
		7512/7412/7312（セキュリティ機能なし）	-	
		1341f/1340f（セキュリティ機能あり）	パスコードが異なる	通信エラー
			パスコードが同じ	通信 OK

通信エラーになった場合は、チェックメッセージがプリントされ、エラーコード「T.2.2」が記載されます。

■ 閉域受信の通信範囲

・閉域受信を設定すると、当社シリーズ機 1341f/1340f/7512/7412/7312 以外からは受信しません。

・パスコードを登録した場合は、自機に登録されたパスコードと相手機に登録されているパスコードが一致しない場合はファクス受信しません。以下の表(パスコードを 1234 にした場合の例）を参照してください。

閉域受信	本体パスコード	相手機（送信機）	相手機 パスコード	結果
ON	設定なし (0000)	他社機など当社シリーズ機以外	-	通信エラー
		7512（セキュリティ機能なし）	-	通信 OK
		1341f/1340f および従来機 7412/7312（セキュリティ機能あり）	パスコードが異なる	
			パスコードが同じ	
	設定あり (例 :1234)	他社機など当社シリーズ機以外	-	通信エラー
		7512（セキュリティ機能なし）	-	
		1341f/1340f および従来機 7412/7312（セキュリティ機能あり）	パスコードが異なる	通信エラー
			パスコードが同じ	通信 OK

■ パスコードポーリングの通信範囲

・パスコードポーリングを ON にすると、ポーリング送信する相手機を限定することができます。
・パスコードを設定した場合は、相手が当社シリーズ機 1341f/1340f/7512/7412/7312、かつ自機のパスコードと同じパスコードが設定されている場合にだけ通信できます。

パスコードポーリング	自機のパスコード	相手機	相手機のパスコード	結果
ON	設定なし (0000)	他社機	－	通信 OK
		当社機	－	
	設定あり (例 :1234)	他社機など当社シリーズ機以外	－	通信エラー
		当社シリーズ機 7512/7412 /73121341f/1340f	パスコードが異なる	通信エラー
			パスコードが同じ	通信 OK

相手機番号を確認してから送信する(IDチェック送信)

IDチェック送信の設定　　初期値：OFF

IDチェック送信を設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下4桁と相手機に登録されているファクス番号の下4桁を照合し、一致した場合のみファクス送信します。回線障害などにより相手先番号と違ったファクスに間違って送信されるトラブルを減らすことができます。

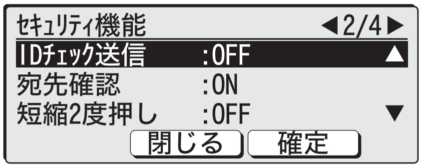
補足

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27ページ)
- ONに設定した場合でも、応用通信でIDチェック送信をOFFに設定してから通信することによって、1通信のみIDチェック通信をOFFにして通信ができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定]と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。

3 カーソルキーで「IDチェック送信」を選択し、[確定]を押します。



4 IDチェック送信をする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、[確定]を押します。

IDチェック送信が設定されます。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

ID チェック送信のしかた

■ ID チェック送信の設定が ON の場合

・ID チェック送信を ON に設定した場合は、通常の送信方法で ID チェック送信ができます。

・下記の手順で「OFF」に設定すると、1 通信のみ ID チェック通信を OFF にできます。

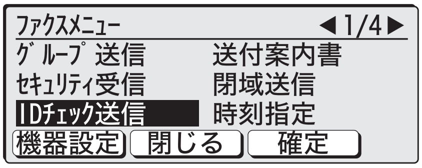
■ ID チェック送信の設定が OFF の場合

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

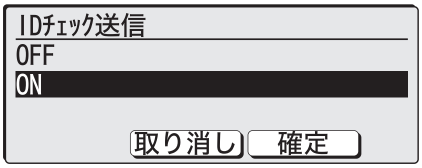
2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「ID チェック送信」を選択後、[確定]を押します。



4 カーソルキーで「ON」を選択し、[確定] を押します。



5 [閉じる] を押します。

6 相手先のファクス番号を入力し、〈スタート〉を押します。

7 宛先を確認する画面が表示されます。

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。

8 〈スタート〉または [送信開始] を押します。

ID チェック送信を開始します。原稿の読み取りが終わると ID チェック送信の設定が OFF に戻ります。

補 足

・ ID チェック送信を ON に設定しても、手動送信では ID チェック送信を行うことはできません。
・ ID チェック送信を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
・ ご愛用スイッチキー (7-47 ページ) やタッチパネルキー (7-49 ページ) に「ID チェック送信」を登録すると、1 通信ごとの設定の ON/OFF をかんたんに行えます。

入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）

宛先確認の設定　　初期値：ON

宛先確認を ON に設定すると、送信を開始する前に宛先の確認画面が表示され、宛先に間違いがないか確認することができます。ワンタッチキーの押し間違いなどにより、間違った相手先にファクス送信することを防ぎます。

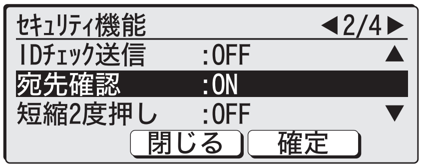
補足

あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)

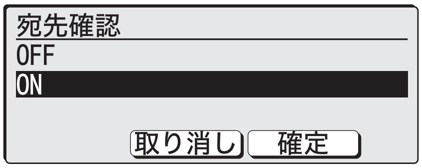
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「宛先確認」を選択し、［確定］を押します。



4 宛先確認をする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、［確定］を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

宛先確認の送信のしかた

1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 原稿をセットします。(1-66 ページ)

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 すべての宛先を入力後、〈スタート〉を押します。

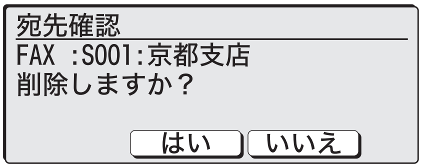
4 宛先を確認する画面が表示されます。

宛先確認の詳細については、“ 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）”(6-11 ページ) を参照してください。
相手先を追加する場合は、［閉じる］を押して手順 3 に戻ります。

5 相手先番号を削除する場合は、カーソルキーで削除したい相手先番号を選択し、［削除］を押します。



6 削除する場合は、［はい］を押します。



7 〈スタート〉または［送信開始］を押すと、送信が開始されます。

補足

2 度押し機能も ON に設定した場合は、先に 2 度押しを確認し、その後に宛先確認の手順が始まります。

入力した宛先を確認してから送信する（2度押し）

2 度押しの設定　　初期値：OFF

テンキー、短縮ダイヤル、ワンタッチキー、Is 短縮ダイヤルで宛先を入力した場合に、入力した宛先の再入力画面が表示されます。宛先を再入力することで入力間違いがないかを確認でき、間違った相手先にファクス送信するのを防ぎます。

以下の機能を設定できます。

・短縮ダイヤル 2 度押し

・ワンタッチキー 2 度押し

・ダイヤル 2 度押し

・Is+Plus 短縮ダイヤル 2 度押し *1

*1　オプションの Information server +Plus Ⅱ キット装着時のみ

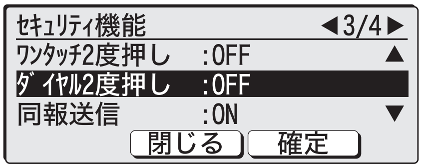
補 足

あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで設定したい２度押し機能を選択し、[確定] を押します。



4 2 度押しをする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、[確定] を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

２度押し送信のしかた

短縮ダイヤル２度押し、ワンタッチキー２度押し、ダイヤル２度押し、Is+Plus 短縮ダイヤル２度押し*[1]がＯＮになっている場合の例です。

*[1]　オプションの Information server +Plus Ⅱキット装着時のみ

1 **〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。**

2 **原稿をセットします。(1-66 ページ)**

必要に応じて画質や濃度を設定します。(3-14 ページ)

3 **宛先を入力し、［確定］または〈スタート〉を押します。**



4 **入力した宛先の再入力画面が表示されます。**

5 **入力した宛先を再度入力し、［確定］または〈スタート〉を押します。**



同報送信を行う場合は［確定］を押し、手順３から操作を繰り返します。

6 **宛先を確認する画面が表示されます。(3-6 ページ手順６～８)**

宛先確認の詳細については、" 入力した宛先を確認してから送信する（宛先確認）"(6-11 ページ) を参照してください。

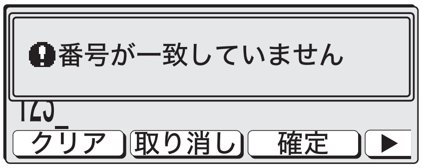
7 **〈スタート〉または［送信開始］を押します。**

原稿の読み取りが始まります。

補 足

- 手動送信の場合は、" ダイヤル２度押し " 機能は働きません。
- ポーズ（/P）などのダイヤル記号を使って宛先を入力した場合は、ダイヤル記号も含めて再度入力してください。
- 宛先確認機能も ON に設定した場合は、先に２度押しを確認し、その後に宛先確認の手順が始まります。
- ワンタッチキーで入力した宛先は、ワンタッチキーで２度目の入力をしてください。
- 宛先表で入力した宛先は、宛先表で２度目の入力をしてください。
- Is+Plus 宛先表で入力した宛先は、Is+Plus 宛先表で２度目の入力をしてください。（Infomation server +Plus Ⅱを装着しているときに利用できる機能です。）

・ Is+Plus 宛先表の短縮ダイヤルで入力した宛先は、Is+Plus 宛先表の短縮ダイヤルで２度目の入力をしてください。（Infomation server +Plus Ⅱを装着しているときに利用できる機能です。）
・ 1 回目に入力した相手先と２回目に入力した相手先が一致しない場合は、以下の画面が表示されます。手順４ から繰り返してください。1 度目に入力した相手先が間違っている場合は、〈リセット〉を押して、手順１からやり直してください。



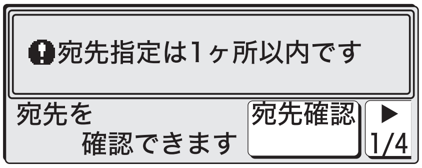
複数の宛先入力を禁止する（同報禁止）

同報送信の設定　　初期値：ON

意図せぬ宛先への送信を防ぐため、複数の宛先入力を禁止することができます。

補 足

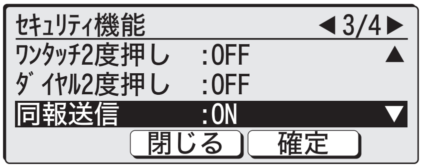
・ 同報送信を OFF に設定すると、テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルからの入力は 1 宛先に限定されます。
・ あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
・ 宛先を複数入力しようとすると、画面に数秒間「宛先指定は 1 ヶ所以内です」と表示されてから、元の画面に戻ります。送信する場合は、〈スタート〉を押してください。



1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「同報送信」を選択し、［確定］を押します。



4 同報送信をする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、［確定］を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

受信した原稿を他人に読まれないようにする（セキュリティ受信）

セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。この機能を活用すると、夜間などオフィスが無人になる時間帯に受信した原稿を、メモリーに記憶させておくことができます。受信した原稿は、あとから用紙にプリントできます。

セキュリティ受信の設定　　初期値：OFF

セキュリティ受信を ON に設定すると、毎日開始時刻にセキュリティ受信が始まります。

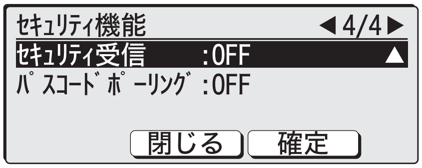
補 足

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
- セキュリティ受信した原稿を印字するにはプロテクトコードが必要です。(7-29 ページ)
- プロテクトコードが解除されると、セキュリティ受信も解除されます。
- ご愛用スイッチキー (7-47 ページ) やタッチパネルキー (7-49 ページ) に「セキュリティ受信」を登録すると、設定時刻にかかわらずセキュリティ受信の ON/OFF の設定ができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、［確定］と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「セキュリティ受信」を選択し、［確定］を押します。



4 セキュリティ受信を開始する場合はカーソルキーで「ON」を、解除する場合は「OFF」を選択し、［確定］を押します。



OFF を選択したときはセキュリティ受信が解除され、手順 3 の画面に戻ります。

5 「ON」に設定した場合は、セキュリティ受信の開始時刻を設定します。
テンキーでセキュリティ受信を開始する時刻を入力し、［確定］を押します。

設定後は、毎日開始時刻になるとセキュリティ受信が有効になります。



6 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

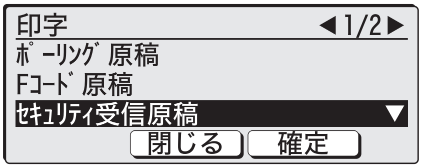
セキュリティ受信した原稿の印字

セキュリティ受信中に受信原稿がある場合は「セキュリティ受信原稿があります」と表示され、代行受信ランプが点灯します。用紙にプリントした時点で自動的に通常の受信動作に戻ります。

1 〈機器設定／登録〉、〈8〉、[確定] と押します。

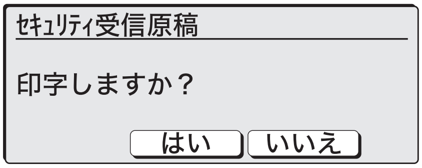
2 カーソルキーで「印字」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「セキュリティ受信原稿」を選択し、[確定] を押します。



4 テンキーでプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。

5 セキュリティ受信した原稿を印字する場合は [はい] を押します。



6 受信した原稿を印字します。

- 受信した原稿を印字すると、「セキュリティ受信を解除しました」と表示し、セキュリティ受信を解除します。その後、通常の受信動作に戻ります。
- 受信した原稿がないときは「原稿がありません セキュリティ受信を解除しました」と表示され、待機画面に戻ります。

補 足

受信原稿を印字するとセキュリティ受信は一時的に解除されますが、開始時刻になると自動的にまたセキュリティ受信が有効になります。セキュリティ受信を完全に無効にするには、「セキュリティ受信の設定」(6-17 ページ) で設定を OFF にします。

パスコードが一致した相手のみ原稿を送信する（パスコードポーリング）

原稿をあらかじめ蓄積しておくと、同じパスコードを設定した相手側からの操作で自動的に送信できます。パスコードが一致しない場合は原稿が送信されないので、機密文書などの管理に便利です。電話料金は相手側の負担になります。

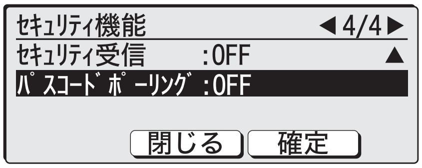
補 足

- あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)
- あらかじめパスコードの登録が必要です。(6-6 ページ) パスコードは必ず登録してください。パスコードが未登録のままではパスコードポーリングが有効になりません。
- パスコードなし（0000）の場合は、相手機に関係なくポーリング送信できます。
- パスコードポーリングによる通信範囲の詳細については、「パスコードポーリングの通信範囲」(6-8 ページ) を参照してください。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「パスコードポーリング」を選択し、[確定] を押します。



4 パスコードポーリングをする場合はカーソルキーで「ON」を、しない場合は「OFF」を選択し、[確定] を押します。



5 〈リセット〉を押して待機画面に戻ります。

ダイレクトメールを防止する

短縮ダイヤルに登録されている番号からのみ受信できるようにしたり、登録した特定の番号からの受信を拒否したりできるので迷惑ファクスを防止できます。

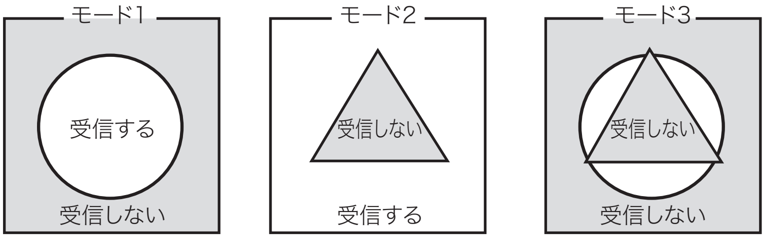
- ダイレクトメール防止には 3 種類の方法があります。
  - **・モード 1**

    短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信を拒否する方法です。登録されているファクス番号の下 4 桁と相手先 ID を照合し、一致したときのみ受信します。
  - **・モード 2**

    ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下 4 桁を登録します。最大 50 件まで登録できます。
  - **・モード 3**

    モード 1、2 を合わせた方法です。短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。
  - **・OFF**

    ダイレクトメール防止を行いません。



□の部分：着信した番号

○の部分：短縮ダイヤルに登録されている番号

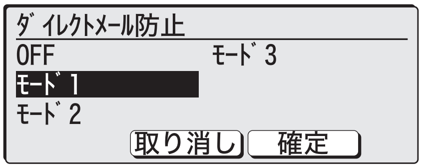
△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

登録する　　初期値：OFF

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈1〉、〈7〉、［確定］と押します。

2 「設定」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

3 モードを選択し、［確定］を押します。
「OFF」または「モード 1」選択したときは、この手順で終了です。



〈リセット〉を押すと待機画面に戻ります。

■ モード 2、モード 3 を選択した場合
ダイレクトメールを防止する相手先の番号を登録します。

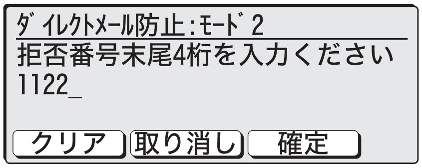
4 「登録／変更」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。

5 登録ボックスを選択し、［確定］を押します。



既に登録されている番号を変更する場合は、変更したい番号が登録されているボックスを押します。

6 テンキーでダイレクトメール防止を行う電話番号の下 4 桁を入力し、［確定］を押します。



7 続けてほかの番号を登録する場合は、手順 5 から操作を繰り返します。
終了する場合は、〈リセット〉を押します。

登録した番号の削除

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈1〉、〈7〉、[確定] と押します

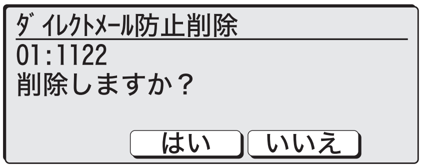
2 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで削除したい番号を選択し、[確定] を押します。



4 削除する場合は [はい] を押します。

「いいえ」を押した場合は削除されず、手順 3 に戻ります。



5 選択した番号が削除されます。続けてその他の番号を削除する場合は、手順 3 から操作を繰り返します。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

ダイレクトメール防止リストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または

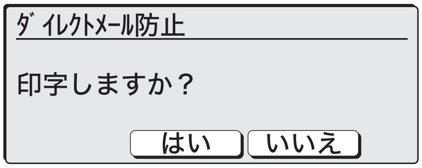


2 カーソルキーで「その他のリスト」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「ダイレクトメール防止」を選択し、[確定] を押します。

4 [はい] を押します。

ダイレクトメール防止リストをプリントします。



印字例

ABC商事㈱　　　　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　ダイレクトメール防止リスト　＊＊

P.1　　　　モード2　　　2011年 3月17日(木) 13:30

No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号	No.	ダイヤル番号
1	1122	2	1234	3	2233

補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈3〉、〈1〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

プロテクト設定

プロテクト設定

機能の設定や操作を行う際に、管理者パスワードやプロテクトコードの入力を義務づけることができます。

補足

あらかじめ、管理者パスワードとプロテクトコード登録が必要です。(7-27 ページ、7-29 ページ)

■ プロテクト機能を設定する

「通信管理レポート」にプロテクト機能を設定する例を説明します。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 プロテクトコードを入力します。

3 カーソルキーで「リスト」を選択し、［確定］を押します。



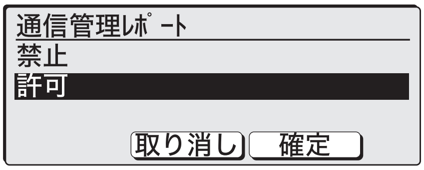
4 カーソルキーで「通信管理レポート」を選択し、［確定］を押します。

操作をプロテクトできる機能については、6-26 ページの表を参照してください。



5 カーソルキーで「許可」を選択し、［確定］を押します。

禁止した場合は、その機能を使用するときに管理者パスワードの入力が必要になります。



6 カーソルキーで「プロテクトする」を選択し、［確定］を押します。



操作をプロテクトしないときは、「プロテクトしない」を押します。

7 プロテクト機能が設定されます。
終了する場合は、〈リセット〉を押します。

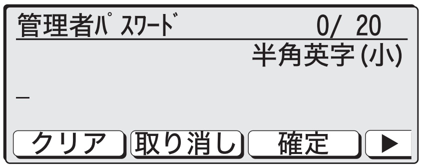
プロテクト機能の使いかた

■「機器設定」や「リスト」で「禁止」に設定した場合

プロテクト機能で機器設定やリストを「禁止」にした場合は、その機能を使用するときに管理者パスワードの入力が必要です。

【例】短縮ダイヤルの登録を「禁止」に設定した場合で、〈機器設定 / 登録〉、〈1〉を押してから、［確定］と押したとき

1 管理者パスワードの入力が要求されます。



2 テンキーで管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

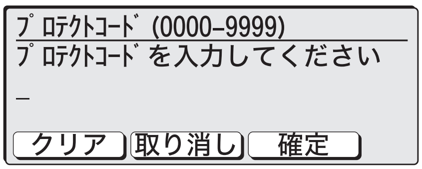
3 短縮ダイヤルの登録を行います。
短縮ダイヤルの登録方法については、本書の「各種機能の登録 / 設定」の中の "短縮ダイヤルの登録 / 変更 "(7-3 ページ) を参照してください。

■プロテクトコードの要求を設定した場合

セキュリティ機能でそれぞれの機能を「プロテクトする」に設定した場合は、その機能を利用するときにプロテクトコードの入力が必要です。

【例】短縮ダイヤルの登録を「プロテクトする」に設定した場合で、〈機器設定 / 登録〉、〈1〉を押してから、［確定］と押したとき

1 プロテクトコードの入力が要求されます。



2 プロテクトコードを入力し、［確定］を押します。

3 短縮ダイヤルの登録を行います。
短縮ダイヤルの登録方法については、本書の「各種機能の登録 / 設定」の中の "短縮ダイヤルの登録 / 変更 "(7-3 ページ) を参照してください。

■ 操作をプロテクトできる機能

ファクス機能	短縮ダイヤル送信 ワンタッチダイヤル送信 直接ダイヤル送信 グループ送信 手動送信 リダイヤル 閉域送信 ID チェック送信 F コード送信 Is 短縮送信 *[1] メール履歴 *[1] メール再送 *[1]
機器設定	短縮ダイヤルの登録 グループの登録 ファクスワープ 部門管理 原稿蓄積 F コードボックスの登録 禁止設定
リスト	短縮・グループダイヤルリスト Is +Plus 宛先リスト *[1] 通信管理レポート ファクスワープリスト 部門管理リスト

*[1] オプションの Information server +Plus II キット装着時のみ

機能の制限について

電話をかけるとき

ハンドセットや〈オンフック / 会話予約〉を使って電話をかけるときは、セキュリティ機能、プロテクト機能で設定している一部の設定が無効になります。詳細は、以下の表を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="2">設定が無効になる機能</th><th>設定値</th><th>電話をかけるときの動作</th></tr>
<tr><td rowspan="3">セキュリティ機能</td><td>短縮ダイヤル２度押し（宛先表を含む）</td><td rowspan="3">ON
<u>OFF</u></td><td rowspan="3">OFF と同じ動作</td></tr>
<tr><td>ワンタッチ２度押し</td></tr>
<tr><td>ダイヤル２度押し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プロテクト機能</td><td>短縮ダイヤルを使った送信（宛先表を含む）</td><td rowspan="4">禁止
プロテクトする
<u>プロテクトしない</u></td><td rowspan="4">プロテクトしないと同じ動作</td></tr>
<tr><td>ワンタッチキーを使った送信</td></tr>
<tr><td>テンキーを使った送信</td></tr>
<tr><td>リダイヤル</td></tr>
</table>

<u>　　</u>の付いている値が、工場出荷時の設定です。

おまかせ機能

おまかせ機能を利用するときは、以下の点に注意してください。

- 利用したい機能の設定が終わってからおまかせ機能を登録してください。
- すでにおまかせ機能が登録されている場合は、セキュリティ機能やプロテクト機能の設定を変更しないでください。設定を変更した場合は、あらためておまかせ機能の登録を行ってください。
- おまかせ機能に〈スタート〉を登録しないでください。

第 7 章

各種機能の登録／設定

ファクス機能に関する設定

コピー機能に関する設定

共通の設定

機器管理

短縮ダイヤルの登録／変更

よく通信する相手先を、500 カ所まで登録することができます。

- 短縮ダイヤルの 001 ～ 068 は、ワンタッチキーの 01 ～ 68 と対応しています。たとえば、ワンタッチキー 01 に登録されている相手先は、短縮ダイヤル 001 に登録されている相手先と同じです。
- 短縮ダイヤルには以下の内容を登録できます。あらかじめ登録内容を準備してください。
  - **相手先番号**
    40 桁まで登録できます。
  - **相手先名**
    半角 24（全角 12）文字まで登録できます。
  - **読み仮名**
    宛先表で索引を使用するとき、キーワードとなる文字です。カタカナ、英数にて半角 8 文字を登録できます。
  - **グループ番号**
    短縮ダイヤルをグループに分ける場合に登録します。グループ単位で送信したり、グループ単位で検索したりすることができます。
  - **スーパー G3**
    スーパー G3（超高速通信モード）で送信することができます。

補 足

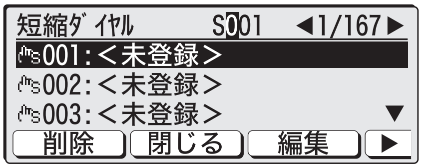
- 短縮ダイヤルの登録を保護（プロテクト）することができます。（6-24 ページ）
- 宛先名表示を ON に設定すると、短縮ダイヤルの相手先名の後に「様」を追加して送信原稿の先頭に挿入します。（初期値 ON、7-17 ページ）

登録／変更する

短縮ダイヤルにダイヤル No. や相手先名を登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 登録したい短縮番号を選択し、［編集］を押します。



- 画面を切り替えるには、カーソルキーを押します。
- テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。
- ワンタッチキーに対応している短縮番号には、アイコンが表示されます。

3 テンキーで相手先番号を入力し（40 桁まで）、［確定］を押します。

初めて登録する場合は、相手先番号の入力画面が開きます。相手先番号を変更する場合は、「ダイヤル番号」を選択後［編集］を押し、入力画面を開いて入力し直します。

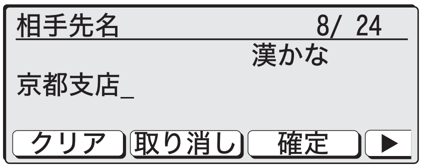


・番号を間違って入力した場合は、［クリア］を押して削除し、正しい番号を入力します。
・ポーズなどのダイヤル記号（3-16 ページ）を入力するには、［▶］、［ダイヤル記号］を押します。

4 相手先名を登録します。

「相手先名」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

5 相手先名を入力し、［確定］を押します。



・ 半角文字では 24 文字、全角文字では 12 文字まで登録できます。
・ 文字入力については、「文字入力のしかた」（1-26 ページ）を参照してください。

■ 読み仮名、グループ、スーパー G3 は必要に応じて設定します。

6 読み仮名を登録します。

相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順 8 に進みます。

「読み仮名」が選択されていることを確認し、［編集］を押します。

7 読み仮名を入力し、［確定］を押します。



・ 読み仮名に使用できる文字は、半角のカタカナ・英数字です。8 文字まで登録できます。
・ 文字入力については、「文字入力のしかた」（1-26 ページ）を参照してください。

8 グループを利用する場合は、グループ番号を選択します。
カーソルキーで「グループ No」を選択し、［編集］を押します。

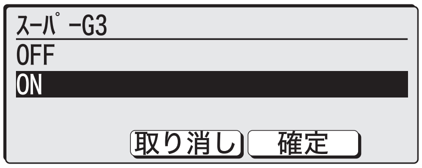
9 カーソルキーでグループ番号を選択し、［選択］を押した後、［閉じる］を押します。



・ 複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。
・ 選択されているグループ番号の右端にはチェックマーク が表示されます。
・ 選択を解除するには［クリア］を押します。
・ グループに名称を付けたり、グループ番号ごとに短縮ダイヤルを割り付けたりすることができます。詳しくは、「グループダイヤルの登録」を参照してください。（7-12 ページ）

10 スーパー G3 を設定する場合は、カーソルキーで「スーパー G3」を選択し、［編集］を押します。

11 スーパー G3 を使用する場合は、カーソルキーで「ON」を選択し、［確定］を押します。



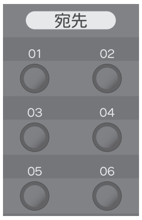
12 続けてほかの短縮ダイヤルを登録する場合は、［閉じる］を押し、手順 2 から操作を繰り返します。
〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補 足
短縮ダイヤルの 001 ～ 068 に登録した相手先名をワンタッチ宛名ラベルに記入し、ワンタッチキーに貼っておくと便利です。ワンタッチ宛名ラベルは取説キットに同梱されています。

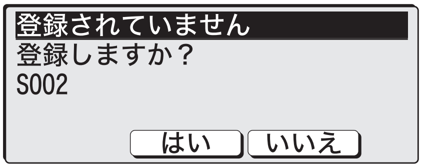
便利な登録方法１　未登録の短縮ダイヤルに直接登録

未登録の短縮ダイヤル 001 ～ 068 への登録は、未登録のワンタッチキー 01 ～ 68 を押して選択することができます。ファクスモードになっている場合、未登録のワンタッチキーを押すと、自動的に登録操作になります。

1 未登録のワンタッチキーを押します。



2 登録する場合は［はい］を押します。



3 選択した短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「登録 / 変更する」（7-4 ページ）の手順３～ 11 と同じです。

便利な登録方法２　テンキーで入力した番号を登録

テンキーで相手先番号を入力してから短縮ダイヤルに登録できます。

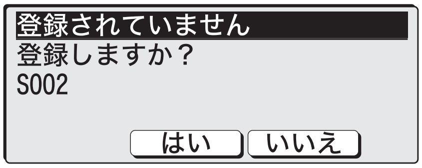
1 〈ファクス〉を押して、ファクスモードに切り替えます。

2 テンキーで相手先番号を入力します。

3 [▶]、[短縮登録］と押します。



4 登録する場合は［はい］を押します。



未登録の一番若い短縮番号が表示されます。

5 短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「登録 / 変更する」（7-4 ページ）の手順 4 〜 11 と同じです。

短縮ダイヤルの削除

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、[確定］と押します。

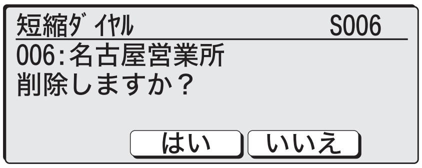
2 カーソルキーで削除したい短縮ダイヤルを選択し、[削除］を押します。



・ テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。

・ 送信中または送信予約に含まれている短縮ダイヤルや、F コード中継ボックス、ファクスワープに使用されている短縮ダイヤルは削除できません。（7-10 ページ）

3 削除する場合は［はい］を押します。



［いいえ］を押した場合は削除されず、手順２に戻ります。

4 続けて削除を行うときは、手順 2、3 を繰り返します。

〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

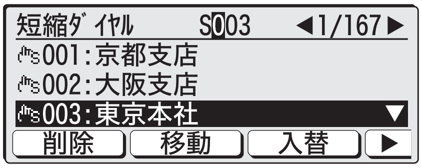
短縮ダイヤルの番号を移動する

短縮ダイヤルをお好きな位置へ移動させ、挿入することができます。

---

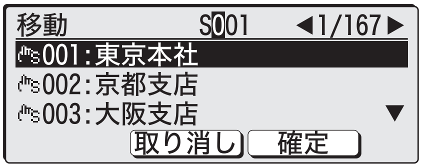
1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで移動したい短縮ダイヤルを選択し、［▶］、［移動］を押します。



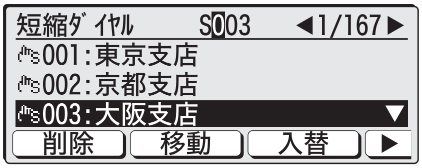
テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。

3 カーソルキーで挿入したい位置に移動し、［確定］を押します。



テンキーで移動先の短縮番号を入力して指定することもできます。

4 短縮番号が移動します。
続けて移動を行うときは、手順 2、3 を繰り返します。



終了する場合は、〈リセット〉を押します。

補足

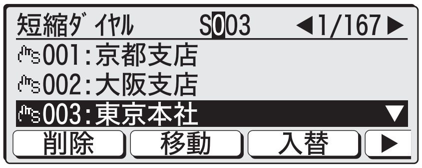
- 短縮ダイヤルの 001 〜 068 はワンタッチキーの 01 〜 68 と対応しています。そのため 001 〜 068 に登録すると、ワンタッチキーの順番も変わります。
- 移動する位置、移動できる短縮ダイヤルには制限があります。（7-10 ページ）

短縮ダイヤルの番号を入れ替える

短縮ダイヤルを指定した短縮ダイヤルと入れ替えることができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで入れ替えたい短縮ダイヤルを選択し、［▶］、［入替］を押します。



テンキーで短縮番号を入力して選択することもできます。

3 カーソルキーで入れ替えたい位置に移動し、［確定］を押します。



テンキーで入れ替える短縮番号を入力して選択することもできます。

4 指定した短縮番号が入れ替わります。
続けて入れ替えを行うときは、手順 2、3 を繰り返します。



終了する場合は、〈リセット〉を押します。

補 足

- 短縮ダイヤルの 001 ～ 068 はワンタッチキーの 01 ～ 68 と対応しています。そのため 001 ～ 068 に登録すると、ワンタッチキーの順番も変わります。
- 入れ替えできる短縮ダイヤルには制限があります。（7-10 ページ）

削除・移動・入れ替えの制限について

削除や移動、入れ替えができる短縮ダイヤルには制限があります。

■ 制限される短縮ダイヤル

・送信中や送信予約に使用されている短縮ダイヤルは、送信が完了するまで削除、移動、入れ替えをすることはできません。

・F コード中継ボックス、ファクスワープに使用されている短縮ダイヤルは、削除、移動、入れ替えをすることはできません。

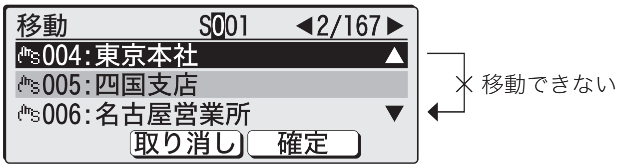
■ 入れ替えについて

制限されている短縮ダイヤルは入れ替えできません。入れ替えできない短縮ダイヤルは網掛けになります。



■ 移動について

短縮ダイヤルを移動すると短縮番号がずれていきます。制限されている短縮ダイヤル（網掛けになります）の短縮番号がずれる位置へは移動できません。



短縮ダイヤルリストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

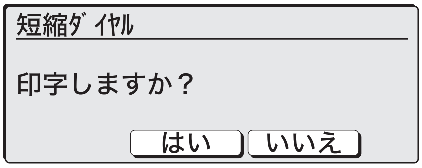


または



2 「短縮ダイヤル」を選択し、[確定] を押します。

3 [はい] を押します。



短縮ダイヤルリストが印字されます。

印字例

ABC商事㈱　　　　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　短縮ダイヤルリスト　＊＊

P.1　　　　　　2011年 3月17日（木）13:30

No.	相手先名	相手先番号	スーパーG3
S001	京都支店	075-661-2864	ON
S002	大阪支店	06-6539-7222	ON
S003	東京本社	03-3592-0833	ON
S004	東北支店	022-264-7116	ON
S005	四国支店	087-823-2286	ON
S006	名古屋営業所	052-973-3850	ON
S007	開発一課	12133	ON

補 足

- 短縮ダイヤルリストの印字を保護（プロテクト）することができます。(6-24 ページ)
- ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
  〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

グループダイヤルの登録

多数の相手に送信するとき、ワンタッチキー・短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位で送信することができます。（4-5 ページ）

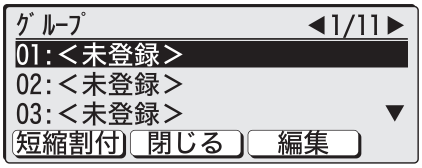
短縮ダイヤルを登録するときにもグループ番号を登録できますが、ここではグループ番号ごとに短縮ダイヤルを割り付けることができます。また、グループに名前を付けることもできます。

登録／変更する

グループ番号は 01 ～ 32 まで登録できます。

1 〈機器設定／登録〉、〈2〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで登録したいグループ No. を選択し、［短縮割付］を押します。



3 グループに登録する短縮ダイヤルを選択し、［選択］を押します。



・ 選択されている短縮ダイヤルの右端にはチェックマークが表示されます。
・ 選択を解除するには、［クリア］を押します。

4 登録を終了するときは、［閉じる］を押します。

5 続けてほかのグループダイヤルを登録する場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

補 足

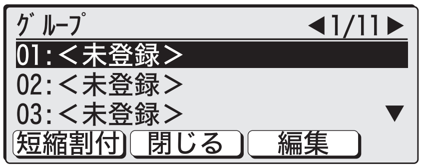
変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

グループ名を登録／変更する

グループ名を登録することができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈2〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで登録したいグループ No. を選択し、［編集］を押します。



3 グループ名を登録します。

・ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。
・ 文字入力については、「文字入力のしかた」（1-26 ページ）を参照してください。



4 ［確定］を押します。

5 続けてほかのグループ番号に名前をつける場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

グループリストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、［確定］を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

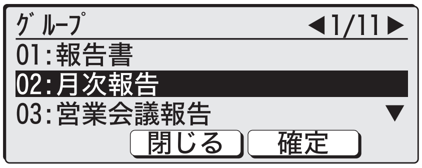


または



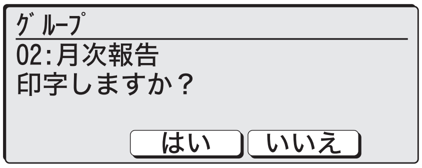
2 カーソルキーで「グループ」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで印字したいグループ No. を選択し、［確定］を押します。

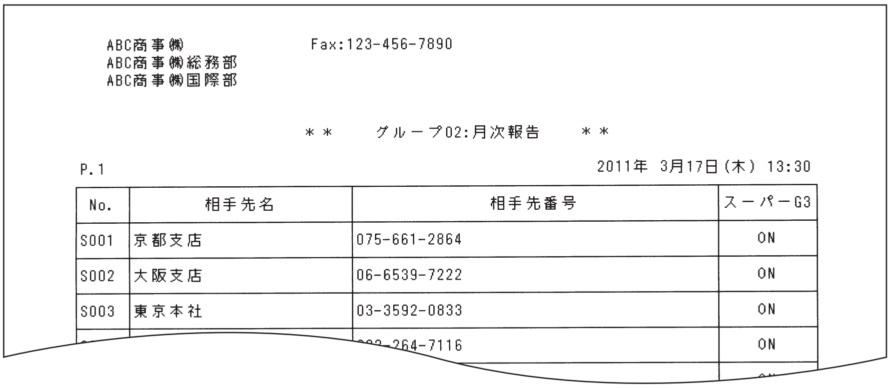


宛先が何も登録されていないグループ No. は選択できません。

4 ［はい］を押します。



印字例



ABC商事㈱　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　グループ02:月次報告　＊＊

P.1　2011年 3月17日（木）13:30

No.	相手先名	相手先番号	スーパーG3
S001	京都支店	075-661-2864	ON
S002	大阪支店	06-6539-7222	ON
S003	東京本社	03-3592-0833	ON

補足

ショートカットで操作するには、以下の手順を行います。
1 〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈2〉、［確定］と押す。
2 カーソルキーで印字したいグループを選択し、［確定］を押す。
3 ［はい］を押す。

送信初期値設定

送信するときの初期値を設定できます。初期値とは、電源を入れたときや、〈リセット〉を押して待機画面に戻したときの状態をいいます。使用状況に合わせて設定してください。

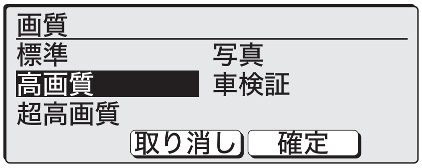
- 何も操作せずに一定時間放置すると初期値に戻ります。初期値に戻るまでの時間を設定できます。（7-32 ページ）

初期値設定方法

ファクス送信の画質の初期値を設定する例を説明します。

1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈0〉、〈1〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで初期値に設定したい値を選択し、［確定］を押します。



3 画質の初期値が設定されます。

送信初期値設定一覧

機　　能	機能説明	設定値	機能番号
画質 (3-14 ページ)	読み取り時の画質の初期値を設定します。よく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。	標準 高画質 超高画質 写真 車検証	5011
濃度 (3-14 ページ)	読み取り時の濃度の初期値を設定します。よく送信する原稿に合わせて設定しておくと、変更の手間が省けます。	薄く やや薄く [*1] 普通 やや濃く [*1] 濃く	5013
発信元名 (3-19 ページ)	ON にすると、発信元名を相手先に表示したりプリントしたりできます。 1 通信ごとに、発信元名の ON/OFF を選択することもできます。	OFF ON	5015
メモリー送信 (3-15 ページ)	送信するときにメモリー送信を優先するか、リアルタイム送信を優先するか設定します。ON にするとメモリー送信、OFF にするとリアルタイム送信を優先します。 1 通信ごとに、メモリー送信で送るか、リアルタイム送信で送るかを選択することもできます。	OFF ON	5017

機　　能	機能説明	設定値	機能番号
送付案内書 (4-11 ページ)	文書 1 〜 3 のいずれかを選択すると、送信原稿といっしょに簡単な文書（メッセージ）の入った送付案内書を常につけて送信することができます。	OFF 文書 1 文書 2 文書 3	5019
送信確認証 (3-43 ページ)	ON に設定すると、常に送信確認証をプリントすることができます。 1 通信ごとに、送信確認証の ON/OFF を選択することもできます。	OFF ON	5021
済スタンプ (3-20 ページ)	ON に設定すると、済スタンプを常に押すことができます。 1 通信ごとに、済スタンプの ON/OFF を選択することもできます。	OFF ON	5023

______のついている値が、出荷時設定 *2 です。

*1　表示はありません。
*2　出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値のことです。

その他の設定

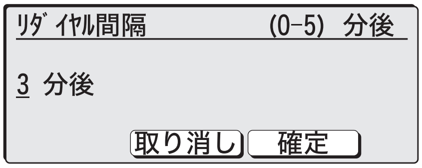
送信するときや受信するときに設定すると便利な通信時に使用する機能について説明します。使用状況に合わせて設定してください。

設定方法

リダイヤル間隔を設定する例を説明します。

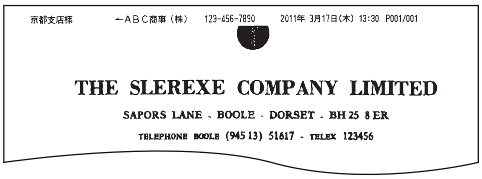
1 〈機器設定／登録〉、〈5〉、〈1〉、〈1〉、〈5〉、［確定］と押します。

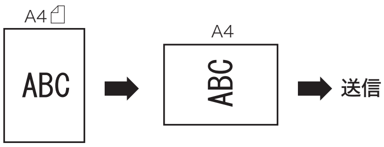
2 テンキーまたはカーソルキーでリダイヤル間隔時間を設定し、［確定］を押します。



3 リダイヤル間隔が設定されます。

その他の設定一覧

機　能	機能説明	設定値	機能番号
宛先名表示	ONにすると、短縮ダイヤルに登録している相手先名を、宛名として送信原稿の先頭に挿入します。半角文字では20文字、全角文字では10文字分表示します。また、宛先名の後に「様」が追加されます。  	OFF ON	5111
リダイヤル回数	相手が話し中などのとき、ここで設定した回数分、再度ダイヤルします。再ダイヤルの間隔は「リダイヤル間隔」で設定します。	0～15回：3回	5113
リダイヤル間隔	再ダイヤルの間隔を設定します。	0～5分後：1分後	5115
ダイレクトメール防止	不必要なファクス受信を防止できます。	参照：6-20ページ	5117
呼出しベル回数	受信モードが（ファクス、電話／ファクス待機）のとき、受信動作が開始されるまでのベル回数時間を設定します。	0～10回：2回	5119
ポーズ時間	ポーズ記号を入力したときのダイヤル間隔（0～10秒）の初期値を設定します。	0～10秒：3秒	5121

機　　能	機能説明	設定値	機能番号
超高画質解像度	送信画質を超高画質にした場合の読み取り解像度を設定します。600dpi に設定すると、400dpi よりきれいに読み取ることができますが、送信時にメモリーオーバーすることがあります。	400dpi 600dpi	5123
受信縮小率	受信文書の長さに合わせて自動的に倍率が選択される「自動」と、いつも一定の縮小率でプリントされる「100%」があります。	自動 100%	5125
しきい値	受信原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、次のページにプリントするかを判断する値です。	0 ～ 85 mm : 24mm 参照 : 3-34 ページ	5127
用紙節約	受信原稿のプリント方法を設定します。ページ合成に設定すると、A5、B5 相当の原稿を 2 枚連続して受信した場合に、用紙 1 枚に収まるように 2 枚を合成してプリントします。ただし、受信原稿と同サイズの用紙がセットされている場合は、ページ合成は無効になります。	OFF ページ合成 参照 : 3-35 ページ	5129
逆順プリント	ON に設定すると、受信した原稿、通信予約原稿、ポーリング原稿、F コード BOX の印字原稿を逆順にプリントします。 ON に設定していても、メモリー残量が少ないと自動プリントになる場合があります。	OFF ON	5131
回転送信	A4 の原稿を A4 に回転して読みこみ、送信することができます。回転送信はメモリー送信時のみ有効です。  	OFF ON	5133
クイックメモリー送信	ON に設定すると、複数の原稿を送信する際に、読み取ると同時に蓄積できたページより順に送信を始めます。	OFF ON	5135
ECM モード	電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。（相手先にも同じ機能が必要です。）	OFF ON	5137
サービスモード	設定しないでください。		5139
ダイヤルプレフィクス	あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号につけて発信することができます。短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。	0000 参照 : 4-8 ページ	5141

______のついている値が、出荷時設定 * です。

* 出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値のことです。

ファクス設定リストを印字する

ファクス機能の送信初期設定、その他の設定で設定した、各種機能の設定状況を印字して確認することができます。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または

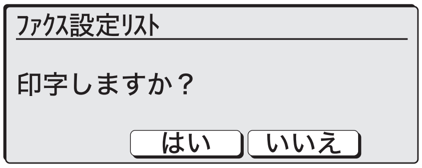


2 カーソルキーで「機器設定」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「ファクス設定リスト」を選択し、[確定] を押します。

4 [はい] を押します。

ファクス設定リストをプリントします。



補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈9〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

印字例

＊＊　ファクス設定リスト　＊＊

発信元名1 発信元名2 発信元名3	ABC商事㈱ ABC商事㈱総務部 ABC商事㈱国際部	ファクス番号	123-456-7890

32768 KB　　2011年 3月17日（木） 13:30

ﾀﾞｲﾔﾙ種別	ﾌﾟｯｼｭ	ﾀﾞｲﾔﾙ10	**ﾀﾞｲﾔﾙ20**		
ﾌｧｸｽ受信ﾓｰﾄﾞ	**ﾌｧｸｽ待機**	電話/ﾌｧｸｽ待機	ﾌｧｸｽ/電話待機	留守/ﾌｧｸｽ待機	
	電話待機				
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出	OFF	**ON**			
発信元名					
発信元名1	ABC商事㈱				
ｶﾅID1	ABCｼｮｳｼﾞ				
発信元名2	ABC商事㈱総務部				
ｶﾅID2	ABCｼｮｳｼﾞｿｳﾑﾌﾞ				
発信元名3	ABC商事㈱国際部				
ｶﾅID3	ABCｼｮｳｼﾞｺｸｻｲﾌﾞ				
標準発信元名	ABC商事㈱				
発信元番号	123-456-7890				
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ設定					
電話機接続設定	**未接続**	増設電話接続			
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	**OFF**	ON			
送信初期値					
画質	**標準**	高画質	超高画質	写真	車検証
濃度	薄く	やや薄く	**普通**	やや濃く	濃く
発信元名	OFF	**ON**			
ﾒﾓﾘｰ送信	OFF	**ON**			
送付案内書	**OFF**	文書 1	文書 2	文書 3	
送信確認証	**OFF**	ON			
済ｽﾀﾝﾌﾟ	**OFF**	ON			
ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ					
ﾌｧｸｽﾜｰﾌﾟ	**OFF**	ON			
ｾｷｭﾘﾃｨ機能					
閉域送信	**OFF**	ON			
閉域受信	**OFF**	ON			
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞ	0000				
IDﾁｪｯｸ送信	**OFF**	ON			
宛先確認	OFF	**ON**			
短縮2度押し	**OFF**	ON			
ﾜﾝﾀｯﾁ2度押し	**OFF**	ON			
ﾀﾞｲﾔﾙ2度押し	**OFF**	ON			
同報送信	OFF	**ON**			
ｾｷｭﾘﾃｨ受信	OFF				
ﾊﾟｽｺｰﾄﾞﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	**OFF**	ON			
その他の設定					
宛先名表示	OFF	**ON**			
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ回数	3 回				
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ間隔	1 分後				
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾒｰﾙ防止					
設定	**OFF**	ﾓｰﾄﾞ1	ﾓｰﾄﾞ2	ﾓｰﾄﾞ3	

コピー初期値設定

コピーするときの初期値を設定できます。初期値とは、電源を入れたときや、〈リセット〉を押して待機画面に戻したときの状態を言います。使用状況に合わせて設定してください。

補 足

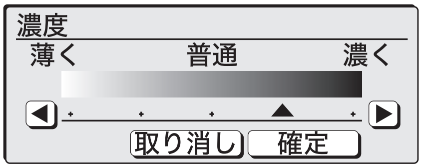
何も操作せずに一定時間放置すると初期値にもどります。初期値に戻るまでの時間を設定できます。（7-32 ページ）

初期値設定方法

コピーの濃度の初期値を設定する例を説明します。

1 〈機器設定／登録〉、〈4〉、〈0〉、〈1〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで初期値にしたい濃度を選択、［確定］を押します。



3 濃度の初期値が設定されます。

コピー設定一覧

機能	機能説明	設定値	機能番号
画質	コピーする原稿の画質の初期値を設定します。よくコピーする原稿に合わせて設定しておくと設定の手間が省けます。	文字 文字／写真 写真 車検証	4011
濃度	コピーする原稿の濃度の初期値を設定します。よくコピーする原稿に合わせて設定しておくと設定の手間が省けます。	濃く やや濃く *1 普通 やや薄く *1 薄く	4013
拡大縮小	拡大縮小コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%	4015
ソート	ON に設定すると、初期値にてソートが ON になります。ソートコピーが多い場合に ON に設定しておくと、設定の手間が省けます。一時的にソート機能を OFF にする時は、［ソート］を押して「ON」から「OFF」に変更します。	OFF ON	4017

____のついている値が、出荷時設定＊2 です。

＊1 表示はありません。

＊2 出荷時設定とは、工場を出荷したときにあらかじめ設定されている値のことです。

コピー予約設定

コピー予約（2-14 ページ）を可能にするかどうかの設定を行います。

設定方法　　出荷時設定：ON

1 〈機器設定／登録〉、［機器設定］と押します。

2 カーソルキーで「コピー機能」を選択し、［確定］を押します。



3 カーソルキーで「コピー予約」を選択し、［確定］を押します。



4 カーソルキーで「ON」または「OFF」を選択し、［確定］を押します。

OFF に設定すると、コピー予約（2-14 ページ）ができなくなります。



コピー設定リストを印字する

コピー設定リストを印字すると、コピー機能の初期値設定およびコピー予約機能の設定状況を確認することができます。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または

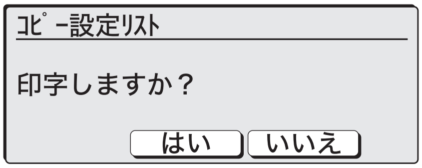


2 カーソルキーで「機器設定」を選択し、[確定] を押します。

3 「コピー設定リスト」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

4 [はい] を押します。

コピー設定リストをプリントします。



印字例

＊＊　コピー設定リスト　＊＊

P.1　　2011年 3月17日（木） 13:30

コピー初期値					
画質	文字	文字/写真	写真	車検証	
濃度	薄く	やや薄く	普通	やや濃く	濃く
拡大縮小	自動	100%			
ソート	OFF	ON			
コピー予約	OFF	ON			

補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈0〉、〈7〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

用紙に関する設定

受信やコピー時に使用する用紙を設定したり、仕分け用の用紙を挿入したりできます。

設定方法

「リスト用紙」を設定する例を説明します。

1 〈機器設定／登録〉、〈3〉、[確定］と押します。

2 カーソルキーで「リスト用紙」を選択し、[確定］を押します。



3 リスト印字に使用する用紙を、用紙サイズを指定して選ぶか、カセットを指定して選ぶか選択します。

ここでは例として「カセットで選ぶ」を選択します。選択後 [確定] を押します。



4 カーソルキーでカセットを選択し、[確定］を押します。



5 [閉じる］を押すと手順 2 の画面に戻ります。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

用紙／仕分け設定一覧

用紙／仕分け設定で設定した各種機能の設定状況は、機器管理リストに印字されます。(7-36 ページ)

機能	機能説明	設定値
手差し用紙	手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙の種類を登録できます。よく使用する用紙サイズ･用紙種類を登録すれば、手差し用紙をセットした際の設定の手間が省けます。 また、不定形サイズの用紙サイズを 5 種類まで設定することができます。	「手差し用紙の設定」(1-62 ページ)を参照
リスト用紙	リストを印字する用紙サイズまたはカセットを選択できます。選択した用紙に収まらないときは、自動的に縮小したり、回転したりして印字します。 選択したサイズの用紙がカセットにないときや、選択したカセットに用紙がないときは、他のカセットの用紙に印字します。 用紙の指定は、どちらか一方の指定方法しか選択できません。用紙サイズを指定した場合はカセットの設定が「OFF」に、カセットを指定した場合は用紙サイズの設定が「OFF」になります。	●用紙サイズで選ぶ 自動 A4 B4 B5 A5 ●カセットで選ぶ カセット 1 カセット 2 カセット 3*
印字カセット指定	■ ファクス ファクス受信時に使用するカセットを指定できます。 「受信原稿仕分け」で使用しているカセットは設定できません。 「ON」: このカセットを使用する。 「ON(優先)」: 同じサイズの用紙が他のカセットにもセットされている場合に優先して使用する。 「OFF」: このカセットを使用しない。 ■ コピー 用紙選択を「自動」に設定している場合に使用するカセットを指定できます。 「ON」: このカセットを使用する。 「ON(優先)」: 同じサイズの用紙が他のカセットにもセットされている場合に優先して使用する。 「OFF」: このカセットを使用しない。	 カセット 1 ～ 3* OFF ON ON(優先) 手差しトレイ OFF ON ON(優先) カセット 1 ～ 3* OFF ON ON(優先) 手差しトレイ OFF ON ON(優先)

__の付いている値が出荷時設定です。

* カセット 3 はオプションです。本機に装着されている場合に表示されます。

機能	機能説明	設定値
受信原稿仕分け	受信原稿の1枚目に受信した原稿を印字するカセットを選択します。1枚目と2枚目以降に使用するカセットの用紙を違う向きにしたり、1枚目と2枚目の用紙サイズや用紙の色を変えたりすることで、受信ごとに原稿を仕分けることができます。 ファクスの印字カセット指定でOFFに設定したカセットを指定することはできません。 「先頭ページに印字する」: ONに設定すると、1枚目の用紙に1枚目に受信した原稿を印字します。 OFFに設定すると、1枚目の用紙は白紙として排出され、印字は2枚目からとなります。	●設定 <u>OFF</u> ON ●カセット指定 <u>カセット1</u> カセット2 カセット3* 手差しトレイ ●先頭ページに印字する <u>OFF</u> ON

__の付いている値が出荷時設定です。

* カセット3はオプションです。本機に装着されている場合に表示されます。

管理者パスワード

以下を設定する場合は、管理者パスワードが必要になります。

・ プロテクトコード
・ プロテクト機能
・ セキュリティ機能
・ ユーザーデータ消去
・ ネットワーク設定 *
・ サーバーデータ消去 *

*Information server +Plus Ⅱを装着しているときに利用できる機能です。

補足

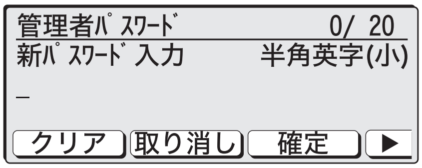
Information server +Plus Ⅱおよびアーカイブ拡張キット（AC-150）と併せてお使いいただく場合は、管理者パスワードの設定は Information server +Plus Ⅱのオプションタブにある「ユーザー情報」をクリックして、ユーザー情報設定画面から行います。登録や変更の方法は Information server +Plus Ⅱリファレンスマニュアルの「設定のしかた」の中の「ユーザー情報を登録する」を参照してください。

管理者パスワードを登録する

管理者パスワードとして使用できるのは、半角英数字と記号です。20 桁まで登録できます。

1 〈機器設定 / 登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈2〉、［確定］と押します。

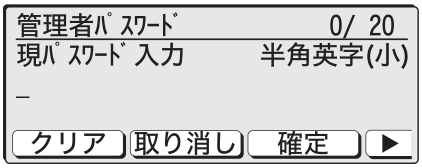
2 登録したいパスワードを入力し、［確定］を押します。



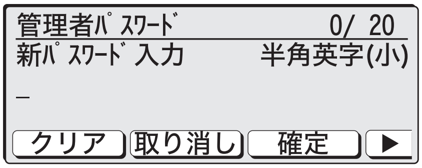
管理者パスワードを変更する

1 〈機器設定 / 登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈2〉、［確定］と押します。

2 現在のパスワードを入力し、［確定］を押します。



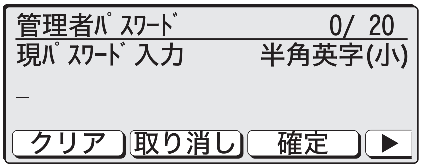
3 新しいパスワードを入力し、［確定］を押します。



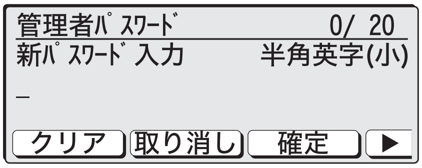
管理者パスワードを削除する

1 〈機器設定 / 登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈2〉、［確定］と押します。

2 現在のパスワードを入力し、［確定］を押します。



3 何も入力せずに、［確定］を押します。



プロテクトコード

以下の操作を行う場合は、プロテクトコードが必要になります。
- 料金設定（5-2 ページ）
- セキュリティ受信（6-17 ページ）
- パスコードポーリング（6-19 ページ）
- プロテクト設定（6-24 ページ）
- 機器管理設定（7-31 ページ）
- 禁止設定（7-35 ページ）

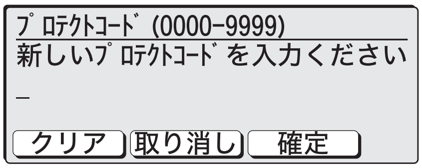
プロテクトコードは任意の４桁の番号を登録できます。登録後は番号を控え、安全な場所に保管してください。

補 足

あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)

プロテクトコードを登録する

1. 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈1〉、［確定］と押します。
2. テンキーで管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。
3. テンキーで設定するプロテクトコードを入力し、［確定］を押します。



補 足

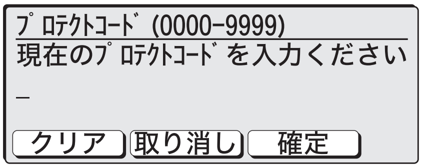
- 「0000」は登録できません。「0000」はプロテクトコードを削除するときに入力する番号です。
- 設定したプロテクトコードは忘れないようにメモをとり、安全な場所に保管してください。プロテクトコードを解除する際にも、プロテクトコードの入力が必要です。

プロテクトコードを変更する

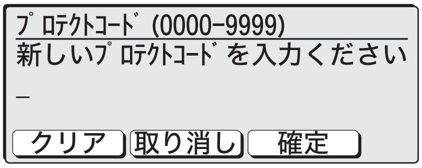
1 〈機器設定 / 登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈1〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 テンキーで現在のプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。



4 テンキーで新しいプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。

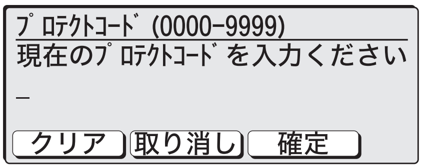


プロテクトコードを削除する

1 〈機器設定 / 登録〉、〈7〉、〈1〉、〈5〉、〈1〉、[確定] と押します。

2 テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

3 テンキーで現在のプロテクトコードを入力し、[確定] を押します。



4 テンキーで「0000」と入力し、[確定] を押します。

機器管理設定

ファクス機能・コピー機能の管理機能や、使い勝手をよくする機能の設定を行えます。

補 足

あらかじめプロテクトコードの登録が必要です。（7-29 ページ）

設定方法

「コピー禁止」を設定する例を説明します。

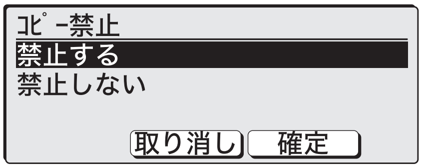
1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈1〉、〈7〉、［確定］と押します。

2 テンキーでプロテクトコードを入力します。

3 「コピー禁止」が選択されていることを確認し、［確定］を押します。



4 コピー禁止を行う場合はカーソルキーで「禁止する」を選択し、［確定］を押します。



5 ［閉じる］を押すと待機画面に戻ります。

機器管理設定一覧

機能	機能説明	設定値	機能番号
ご愛用スイッチ設定	ご愛用スイッチを変更できます。	「ご愛用スイッチを変更する」(7-47 ページ)を参照	701
タッチパネルキー設定	待機画面に表示されているタッチパネルキーを変更できます。	「タッチパネルキーの登録/変更」(7-49 ページ)を参照	703
画面自動リセット時間	コピー・ファクス画面を待機画面に戻すまでの時間を設定します。 ■ コピー画面・スキャナー画面 *1 「リセット時間」: コピー操作後、一定時間何も操作をしないと設定した項目がリセットされます(設定値に戻る)。リセットされるまでの時間を設定できます。 「読取終了後にリセット」: ON に設定すると、原稿の読み取り終了後に、画質や倍率などの設定がリセットされます。OFF に設定すると、リセット時間で設定した時間後にリセットされます。 ■ ファクス画面 ファクス操作後、一定時間何も操作をしないと設定した項目がリセットされます(設定値に戻る)。リセットされるまでの時間を設定できます。	●リセット時間 1 ~ 10 分後:3 分後 ●読取終了後にリセット OFF ON ●リセット時間 1 ~ 10 分後:3 分後	705
音設定	各種音の設定を行うことができます。 ■ 呼出ベル音量・キータッチ音量・動作完了音量 呼出音やキータッチの操作音、アラームや動作完了音の音量を調整できます。 ■ キータッチ音色 操作ボタンを押したときの音色を変えることができます。 ■ 呼出ベル音 受話器がなくても、ファクス着信時に呼出ベル音が鳴るように設定できます。	OFF 小 中 大 ●ファクス 高音 中音 低音 ●コピー 高音 中音 低音 OFF ON	707

__の付いている値が出荷時設定です。

*1 オプションの Information server +Plus II キットまたはプリンターコントローラーキット装着時のみ。

機能	機能説明	設定値	機能番号
音設定	■ 動作完了音 コピーやファクス動作の完了を音で知らせることができます。 ［テスト］を押すと、選択した音が鳴ります。 ●コピー完了 コピーが終了したとき ●ファクス送信完了 ファクス送信が完了したとき ●ファクス受信完了 ファクス受信が完了したとき ●ファクス受信印字完了 受信した文書の印字が完了したとき ●リストプリント完了 リストプリントが完了したとき ● PC プリント完了＊[1] パソコンから文書をプリントした場合の、プリント完了音を設定できます。 ●節電中受信完了 節電モード中の受信を完了したとき 「節電中受信完了」は、節電モード時刻指定の開始時刻、解除時刻の両方を設定したときのみ設定できます。 ●ガラス面読取完了 ガラス面での原稿読み取りが完了したとき ■ 紙詰まりエラー音 用紙づまりが発生したときのアラーム音を鳴らすことができます。	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声 OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声 OFF ON	707
音声案内	音声ガイダンスの案内モードや、音量を設定できます。	「音声案内について」(1-20 ページ）を参照	709

__の付いている値が出荷時設定です。

＊[1] オプションの Information server +Plus II キットまたはプリンターコントローラーキット装着時のみ。

機能	機能説明	設定値	機能番号
節電モード	低電力モード、スリープモードの設定や移行時間、節電モードを開始する時間や解除する時間を設定できます。 この設定に関係なく、〈節電〉を押すと、すぐに低電力モードになります。また〈節電〉を 3 秒以上押すとスリープモードになります。 「低電力モードへの移行時間」: ここで設定した時間、本機を使わないと、自動的に低電力モードになります。 「スリープモード」: OFF に設定すると、スリープモードにはなりません。 「スリープモードへの移行時間」: 低電力モード中に、ここで設定した時間経過すると、自動的にスリープモードになります。 ■ 節電モード時刻指定 低電力モードおよびスリープモードから、通常の状態に戻す時刻、または低電力モードおよびスリープモードに入る時刻を設定できます。 「開始時刻」: ON に設定すると、節電モードを開始する時刻を設定できます。 「解除時刻」: ON に設定すると、節電モードを解除する時刻を設定できます。	 ●低電力モードへの移行時間 1〜100分後:<u>1分後</u> ●スリープモード OFF <u>ON</u> ●スリープモードへの移行時間 30〜120分後:<u>30分後</u> ●開始時刻 <u>OFF</u> ON　　18:00 ●解除時刻 <u>OFF</u> ON　　9:00	711
通信管理レポート自動印字	「送信／受信レポート」を自動的に印字する設定ができます。また、毎日指定した時刻に自動印字する設定ができます。 「送信レポート」「受信レポート」を個別に自動印字することはできません。 「ON(時刻設定なし)」: 最新の送信、受信が合わせて 100 通信になると、「送信／受信レポート」を自動的に印字します。 「ON(時刻設定あり)」: 毎日指定した時刻に「送信／受信レポート」を自動的に印字できます。	「通信管理レポートの自動印字」(3-40 ページ)を参照 <u>OFF</u> ON(時刻設定なし) ON(時刻設定あり)	713

__の付いている値が出荷時設定です。

機能	機能説明	設定値	機能番号
プロテクト設定	■ 管理者パスワード： 設定することによって管理者による機器の一元管理が可能になります。 ■ プロテクトコード： セキュリティ機能やプロテクト機能を利用するためのプロテクトコードを登録します。 ■ プロテクト機能： 「プロテクトする」に設定すると、操作・設定時にプロテクトコードの入力が必要となります。 ●ファクス機能 「短縮送信」 「ワンタッチ送信」 「直接ダイヤル」 「グループ送信」 「手動送信」 「リダイヤル」 「閉域送信」 「ID チェック送信」 「Is 短縮送信」*[1] 「メール履歴」*[1] 「メール再送」*[1] 「F コード送信」 ●機器設定 「短縮登録」 「グループ登録」 「ファクスワープ」 「部門管理」 「原稿蓄積」 「F コードボックス」 「禁止設定」 プロテクトコードを登録すると「禁止設定」は「プロテクトする」に設定されます。 ●リスト 「短縮・グループリスト」 「Is+Plus 宛先リスト」*[1] 「通信管理レポート」 「ファクスワープリスト」 「部門管理リスト」	 出荷時には管理者パスワードは登録されていません。 出荷時にはプロテクトコードは登録されていません。 プロテクトする <u>プロテクトしない</u>	715
禁止設定	「禁止する」に設定すると、機能の使用を禁止します。 「コピー禁止」と「ファクス禁止」を同時に設定することはできません。 「コピー禁止」 「ファクス禁止」 「リスト出力禁止」 「スキャン禁止」*[1]	禁止する <u>禁止しない</u>	717

__の付いている値が出荷時設定です。

*[1] オプションの Information server +Plus II キットまたはプリンターコントローラーキット装着時のみ。

機能	機能説明	設定値	機能番号
部門管理	送信やコピー時に部門コードの入力が必要となり、使用者を限定できます。	「部門管理の設定」(5-5ページ)を参照	719
印字待ちジョブ表示	代行受信またはコピーの印字待ちの件数を表示します。	「印字待ちジョブを確認する」(5-9 ページ)を参照	721
ユーザーデータ消去	短縮ダイヤルやコピー・ファクスの機能設定など［機器設定］で設定されているデータをすべて消去します。 **重要：一度消去したデータを復旧することはできません。**	「ユーザーデータの消去」(7-40 ページ)を参照	725

__の付いている値が出荷時設定です。

機器管理リストの印字

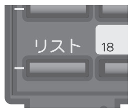
機器管理設定で設定した、各種機能の設定状況を印字して確認することができます。

1 **〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、［確定］を押します。**

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または

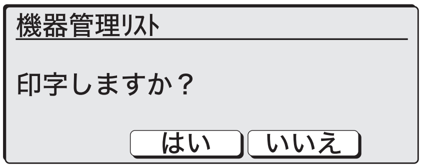


2 **カーソルキーで「機器設定」を選択し、［確定］を押します。**

3 **カーソルキーで「機器管理リスト」を選択し、［確定］を押します。**

4 **［はい］を押します。**

機器管理リストをプリントします。



印字例

＊＊　機器管理リスト　＊＊

P.1　　2011年 3月17日(木) 13:30

ご愛用ｽｲｯﾁ設定					
設定1	短縮送信		ﾌｧｸｽ機能		
設定2	ｵﾝﾌｯｸ		ﾌｧｸｽ機能		
設定3	発信元名		ﾌｧｸｽ機能		
設定4	済ｽﾀﾝﾌﾟ		ﾌｧｸｽ機能		
設定5	ﾀﾞｲﾔﾙ記号		ﾌｧｸｽ機能		
設定6	送信確認証		ﾌｧｸｽ機能		
設定7	発信元選択		ﾌｧｸｽ機能		
設定8	ﾘｽﾄ				
ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙｷｰ設定					
ｺﾋﾟｰ画面					
設定1	用紙				
設定2	拡大縮小				
設定3	画質				
設定4	濃度				
設定5	ソート				
ﾌｧｸｽ画面					
設定1	画質				
設定2	濃度				
設定3	読取ｻｲｽﾞ				
画面自動ﾘｾｯﾄ時間					
ｺﾋﾟｰ画面					
ﾘｾｯﾄ時間	3 分後				
読取終了後にﾘｾｯﾄ	OFF	ON			
ﾌｧｸｽ画面					
ﾘｾｯﾄ時間	3 分後				
音設定					
呼出ﾍﾞﾙ音	OFF	ON			
呼出ﾍﾞﾙ音量	OFF	小	中	大	
ｷｰﾀｯﾁ音量	OFF	小	中	大	
ｷｰﾀｯﾁ音色					
ｺﾋﾟｰ	低音	中音	高音		
ﾌｧｸｽ	低音	中音	高音		
動作完了音量	OFF	小	中	大	
動作完了音					
ｺﾋﾟｰ完了	OFF	ﾀｲﾌﾟ1	ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	音声
ﾌｧｸｽ送信完了	OFF	ﾀｲﾌﾟ1	ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	音声
ﾌｧｸｽ受信完了	OFF	ﾀｲﾌﾟ1	ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	音声
ﾌｧｸｽ受信印字完了	OFF	ﾀｲﾌﾟ1	ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	音声
		ﾀｲﾌﾟ1	ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	
			ﾀｲﾌﾟ2	ﾀｲﾌﾟ3	音声
				ﾀｲﾌﾟ3	音声

補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈3〉、［確定］を押し、［はい］を押す。

蓄積原稿リストの印字

蓄積されている原稿のリストをプリントできます。メモリーの使用状況が分かります。

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、［確定］を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または



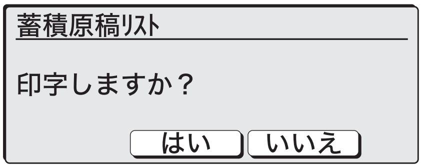
2 カーソルキーで「機器設定」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「蓄積原稿リスト」を選択し、［確定］を押します。



4 ［はい］を押します。

蓄積原稿リストをプリントします。



印字例

ABC商事㈱　　　　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　蓄積原稿リスト　＊＊

P.1　　　　　　　　　　2011年 3月17日(木) 13:30

原稿種別	ﾃﾞｰﾀ量(KB)	枚数	備考
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	20	1	ﾎﾞｯｸｽ:02　受付番号:01
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ原稿	20	1	
Fｺｰﾄﾞﾎﾞｯｸｽ原稿	104	6	ﾎﾞｯｸｽ:02　受付番号:02
送信原稿	24	2	予約番号:001

1. 原稿種別
原稿の種類を表します。

2. データ量（KB）
原稿のメモリー容量を表しています。
1,024 KB が 1 MB になります。

3. 枚数
原稿の蓄積枚数です。

4. 備考
予約番号や受信した日時、蓄積されているボックス番号など、各原稿に関することがプリントされます。

補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈7〉、［確定］と押し、［はい］を押す。

ユーザーデータの消去

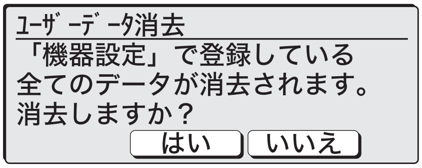
短縮ダイヤルやコピー・ファクスの機器設定など、「機器設定」で登録しているすべてのデータが消去されます。

重要：一度消去したデータを復旧することはできません。

補 足

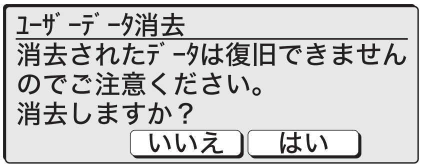
あらかじめ管理者パスワードの登録が必要です。(7-27 ページ)

1. 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈2〉、〈5〉、[確定] と押します。
2. テンキーで管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
3. 消去する場合は、[はい] を押します。



4. 再度、確認画面が表示されます。消去する場合は、[はい] を押します。

登録や設定されているすべてのデータが消去されます。



5. 電源を切り、再度入れ直してください。

おまかせ機能

一連の操作をおまかせ機能キーに登録すると、一回キーを押すだけで登録した操作が実行されます。いつも同じコピーやファクスをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。

補 足

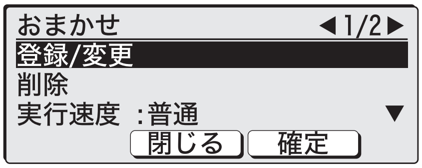
- あらかじめ登録したい設定を調べておき、操作を書き留めておくとスムーズに登録できます。
- おまかせ機能キーは 3 個あり、1 つのキーに 60 ステップの操作を登録できます。（1 ステップとは、キーを 1 回選択または押す操作です。）
- おまかせ機能キー登録中は、「プッ、プッ」というブザー音と、機能切り替えキー（〈コピー〉・〈ファクス〉・〈スキャナー〉）の点滅にて登録中であることを知らせます。登録できるステップ数が少なくなると、ブザー音と画面切り替えキーの点滅間隔が短くなります。
- 〈リセット〉や短縮ダイヤルなどの登録操作、機器の設定操作などは登録できません。
- おまかせ機能を登録した後に、短縮ダイヤルの新規登録や変更など、機器の設定を変更しないでください。設定を変更した場合は、登録し直してください。

おまかせ機能キーへの登録

1 おまかせ機能キーの〈登録〉を押します。



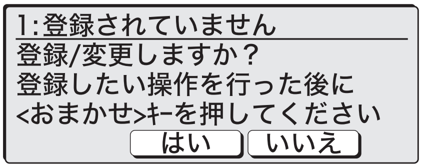
2 「登録／変更」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。



3 カーソルキーで登録したい、おまかせ機能キーを選択し、[確定] を押します。



4 [はい] を押します。



[いいえ] を押すと、手順 3 に戻ります。

5 登録したい操作を行います。

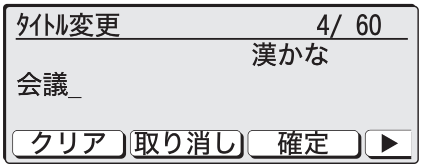
・ 60 ステップまで登録できます。
・ 60 ステップを超えると、「これ以上登録できません　登録しますか？」とメッセージが表示されます。
[はい] を押すと登録され手順 7 に進みます。[いいえ] を押すと登録されずに待機画面に戻ります。

6 登録を終了するときは、おまかせ機能キーの〈登録〉を押します。



〈リセット〉を押すと、操作を終了し待機画面に戻ります。

7 タイトルを入力します。



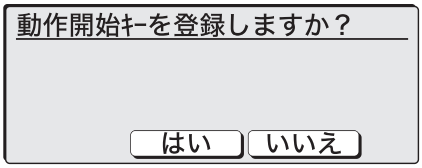
・ 半角文字では 60 文字、全角文字では 30 文字まで登録できます。
・ 文字入力については、「文字入力のしかた」（1-26 ページ）を参照してください。

8 [確定] を押すと登録を終了します。

・ 登録した操作を変更することはできません。初めから登録し直してください。
・ 登録中の操作ミスや、変更手順も登録されます。

補 足

操作の途中に〈スタート〉を押したときは、以下のメッセージが表示されます。

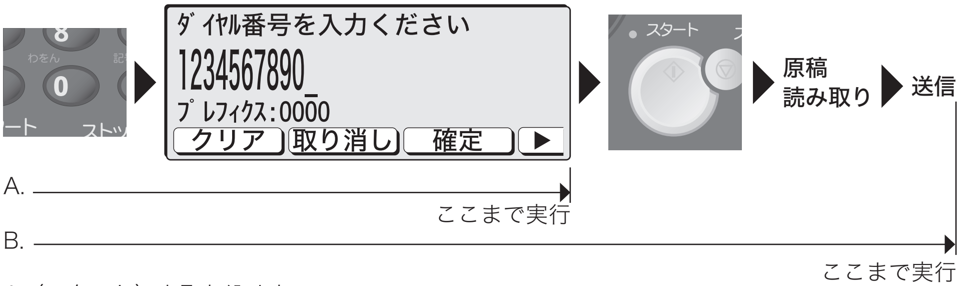


［はい］を押すと、〈スタート〉を押した操作まで登録されます。［いいえ］を押すと〈スタート〉を押す直前までの操作を登録します。

■ 例えばこんな使いかたができます

送信操作を登録中、［いいえ］を押して〈スタート〉を取り込まないでおきます。登録したおまかせ機能キーを実行すると〈スタート〉を押す直前まで動作します。その後に、時刻指定などを設定できます。
［はい］を押して〈スタート〉を取り込むと、送信されてしまうので、時刻指定などの設定はできません。

【例】送信



A.〈スタート〉を取り込まない
B.〈スタート〉を取り込んだ

おまかせ機能キーのタイトル変更

登録したおまかせ機能キーのタイトルを変更することができます。

1 おまかせ機能キー〈登録〉を押します。

2 カーソルキーで「タイトル変更」を選択し、［確定］を押します。



3 カーソルキーでタイトルを変更したい、おまかせ機能キーを選択し、［確定］を押します。



4 ［クリア］を押して古いタイトルを消去した後、新しいタイトルを入力し、［確定］を押します。



・半角文字では 60 文字、全角文字では 30 文字まで登録できます。
・文字入力については 1-26 ページを参照してください。

5 ［確定］を押すと、タイトルを変更します。

・続けてタイトルの変更を行うときは、手順 3 から操作を繰り返します。
・〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

おまかせ機能キーの消去

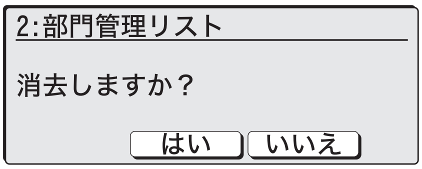
1 おまかせ機能キーの〈登録〉を押します。

2 カーソルキーで「削除」を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで削除したい、おまかせ機能キーを選択し、［確定］を押します。



4 削除する場合は［はい］を押します。



［いいえ］を押すと、手順 2 に戻ります。

おまかせ設定リストの印字

1 〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定] を押します。

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。

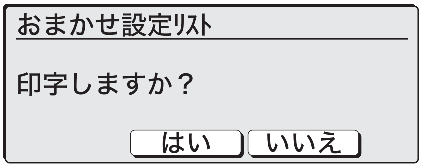
2 カーソルキーで「機器設定」を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「おまかせ設定リスト」を選択し、[確定] を押します。

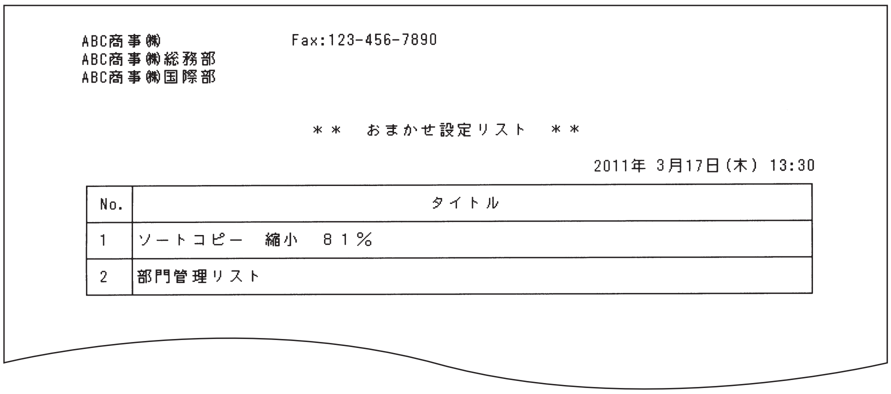


4 [はい] を押します。

おまかせ設定リストをプリントします。



印字例



ABC商事㈱　　Fax:123-456-7890
ABC商事㈱総務部
ABC商事㈱国際部

＊＊　おまかせ設定リスト　＊＊

2011年 3月17日(木) 13:30

No.	タイトル
1	ソートコピー　縮小　８１％
2	部門管理リスト

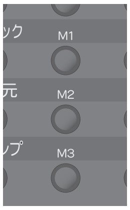
補 足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定 / 登録〉、〈1〉、〈0〉、〈2〉、〈1〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

おまかせ機能を実行する

登録した操作を実行します。

1 **おまかせ機能キーの〈M1〉～〈M3〉のいずれかを押します。**



2 **登録した操作を順次実行します。**

〈ストップ〉を押すと、おまかせ機能の実行を中断します。

おまかせ機能の実行速度の設定　　初期値：普通

おまかせ機能を実行したときの､1 ステップごとのスピードを調整できます。動作をディスプレイで確認したいときに便利です。

1 **おまかせ機能キーの〈登録〉を押します。**

2 **カーソルキーで「実行速度」を選択し、[確定］を押します。**



3 **カーソルキーで実行速度を選択し、[確定］を押します。**

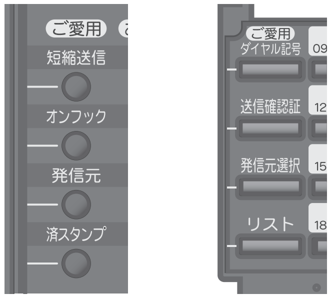
実行速度が設定されます。



終了する場合は、〈リセット〉を押します。

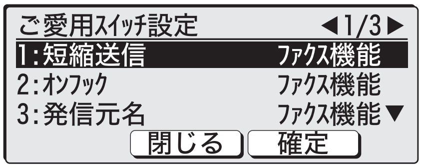
ご愛用スイッチを変更する

よく使用する機能をご愛用スイッチに８つまで登録することができます。よく使う機能を割り当てておくと、素早く使うことができ便利です。

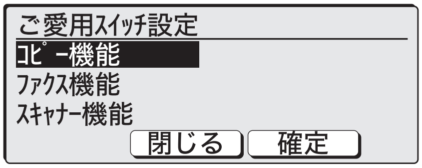


1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈1〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで設定したいご愛用スイッチを選択し、［確定］を押します。

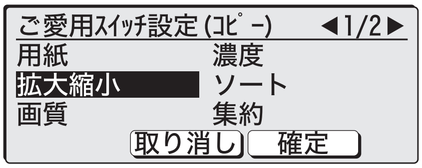


3 カーソルキーで設定したい機能を選択し、［確定］を押します。



「スキャナー機能」、Information server +Plus Ⅱまたはプリンターコントローラーキット装着時に表示されます。

4 カーソルキーでご愛用スイッチに設定したい機能を選択し、［確定］を押します。



5 選択した機能が、ご愛用スイッチに登録されます。



6 続けて他のご愛用スイッチを登録する場合は、手順 2 から操作を繰り返します。

終了する場合は、〈リセット〉を押します。

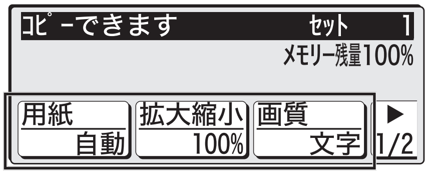
7 設定した機能のラベルを、登録したご愛用スイッチに貼ります。

ご愛用スイッチラベルは取説キットに同梱されています。

タッチパネルキーの登録／変更

よく使用する機能を待機画面に表示させることができます。よく使う機能を登録しておくと、待機画面より素早く使うことができ便利です。

すべての応用機能をタッチパネルに登録することができます。



登録／変更する

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。

2 カーソルキーで設定する待機画面を選択し、[確定] を押します。



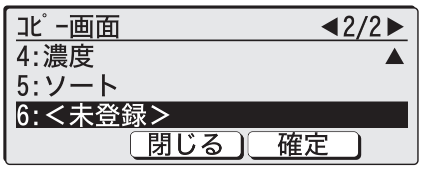
「スキャナー画面」は、Information server +Plus II またはプリンターコントローラーキット装着時に表示されます。

3 カーソルキーで「登録／変更」が選択されていることを確認し、[確定] を押します。

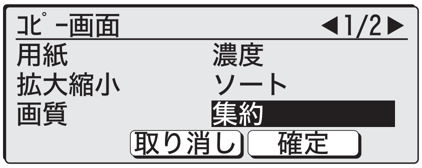


4 カーソルキーで設定したいタッチパネルキーを選択し、[確定] を押します。

空のタッチパネルキーに登録するときは、「未登録」を選択します。待機画面から空のタッチパネルキーに、直接機能を登録することもできます。(7-50ページ)



5 カーソルキーでタッチパネルキーとして表示したい機能を選択し、［確定］を押します。



6 選択した機能が、タッチパネルキーに登録されます。

［閉じる］を２回押すと手順２に戻り、他の待機画面のタッチパネルキーを登録できます。

7 続けて他のタッチパネルキーを登録する場合は、手順４から操作を繰り返します。

8 〈リセット〉を押すと、待機画面に戻ります。

補 足

・ タッチパネルキーに登録した応用機能は、〈応用機能〉のメニューから消去されます。
・ タッチパネルキーは最大 24 個まで登録できます。ただし、待機画面や装着されているオプションによって登録できる総数は異なります。
ファクス画面 24 個、コピー画面 12 個
Information server +Plus II 装着時スキャナー画面
フォルダー 15 個、メール 21 個、ユーザー 15 個、掲示板・回覧 / 配信・処理依頼 18 個
プリンターコントローラーキット装着時スキャナー画面 12 個

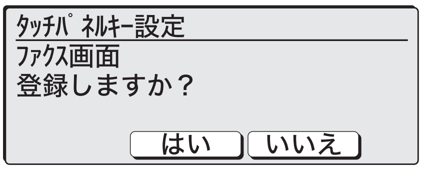
空のタッチパネルキーから登録する

各待機画面にある、機能が登録されていないタッチパネルキーを押すだけで簡単に登録を行うことができます。

1 [▶] を押し、空のタッチパネルキーを押します。



2 ［はい］を押します。



3 カーソルキーでタッチパネルキーとして表示したい機能を選択し、[確定] を押します。



空のタッチパネルキーを押したときの待機画面に応じた機能が表示されます。

4 機能がタッチパネルキーに登録されます。新しく空のタッチパネルキーが表示されますので、続けて登録することができます。

タッチパネルキーの削除

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、[確定] と押します。

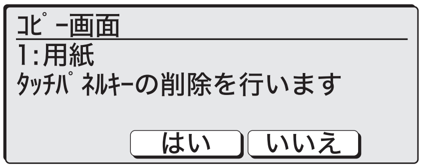
2 カーソルキーで削除する待機画面を選択し、[確定] を押します。

3 カーソルキーで「削除」を選択し、[確定] を押します。

4 カーソルキーで削除したいタッチパネルキーを選択し、[確定] を押します。



5 削除する場合は [はい] を押します。



- [いいえ] を押すと、手順 4 に戻ります。
- タッチパネルキーから削除した機能は、〈応用機能〉を押すと表示されます。

補 足

すべてのタッチパネルキーを削除した場合は､空のタッチパネルキーが一つだけ表示されます。



- 空のタッチパネルキーから直接、機能を登録することができます。(7-50 ページ)
- タッチパネルキーの初期化を行うと、工場出荷時のタッチパネルキーに戻すことができます。

タッチパネルキーの初期化

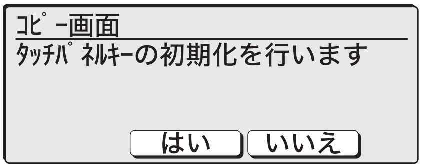
変更した各待機画面のタッチパネルキーを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 〈機器設定／登録〉、〈7〉、〈0〉、〈3〉、［確定］と押します。

2 カーソルキーで初期化を行う待機画面を選択し、［確定］を押します。

3 カーソルキーで「初期化」を選択し、［確定］を押します。

4 初期化を行う場合は［はい］を押します。



第 8 章

こんなときには

ドラム、トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換

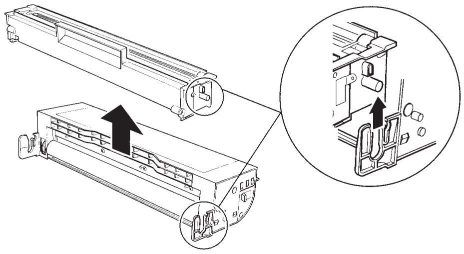
トナーが少なくなると「トナーが残り少なくなりました」と表示されます。新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま記録を続けると「トナーがなくなりました」と表示され、印字ができなくなります。以下の手順にてトナーカートリッジを交換してください。

1 トップカバーを開けます。

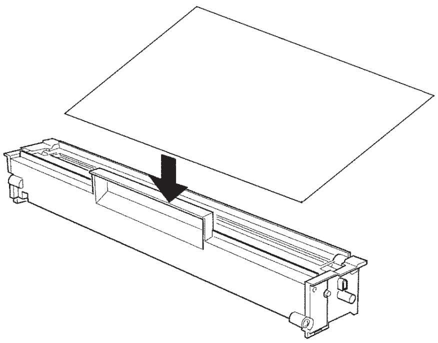
2 プリンターカバーを開けます。

3 ドラム、トナーカートリッジを取り外します。

4 ドラム、トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。

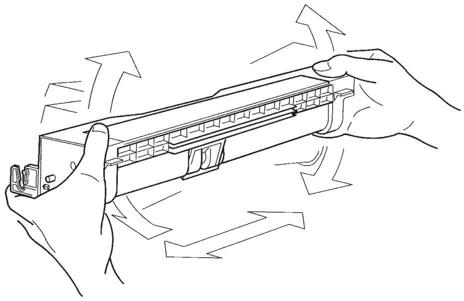


5 ドラムカートリッジの感光体（緑色の箇所）に光が当たらないように、紙、布などでおおいます。



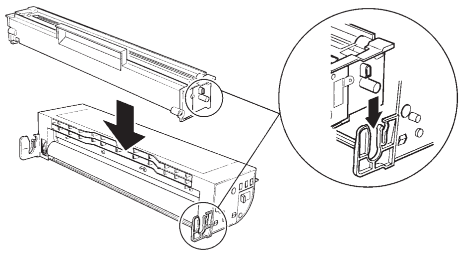
6 **新しいトナーカートリッジを振ります。**

トナーが均一になるように、左右に軽く振ってください。

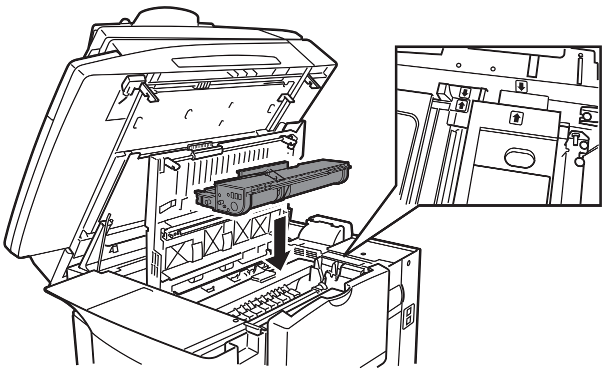


7 **手順４で外したドラムカートリッジを新しいトナーカートリッジに取り付けます。**

ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。



8 **ドラム、トナーカートリッジを本体に取り付けます。**

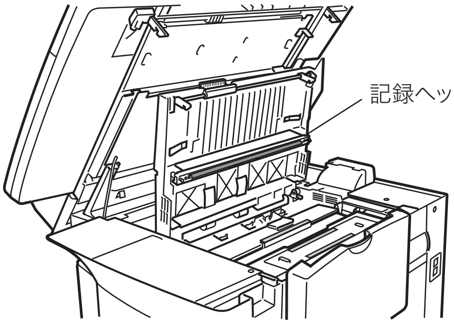


ドラム、トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

9 記録ヘッドを清掃します。

記録ヘッドをトナーカートリッジの梱包箱に同梱されているクリーニングペーパーで軽く滑らせてふきます。

清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。



10 プリンターカバーを閉めます。

“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。

11 トップカバーをゆっくり閉めます。

“カチッ”と音がするまで確実に閉めます。

補 足

誤って新品のドラムカートリッジを取り付けたときは、交換の確認画面が表示されます。その場合は、［いいえ］を押して元のドラムカートリッジに交換してください。（8-5 ページ）

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジの寿命が近づくと（1-44 ページ）「ドラムカートリッジの交換時期です」と表示されます。以下の手順にてドラムカートリッジを交換してください。（ドラムカートリッジの寿命は温度、湿度、用紙の種類や、一回の印字枚数等によって異なります。）

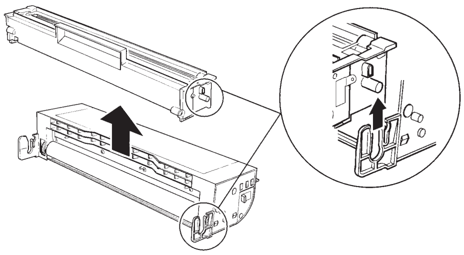
1 **トップカバーを開けます。**

2 **プリンターカバーを開けます。**

3 **ドラム、トナーカートリッジを取り外します。**

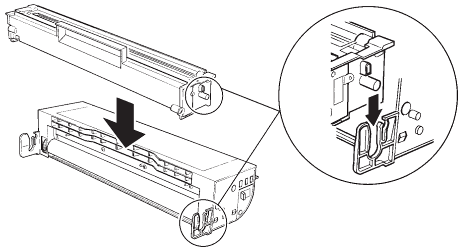
ドラム、トナーカートリッジの奥側から取り外します。

4 **ドラム、トナーカートリッジを平らな場所に置き、ドラムカートリッジを取り外します。**

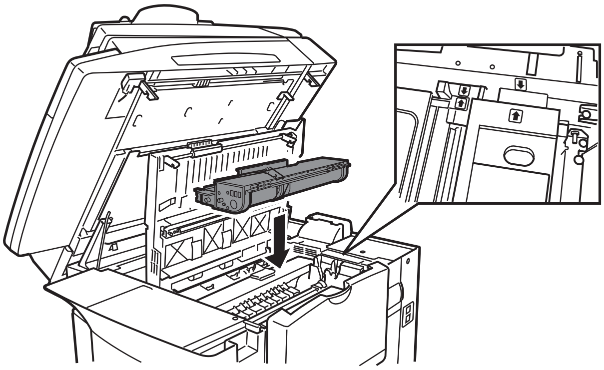


5 **新しいドラムカートリッジを取り付けます。**

ドラムカートリッジの軸をトナーカートリッジの溝に差し込みます。



6 ドラム、トナーカートリッジを本体に取り付けます。



ドラム、トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

7 プリンターカバーを閉めます。

“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めます。

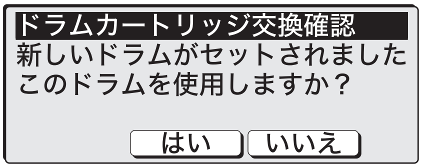
8 トップカバーをゆっくり閉めます。

“ カチッ ” と音がするまで確実に閉めます。

補 足

必要に応じてきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで、搬送ガイドや記録ヘッドの清掃を行ってください。(8-13 ページ)

9 新品のドラムカートリッジを取り付けたときは、交換の確認画面が表示されます。[はい] を押してください。



補 足

[はい] を押すと取り付けたドラムカートリッジは 1 度使用済みと認識されます。
間違って取り付けたときは [いいえ] を押してから、元のドラムカートリッジに交換してください。

済スタンプの交換

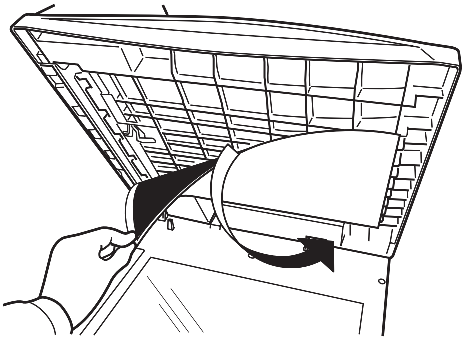
済スタンプが薄くなったときは、以下の手順で交換してください。

お願い

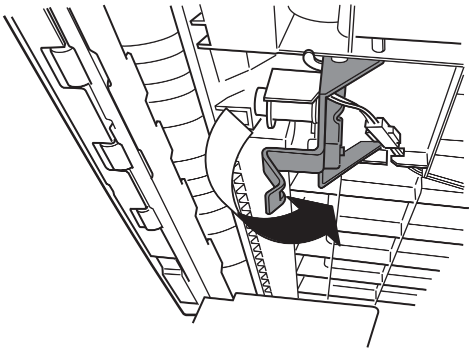
- スタンプ印面には、直接手を触れないでください。また、インクが手などに付着したときは、すぐに水で洗ってください。
- 済スタンプは弊社専用品をご使用ください。

1 **原稿押さえカバーを開け、原稿押さえパッドの左側をめくります。**

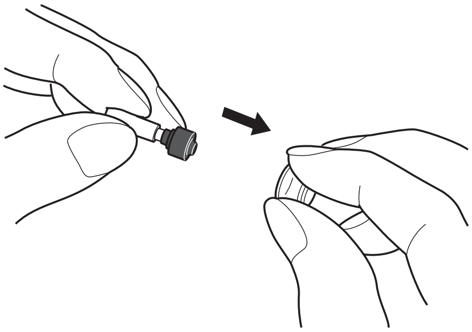
左側だけめくります。右側は残した状態にしておきます。



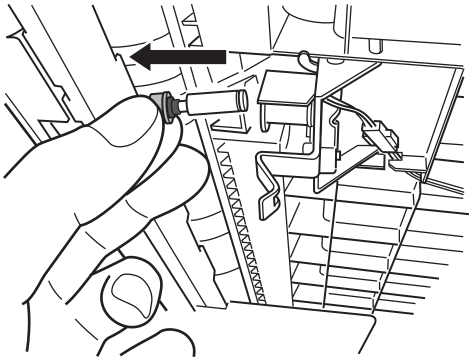
2 **レバーを引いて、済スタンプユニットを引き出します。**



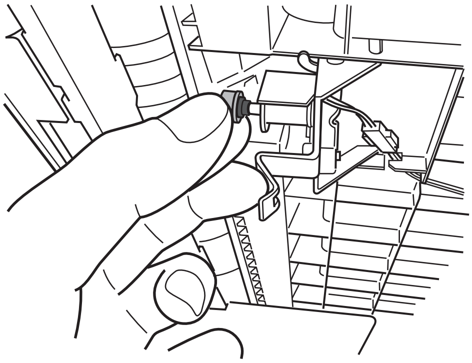
3 新しい済スタンプのカバーを外します。



4 外したカバーを古い済スタンプにかぶせ、古い済スタンプを取り外します。



5 新しい済スタンプを、済スタンプユニットに挿入します。



6 済スタンプユニットを元に戻します。

7 原稿押さえパッドを元の状態に貼り直し、原稿押さえカバーを閉じます。

日常のお手入れ

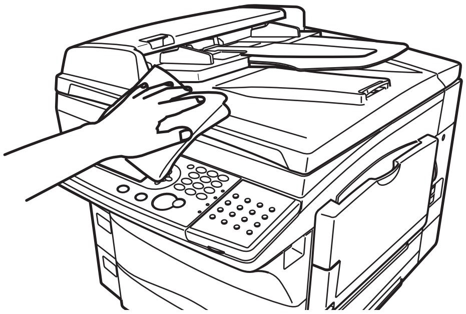
いつも正常な状態でお使いいただくために、以下のお手入れをお願いします。

お願い

ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

本体外側の清掃

中性洗剤をしみ込ませ、よく絞った柔らかい布でふきます。その後、水を含ませてよく絞った柔らかい布でふきます。

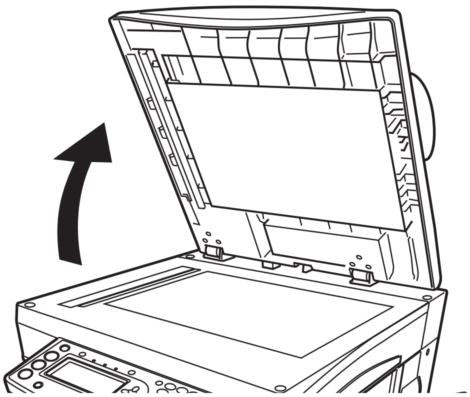


読み取り部の清掃

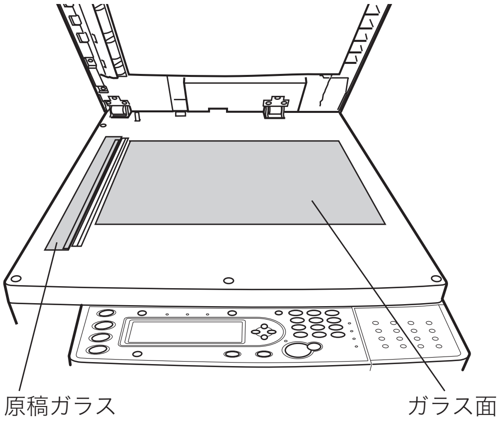
相手側での受信文書やコピーに黒いすじが発生したり、汚れが印字されたりします。また、原稿搬送ローラーが汚れていると原稿づまりの原因にもなります。きれいな画質を得たり、スムーズに原稿を送ったりするために、約 1 カ月に一度の清掃をお願いします。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を少し含ませてふいた後、水を含ませよく絞った布でもう一度ふいてください。

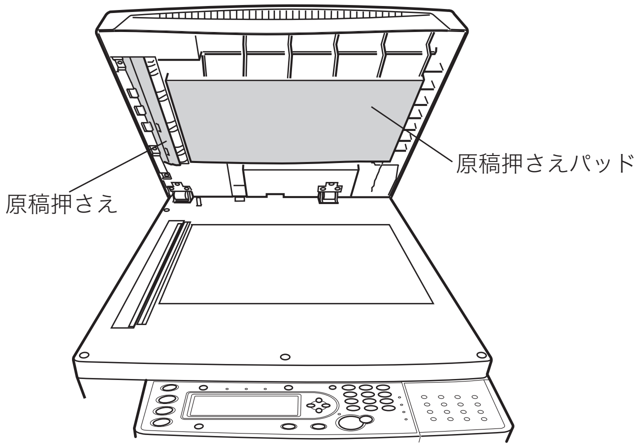
1 原稿押さえカバーを開けます。



2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿ガラスおよびガラス面をふきます。



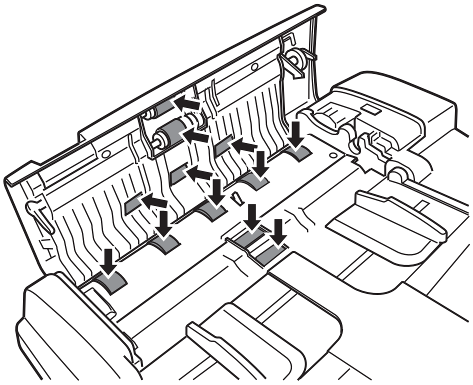
3 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿押さえおよび原稿押さえパッドをふきます。



■ 原稿搬送ローラー、分離パッドの清掃

1 原稿送りカバー解除レバー（A1）を押し上げ、原稿送りカバーを開けます。

2 原稿搬送ローラー、分離パッドを清掃します。
水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラーをふきます。
手で回すことができるローラーは、回しながらローラー全面をふいてください。



3 原稿送りカバーを閉じます。

記録部の清掃

記録部がトナー等で汚れると、画像がスジ状に白く抜けることがあります。このような時は以下の手順で記録部を清掃してください。清掃にはきれいな乾いた布またはティッシュペーパーが必要ですのであらかじめご用意ください。

⚠ 警告

- 感電事故防止のため、記録部の清掃を行う場合は、通信予約などメモリーに原稿が蓄積されていないことを確認して、必ず電源スイッチを OFF にして行ってください。
- 本体の精密部品を破損しないようにご注意ください。また、本体内部に紙片や糸クズなどを残さないようにしてください。火災、感電および故障の原因になります。

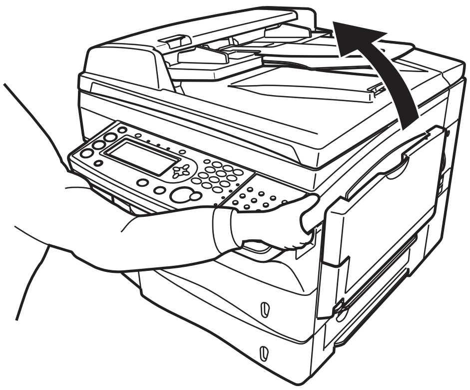
⚠ 注意

- 定着器は熱くなっていますので、絶対に触れないでください。
- 記録ヘッドには直接手で触れないでください。けがをする恐れがあります。また、画像トラブルの原因にもなります。

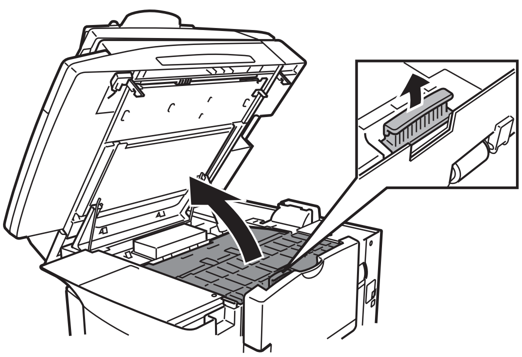
お願い

- ドラム、トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラム、トナーカートリッジは、できるだけ水平に保つように注意してください。
- ドラムカートリッジのローラーに触れないよう気をつけてください。

1 トップカバーを開けます。

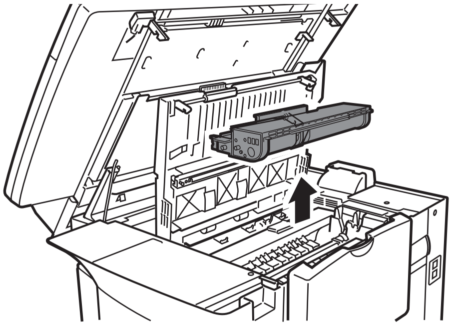


2 プリンターカバーを開けます。

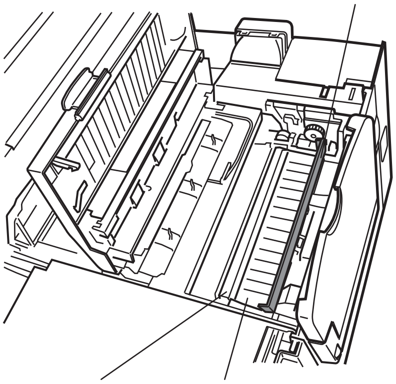


3 **ドラム、トナーカートリッジを取り外します。**

ドラム、トナーカートリッジの奥側から取り外します。

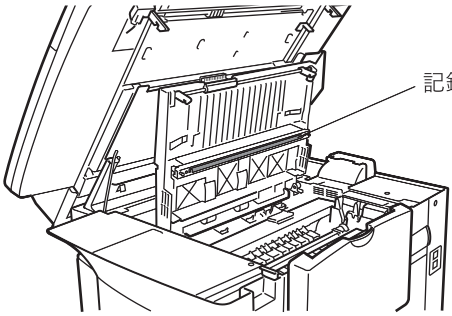


4 **搬送ガイドを清掃します。B3 カバーを開け、きれいな乾いた布またはティッシュペーパーでふきます。**



転写ローラーには触れないでください。

5 **記録ヘッドを清掃します。きれいな乾いた布またはティッシュペーパーで軽く滑らせてふきます。**



清掃ムラを防止するため、途中で止めないでください。

用紙がつまったとき

プリント動作中に用紙がつまると、アラームランプが点灯して「点滅箇所のカバーを開けて確認してください」と表示されます。以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。

表示例



用紙がつまっている箇所を点滅して表示しています。

⚠ 警告

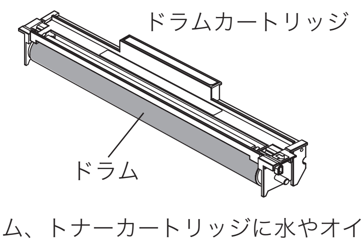
トナーが目に入らないように注意してください。もし、目に入ったときは水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

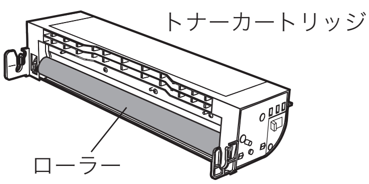
⚠ 注意

- 定着器部周辺は高温になっています。指定部分以外には手を触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- 機械内部の端子やローラーに触れないでください。画質が悪くなったり、製品が故障する恐れがあります。
- つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残っていると、火災の原因になることがあります。
- 用紙がローラー部や定着器に巻き付き取れない場合は、無理に取らないでください。やけどやケガをする恐れがあります。その際は、サービス実施店までご連絡ください。
- 万一、煙がでるような用紙づまりが発生した場合は、直ちに電源を切り、サービス実施店までご連絡ください。

お願い

- ドラム、トナーカートリッジは、直射日光や強い光に当てないでください。また、室内の灯りにも5分以上あてないでください。
- ドラム表面には触れないでください。記録が正常にできなくなることがあります。
- トナーカートリッジのローラーには直接手を触れないでください。手が汚れたり記録が正常にできなくなることがあります。



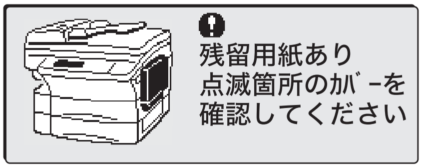


- ドラム、トナーカートリッジに水やオイル等がかからないようにしてください。
- プリント中に印字部にて用紙がつまったときは用紙にトナーが定着してないため、トナーで手が汚れる恐れがあります。手が汚れたときはすぐに水で洗い流してください。

補 足

複数の場所で用紙がつまっている場合は、用紙を取り除いても、さらに別の場所のエラーが表示されます。表示にしたがって、指定された場所の用紙を取り除いてください。

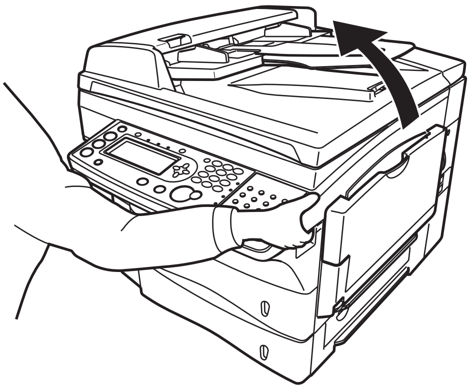
表示例



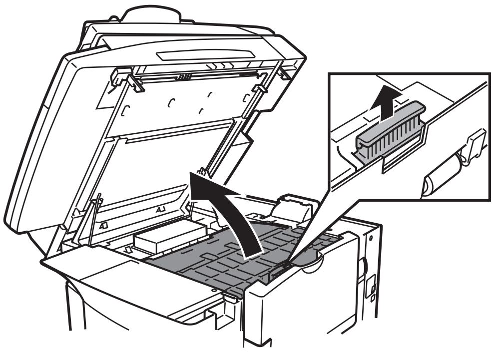
本体内部でつまったとき

- 定着器には触れないように注意してください。
- 用紙が途中でやぶれないように注意してください。

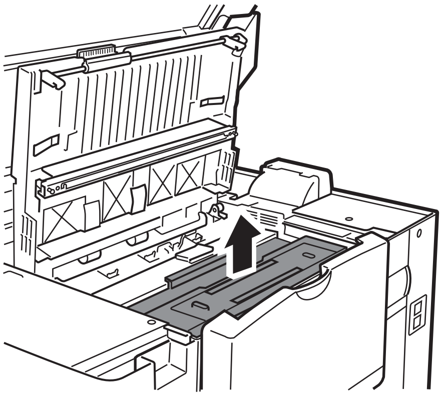
1 トップカバーを開けます。



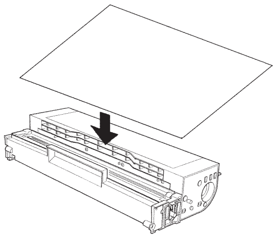
2 プリンターカバーを開けます。



3 ドラム、トナーカートリッジを取り外します。



4 ドラム、トナーカートリッジに光が当たらないように、紙、布などでおおいます。

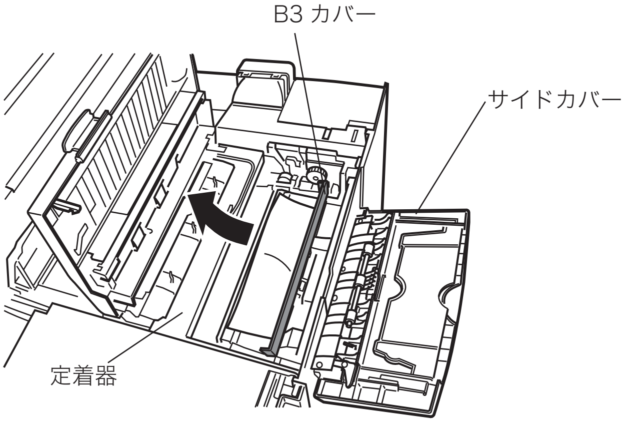


■ 現像部でつまったとき

5 プリンター内部のB3カバーを開けます。サイドカバー解除（C1）レバーを引いてサイドカバーを開けます。

6 つまっている用紙をゆっくりと引き抜きます。

用紙を取り除いた後、B3カバー、サイドカバーを閉めます。

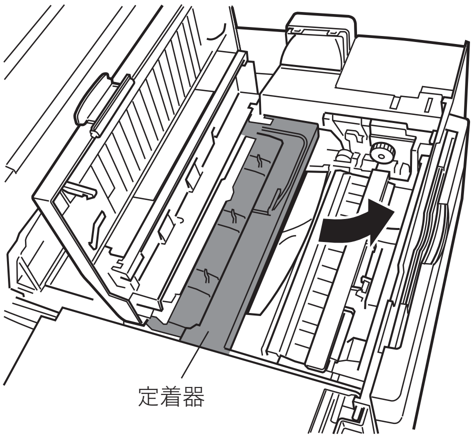


■ 定着部でつまったとき

5 **つまっている用紙をゆっくりと引き抜きます。**

6 **取り除きにくい場合は、排出口側から引き抜きます。**

用紙が見えない場合は、排出口と定着ローラーの間に紙がつまっていないか確認してください。



7 **ドラム、トナーカートリッジを本体に取り付けます。**

ドラム、トナーカートリッジの矢印と本体の矢印が合うように取り付けます。

8 **プリンターカバーを閉めます。**

“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

9 **トップカバーをゆっくり閉めます。**

“カチッ”と音がするまで確実に閉めてください。

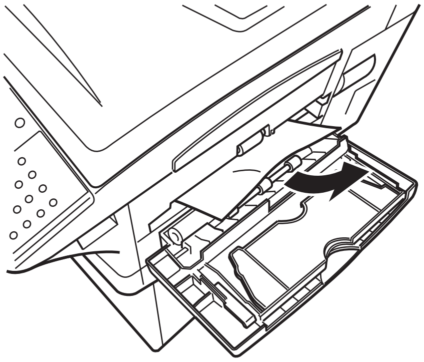
用紙カセット、サイドカバー部でつまったとき

- 用紙が途中でやぶれないように、注意してください。
- 取り除きにくい場合は、「本体内部でつまったとき」の「現像部でつまったとき」の手順で本体内部から用紙を取り除いてください。

■ 1 段目用紙カセットでつまったとき

1 サイドカバー解除（C1）レバーを引いてサイドカバーを開けます。

2 つまっている用紙をゆっくりと引き抜きます。



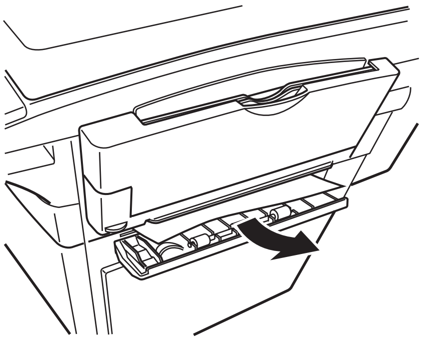
3 サイドカバーを閉じます。

4 1 段目カセットの内部で用紙がつまっていないか確認します。

■ 2 段目、3 段目の用紙カセットでつまったとき

1 用紙カセット部のサイドカバーを開けます。

2 つまっている用紙をゆっくりと引き抜きます。

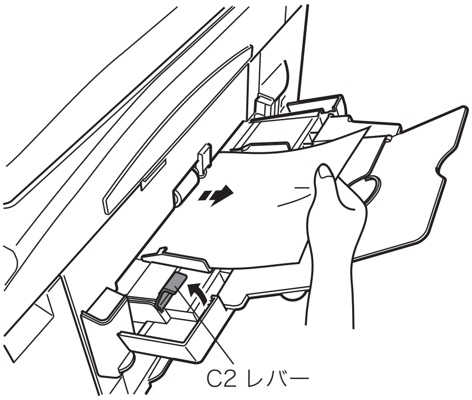


3 サイドカバーを閉じます。

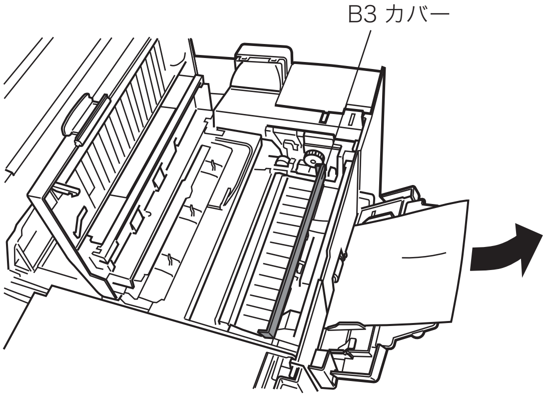
4 2 段目、3 段目カセットの内部で用紙がつまっていないか確認します。

手差しトレイでつまったとき

1 用紙セット (C2) レバーを引き上げ、手差しトレイの用紙をゆっくりと引き抜きます。

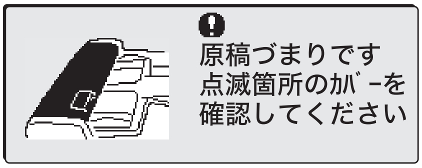


2 つまった用紙を取り除けなかった場合は、トップカバー、プリンターカバーの順で開けて、ドラム、トナーカートリッジを取り除き、B3 カバーを開けてから用紙をゆっくりと引き抜きます。



原稿がつまったとき

原稿がつまると、アラーム音とともにメッセージが表示されます。以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。



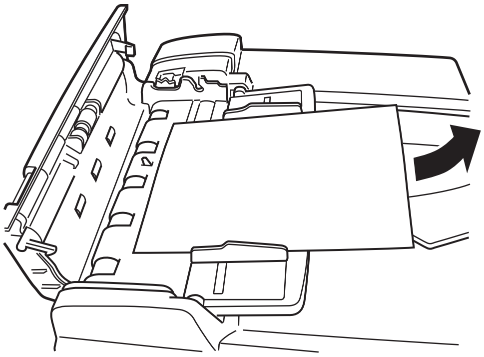
お願い

原稿を引き抜くことができない場合は無理に引き抜かず、ダイヤルを回し、つまった原稿を送り出してください。無理に引き抜くと原稿が破れるおそれがあります。

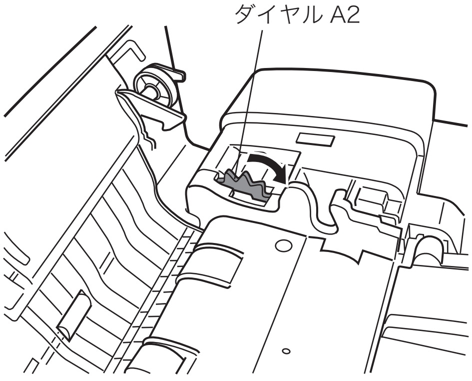
1 **原稿送りカバー解除レバー（A1）を押し上げ、原稿送りカバーを開けます。**

2 **つまっている原稿を取り除きます。**

この状態でつまっている原稿を取り除くことができない場合は手順 3 へ進みます。

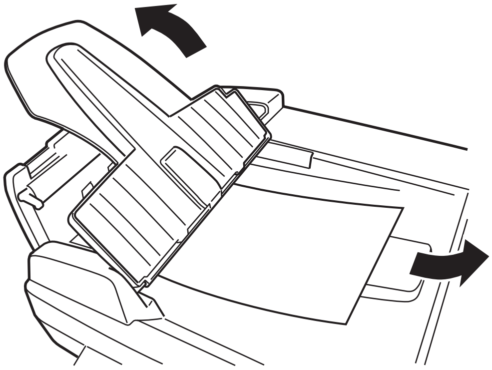


3 **ダイヤル（A2）を回し、つまった原稿を送り出します。**



4 原稿トレイを起こします。

5 つまった原稿を静かに引き抜きます。

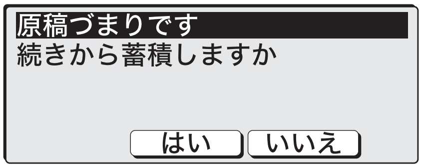


6 原稿トレイを戻します。原稿送りカバーを閉じます。

7 つまった原稿をセットし直してください。

8 次の表示が出た場合は、［はい］を押すと原稿の読み取りを再開します。

［いいえ］を押すと、送信時は送信を中断し、コピー時は読み取った分のみコピーを開始します。



補 足

クイックメモリー送信のときに原稿がつまった場合は、チェックメッセージが印字されます。チェックメッセージに印字されたページの原稿からセットし直してください。

エラーメッセージが表示された

通信エラーや機器の異常などは、アラームランプやディスプレイへのエラーメッセージ表示、用紙へのエラーメッセージプリントにてお知らせします。

アラームランプについて

通信エラーや機器に異常があると､アラームランプが点灯します｡アラームランプは､〈ストップ〉で消灯できるときと、消灯できないときがあります。

消灯できないエラーは、エラーに対しての処置が必要です。エラーの要因が解除されるとアラームランプは消灯します。

アラームランプを消灯できるエラー

・通信エラー

・受信中にメモリーオーバーしたとき

・蓄積中にメモリーオーバーしたとき

アラームランプを消灯できないエラー

・用紙切れ、用紙づまり、原稿づまり

・トナー切れ

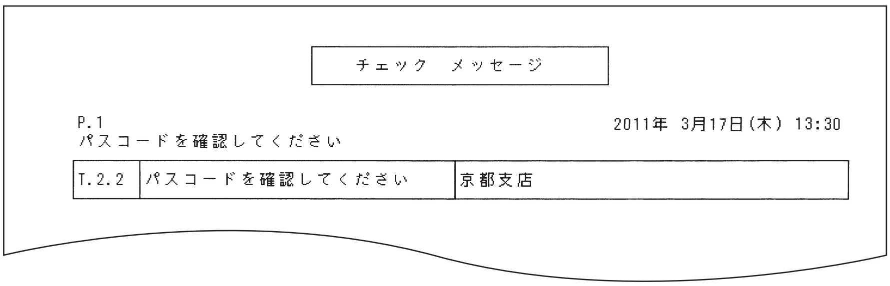
・カバーやカセットが開いているとき

・機器の重大なエラー

プリントされるエラーメッセージ

通信エラーが発生したときは､用紙にエラーの内容･対処方法のメッセージとエラーコードがプリントされます。エラーコードは通信エラーの原因を表すコードです。メッセージとエラーコードを確認して対処してください。

印字例



メッセージ	メッセージの発生状態と対応の方法	エラーコード
ID 番号を確認してください	1. 相手先に登録されているファクス番号の下 4 桁と入力した番号の下 4 桁が一致しません。 ▶ ID 番号を確認してください。 2. 相手先にファクス番号が登録されていません。 ▶相手先に電話をかけ、相手側機のファクス番号の確認を依頼してください。	T.2.2
パスコードを確認してください	▶ 相手側機の確認を依頼してください。 ▶ パスコードの確認を依頼してください。	T.2.2
相手側機を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機のモード、ファクス番号、機器の状態などの確認を依頼してください。	T.1.1、T.2.1 T.2.2、T.2.3 T.5.1、T.5.2 T.8.1、R.8.1
受信原稿を確認してください	▶ 相手先に電話をかけ、相手側機の動作状態の確認を依頼してください。	T.4.2
もう一度送信してください	1. 原稿がスムーズに繰り込まれていない状態になっていることがあります。 ▶再度、送信操作をしてください。 2. 回線状態が悪いことがあります。 ▶再度、送信してください。 3.「/P」「/T」の箇所で発信音がかえってきませんでした。 ▶「/P」「/T」の位置を確認して再送信してください。(交換機によってはこれらの記号が不要な場合もあります。)	T.3.1 T.4.1 T.5.3 D.0.8
もう一度ダイヤルしてください	1. 設定してある再ダイヤル回数分の電話をしても、相手先に送信できなかった場合です。 ▶改めて相手先のファクス番号を押し、送信してください。それでも再度このメッセージが出るときは、相手先に電話をかけて相手側機の状態を確認してください。 2. ダイヤル種別が正しいか確認してください。(1-48 ページ)	D.0.2
ダイヤル番号が登録されていません	▶ 短縮ダイヤル番号をセットし直して、再度送信してください。	D.0.6
停止しました	▶ 通信がストップしましたので、再度通信してください。	D.0.3 T.1.4 R.1.4

エラーコード

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.1	発信と着信が同時に起きました	▶ 再送信してください。
	D.0.2	相手が話中	▶ 再送信してください。
	D.0.3	〈ストップ〉が押された	▶ 再送信してください。
	D.0.6	オートダイヤル発信したとき、相手先ファクス番号が登録されていない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶ 正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	ダイヤルトーンが検出できません	▶ 回線接続コードが正しく接続されているか確認してください。 ▶ ダイヤルトーンの検出設定を確認してください。
		「/P」「/T」の箇所で発信音がかえってこなかった	▶「/P」「/T」の位置を確認して再送信してください。（交換機によってはこれらの記号は不要な場合もあります。）

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶ 相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶ 相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶ 当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時に送信中止した （通信管理記録のみ表示）	▶ 再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
		相手側機と設定が合わない	▶ 相手側の設定を確認してください。相手側で特殊な設定をしている場合は、その設定を解除するよう依頼してください。
	T.2.2	相手側機と設定が合わない	▶ 相手先の機種および設定状況を確認してください。
	T.3.1	連続送信時 2 枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶ エラーが発生したページより再度送信してください。
		900mm 以上の原稿を送信した	▶ 1 ページを 900mm 以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプを確認してください”と表示した場合は光源の光量不足	▶ 電源スイッチを OFF → ON してコピーをとってみてください。 「ランプを確認してください」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプを確認してください」表示となる場合はサービス実施店へご連絡ください。

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.3.2	回線障害などが原因で、交信できなかった	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶ 送信したページはすべて相手側に届いていますが、一部うつりが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
	T.4.4	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
ECM送信	T.5.1、T.5.2、T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶ 再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、サービス実施店へご連絡ください。
	T.8.1	受信モードが合わない	▶ 相手側を確認してください。相手側機がファクスではないことがあります。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶ 送信側の操作ミスが考えられます。 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はサービス実施店へご連絡ください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録にのみ記載）	
	R.1.4	ポーリング受信中に通信中止した （通信管理記録にのみ記載）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.5	回線障害などが原因で交信できなかった	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はサービス実施店へご連絡ください。
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いた または〈ストップ〉を押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない （回線障害などが原因）	
	R.4.2	受信中に信号が切れた （回線障害などが原因）	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はサービス実施店へご連絡ください。
	R.4.4	メモリー容量オーバー （通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側で〈ストップ〉を押した	▶ 相手がわかっている場合はもう一度送信を依頼してください。 何度もこのエラーが発生する場合はサービス実施店へご連絡ください。
	R.5.2	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶ 相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿が無いなど。

ディスプレイに表示されるメッセージ

操作の間違いや、機器の異常などをディスプレイに表示します。表示されたメッセージにしたがって対処してください。

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
50%～ 200%の範囲で入力してください	拡大縮小コピーは入力した倍率では使用できません。正しい倍率を入力し直してください。	2-12
200%以下を指定してください	拡大送信は入力した倍率では使用できません。 100%～ 200%の範囲で入力してください。	4-39
宛先を入力してください	F コードボックスの中継ボックス登録で、配信先が登録されていません。	4-24
カセット用紙サイズエラー 用紙の向き、サイズを確認ください	カセットの用紙に印字したとき、設定していた用紙サイズと実際の用紙のサイズが合っていませんでした。または用紙が複数枚繰り込まれ、つまっている場合があります。用紙がつまっていないか確認してください。 正しい用紙サイズを設定するか、用紙をセットし直してから［閉じる］を押してください。 用紙サイズを変更した場合は、必ず用紙サイズダイヤルを変更してください。	8-14 1-57
カセット～を閉じてください	指定されたカセットが引き出されています。カセットを確実に閉じてください。	—
紙づまりです 点滅箇所のカバーを確認してください	機器内部にて、用紙づまりが発生しました。表示された部分のカバー・カセットを開けて、つまった用紙を取りのぞいてください。	8-14
機器の安定化を行います 一度電源をいれなおしてください	機器の状態が不安定になっています。電源スイッチをいったん切って、3 秒以上待ってから入れ直してください。何度も同じエラーメッセージが表示される場合は、サービス実施店までご連絡ください。	—
桁数オーバーです	名前や番号などの入力のとき、最大桁数を超えました。最大桁数内にて入力し直してください。	—
原稿がありません	ポーリング原稿や F コードボックスに原稿が蓄積されていません。 ・ F コード受信通知を確認してください。 ・ メモリー期間が過ぎており、消去されていることも考えられます。 ・ F コード蓄積原稿リストをプリントして、原稿があるか確認してください。	4-33、 4-36
原稿がありません セキュリティ受信を解除しました	受信原稿が無いときにセキュリティ受信の原稿印字を行いました。その場合、セキュリティ受信の設定は解除されます。	6-18
原稿がセットされています	リアルタイム送信が予約されています。リアルタイム送信終了まで待つか、リアルタイム送信の通信予約を取り消してください。	3-15
原稿が蓄積済みです	ポーリング原稿がすでに蓄積されています。新しい原稿を蓄積する場合は、蓄積されている原稿を消去してください。	4-14
原稿カバーを閉めてください	送信時、原稿カバーが開いています。原稿カバーを確実に閉めてください。	—

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
原稿サイズが変わりました 倍率を設定してください	次原稿のサイズが途中で変更されました。倍率を変更しなければ、正しくコピーできません。倍率を設定してください。	—
原稿サイズを検出できませんでした	用紙選択を自動または倍率を自動に設定しているとき、原稿のサイズが検出できませんでした。 〈スタート〉を押すと倍率 100%にてディスプレイに表示されている用紙にコピーします。 〈ストップ〉を押すとコピーを中止します。	2-2
原稿づまりです 続きから蓄積しますか	原稿づまりを解除後、続きの原稿を読み取ることができる場合に表示されます。 続けて原稿を読み取る場合は［はい］を押してください。続きを蓄積します。	8-20
原稿づまりです 点滅箇所のカバーを確認してください	自動原稿送り装置にて原稿がつまっています。表示された部分（原稿送りカバー）を開けて、つまった原稿を取りのぞいてください。	8-20
原稿の向きを 90 度回転するか 倍率を設定してください	セットされた原稿の向きではコピーできません。原稿の向きを 90 度回転するか、倍率を設定し直してください。	—
原稿をセットして「開始」を押してください 再セットページ：	原稿づまりを解除後、自動原稿送り装置に原稿が残っていなかった場合に表示されます。 表示されたページの原稿をセットして [開始] または〈スタート〉を押してください。続きを蓄積します。	8-20
コピー禁止中です	コピー禁止が設定されています。	7-35
最適な用紙がありません	用紙選択を自動に設定しているとき、原稿に最適なサイズの用紙が見つかりませんでした。 〈スタート〉を押すと指定倍率にて全カセット中最適な用紙にコピーします。 〈ストップ〉を押すとコピーを中止します。	2-2
サブアドレスを入力してください	F コードボックスのサブアドレスが登録されていません。	4-17
自動原稿送り装置は使用できません ガラス面に原稿をセットください	ページ分割コピーのとき、自動原稿送り装置に原稿が置かれています。この設定は、ガラス面からしか利用できません。ガラス面に原稿をセットしてください。	2-17
しばらくお待ちください	機器が準備中です。動作可能になるまでしばらくお待ちください。	—
縮小倍率は指定できません	拡大送信は入力した倍率では使用できません。 100%～ 200%の範囲で入力してください。	4-39
受信原稿があります	受信原稿があるときに、セキュリティ受信のプロテクトコードを 0000（解除）に設定しようとしました。受信原稿をすべてプリントしてから、セキュリティ受信を解除してください。	6-18
受信でメモリーオーバーしました	受信中にメモリー不足になり、メモリーが一杯になりました。メモリーが空くのを待つか、不要な蓄積文書を削除してください。	—
受話器があがっています	受話器が外れたままになっています。受話器を戻してください。	—
親展ボックスです	F コード原稿蓄積、F コード原稿削除にて指定したボックスが親展ボックスとして設定されてます。	4-31、 4-35
ストップキーで原稿を排出ください	読み取り中にメモリーオーバーや〈ストップ〉を押して、読み取りを途中で中止しました。〈ストップ〉を押して、原稿をすべて排出してください。	—

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
セキュリティ受信を解除しました	セキュリティ受信にて、受信した原稿を印字しました。印字後、セキュリティ受信の設定は解除されます。	6-18
正しい値を入力してください	表示されている数字の範囲内にて値を入力してください。	—
正しい番号を入力してください	間違った番号が入力されました。正しい番号を入力し直してください。	—
中継ボックスです	F コード原稿蓄積、蓄積原稿の印字、F コード原稿削除にて指定したボックスが中継ボックスとして設定されてます。	4-31、4-33、4-35
直接ダイヤルは 1 件のみです	ファクスワープにて、直接ダイヤルを 2 件以上登録しようとしました。直接ダイヤルは 1 件のみ指定できます。	4-46
直接ダイヤルは 30 カ所以内です	同報送信にて、直接ダイヤルを 30 件以上登録しようとしました。	4-3
通信エラー	通信エラーが発生しました。通信エラーの内容を確認して、再度操作してください。	8-24
通信予約されていません	通信予約されている文書がない状態で、通信予約リストのプリントが指示されました。	3-47
通信予約できません	通信予約文書が 100 件を超えています。予約中の通信が終了するまで待つか、リアルタイム送信を行ってください。	—
通信予約文書はありません	通信予約原稿のプリントを指示した予約番号に原稿がありません。（ポーリング、リアルタイム送信の予約など）	3-49
通信履歴がありません	通信結果がない状態で、通信管理レポートをプリントしようとしました。	3-39
手差しに用紙を補給してください	コピー中に用紙が無くなりました。 用紙を補給するとコピーが再開されます。	1-59
点検をお受けください	機器内部に異常が発生しました。サービス実施店またはお買い上げの販売店までご連絡ください。	—
点滅箇所のカバーを閉じてください	カバーが開いています。表示されている箇所のカバーを閉じてください。	—
登録されていません	指定した番号や機能には何も登録されていません。	5-6、7-11、7-45
〜と同時に設定できません	同時に設定できない機能を組み合わせようとしています。	2-20
トナーカートリッジを正しくセットください ドラムカートリッジを正しくセットください	ドラムまたはトナーカートリッジがセットされていないか、正しくセットされていません。ドラムまたはトナーカートリッジを確認して正しくセットしてください。	1-44
トナーがなくなりました	トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。	8-2
トナーが残り少なくなりました	トナーの容量が残り少なくなりました。新しいトナーカートリッジをご用意ください。 トナーカートリッジを取り出し、よく振ってからセットし直すと、エラーメッセージが消えることがあります。	8-2
ドラムカートリッジの交換時期です	ドラムの寿命が近づいています。新しいドラムカートリッジをご用意ください。	8-5

エラーメッセージ	原因・処置のしかた	参照ページ
ドラムカートリッジを交換ください	ドラム寿命です。新しいドラムカートリッジに交換してください。ドラムカートリッジを交換する場合は必ず未使用のドラムカートリッジに交換してください。使用済みのドラムカートリッジに交換してもエラーメッセージは消えません。	8-5
入力範囲を超えています 入力した値を確認してください	間違った数値が入力されました。 正しい値を入力し直してください。	—
倍率を 100%に変更しました	倍率を自動に設定しているとき、用紙選択を自動に設定すると、倍率が 100%に設定されます。	—
倍率を選択してください	自動倍率設定のとき、不定形用紙・はがき・往復はがきへのコピーをしようとしました。不定形用紙・はがき・往復はがきへは自動倍率にてコピーできません。倍率を設定しコピーしてください。	2-11
プリンター準備中です	プリンターが印字可能な状態になっていません。印字可能になるとメッセージは消えますので、しばらくそのままでお待ちください。	—
プリント中です	プリント中にリストなどをプリントしようとしました。現在のプリントが終了するまでお待ちください。	—
プロテクトコードが未登録です	プロテクトコードの設定が必要です。プロテクトコードを登録してから操作してください。	7-29
管理者パスワードが未登録です	管理者パスワードを登録しないと、該当機能が使用できません。管理者パスワードを登録してください。	7-27
管理者に確認してください	該当機能が管理者に禁止されました。	—
管理者パスワードが違います	管理者パスワードを入力し直してください。	7-27
ボックス使用中です	現在、F コードボックスが通信中、プリント中などで使用されています。	—
ミラーキャリッジエラー	原稿を読み取る装置が故障しています。サービス実施店またはお買い上げの販売店までご連絡ください。	—
メモリーオーバーしました	原稿読み取り中にメモリーが一杯になりました。原稿種類または送信画質を変更してください。	2-3、 3-4
メモリーオーバーしました 原稿蓄積枚数：　　枚 蓄積分を有効にしますか？	原稿読み取り中にメモリーが一杯になりました。蓄積できた原稿の枚数が表示されています。 ［はい］を押すと、蓄積した分をメモリーに記憶します。 ［いいえ］を押すと、蓄積した原稿をメモリーから消去します。	2-3、 3-4
メモリー不足です	メモリーが不足しているため、原稿をメモリーに蓄積することができません。メモリーを使用している機能の動作が終了するまでお待ちください。	—
もう既に入力されています	同じ番号が先に入力されています。	—
用紙をカセット 1 に変更しました	用紙選択を自動に設定しているとき、倍率設定を自動に設定したり、倍率を自動に設定する応用コピーをセットすると、カセット 1 が優先的に選択されます。	—
用紙を補給してください	用紙が無くなりました。カセットに用紙を補給してください。	1-57
ランプを確認してください	原稿読み取りランプの交換時期、または汚れなどにより、原稿を正常に読み取れません。サービス実施店またはお買い上げの販売店までご連絡ください。	—

故障かなと思ったら

故障かなと思ったときにお読みください。万一ここで書かれた処置を行っても異常が直らない場合にはサービス実施店にご連絡ください。

動作しない

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
動作しない	電源コードはしっかりと差し込んでありますか？	電源スイッチ及び電源プラグを確認してください。	1-40
	電源スイッチは ON になっていますか？	電源スイッチを ON にしてください。	1-42
ディスプレイに何も表示しない	〈節電〉のランプが点灯していますか？	低電力モードまたはスリープモードになっています。低電力モードまたはスリープモードを解除してください。	1-19
	ディスプレイの濃度が薄すぎませんか？	ディスプレイを見ながら〈液晶調整〉を押し続けてください。	1-12
ダイヤルできない	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	1-38
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあったダイヤル種別に設定してください。	1-48
電話が通じない	通信中ではありませんか？	通信終了までお待ちください。	—
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあったダイヤル種別に設定してください。	1-48
用紙が出てこない	用紙がつまっていたり、異物が入っていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙や異物を取り除いてください。	8-14
用紙がよくつまる 用紙にシワが入る	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしてください。	1-56
	用紙サイズは正しく設定されていますか？	セットした用紙のサイズに合わせて設定してください。	1-58
	適切な用紙を使用していますか？	当社指定の用紙をご使用ください。特殊紙をご使用のときは、仕様にあった特殊紙をご使用ください。	1-54
	湿気を含んだ用紙を使用していませんか？	湿気を含んでいない新しい用紙と交換してください。	—
	折り目やシワの入った用紙を使用していませんか？	不良の用紙を取り除くか、新しい用紙と交換してください。	—
	機械の内部につまった用紙や紙片が残っていたり、異物が入っていませんか？	機械の内部を点検し、紙片や異物を取り除いてください。	8-15
	カセットが確実にセットされていますか？	カセットを確実に奥まで押し込んでください。	—

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
原稿が出てこない	原稿がつまっていたり、自動原稿送り装置に異物が入っていませんか？	つまった原稿や異物を取り出し、原稿をセットし直してください。	8-20
原稿がよくつまる	適切な原稿を使用していますか？	適切な原稿を使用してください。	1-64
	原稿ガイドの位置がずれていませんか？	原稿ガイドを原稿に沿わせてセットしてください。	1-66
	自動原稿送り装置に紙片が残っていませんか？	原稿カバー、原稿搬送部を開けて確認してください。	8-20
	原稿搬送ローラーが汚れていませんか？	原稿搬送ローラーを清掃してください。	8-11
時計データや短縮ダイヤルなどの登録内容が消えてしまう	長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用することをしませんでしたか？	登録内容を保持しているバッテリの寿命がきたことが考えられます。サービス実施店までご連絡ください。	—
カバーが閉まらない	カバーの片方を押していませんか？	両端を押して閉めてください。	—

送信できない

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	3-5
	相手先の電話番号は正しいですか？	短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストをプリントして確認してください。	7-11
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあったダイヤル種別に設定してください。	1-48
	エラーメッセージが表示されていませんか？	エラーメッセージにしたがって処置を行ってください。	8-22
	外線発信番号を忘れていませんか？	内線から外線へ発信するときの、外線発信番号を忘れていませんか？	—
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。（電源、用紙など）	—
	閉域通信など、セキュリティ機能が設定されていませんか？	セキュリティ機能の設定を確認してください。相手側にもセキュリティ機能が設定されていないか確認してください。	第 6 章
原稿が連続して送信されない	原稿の先端を揃えてセットしていますか？	原稿をセットし直してください。	1-66
	セットした原稿の中に、最小幅（120mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い幅の原稿は、ガラス面にセットして、ほかの原稿とは別にしてください。	1-64

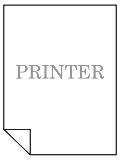
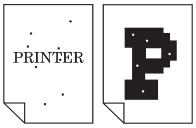
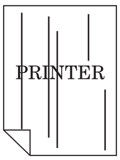
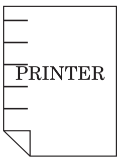
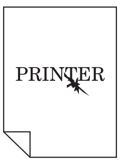
発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
ダイヤルしても送信できない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線にあった種類に設定してください。	1-48
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	1-66
	相手機に用紙がセットされていますか？	相手機に用紙をセットするよう連絡をしてください。	—
	電話番号が間違っていませんか？	正しい電話番号をダイヤルしてください。	—
	相手が話し中ではありませんか？	相手の通信が終了するまでお待ちください。	—
手動送信できない	受話器を置いた後で〈スタート〉を押していませんか？	受話器を置く前に〈スタート〉を押してください。	3-11
メモリー送信のとき原稿が読み込まれない	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	1-66
	メモリーがいっぱいではありませんか？	メモリー容量を確認してください。	—

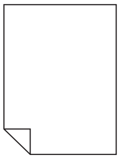
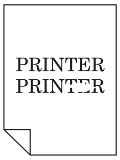
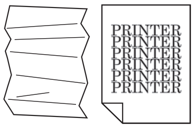
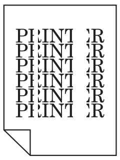
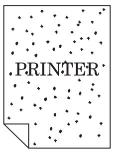
受信できない

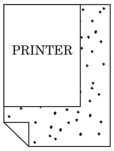
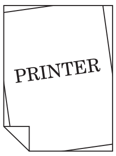
発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
受信できない	自動受信モードになっていますか？	受信モードを確認してください。	1-48
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。	1-57
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	8-22
	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	1-38
	メモリーがいっぱいではありませんか？	メモリー容量を確認してください。	—
	閉域通信やダイレクトメール防止など、セキュリティ機能が設定されていませんか？	セキュリティ機能の設定を確認してください。	第6章
手動受信できない	受話器を置いた後で〈スタート〉を押していませんか？	受話器を置く前に〈スタート〉を押してください。	3-11
ポーリング受信ができない	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	4-14

画質が悪い

以下の処理をしても正常に戻らないときは、サービス実施店までご連絡ください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
プリントがうすい（かすれる、不鮮明）	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	1-57
	原稿の色が黄色や緑色などではないですか？	受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。コピーをとられることをおすすめします。	—
	当社指定以外の用紙を使っていませんか？	当社指定の用紙をご使用ください。	1-52
	濃度の設定が正しくありません。	正しく設定してください。	2-9、3-14
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	トナーカートリッジ内のトナーが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	8-2
黒点や白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	1-54
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。	8-9
黒筋や汚れがプリントされる	原稿ガラス、原稿搬送ローラーなどが汚れています。	原稿ガラス、原稿搬送ローラーを清掃してください。	8-9
等間隔に汚れがプリントされる	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚テストコピーをしてください。	—
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
黒筋や汚れがプリントされる	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	1-57
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	1-54
	ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。	8-9

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	機器の故障が考えられます。	サービス実施店までご連絡ください。	—
なにもプリントされない 	原稿を裏表逆にセットしていませんか？	正しく原稿をセットしてください。	1-66
	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	1-56
	トナーカートリッジのトナーがなくなりました	新しいトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	機器の故障が考えられます。	サービス実施店までご連絡ください。	—
白抜けがおこる 	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。	1-57
	使用している用紙が適切ではありません	適切な用紙をセットしてください。	1-54
	ガラス面が汚れています。	ガラス面を清掃してください。	8-9
用紙にシワが入ったり、文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。	1-54
	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。	1-57
紙送り方向に白抜けが起こる 	ドラムまたはトナーカートリッジが正しくセットされていません。	ドラムまたはトナーカートリッジを正しくセットしてください。	1-44
	ドラムまたはトナーカートリッジが劣化、または破損しています。	新しいドラムまたはトナーカートリッジに交換してください。	8-2
	原稿ガラスが汚れています。	原稿ガラスを清掃してください。	8-9
	記録ヘッドが汚れています。	記録ヘッドをきれいな乾いた布、またはティッシュペーパーで軽く滑らせてふいてください。	8-12
全体が汚れる 	ガラス面が汚れています。	ガラス面を清掃してください。	8-9
	両面が印刷されている原稿の裏面が写っています。	うすい紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。［濃度］にて濃度を薄くしてください。	2-9、3-14

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
周りが汚れる  	原稿押さえパッドが汚れています。	原稿押さえパッドを清掃してください。	8-9
	原稿サイズより大きな用紙にコピーしていませんか？（倍率 100%時）	原稿サイズと同じ大きさの用紙を選択してください。	2-7
	原稿と用紙の向きが違っていませんか？	同じ向きの用紙を選択してください。または、原稿の向きを用紙に合わせてセットしてください。	—
	用紙サイズにあった倍率で縮小していません。	用紙サイズにあった倍率で縮小してください。	2-10
画像が傾く  	原稿が正しくセットされていません。	原稿を正しくセットしてください。	1-66
	自動原稿送り装置に適した原稿がセットされていません。	自動原稿送り装置部にセット可能な原稿を使用してください。	1-64
	原稿ガラスに異物がありませんか？	原稿ガラスを清掃してください。	8-9
	用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットしてください。	1-57

停電のとき

● 停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... 受信プリント中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。
原稿の読み取り中は ...	読み取りが途中で停止します。停電が復旧しても、読み取りは再開しません。復旧後は、〈ストップ〉を押して原稿を排出してください。

● 停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクスの受信	受信できません。
電話をかける	受話器のダイヤルキーを利用して、電話をかけることができます。
電話を受ける	受話器で、電話を受けることができます。 ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、特別な操作を行う必要があります。 【ナンバー・ディスプレイをご契約の場合】 (1) 短い間隔の呼出ベル*が鳴り終わるまで待つ。約6秒(ベル音約7回) (2) 呼出ベルの間隔が長くなったときに受話器を上げると通話できる。 ＊(1) の呼出ベルで受話器を上げた場合、「ピーガー」という発信音を聞いたらすぐに受話器を元に戻してください。その後、再び呼出ベルが鳴りますので、受話器を上げると通話できます。

受話器はオプションです。

メモリーバックアップ

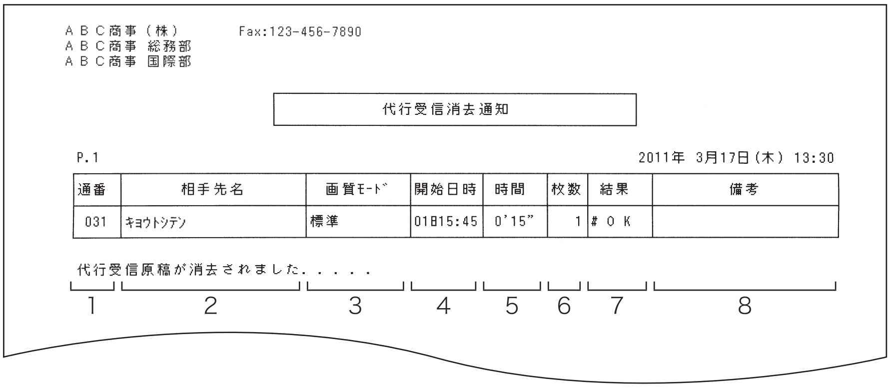
● メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも約 24 時間保持されます。ただし、あらかじめ 24 時間連続して通電されている必要があります。

消去通知

メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。

下記は、代行受信文書が消去された場合の消去通知例です。このほか「通信予約消去通知」「ポーリング原稿消去通知」「F コードボックス原稿消去通知」がプリントされる場合があります。

印字例


ＡＢＣ商事（株）　Fax:123-456-7890
ＡＢＣ商事　総務部
ＡＢＣ商事　国際部

代行受信消去通知

P.1　2011年 3月17日（木）13:30

通番	相手先名	画質ﾓｰﾄﾞ	開始日時	時間	枚数	結果	備考
031	ｷｮｳﾄｼﾃﾝ	標準	01日15:45	0'15"	1	# ＯＫ	

代行受信原稿が消去されました．．．．．

1. 通番

通信の番号です。

2. 相手先名

以下の順に記録されます。

(1) 短縮ダイヤルなどに登録されている相手先名（送信のみ）
(2) 短縮ダイヤルなどに登録されている電話番号、またはダイヤルボタンで指定した電話番号（送信のみ）
(3) 相手先の自局名
(4) 相手先の自局 ID
(5) 空白

3. 画質モード

通信した画質です。

4. 開始日時

通信を開始した時刻です。

5. 時間

通信の開始から終了までの所要時間です。

6. 枚数

受信した枚数です。

7. 結果

通信結果です。

- OK 正常終了しました。
- ＊
  ECM モードで通信しました。
- #
  スーパー G3 で通信しました。
- エラーコード
  異常終了です。もう一度送信してください。（8-24 ページ）

8. 備考

- ポーリング
  ポーリング受信です。
- 手　　動
  手動受信です。
- F コードポーリング
  F コードポーリングです。

第 9 章

付録

機能番号一覧

機能番号を入力して目的の機能を呼び出すときに使用する機能番号の一覧です。

■ 機器設定

1 短縮ダイヤル 7-3 ページ

よく使用する宛先を 500 件まで短縮ダイヤルに登録できます。登録した短縮ダイヤルの編集や削除、移動もできます。

2 グループ 7-12 ページ

複数の宛先をまとめて、1 つのグループに登録できます。登録したグループの編集もできます。

3 用紙／仕分け 7-25 ページ

- **手差し用紙**
  手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙の種類を登録できます。
- **リスト用紙**
  リストを印字する用紙サイズまたはカセットを選択できます。
- **印字カセット指定**
  ファクス受信時に使用するカセットやコピーで用紙選択を「自動」にしている場合に使用するカセットを指定できます。
- **受信原稿仕分け**
  受信原稿の 1 枚目を印字するカセットを選択できます。

4 コピー機能

- **401 コピー初期値** 7-21 ページ
  - **4011 画質**
    コピー原稿の画質の初期値を設定できます。
  - **4013 濃度**
    コピー原稿の濃度の初期値を設定できます。
  - **4015 拡大縮小**
    初期設定でコピー倍率を自動にするか、100% にするかを設定できます。
  - **4017 ソート**
    ON に設定すると、初期設定でソートが ON になります。
- **コピー予約** 7-22 ページ
  ON に設定すると、コピー中に別の原稿を読み取ることができます。

- **5 ファクス機能**
  - **501 送信初期値** 7-15 ページ
    - **5011 画質**
      読み取り時の画質の初期値を設定できます。
    - **5013 濃度**
      読み取り時の濃度の初期値を設定できます。
    - **5015 発信元名**
      ON に設定すると、初期設定で発信元名を相手先に表示したりプリントしたりできます。
    - **5017 メモリー送信**
      ON に設定すると、初期設定でメモリー送信を優先します。OFF に設定するとリアルタイム送信を優先します。
    - **5019 送付案内書**
      文書 1 〜 3 のいずれかを選択すると、送信原稿に送付案内書を常につけて送信できます。
    - **5021 送信確認証**
      ON に設定すると、送信するたびに送信確認証を自動的にプリントすることができます。
    - **5023 済スタンプ**
      ON に設定すると、送信原稿に済スタンプを常に押すことができます。
    - **5025 ファイル形式 *1**
      インターネットファクスに添付するスキャンファイルのフォーマット初期値を設定します。
    - **5027 メール定型文 *1**
      インターネットファクスに付ける件名とメッセージの初期値を設定します。
  - **503 ファクスワープ** 4-46 ページ
    ON に設定すると、設定時間内に受信した原稿を指定された宛先に転送します。転送宛先の登録、変更、削除もできます。
  - **505 送付案内書文書登録** 4-11 ページ
    送付案内書文書を 3 件まで登録できます。
  - **507 F コードボックス** 4-18 ページ
    F コード通信を利用するために F コードボックスを 20 個まで登録できます。登録した F コードボックスを削除することもできます。
  - **509 セキュリティ機能** 6-1 ページ
    - **閉域送信** 6-3 ページ
      ON に設定すると、同じパスコードを設定した相手機にのみ、ファクスを送信できます。
    - **閉域受信** 6-5 ページ
      ON に設定すると、同じパスコードを設定した相手機からのみ、ファクスを受信できます。
    - **パスコード** 6-6 ページ
      閉域送信および閉域受信、パスコードポーリングの利用に必要なパスコードを登録できます。
    - **ID チェック送信** 6-9 ページ
      ON に設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下 4 桁と相手機に登録されているファクス番号の下 4 桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。

- 宛先確認　6-11 ページ
  ON に設定すると、送信を始める前に、入力した相手先番号を確認する画面が出てきます。
- 短縮 2 度押し　6-13 ページ
  ON に設定すると、送信を始める前に、短縮番号で入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。
- ワンタッチ 2 度押し　6-13 ページ
  ON に設定すると、送信を始める前に、ワンタッチダイヤルで入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。
- Is 短縮 2 度押し *1　6-13 ページ
  ON に設定すると、送信を始める前に、Is＋Plus 宛先表の短縮番号で入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。
- ダイヤル 2 度押し　6-13 ページ
  ON に設定すると、送信を始める前に、テンキーで入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。
- 同報送信　6-16 ページ
  複数の宛先入力を禁止することができます。
- セキュリティ受信　6-17 ページ
  セキュリティ受信開始時刻以降に受信した原稿をメモリーに蓄積し、プリントアウトしないようにします。
- パスコードポーリング　6-19 ページ
  原稿をあらかじめ蓄積しておくと、同じパスコードを設定した相手側からの操作で自動的に送信できます。

511 その他の設定　7-17 ページ

- 5111 宛先名表示
  ON に設定すると、短縮ダイヤルに登録している相手先名を、宛名として送信原稿の先頭に挿入できます。
- 5113 リダイヤル回数
  相手が話し中などのときの再ダイヤルの回数を設定できます。
- 5115 リダイヤル間隔
  再ダイヤルの間隔を設定できます。
- 5117 ダイレクトメール防止　6-20 ページ
  不必要なファクス受信を防止できます。防止方法は 3 種類登録でき、登録内容の変更、削除もできます。
- 5119 呼出しベル回数
  受信モードがファクス待機、もしくは電話／ファクス待機のとき、受信動作が開始されるまでのベル回数を設定できます。
- 5121 ポーズ時間
  ポーズ記号を入力したときのダイヤル間隔の初期値を設定できます。

5123 超高画質解像度

送信画質を超高画質にした場合の読み取り解像度を設定できます。

5125 受信縮小率

受信原稿のプリント縮小率を設定できます。

5127 しきい値 3-34 ページ

受信原稿が有効記録紙サイズに収まらない場合に、次のページにプリントするかを判断する値を設定できます。

5129 用紙節約 3-35 ページ

受信原稿のプリント方法を設定できます。

5131 逆順プリント

ON に設定すると、受信した原稿、通信予約原稿、ポーリング原稿、F コード BOX の印字原稿を逆順にプリントします。

5133 回転送信

ON に設定すると、A4の原稿を A4 に回転して読みこみ、送信することができます。

5135 クイックメモリー送信 3-16 ページ

ON に設定すると、複数の原稿を送信する際、読み取ると同時に蓄積できたページから順に送信を始めます。

5137 ECM モード

ON に設定すると、電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信し直します。

5139 サービスモード

設定しないでください。

5141 ダイヤルプレフィクス 4-8 ページ

あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号につけて発信することができます。

5143 Is+Plus 配信 *1

Information server +Plus II の自動配信機能を、一括して有効（ON）または無効（OFF）に切り替えることができます。

5145 宛先表優先 *1

ファクス待機画面で、最初に表示される宛先表の種別を選択できます。

5147 メール機能優先 *1

ON に設定すると、ファクス待機画面で、インターネットファクス（メール）関連のキーを優先的に最初に表示できます。

5149 分割送信設定 *1

スキャンした複数枚のページを 1 枚ずつ分割して送信（分割送信）した場合の送信履歴を 1 送信にまとめるか、ページごとに分けて残すかを設定できます。

9

付録

- 6 スキャナー機能
  - 601 スキャン初期値
    - 6011 画質 *4
      スキャン時の画質の初期値を設定できます。
    - 6013 濃度 *4
      スキャン時の濃度の初期値を設定できます。
    - 6015 解像度 *4
      スキャン時の解像度の初期値を設定できます。
    - 6017 読取サイズ *4
      スキャン文書の読み取りサイズの初期値を設定できます。
    - 6019 ファイル形式 *1
      スキャン文書の保存ファイル形式の初期値を設定できます。
    - 6021 分割送信 *1
      スキャンした複数枚のページを 1 枚ずつ分割して別の文書として送信（分割送信）するかどうかを設定できます。
    - 6023 日付形式 *1
      印字される年月日の前後の配置を設定できます。
  - 603 スキャンボックス *2
    スキャン文書を保存するボックスの名称と暗証番号を設定できます。
- 7 機器管理
  - 701 ご愛用スイッチ設定 7-47 ページ
    よく使用する機能を 8 つのご愛用スイッチに割り当てることができます。
  - 703 タッチパネルキー設定
    7-49 ページ
    - コピー画面
      よく使用する機能をコピー画面のタッチパネルキーに登録することができます。
    - ファクス画面
      よく使用する機能をファクス画面／インターネットファクス画面 *1 のタッチパネルキーに登録することができます。
    - スキャナー画面 *4
      よく使用する機能を各スキャナー画面のタッチパネルキーに登録することができます。
  - 705 画面自動リセット時間
    7-32 ページ
    - コピー画面
      コピー画面を待機画面に戻すまでの時間を設定できます。「読取終了後にリセット」を ON に設定すると、原稿の読み取り終了後に設定がリセットできます。
    - ファクス画面
      ファクス画面を待機画面に戻すまでの時間を設定します。
    - スキャナー画面 *4
      スキャナー画面を待機画面に戻すまでの時間を設定できます。「読取終了後にリセット」を ON に設定すると、原稿の読み取り終了後に設定がリセットできます。

- **707 音設定**
  7-32 ページ
  - **呼出ベル音**
    オプションの受話器がなくても、ファクス着信時に呼出ベル音が鳴るように設定できます。
  - **呼出ベル音量**
    呼出音やアラームの音量を調整できます。
  - **キータッチ音量**
    キータッチ操作音の音量を調整できます。
  - **キータッチ音色**
    操作ボタンを押したときの音色を変えることができます。ファクスとコピー、スキャナー *4 で音色を変えることもできます。
  - **動作完了音量**
    動作完了音の音量を調整できます。
  - **動作完了音**
    コピーやファクス、ガラス面での読み取り、PC プリント *4 動作の完了を音で知らせることができます。
  - **紙詰まりエラー音**
    用紙づまりが発生したときのアラーム音を鳴らすことができます。
- **709 音声案内**
  1-22 ページ
  - **操作案内モード**
    操作案内のモードを設定できます。
  - **操作案内音量**
    操作案内の音量を設定できます。
  - **エラー解除案内音量**
    エラー解除案内の音量を設定できます。OFF に設定すると、エラー解除案内を行いません。
  - **お知らせガイダンス音量**
    お知らせガイダンスの音量を設定できます。OFF に設定すると、お知らせガイダンスを行いません。
- **711 節電モード**
  7-34 ページ
  - **低電力モードへの移行時間**
    低電力モードへの移行時間を設定できます。
  - **スリープモード**
    スリープモードを設定できます。OFF に設定すると、スリープモードにはなりません。
  - **スリープモードへの移行時間**
    スリープモードへの移行時間を設定できます。
  - **節電モード時刻指定**
    節電モードを開始する時間や解除する時間を設定できます。
- **713 通信管理レポート自動印字**
  3-40 ページ
  - **OFF**
    自動的に通信管理レポートをプリントしません。
  - **ON（時刻設定なし）**
    最新の送信、受信が合わせて 100 通信になると、「送信／受信レポート」を自動的にプリントします。
  - **ON（時刻設定あり）**
    通信管理日報として、毎日指定した時刻に通信管理日報を自動的にプリントします。

9
付録

- 715 プロテクト設定 6-24 ページ
  - 7151 プロテクトコード
    セキュリティ機能やプロテクト機能を利用するためのプロテクトコードを登録できます。
  - 7152 管理者パスワード
    設定することによって管理者による機器の一元管理ができます。
  - 7153 プロテクト機能
    「プロテクトする」に設定すると、設定したファクス機能、機器管理、リスト印字の操作の際、かならずプロテクトコードを入力しなければなりません。
- 717 禁止設定 7-35 ページ
  - コピー禁止
    「禁止する」に設定すると、コピーを禁止できます。
  - ファクス禁止
    「禁止する」に設定すると、ファクス送信を禁止できます。
  - スキャン禁止 *4
    「禁止する」に設定すると、スキャナー機能を禁止できます。
  - リスト出力禁止
    「禁止する」に設定すると、リスト出力を禁止できます。
- 719 部門管理 5-2 ページ
  - 設定 5-5 ページ
    ON に設定すると、部門管理が設定できます。
  - 登録／変更 5-3 ページ
    部門番号と部門名を 100 件まで登録できます。
  - 削除 5-4 ページ
    登録した部門番号と部門名を削除できます。
  - コピー料金設定 5-2 ページ
    部門別にコピー料金を集計する場合、コピー 1 枚あたりの単価を登録します。
  - カウンターリセット 5-8 ページ
    集計したデータを全て消去します。
- 721 印字待ちジョブ表示 5-9 ページ
  代行受信またはコピーの印字待ちの件数を表示します。
- 723 ネットワーク設定 *5
  - IP アドレス登録／変更 *5
    IP アドレスやサブネットアドレスなどを登録／変更します。
  - MAC アドレス表示 *5
    MAC アドレスを表示します。
  - SMB 設定 *1
    NetBIOS やワークグループ名を入力します。
  - Ping *1
    IP アドレスを入力します。
- 725 ユーザーデータ消去 7-40 ページ
  短縮ダイヤルやコピー・ファクスの機能設定など［機器設定］で設定されているデータを全て消去します。
- 727 サーバーデータ消去 *1
  ネットワーク設定で設定されているデータを全て消去します。

8 原稿蓄積
- 蓄積 4-14 ページ、4-31 ページ
  ポーリング原稿やFコード掲示板原稿を蓄積します。
- 削除 4-15 ページ、4-35 ページ
  蓄積したポーリング原稿やFコード掲示板原稿を削除します。
- 印字 4-15 ページ、4-33 ページ、6-18 ページ
  蓄積したポーリング原稿やFコード掲示板原稿、セキュリティ受信原稿などをプリントします。

9 設置モード
- 901 現在時刻 1-47 ページ
  西暦、月日、時分を入力します。時刻は24時間制で入力します。
- ダイヤル種別(回線1) 1-48 ページ
  ダイヤル種別を設定します。
- ダイヤル種別(回線2)*3
  ダイヤル種別を設定します。
- ファクス受信モード 1-48 ページ
  受信モードを選択します。
- ダイヤルトーン検出(回線1) 1-49 ページ
  ONに設定すると、必ずダイヤルトーンの検出を行います。
- ダイヤルトーン検出(回線2)*3
  ONに設定すると、必ずダイヤルトーンの検出を行います。
- 発信元名登録／変更 1-50 ージ
  3種類の発信元名を登録／変更できます。
- 標準発信元名(回線1) 1-51 ページ
  通常使用する発信元名を選びます。
- 標準発信元名(回線2)*3
  通常使用する発信元名を選びます。
- 発信元番号(回線1) 1-51 ページ
  発信元番号を登録します。
- 発信元番号(回線2)*3
  発信元番号を登録します。
- 回線選択モード*3
  ご使用に合わせた回線を選択します。
- 送信･受信(回線1)*3
  接続する回線の用途に合わせて設定します。
- 送信･受信(回線2)*3
  接続する回線の用途に合わせて設定します。
- 外線･内線(回線1)*3
  接続する回線の用途に合わせて設定します。
- 外線･内線(回線2)*3
  接続する回線の用途に合わせて設定します。
- ナンバー･ディスプレイ設定(回線1) 4-45 ページ
  ナンバー･ディスプレイの設定をします。
- ナンバー･ディスプレイ設定(回線2)*3
  ナンバー･ディスプレイの設定をします。
- タイムゾーン*5
  タイムゾーンを設定します。

■ リストプリント

10 短縮ダイヤル 7-11 ページ
短縮ダイヤルの一覧をプリントします。

11 Is+Plus 宛先*1
Is+Plus 宛先の一覧をプリントします。

12 グループ 7-14 ページ
グループダイヤルの一覧をプリントします。

通信管理

- 1001 通信予約リスト 3-47 ページ
  通信予約されている原稿のリストをプリントします。
- 1003 通信管理レポート 3-39 ページ
  ファクス送受信やメール送受信 *1 の通信状況をプリントします。
- 1005 通信管理日報レポート 3-42 ページ
  ファクス送受信やメール送受信 *1 の最新の通信状況をプリントします。

機器設定

- 1007 コピー設定リスト 7-23 ページ
  コピー設定リストをプリントします。
- 1009 ファクス設定リスト 7-19 ページ
  ファクス設定リストをプリントします。
- 1011 スキャナー設定リスト *4
  スキャナー設定リストをプリントします。
- 1013 機器管理リスト 7-36 ページ
  機器管理リストをプリントします。
- 1015 機能一覧 9-11 ページ
  機能一覧をプリントします。
- 1017 蓄積原稿リスト 7-38 ページ
  蓄積原稿リストをプリントします。
- 1019 部門管理リスト 5-6 ページ
  部門管理リストをプリントします。
- 1021 おまかせ設定リスト 7-45 ページ
  おまかせ設定リストをプリントします。

その他のリスト

- 1023 ファクスワープリスト 4-51 ページ
  ファクスワープリストをプリントします。
- 1025 送付案内書文書 4-12 ページ
  送付案内書をプリントします。
- 1027 F コードボックス 4-28 ページ
  F コードボックスリストをプリントします。
- 1029 F コード原稿 4-36 ページ
  F コード蓄積原稿をプリントします。
- 1031 ダイレクトメール防止 6-23 ページ
  ダイレクトメール防止リストをプリントします。
- 1033 フォルダーショートカット *1
  フォルダーショートカットリストをプリントします。

0 シャットダウン *1
シャットダウン操作を行います。

*1 オプションの Information server +Plus II キット装着時のみ
*2 オプションのプリンターコントローラーキット装着時のみ
*3 オプションの 2 回線キット装着時のみ
*4 オプションの Information server +Plus II キット / プリンターコントローラーキット装着時のみ
*5 オプションの Information server +Plus II キット / ネットワークプリンターキット装着時のみ
オプション機能の詳細については、各オプションの取扱説明書を参照してください。

機能一覧の印字

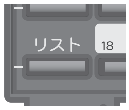
機能一覧をリスト印字します。

1 **〈応用機能〉を押し、カーソルキーで「リスト」を選択後、[確定]を押します。**

または、ワンタッチキーパネルをめくり、〈リスト〉を押します。



または



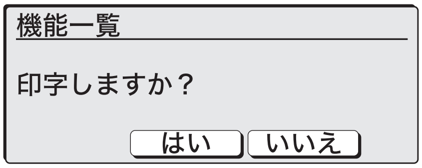
2 **カーソルキーで「機器設定」を選択し、[確定]を押します。**

3 **カーソルキーで「機能一覧」を選択し、[確定]を押します。**



4 **[はい]を押します。**

機能一覧をプリントします。



9

付録

印字例

```
＊＊　機能一覧　＊＊

P.1
├ 短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
├ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
├ 用紙/仕分け
│　├ 手差し用紙
│　│　├ 用紙サイズ
│　│　└ 用紙種類
│　├ ﾘｽﾄ用紙
│　│　├ 用紙ｻｲｽﾞで選ぶ
│　│　└ ｶｾｯﾄで選ぶ
│　├ 印字ｶｾｯﾄ指定
│　│　├ ファクス
│　│　└ コピー
│　└ 受信原稿仕分け
│　　　├ 設定
│　　　├ ｶｾｯﾄ指定
│　　　└ 先頭ﾍﾟｰｼﾞに印字する
├ ｺﾋﾟｰ機能
│　├ ｺﾋﾟｰ初期値
│　│　├ 画質
│　│　├ 濃度
│　│　├ 拡大縮小
│　│　└ ソート
│　└ コピー予約
├ ﾌｧｸｽ機能
│　├ 送信初期値
│　│　├ 画質
│　│　├ 濃度
│　│　├ 発信元名
│　│　ﾒﾓﾘｰ送信
```

補足

ショートカットで操作する場合は、以下の手順を行います。
〈機器設定／登録〉、〈1〉、〈0〉、〈1〉、〈5〉、[確定] と押し、[はい] を押す。

保守サービスについて

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

コピーキットシステム

本機専用のコピーキットをご購入いただきますと、弊社が機械の性能を維持する為の保守サービスをご提供し、ドラムカートリッジをお貸しするシステムです。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備および交換を行います。

スポットシステム

機械の保守サービスと、ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。

主な仕様

製品の仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ ファクス／コピー共通仕様

項　目	仕　様
型式	卓上型
原稿台方式	固定式
感光体種類	OPC ドラム
印字方式	乾式電子写真方式
現像方式	非磁性 1 成分方式
定着方式	ヒートロールによる熱圧力定着
読取方式	CCD イメージセンサーによる固定電子平面走査
原稿サイズ	自動原稿送り装置　幅　：120 ～ 300mm（読み取りは 297mm） 長さ：100 ～ 900mm（コピー時は最大 500mm） ガラス面　最大：257×364mm（最小の制限は無し）
原稿収容容量 （自動原稿送り装置）	A3：30 枚　B4：40 枚　A4 以下：50 枚
用紙	サイズ　カセット：B4、A4、B5 、A5 手差し　：B4、A4、B5、B5 、A5、A5 、OHP、ハガキ、往復ハガキ、封筒
	最大セット枚数　カセット：約 300 枚[*1] 手差し　：約 50 枚[*1]
画像メモリー容量	標準 32MB（バッテリーにより、約 24 時間のメモリーバックアップ可）[*2]
電源	AC 100V±10%　50 ／ 60Hz 共用
消費電力[*3]	スリープモード：6.5W 低電力モード　：14W 待機時　：38Wh 送信時　：63W 受信時　：800W コピー時　：840W 最大消費電力　：860W
電流値	8.6 A 以下
質量	35.0Kg （トレイ含む。用紙・ドラム・トナーカートリッジのぞく）
機械寸法	幅 480× 高さ 474× 奥行き 645mm （突起部・トレイのぞく）
環境条件	周囲温度：10 ～ 32℃（湿度 68%時） 相対湿度：20 ～ 80%（温度 30℃時）

＊1　普通紙坪量 64g/m^2 のとき。その他の用紙については 1-52 ページを参照してください。
＊2　あらかじめ 24 時間以上の通電が必要です。

■ ファクス関連

項　目	仕　　　様
走査線密度	読取部： 超高画質モード：主走査 16 画素／ mm× 副走査 15.4 本／ mm＊1 主走査 600 dpi× 副走査 600 dpi＊1 高画質モード　：主走査 8 画素／ mm× 副走査 7.7 本／ mm＊1 標準モード　　：主走査 8 画素／ mm× 副走査 3.85 本／ mm＊1 写真モード　　：主走査 8 画素／ mm× 副走査 7.7 本／ mm＊1 記録部：主走査 600 dpi× 副走査 600 dpi
通信速度	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400 bit / s（自動切替）
適用回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含む）
電送速度	2 秒台（33600bit / s）＊2
符号化方式	MH ／ MR ／ MMR ／ JBIG

＊1　該当モードを持たない装置とは交信できません。
＊2　A4 版 700 字程度の原稿を、標準的画質 (8×3.85 本／ mm)、スーパー G3 モード (ITU-T V.34 基拠、33600 bit / s）で送った時の時間です。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。G3 機との通信（同じ原稿を 14400 bit / s で送ったとき）では 6 秒台になります。

■ コピー関連

項　目	仕　　　様
走査線密度	読取部：主走査 600 dpi × 副走査 600 dpi 記録部：主走査 600 dpi × 副走査 600 dpi
ウォームアップタイム	13 秒以内／（室温 20℃）
ファーストコピータイム	10.5 秒以下（A4、ガラス面使用時、1 段目カセット使用時）
連続複写速度	13 枚／分（A4、メモリープリント、1 段目カセット使用時）
連続コピー	1 ～ 99 枚

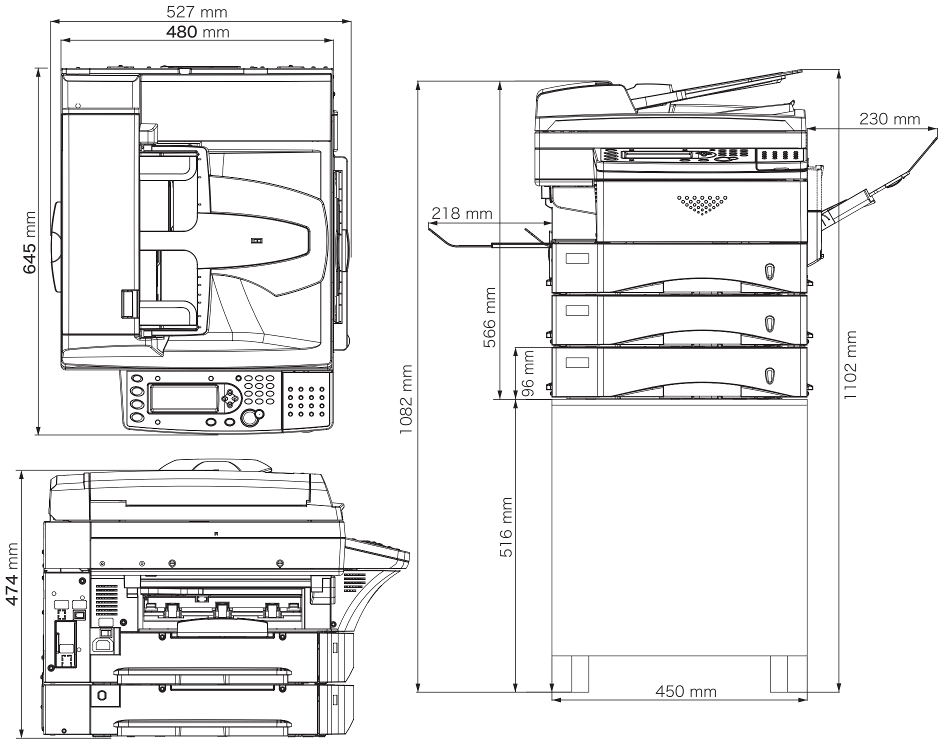
■ 消耗品寿命

消　耗　品	仕　　　様
トナーカートリッジ	約 6000 枚＊1
ドラムカートリッジ	約 13000 枚＊2
済スタンプ（青）	約 30000 枚
済スタンプ（ピンク）	約 10000 枚

＊1　A4 サイズ、黒字率 6％時。印刷条件、出力内容によって異なります。
＊2　A4 サイズ。印刷条件、温度、湿度、用紙の種類、一回の印字枚数等によって異なります。

9
付録

■ 機械寸法図



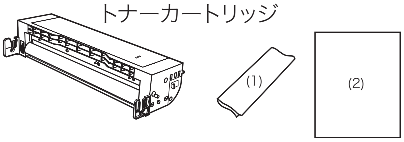
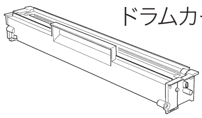
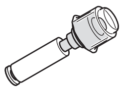
- このモデルは日本仕様の認可機です。日本国内でのみ設置できます。（日本から海外のファクシミリとの国際電話による交信もできます。）
- This facsimile machine is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.
- JIS C 61000-3-2 電源高調波規格に適合しています。
- 外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

消耗品とオプション品について

消耗品について

ご注文いただく消耗品としては、以下のものがございます。これらは、本機に最も適した規格で作られているので、必ず以下のものを使用してください。弊社指定外の消耗品をご使用になると、故障の原因となります。

消　耗　品	梱　包　形　態
トナーカートリッジ 梱包箱には次の内容が同梱されています。 トナーカートリッジ  (1) クリーニングペーパー (2) 清掃手順書	各 1 個
ドラムカートリッジ 梱包箱には次の内容が同梱されています。 ドラムカートリッジ 	1 個
済スタンプ スタンプの色は、ピンクと青の 2 種類があります。 	済スタンプ　1 個

オプション品について

品　名	備　　考
増設メモリー	メモリー容量を 32MB 増やすことができます。（合計 64MB）
給紙ユニット（カセット付）	セットできる用紙の量を増やすことができます。3 段まで増設できます。用紙は 300 枚セットでき、最大で 900 枚の用紙を使用できるようになります。
専用台	省スペース、使いやすさを考慮した専用台です。消耗品を保管する収納スペースもあります。
固定脚	専用台を安定させるために、専用台を固定します。
受話器（ハンドセット）	手動送信や電話を受けるときに必要です。
防塵カバー	本体にかぶせる、ほこりよけのカバーです。
キャリアシート B4 用 /A4 用	紙厚が薄い原稿やカールした原稿を送信するときに使用します。
結露対策キット（スキャナー用）	寒冷地対策用オプションです。
ヒーター付給紙ユニット（カセット付）	
2 回線キット（AL-600）	通信回線を増設し、スーパー G3 通信を 2 カ所同時に行なうことができます。
プリンターコントローラーキット（OP-500） ネットワークプリンターキット（NP-500）	Windows 対応アプリケーションソフトから、高画質な PDL プリンターとして使用できます。さらに NP-500 を装着すると、ネットワークプリンターとしても使用できます。
Information server +Plus Ⅱ キット（WS-550）	ネットワークプリンターやネットワークスキャナー、インターネット FAX、ダイレクト PC-FAX などの機能を拡張できるオールインワンのキットです。
アーカイブ拡張キット（AC-150）	送信した原稿の内容を確認や管理したり、ファクスの利用者を特定することができます。

消耗品発注票について

トナーの残りが少なくなったり、ドラムカートリッジの寿命が近づいたりした時に、消耗品発注票をプリントさせることができます。また、消耗品発注票を自動的にファクスさせることもできます。（サービス技術者による設定が必要です）

プリントさせた場合は、消耗品発注票のご担当者名、備考を記入していただき、お買い上げの販売店または、サービス実施店までファクスで発注してください。

補 足

- 弊社指定以外の消耗品を使用して発生したトラブルについて修理を依頼されますと、コピーキットシステム料金と別途修理料金をご請求させていただく場合があります
- 消耗品は以下のような場所を避けて保管してください。
  ・高温多湿の場所・火気のある場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所
- 消耗品はご使用になるまで包装された状態で保管してください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジにつきましては、予備を準備していただくことをお奨めいたします。

印字例

KONICA MINOLTA 1341f 消耗品発注票

FAX送信先

お客様名	ＡＢＣ商事㈱								部課名			総務部		
送付先住所	〒													
お客様ｺｰﾄﾞ	D	E	F	5	6	7	8							
お客様電話番号	1234567890													
お客様ﾌｧｸｽ番号														
機台番号	D	B	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1
発注品目														
商品名称	トナーカートリッジ													
販売店社名	ＡＢＣサプライ													
得意先ｺｰﾄﾞ	A	B	C	1	2	3	4							
販売店電話番号	12322223333													
販売店ﾌｧｸｽ番号	12322224444													
備考 ご担当者署名（印）														

記入文字見本１２３４５６７８９０

注意事項

消耗品の交換が必要になりました。ご担当者名をご記入いただき
サービス管理店までファクスで発注してください。
尚、登録内容（お客様名・送付先）が変更になった場合は、
お手数ですが備考欄に変更内容をご記入ください。

さくいん

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■ 国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献することを目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

1341f は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名 ______

電話番号 ______

担当部門 ______

担当者 ______

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ______

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 http://bj.konicaminolta.jp

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00〜12:00 / 13:00〜17:00）

この取扱説明書は、環境に配慮したベジタブルオイルインキを使用しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

Printed in Japan

2011.04

DB5-90300-60